

テキストの使い方と学習方法

はじめに

パワーポイントは会議などでプレゼンテーション用の資料（企画書、提案書）などを作成するためのアプリです。市販の本は、ある程度使える方が辞書代わりに使えるように作成されているのに対して、このテキストは、初心者の方が1つのプレゼンテーション用資料をコツコツと最初から作成できるように、段階的に資料作成の流れに沿って説明しています。

テキストの学習にあたって

まず、このテキストを使っていただくために、必ず下記のことは約束してください。そうでないと、せっかく今からテキストを進めていただいても、身に付かず、時間の無駄になってしまいます。

●「実際の操作内容」の部分だけ操作する。マークや説明をしっかりと見る

「完成例」は、今から取り組む操作の確認です。

これだけを見ながら操作ができるわけではありません。

このテキストは、覚えていただきたいことに、的を絞って説明していますので、テキスト内のマークや説明を、最低1回は読むように心がけましょう。

（テキスト内のマークの説明は、次ページを参照してください。）

●操作は必ず順番に！ 1回は操作しましょう

生徒様の中には、ここはわかるから読み飛ばそうとされる方や、順番に書いてある操作を何個か飛ばして進めようとする方がいらっしゃいますが、途中で操作がうまくいかず、大幅にやり直すこととなります。パソコンは1つボタンが違ったり、必要な操作を飛ばしたり、1つ違う操作をするだけで全く違う結果になることがあります。1つ1つ丁寧に操作しましょう。

●わからないところをそのままにしない

パソコンを覚えるということは「家づくり」に似ています。1か所でもいい加減なところがあると欠陥住宅になり、家が倒壊するかもしれません。パソコンでもいい加減なところを作らず、わからないところをそのままにしないで繰り返しやってみたり、説明を読んだり、先生に聞いたりして学習し、各章ごとにある練習問題もしっかり取り組みましょう。

登場人物紹介

このテキストには先生が1人と、若い方代表と中高年の方代表として生徒様が2人登場します。この3人と一緒にテキストを楽しく進めていきましょう。

「私にもできるか不安だわ〜。」



ウメさん
子供にパソコンを買って
もらったのがきっかけ。
パソコンは全くの初心者



ケンちゃん
簡単なインターネット
やメールはできるけど、
パソコンは苦手

「パソコンって、用語が難しくて
なかなか覚えられないんですね。」

「大丈夫！このテキストどおり、丁寧に進めば、
楽しく覚えられますし、マスターすれば簡単な
スライドが作れるようになります。」



くじら先生
「生徒さんに喜んでもらう、
満足してもらう」がモットー
のパソコンの先生

テキスト内で使われているマークについて

1. (1) ①などの見出し部分

……ここでは、これから行う操作がどういう意味を持った操作なのかを説明しています。

実際の操作内容

……実際に行う操作の方法を説明しています。

目標

……各操作で何を覚えてほしいかを説明しています。

注意!

……間違いやすい操作や、操作を行うにあたり特に注意してほしいことを説明しています。

余裕があれば読んでね

……パソコンの操作方法だけ覚えたい方は特に読む必要はありませんが、知っているると後々便利な情報や、役立つ情報を説明しています。



……くじら先生の吹き出し内は、各操作中のポイントや注意の中でも、特に読んで理解してほしい重要な箇所です。

☆☆ここまでくれば練習問題〇〇で理解度を試してください。☆☆

……単元ごとの練習問題を用意しています。各単元での復習操作になりますので、単元ごとに理解度を試してください。このテキストでは全部で**3ヶ所**あります。

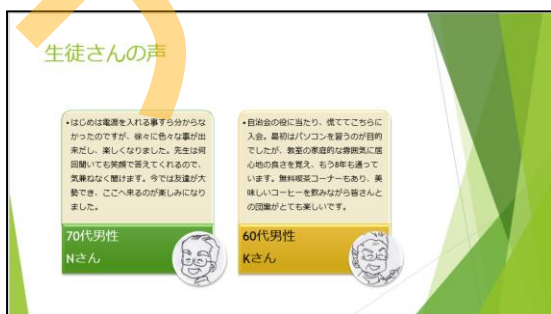
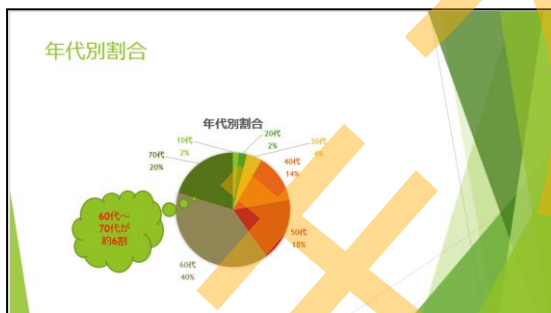
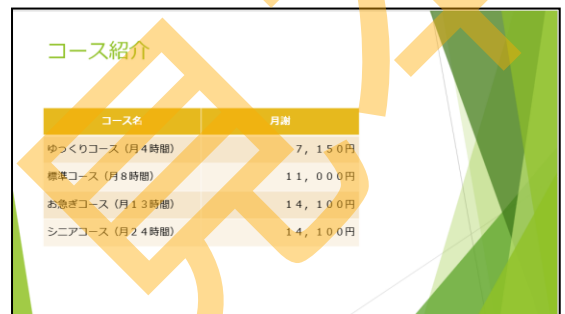
補足説明タイトル

参照ページ

……テキストの流れには必要ありませんが、より詳しい内容の補足説明や別の操作方法を各見出しの最後に記載しています。余裕のない方は飛ばしていただいても大丈夫です。(ただし各章ごとの練習問題で使う内容も若干含まれます。)

- 「クイックアクセスツールバー」に「新規作成」、「開く」、「クイック印刷」、「印刷プレビューと印刷」ボタンが追加されていることを前提としています。(クイックアクセスツールバーのボタンの追加と削除はパワーポイントのテキストの P235 に表記しています)

このテキスト内で作成する資料の完成例



目次

1. パワーポイントとは	1
(1) パワーポイント (PowerPoint) でできること	2
(2) パワーポイント (PowerPoint) で作成したいろいろな資料	3
(3) テキストのあらすじ	4
2. パワーポイントを始める・パワーポイントを終了する	6
(1) パワーポイント (PowerPoint) の起動	6
(2) パワーポイント (PowerPoint) の終了	10
3. パワーポイント画面 (ウィンドウ) の構成と名称	12
(1) パワーポイント (PowerPoint) 画面の名称	12
(2) 基本要素	14
(3) 覚えておきたい名称の説明	15
① タイトルバー	15
② タブとリボン	15
③ ボタンとダイアログボックスによる設定	16
④ クイックアクセスツールバー	17
4. プレゼンテーションの作成	18
(1) プレゼンテーションとは	19
① プレゼンテーションを開く	19
② プレゼンテーションを閉じる	24
(2) 枠組みの作成	26
① 新規プレゼンテーションウィンドウを開く	26
② プレースホルダーに文字を入力する	27
③ プレゼンテーションの保存	30
④ USB メモリーに保存	31
⑤ プレゼンテーションの上書き保存	36
● 補足説明 (その1) P37~P40	37
● P33 名前を付けて保存に関する補足説明	37
● P35 フォルダーに保存する方法	38
● P35 ドキュメントに保存する方法	40
5. プレゼンテーションの編集	41
(1) スライドの編集	41
① スライドの追加	41
② スライドの切り替え	45
③ スライド内の箇条書きの編集	48
④ スライドの順序の入れ替え	50
⑤ アウトライン表示に切り替える	51
⑥ スライド内の項目の入れ替え	53
⑦ スライド一覧表示に切り替える	55
⑧ スライドの削除	57
⑨ スライドのデザイン変更	59
● 補足説明 (その2) P62~P65	62
● P44 文字を縦書きに入力する方法	62

●P49 行間を変更する方法.....	62
●P52 スライドの折りたたみと展開.....	63
●P61 スライドを縦向きにする方法.....	64
●P61 配色を変更する方法.....	65
(2) 文字の書式設定.....	66
① フォント（文字の書体）の変更.....	66
② フォントサイズ（文字の大きさ）の変更.....	69
③ フォントの色（文字の色）の変更.....	71
●補足説明（その3）P72.....	72
●P72 文字を1行に収める方法.....	72

6. プレゼンテーションの素材の編集.....73

<small>スマートアート</small> (1) SmartArtの挿入.....	74
① SmartArtの挿入.....	75
② 図形の追加と削除.....	78
③ 挿入した図形に文字を入力.....	81
④ SmartArt内にイラストを挿入.....	85
⑤ 図形の色の変更.....	89
⑥ 図形のスタイルの変更.....	91
⑦ 文字の塗りつぶしの色の変更.....	93
⑧ 図形の塗りつぶしの色の変更.....	95
⑨ <small>スマートアート</small> 箇条書き設定をSmartArtに変換.....	98
(2) グラフの挿入.....	102
① グラフの挿入.....	104
② グラフのデータラベルの設定.....	109
③ グラフのデータの編集.....	114
④ グラフのスタイルの変更.....	117
⑤ グラフに図形を追加.....	120
⑥ 図形内の文字の色を変更.....	124
●補足説明（その4）P127.....	127
●P124 エクセルのグラフをスライドに挿入.....	127
(3) 表の挿入.....	128
① 表の挿入.....	129
② 表の列幅の変更.....	134
③ 表の行の高さの変更.....	136
④ 表のセルの文字列の配置.....	137
⑤ 表のスタイルの変更.....	141
●補足説明（その5）P143.....	143
●P141 セルを結合する方法.....	143
(4) オンライン画像（イラスト）、ワードアートの挿入.....	144
① オンライン画像（イラスト）の挿入.....	145
② オンライン画像（イラスト）のサイズ変更.....	149
③ オンライン画像（イラスト）の移動.....	151
④ ワードアートの挿入.....	152
⑤ ワードアートのフォントの変更.....	159
⑥ ワードアートに文字の効果を設定.....	161
●補足説明（その6）P163~P164.....	163

●P150 図の圧縮の操作方法.....	163
●P151 スマートガイドについて.....	163
●P152 グリッド線の表示方法.....	164
(5) ビデオファイルの挿入.....	165
① ビデオファイルの挿入.....	165
② ビデオファイルの修整.....	168
③ ビデオファイルのスタイルの変更.....	169
④ ビデオファイルのトリミング.....	171
⑤ ビデオファイルの再生.....	174

7. プレゼンテーションの実施..... 176

(1) 画面切り替え効果の設定.....	176
(2) アニメーションの設定.....	182
① アニメーション効果とは.....	182
② アニメーション効果の設定.....	183
③ アニメーションの追加.....	188
④ アニメーション効果の速度の設定.....	189
⑤ アニメーション効果のオプション（方向）の設定.....	194
⑥ アニメーション効果の順序の入れ替え.....	199
⑦ アニメーションをコピーする.....	200
⑧ アニメーションのプレビュー.....	203
●補足説明（その7）P204～P206.....	204
●P184 アニメーションの効果のオプション.....	204
●P187 アニメーションに関する補足説明.....	205
●P189 アニメーションの軌跡に関する補足説明.....	205
●P193 タイミングに関する補足説明.....	205
●P193 グラフのアニメーションに関する補足説明.....	206
(3) スライドショーの実行.....	207
① スライドショー.....	207
② リハーサル.....	210
●補足説明（その8）P213～P221.....	213
●P209 スライドショーの実行（その他の方法）.....	213
●P209 スライドショーの中断方法.....	213
●P209 スライドショーに関する補足説明.....	214
●P209 ナレーションを設定する方法.....	218
●P209 目的別スライドショー.....	219
●P212 発表用ノートの作成.....	220
●P212 パワーポイントの印刷.....	220
●P212 プレゼンテーションをビデオに変換.....	221

◆ショートカットキーについての説明	222
◆スライドマスター	224
◆フォトアルバムの作成.....	226
◆ピン留め機能.....	229
◆パワーポイントでポスターを作成	231
◆クイックアクセスツールバーのカスタマイズ.....	235
◆リボンの表示オプションの変更.....	238
◆テキストの手引き	239
◆索引.....	243

目次

三井天下見本

1. パワーポイントとは

パワーポイント (PowerPoint) は、企画書などを効率よく作成するためのアプリのことをいいます。

プレゼンテーションとは、情報伝達の手段の一種で、聴衆に対して情報、企画、提案を提示して説明する行為を示します。(略してプレゼンとも呼称されます)

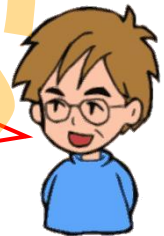
プレゼンテーションでは、「伝えたい情報」を「どのように伝えるか」が重要になってきます。そこで必要となるのが、言葉による説明を補助する視覚的な資料です。



ウメさん

パワーポイントってたまに聞くけど、何のこと？

パワーポイントというのは、マイクロソフト社が作成したプレゼンテーション用の資料を効率よく作ることができるアプリです。



くじら先生



ケンちゃん

プレゼンテーションって、研究発表とかを機械を使って、スクリーンに映して見るものかな？

くじら先生「そうです。ケンちゃんよく知ってますね。
会社では商品開発などの企画、提案や、学会では研究成果の発表、学校では授業をわかりやすくするために図や表を使って、見てもらう人にわかりやすく伝えられるようにするのがプレゼンテーションですね。」

ウメさん「人にわかりやすく伝えるようにしようと思ったら、とても難しそうね。」

くじら先生「そうですね。
パワーポイントというアプリは、視覚的に要点をわかりやすく伝えられるように手助けをしてくれるアプリなんですよ。」

(1) パワーポイント (PowerPoint) でできること

パワーポイント (PowerPoint) というアプリを利用すると、実際どのような資料が作成できるのでしょうか？

パワーポイントを使うと、次のようなものが作成可能となります。

◆ 企画書

営業のPR や、新商品発表など、さまざまなビジネスシーンで作成されます。

◆ 報告書

営業報告書や、経営報告書、講習会の報告書、研究成果の発表のプレゼンテーションなども作成できます。

◆ アルバム

アルバムを作って、紙芝居風のスライドショーを作ることができます。写真に動きを入れたり、音楽なども入れることができるので、臨場感ができます。

◆ 自分史

自分の歩んできた歴史を写真や文章などを入れて動きを入れたり音楽を入れて楽しむことができます。

◆ 動画の編集

動画を挿入して動画の長さを調整するなど、直接編集ができます。

上に説明した資料の一例を見ただけでもパワーポイント (PowerPoint) では、いろいろなものが作成できることが理解できたと思います。しかし、これらのものを作成していくには、これから説明する内容をコツコツと地道に学んでいただく必要があります。



(2) パワーポイント (PowerPoint) で作成したいろいろな資料



(3) テキストのあらすじ

このテキストでは、「パソコン教室〇△□」をアピールするための資料 8 枚を作成していきます。

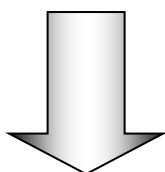
だんだん難しくなっていきますが、1つ1つの積み重ねでどんどん成果物を作り上げていただきます。このテキストを順に読み進めていただければ、その成果物を作り上げる過程で、日常においてパワーポイントをお使いいただくために必要な機能を、自然に覚えていただけたと思います。難しそうと思われるかもしれませんが、このテキストは中高年の方のためにわかりやすく、やさしく説明していますから安心して読み進めていきましょう。テキストを読み進めていただくうちに、どうしてこんな機能を覚えなければいけないの？と思われたら、目次とともにこのあらすじも読み直してください。

●テキストの流れ

いきなり成果物を作りはじめても、チンプンカンプン・・・
順序立ててパワーポイントの仕組みや使い方を学びます。
2章以下の各章ごとの流れはこんな感じです。



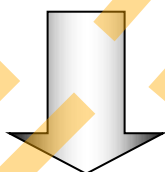
2. パワーポイントを始める・パワーポイントを終了する



ワードやエクセルで慣れているので要領は
わかってきたぞ！

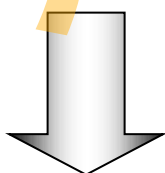


3. パワーポイント画面（ウィンドウ）の構成と名称



構成や名称がわからなくては、テキストも
読み進めにくいわね。

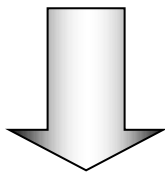
4. プレゼンテーションの作成



このテキストで作るプレゼンテーションを
ひとつお見せ、イメージをつかむぞ！！

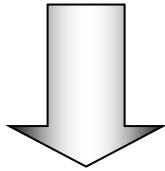


5. プレゼンテーションの編集



スライドって紙芝居みたいで面白いわね！

6. プレゼンテーションの素材の編集



グラフ、表、ビデオなどを実際に入れ込んで
いって完成に近づけていくんだね！



7. プレゼンテーションの実施



ここでアニメーションの機能を使って、実際
にスライドショーを再生するのね！

2. パワーポイントを始める・パワーポイントを終了する


パワーポイントはどう始めるの?!

ケンちゃん「パワーポイントというものは、どうやって始めるのですか?」

ウメさん「今回初めて使うのよね。」

くじら先生「入門編などで、ワードを開く方法はやりましたが、
今回は「^{パワーポイント}PowerPoint」を開きましょう。」

ケンちゃん「また…すごく長い名前ですねえ。」

くじら先生「今回は、このマーク  で覚えましょう!」



パワーポイントの
マークはこれね!

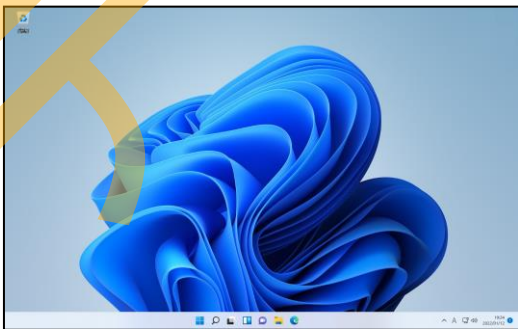


(1) パワーポイント (PowerPoint) の起動

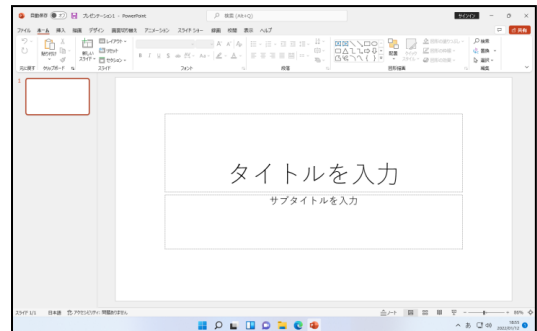
それでは、企画書などを作成できるアプリ (パワーポイント) を画面上に表示してみましょう。このようにアプリを動かして、画面上に表示することを「**起動する**」といいます。

◆パワーポイントを起動し、画面上に次のようなパワーポイントのウィンドウを表示する方法をマスターしましょう。

操作前




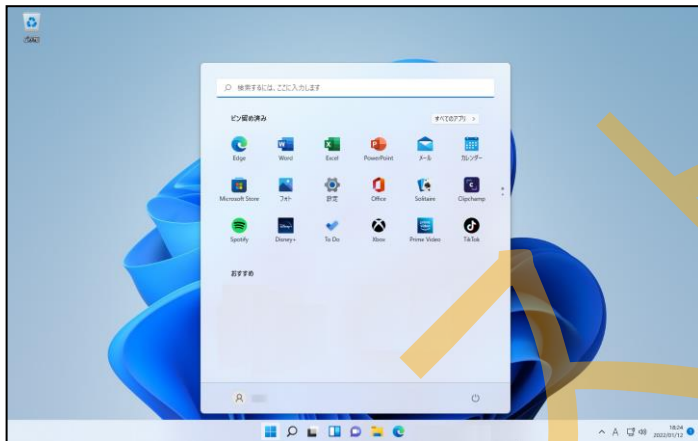
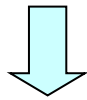
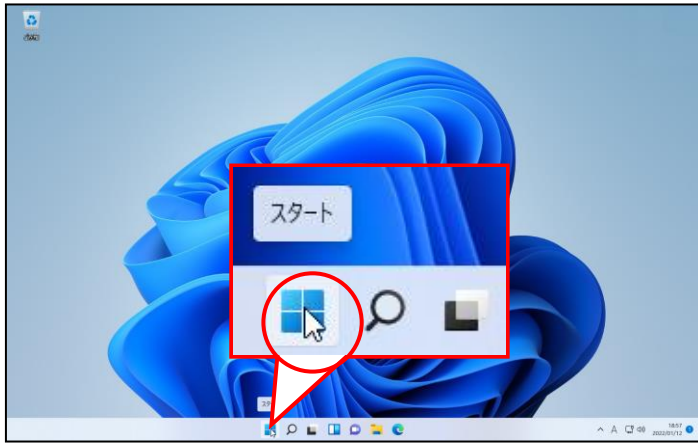
操作後



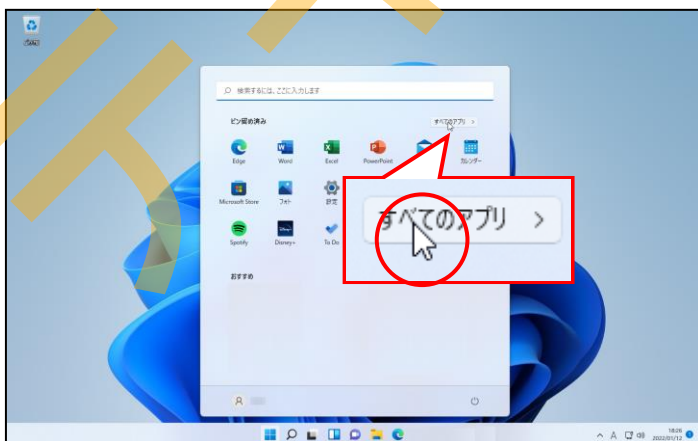
注意!

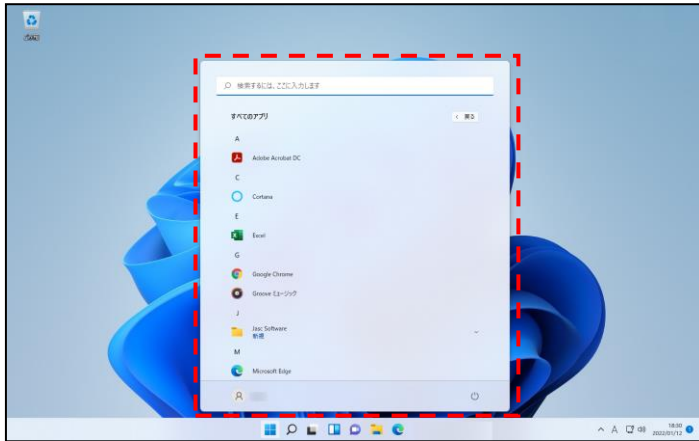
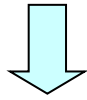
操作は次ページからです!

画面の左下端の  [スタート] ボタンにポイントし、クリックします。



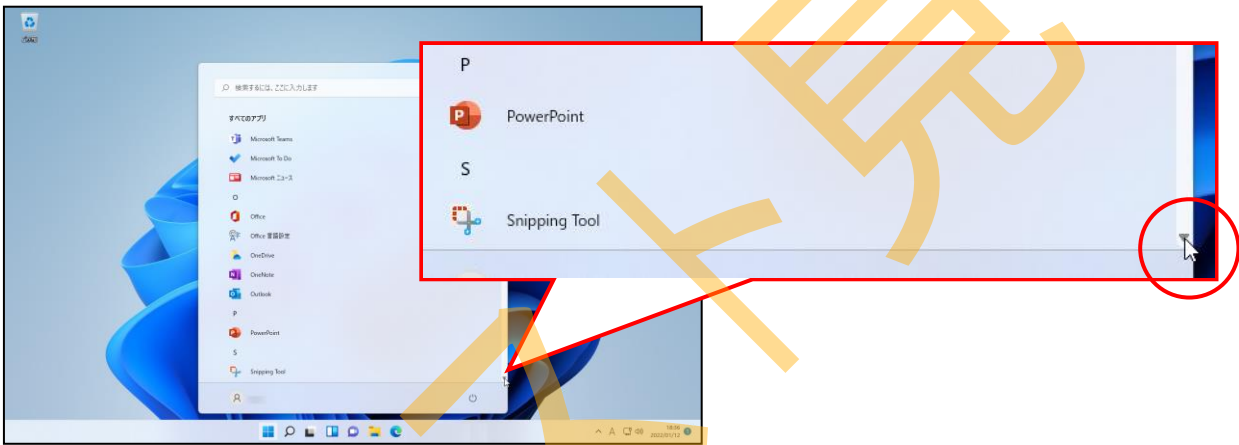
[すべてのアプリ >] にポイントし、クリックします。



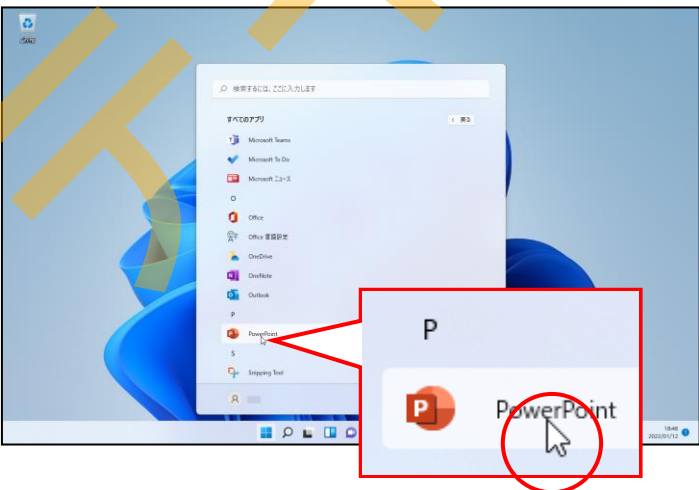


● [PowerPoint] は P の欄にあります。

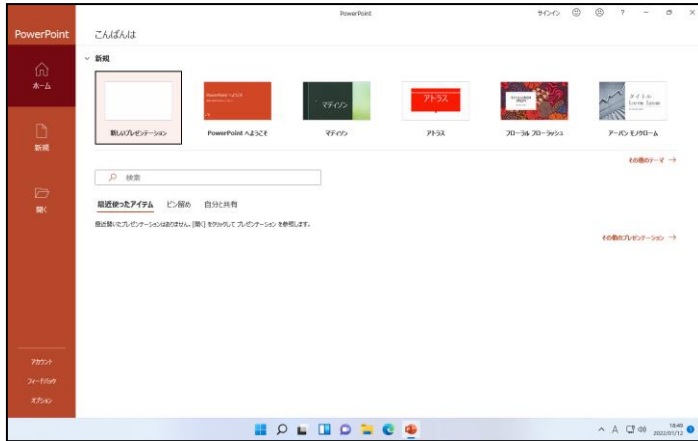
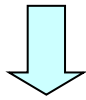
[PowerPoint] が表示されるまで、をクリックします。



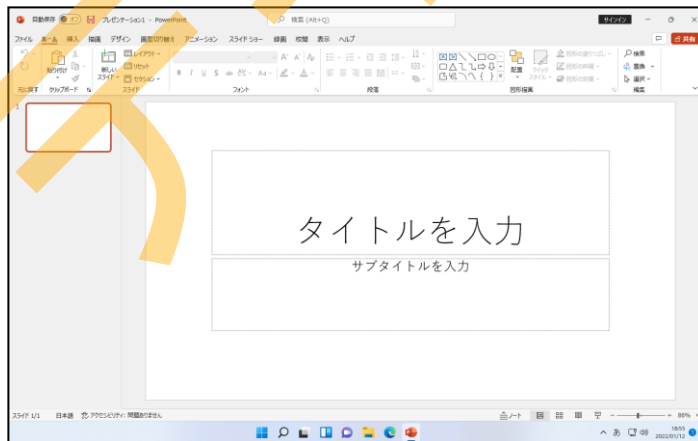
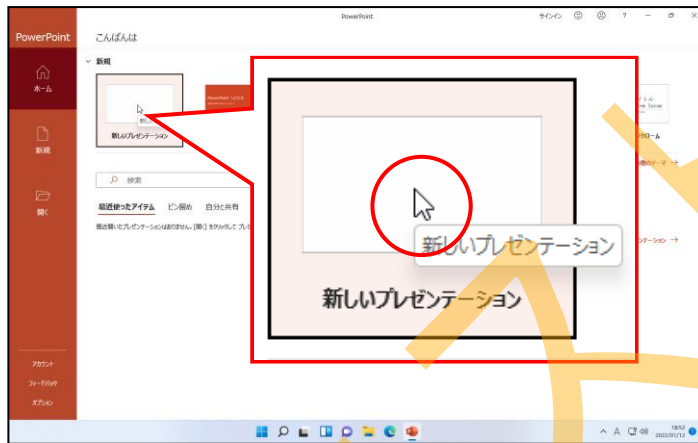
[PowerPoint] にポイントし、クリックします。



● クリックしてパワーポイントが起動すると、タスクバーに「PowerPoint」のボタンが表示されます。



[新しいプレゼンテーション] にポイントし、クリックします。

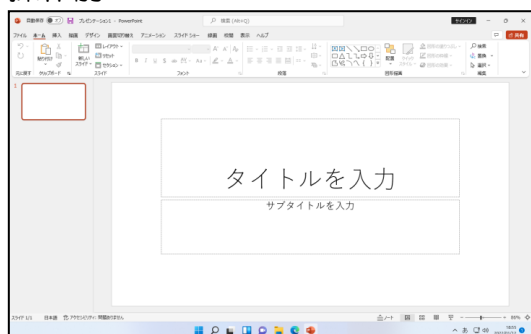


(2) パワーポイント (PowerPoint) の終了

パワーポイントを終了しましょう。

◆パワーポイントを終了する方法をマスターしましょう。

操作前



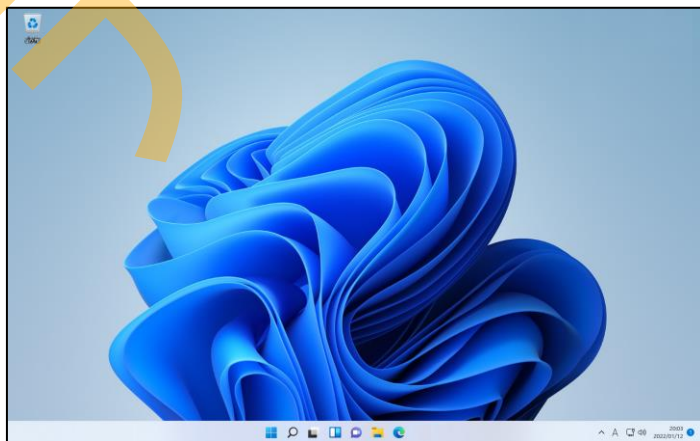
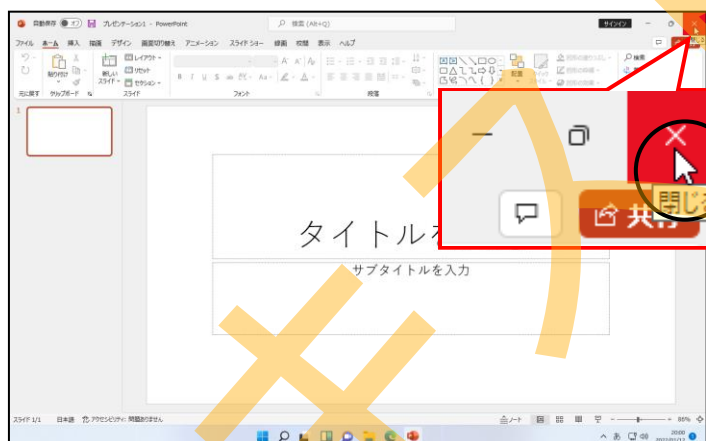
操作後



注意!

操作は下からです!

パワーポイントの画面 (ウィンドウ) の右上にある × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



パワーポイントの画面（ウィンドウ）を終了するとき、下のような画面（ダイアログボックス）が表示される場合があります。



このメッセージは、パワーポイントを開いてから何か操作をした場合、閉じる時に表示されます。

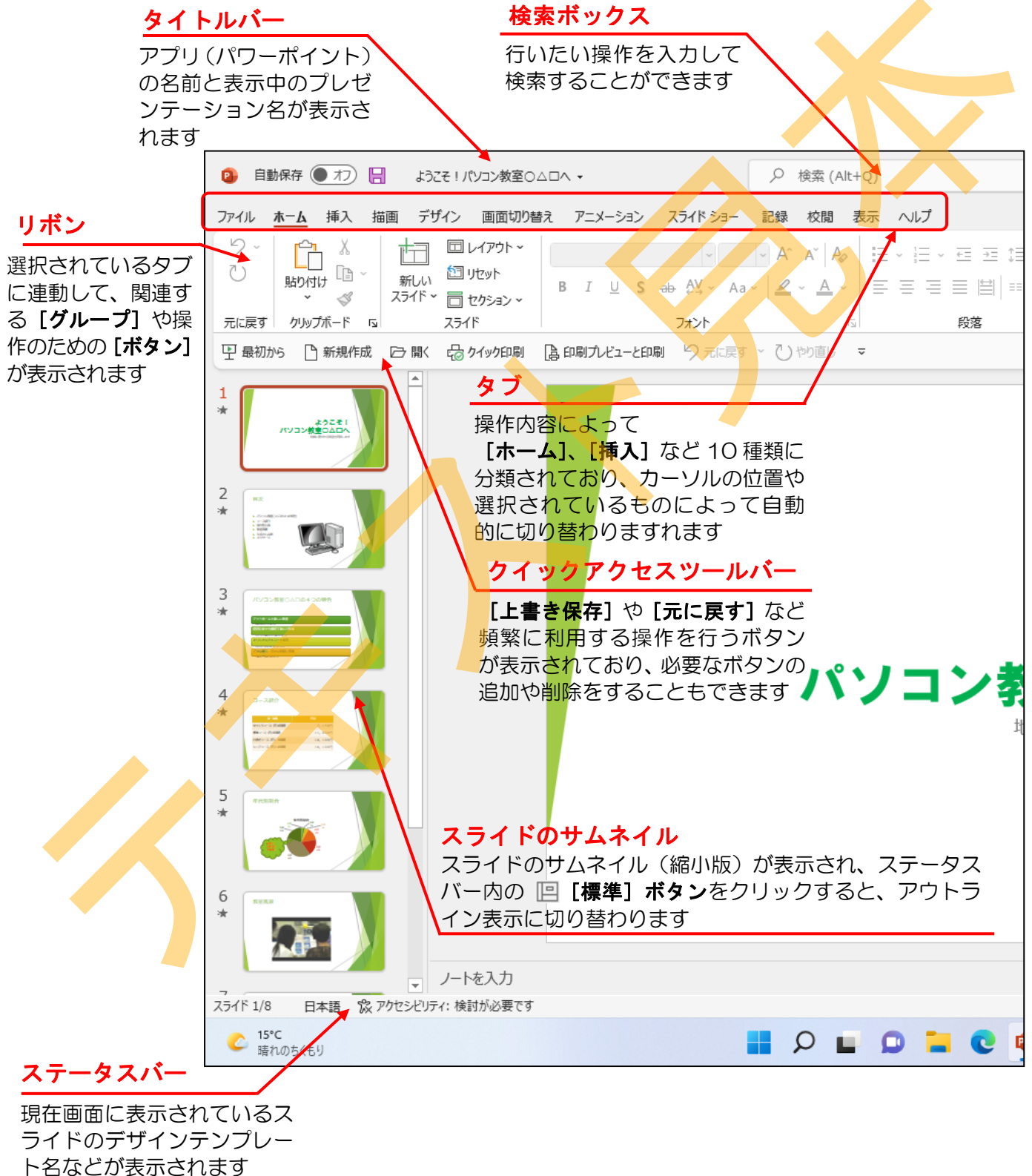
- **【上書き保存(S)】**
パワーポイントの内容の保存作業に入ります。
※パソコンによっては**【保存(S)】**の場合もあります。
- **【保存しない(N)】**
表示されたプレゼンテーションは保存せずにパワーポイントが終了します。
- **【キャンセル】**
パワーポイントを閉じる処理の取り消しとなり、編集画面に戻ります。
【キャンセル】では、パワーポイントを終了することができません。



3. パワーポイント画面（ウィンドウ）の構成と名称

(1) パワーポイント（PowerPoint）画面の名称

下に記載した画面の各部分には、それぞれ名前が付いています。このテキストではあまり下のような名称は使わないつもりですが、パワーポイント（PowerPoint）をしっかりとマスターしたい方は、必ず名前と場所を覚えてください。



最大化ボタン

パワーポイント画面をデスクトップいっぱいに表示します。このボタンをクリックすると、ボタンが**【元に戻す(縮小) ボタン】**に変わります

元に戻す(縮小)ボタン

パワーポイント画面を最大化する前の状態に戻します。このボタンをクリックすると、ボタンが**【最大化] ボタン】**に変わります

最小化ボタン

パワーポイント画面を一時的に非表示にし、タスクバーの中に格納します。タスクバーに表示されたボタンをクリックすると、元に戻ります

閉じるボタン

パワーポイントを終了してパワーポイント画面を閉じます

マウスポインター

画面上の位置や実行できる内容によってマウスポインターの形は次のようになります

- プレースホルダー内、テキスト入力時
- リボンやボタン上、スライドの空白部分
- オブジェクトの上

スクロールバー

現在画面上に表示されていない部分を表示するために使います。▲ ▼ をクリックすると資料を上下に移動してくれます

スライドペイン

スライドの本体部分(左側のスライドのサムネイル以外の右側の大部分)で、各スライドのテキストがどのように表示されるかを確認できます

☐ [標準] ボタン

1枚のスライドが画面に大きく表示されます

☐ [スライド一覧] ボタン

プレゼンテーションのすべてのスライドが一覧表示されます

☐ [閲覧表示] ボタン

【スライドショー] ボタン】と同じく、プレゼンテーションを表示するボタンですが、簡単なコントロールバーが表示されます

☐ [スライドショー] ボタン

作成したプレゼンテーションを、コンピューターのディスプレイ全体に表示するためのボタンです

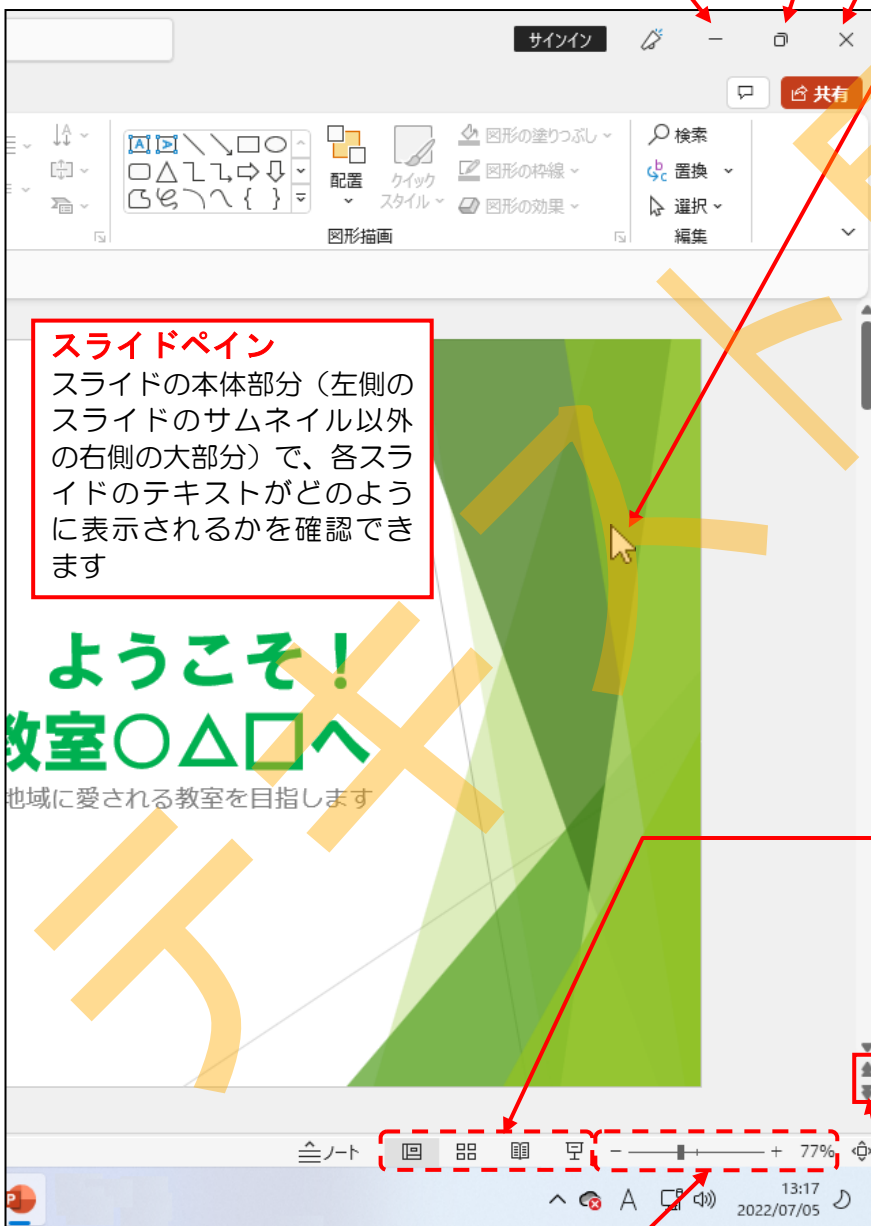
▲ [前のスライド] ボタン

▼ [次のスライド] ボタン

現在画面上に表示されているスライドの前や後を表示する場合に使います。1回クリックすると1枚ずつ移動します

ズームスライダー

画面の表示倍率を拡大・縮小するときを使う道具で、つまみを左右にドラッグすると、10%~400%の間で拡大縮小できます



(2) 基本要素

■プレゼンテーション

パワーポイント（PowerPoint）では、ファイルのことを「**プレゼンテーション**」といいます。プレゼンテーションでは、コンピューターなどを利用して発表を行うためのデータと同時に、発表者だけが参照できるノートや会議中の議事録などを一括して管理できます。

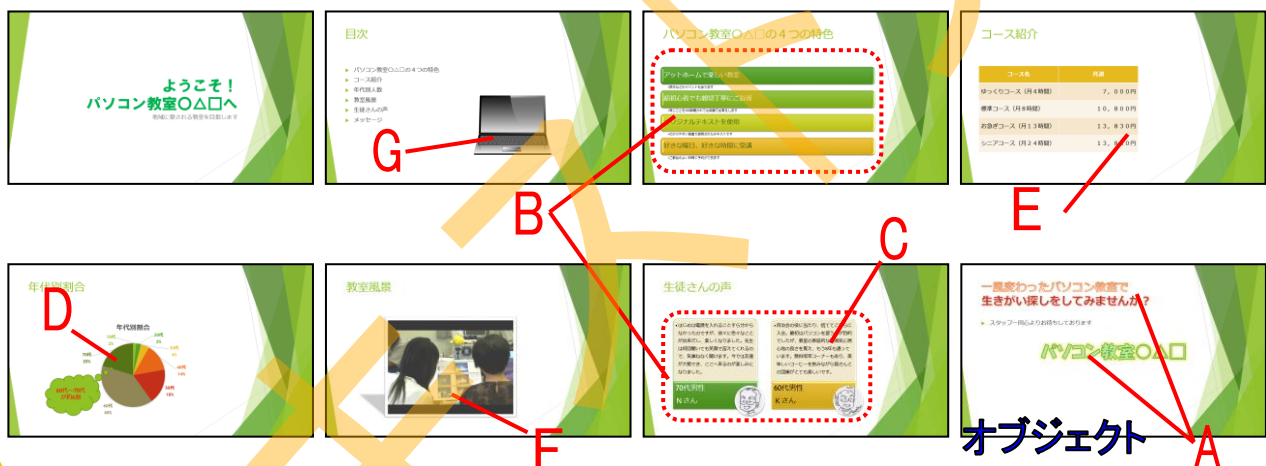
■スライド

プレゼンテーションは、何枚ものシートが重なってできています。そのシートのことを「**スライド**」といいます。各スライドに、**文字、図形、写真、絵**などを配置します。

■オブジェクト

スライド内にある**文字、図形、写真**および**絵**などのことを「**オブジェクト**」といいます。オブジェクトは、それぞれ自由な位置に配置できます。

全体がプレゼンテーション



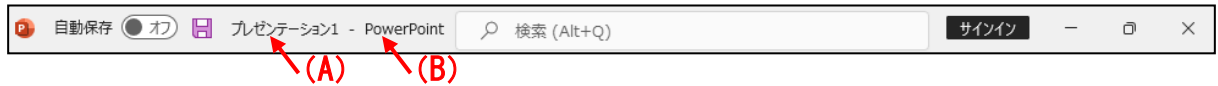
1枚1枚がスライド

オブジェクト

- ワードアート …… A
- スマートアート
SmartArt …… B
- 文字 …… C
- グラフ …… D
- 表 …… E
- ビデオファイル …… F
- オンライン画像 …… G

(3) 覚えておきたい名称の説明

① タイトルバー



(A) プレゼンテーションのタイトル

「プレゼンテーション 1」というパワーポイントのプレゼンテーションを編集中的の状態であることを示しています。

(B) アプリのタイトル

「PowerPoint」というアプリを開いていますということを示しています。

② タブとリボン

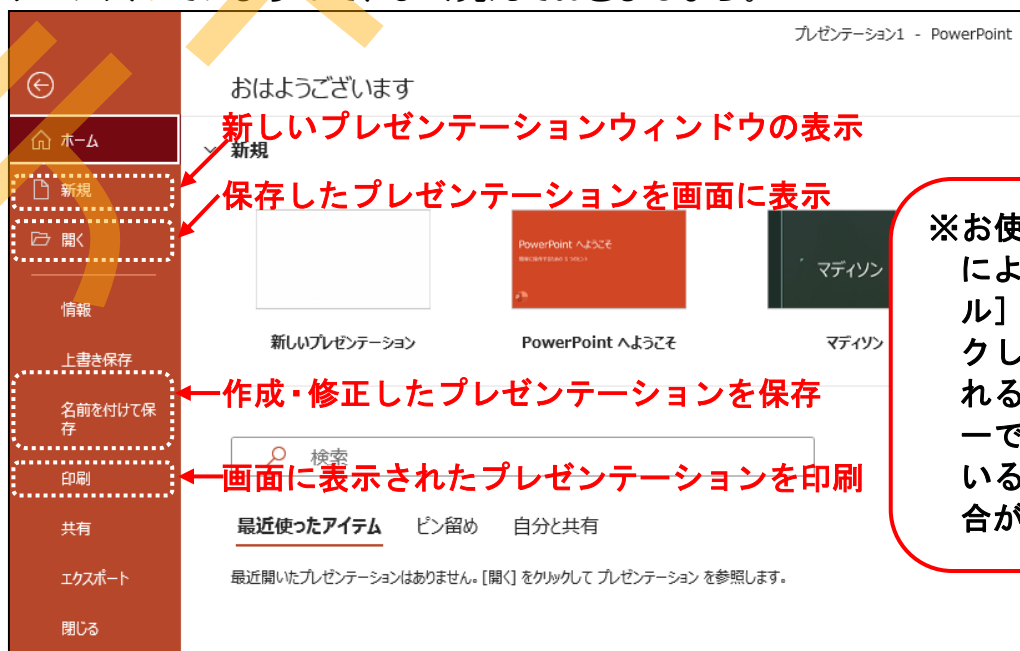


パワーポイント 2021 では、操作の種類によって基本的に12種類の「タブ」に分かれています。

■ [ファイル] タブ

12種類の「タブ」の中で一番左端にある【ファイル】タブは、その他の11つのタブと違ってクリックすると、下のようなBackstageビューが表示され、左側にメニューが表示されます。

パワーポイントを使うにあたって「新しいプレゼンテーションウィンドウの表示」や作成したプレゼンテーションの「保存」、保存したプレゼンテーションを「開く」、画面に表示されたプレゼンテーションを「印刷」するなど、これからパワーポイントを学習する方々に、最初にマスターしてほしい基本となる操作はすべてこの【ファイル】タブに入っていますので、よく覚えておきましょう。



※お使いのパソコンによって、[ファイル] タブをクリックした際に表示される左側のメニューで、選択されている項目が違う場合があります。

[ファイル] タブ以外の11個のタブをクリックすると、表示されるリボンの内容が変わります。

■ [ホーム] タブ

[ホーム] タブ

リボンが表示されていない方は、P238 リボンの表示オプションの変更を参照してください



リボン

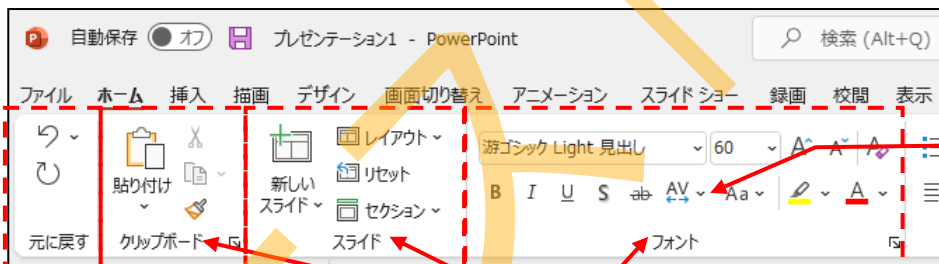
■ その他のタブ

上記では、[ホーム] タブを紹介させていただきましたが、そのほかにもプレゼンテーションのデザインを設定する [デザイン] タブや、図や画像などを挿入するときを利用する [挿入] タブなどいろいろなタブがあります。

さらに選択した部分のデータの種類により、自動的に追加されるタブもあります。これはテキスト内で後ほど詳しく説明します。

■ グループとボタン

リボンの中にはさらに操作の種類によって細かく「グループ」という項目に分かれています。下の例は、[ホーム] タブの [クリップボード] グループと [スライド] グループと [フォント] グループを表示した図です。グループ内の「ボタン」を使って操作します。



ボタン

グループ

③ ボタンとダイアログボックスによる設定

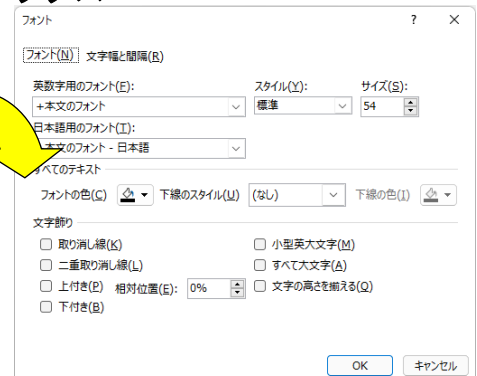
一般的に「文字を大きくしたい」や「色を変えたい」などの操作は、上で説明した [ボタン] を使って操作します。さらに細かい設定や操作をしたい場合は、**ダイアログボックス**から操作します。[グループ] 内の右下に マークがある場合、 マークをクリックすると詳細設定を行うためのダイアログボックスが表示されます。

■ [フォント] グループと [フォント] ダイアログボックス



余裕があれば読んでね

ダイアログボックスとは、詳細な情報を設定するために用意された画面のことをいいます。



④ クイックアクセスツールバー

クイックアクセスツールバーは、その名の通りよく使う機能が登録されているバーです。クイックアクセスツールバーそのものが表示されていなかったり、クイックアクセスツールバーにテキストと同じボタンが表示されていない場合、P235 を操作してください。



見本として表示されています

4. プレゼンテーションの作成

ここでは、プレゼンテーションを作成する場合に基本となる**枠組みの作成**、作成した**プレゼンテーションの保存方法**、保存したプレゼンテーションの**開き方と閉じ方**などを説明します。

実際のプレゼンテーションを見てみましょう！！

ケンちゃん「パワーポイントを起動したり終了したりってのはわかったけど、実際にどういうものなのかってのはいまいちピンとこないなあ。」

ウメさん「そうね。実際にどんなものか見てみないとねえ。」

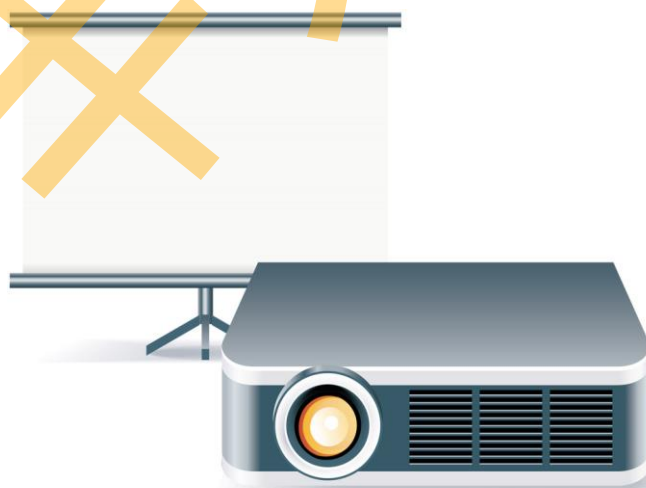
くじら先生「ここでは、今から作成していくプレゼンテーションファイルを実際に見ていきましょう。」

ウメさん「最初に見せてもらったら、気合の入れ具合も変わってきますね！！」

くじら先生「本当ですね。」

ケンちゃん「先生、早く見せてよ〜。」

くじら先生「はい。では行きますよ〜。」



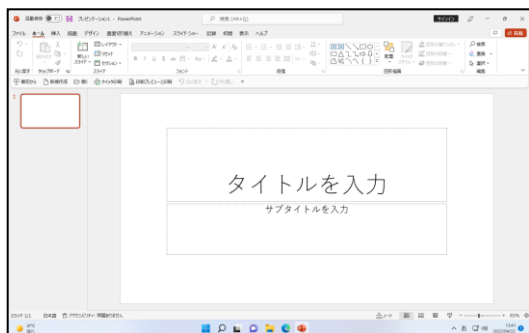
(1) プレゼンテーションとは

パワーポイント (PowerPoint) というアプリを使って、いったいどのようなことができるのか?ということが、これまでの説明でご理解いただけたと思いますが、具体的にパワーポイント (PowerPoint) がどのようなものなのかを説明していきます。今からこのテキストを使ってみなさんが作っていく完成例をここで見ていきましょう。

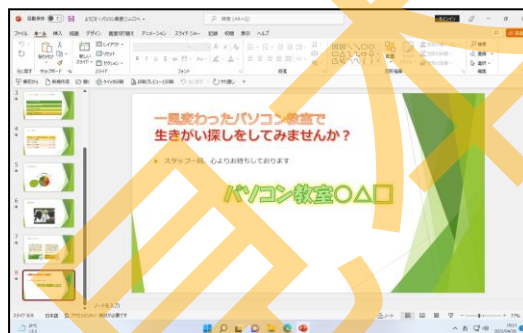
① プレゼンテーションを開く

◆プレゼンテーションを開く方法をマスターしましょう。

操作前



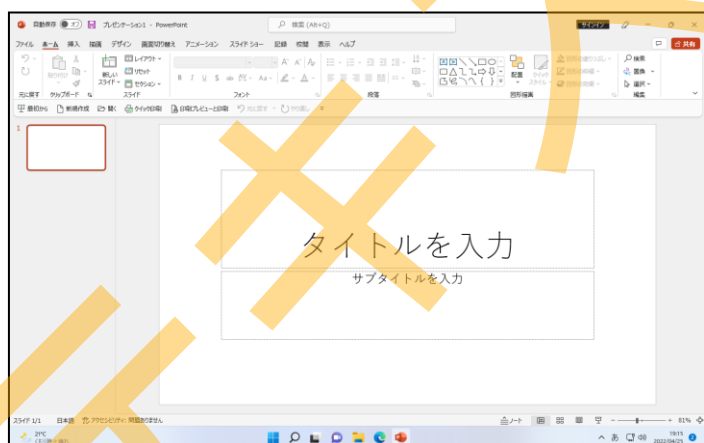
操作後




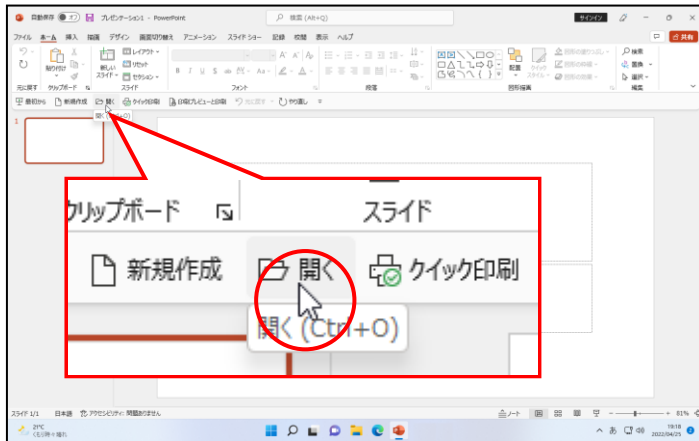
注意!


操作は下からです!

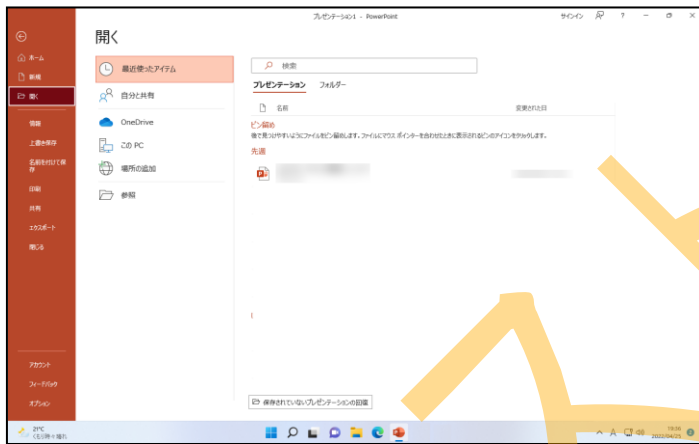
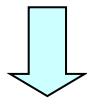
パワーポイントを起動します。



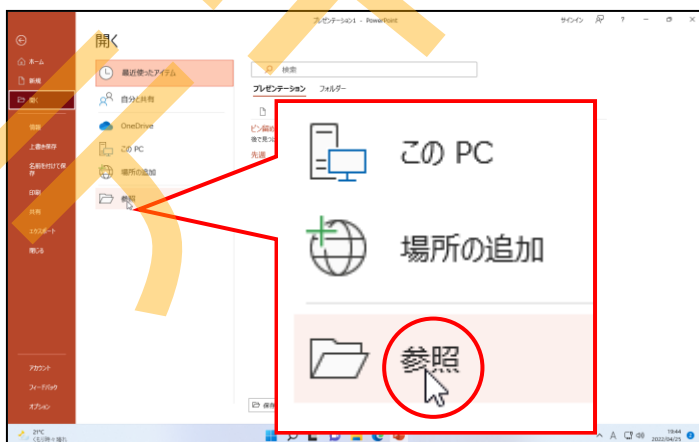
リボンの下（[クイックアクセス] ツールバー）にある  開く [開く] ボタンにポイントし、クリックします。

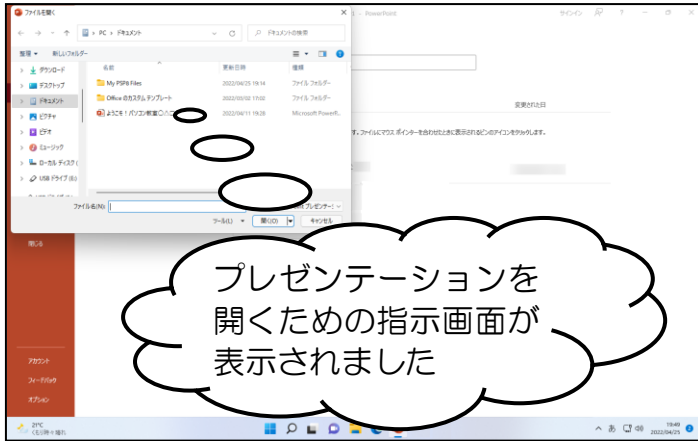
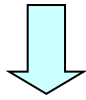


●クイックアクセスツールバーに、 開く [開く] ボタンが表示されていない方は、P235、P236 を参照してボタンを追加しておきましょう。



[参照] にポイントし、クリックします。

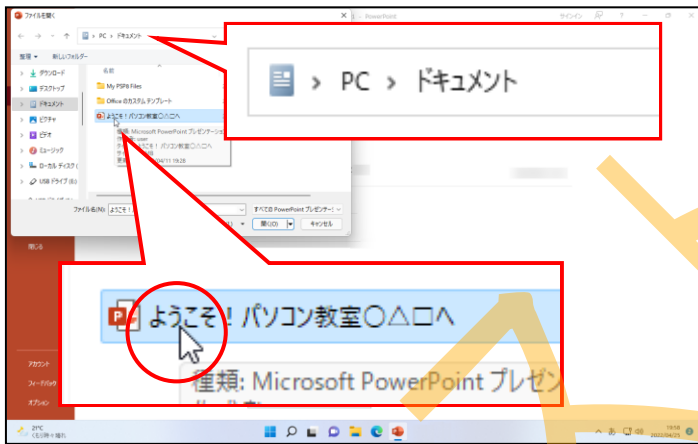




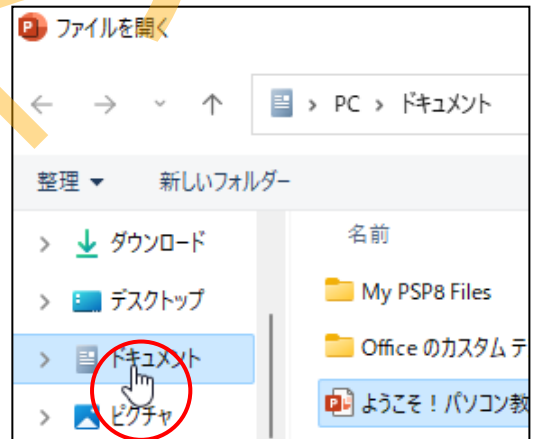
注意!

- お使いのパソコンによって、[ファイルを開く]ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

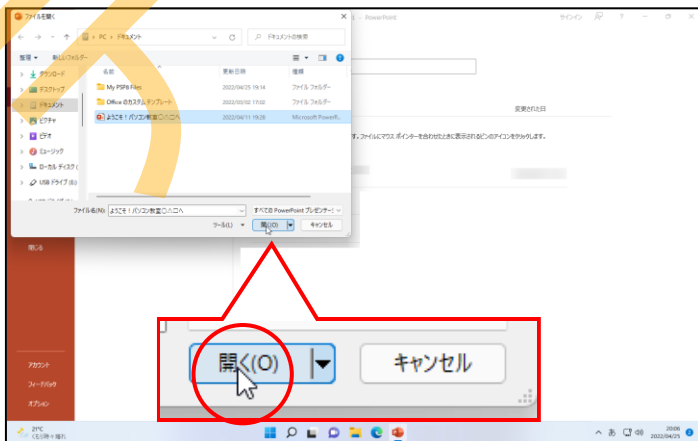
[ファイルの場所] に [ドキュメント] が表示されていることを確認し、「ようこそ! パソコン教室〇△□へ」にポイントし、クリックします。

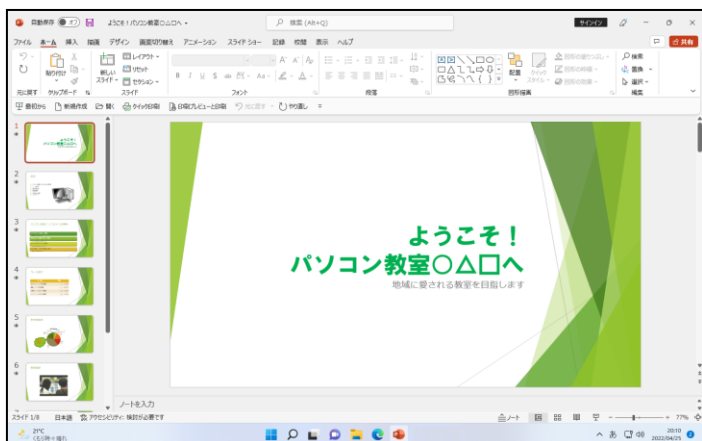



- 「ドキュメント」が表示されていない場合は、[ファイルを開く]ダイアログボックス左側の「ドキュメント」をクリックすると表示されます。

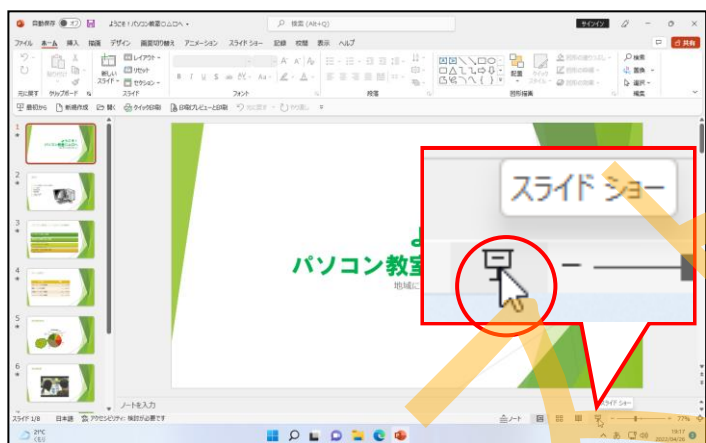



[開く (O)] ボタンにポイントし、クリックします。



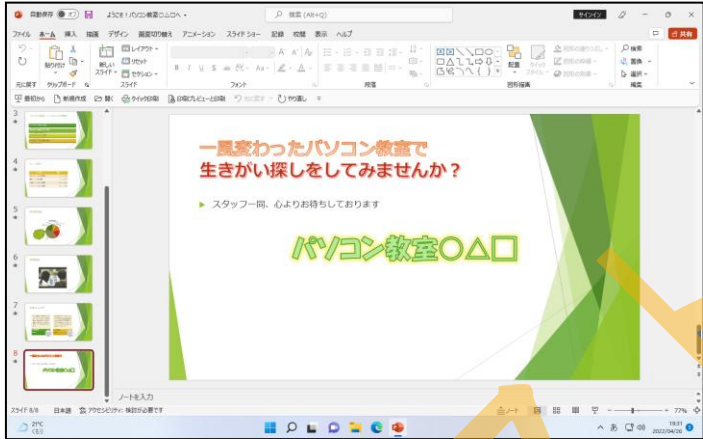
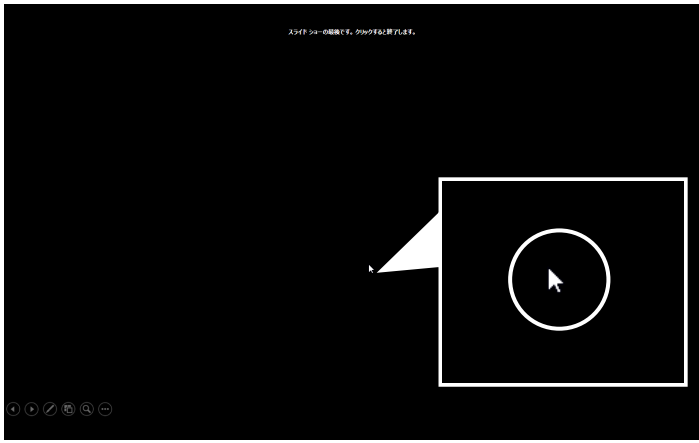


画面右下にある  [スライドショー] ボタンにポイントし、クリックします。



-  [スライドショー] ボタンをクリックすると、プレゼンテーションが動き出します。このボタンはスライドショーを実行するためのボタンです。後ほど詳しく説明します。

スライドショーが終了したら、スライド上の任意の場所をクリックします。



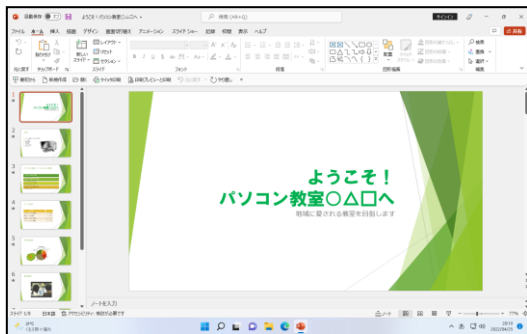
② プレゼンテーションを閉じる

ここでは、パワーポイントの画面は開いたままで、プレゼンテーションウィンドウだけを閉じる方法を説明します。たとえば、1つのプレゼンテーションが完成して2つ目のプレゼンテーションを作成する必要がある場合に有効な方法です。一度パワーポイントを終了して再度パワーポイントを起動してもいいのですが、それでは時間がかかってしまいます。

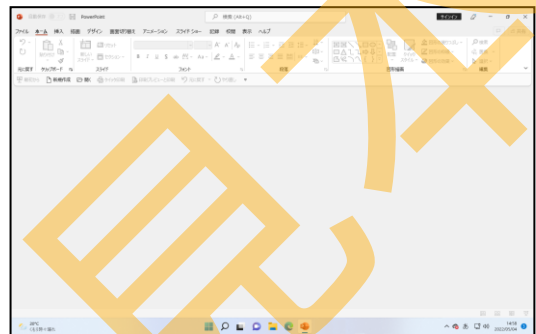
それでは、先ほどのプレゼンテーションファイル「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」を閉じましょう。

◆プレゼンテーションを閉じる方法をマスターしましょう。

操作前



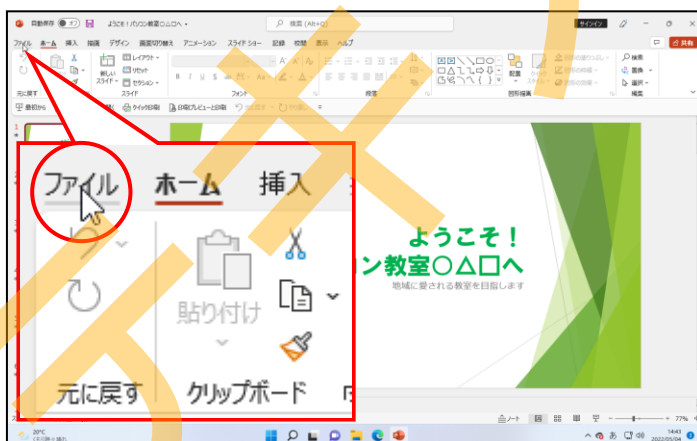
操作後

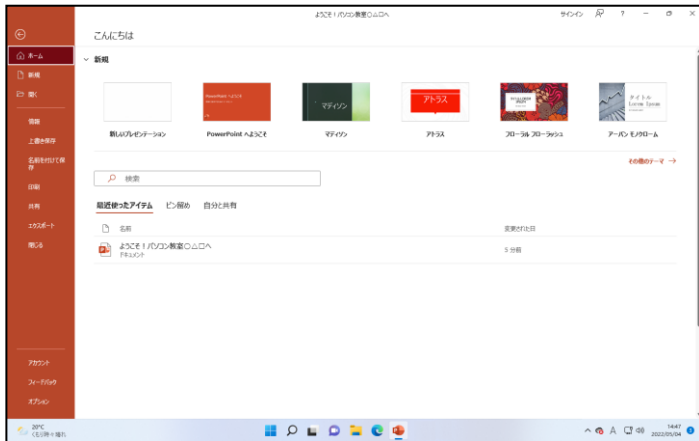


注意!

操作は下からです！

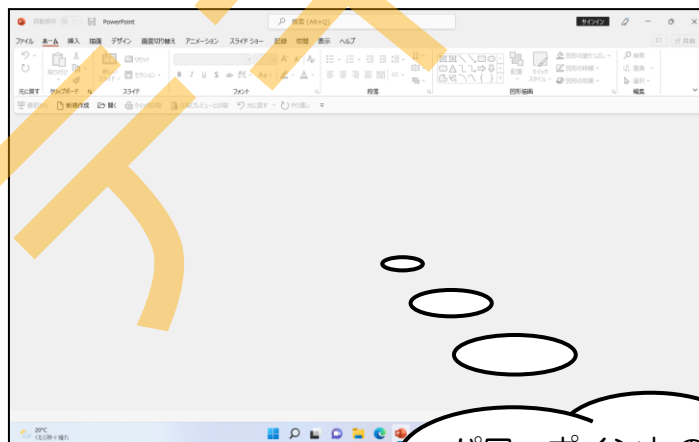
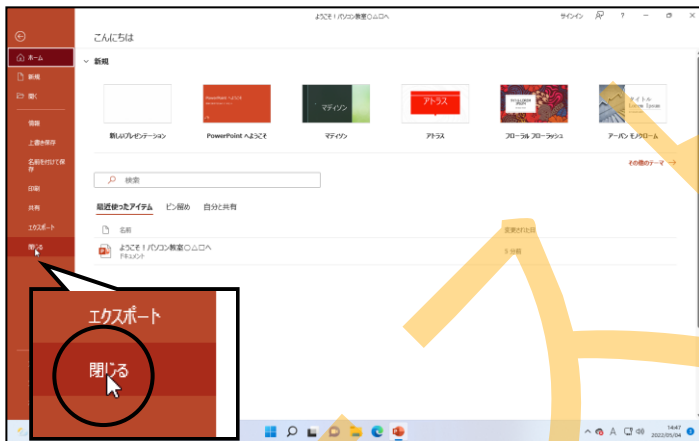
[ファイル] タブにポイントし、クリックします。





- [ファイル] タブをクリックしたときに左と同じような画面が表示されるとは限りません。

表示されたメニューから [閉じる] にポイントし、クリックします。



- 左のようにプレゼンテーションウィンドウを閉じると、パワーポイントのウィンドウだけが残って薄いグレーの画面だけが表示された状態となります。

パワーポイントのウィンドウだけが開いて、プレゼンテーションウィンドウは閉じた状態です

(2) 枠組みの作成

プレゼンテーションを行う場合、まず何を発表し、何を出席者に伝えたいのか整理する必要があります。

次にどのような順番で情報を提示し、何を強調するかなどのアイデアをまとめます。

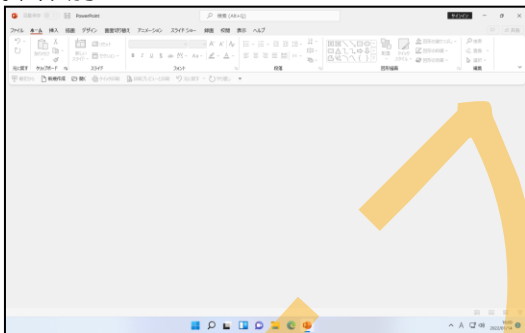
① 新規プレゼンテーションウィンドウを開く

パワーポイント（PowerPoint）を起動した直後は、新規プレゼンテーションウィンドウを開く操作はしなくても、パワーポイント（PowerPoint）が勝手に新規のプレゼンテーションウィンドウを作成してくれています。しかし（1）の②で行ったようにプレゼンテーションウィンドウだけを閉じた場合や、編集時のプレゼンテーションとは別に、新たにプレゼンテーションウィンドウを開きたい場合もよくあります。

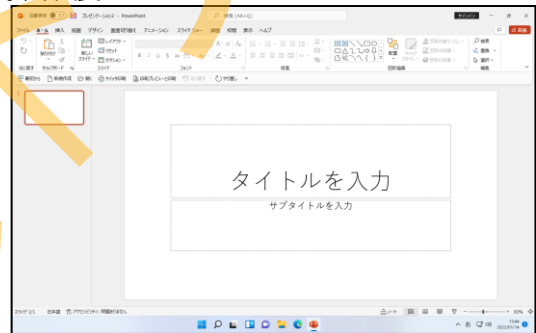
まず、（1）の②でプレゼンテーションウィンドウを閉じたのでパワーポイント（PowerPoint）画面はP26の左上（操作前の状態）のようになっているはずですが、確認しましょう。もし、P26の左上のようにならない場合は、パワーポイント（PowerPoint）を起動して、プレゼンテーションウィンドウだけを閉じておきましょう。

◆パワーポイントを起動している状態から新しいプレゼンテーションウィンドウを開く方法をマスターしましょう。

操作前



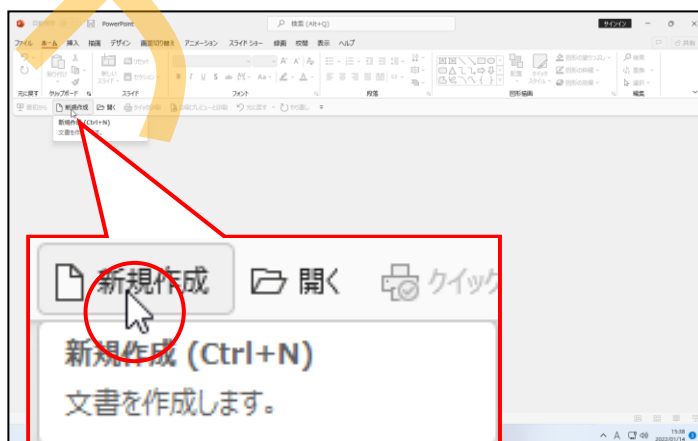
操作後



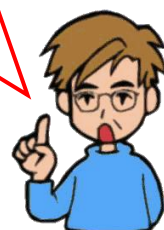
注意!

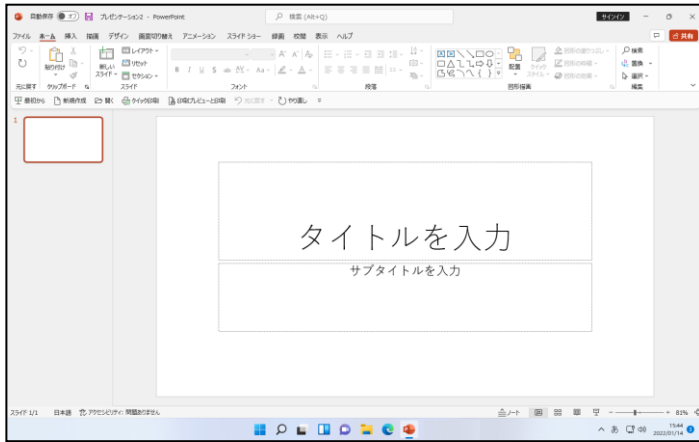
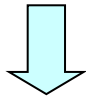
操作は下からです！

リボン下（[クイックアクセス] ツールバー）にある [新規作成] ボタンにポイントし、クリックします。



●クイックアクセスツールバーに、[新規作成] ボタンが表示されていない方は、P235 を参照してボタンを追加しておきましょう。



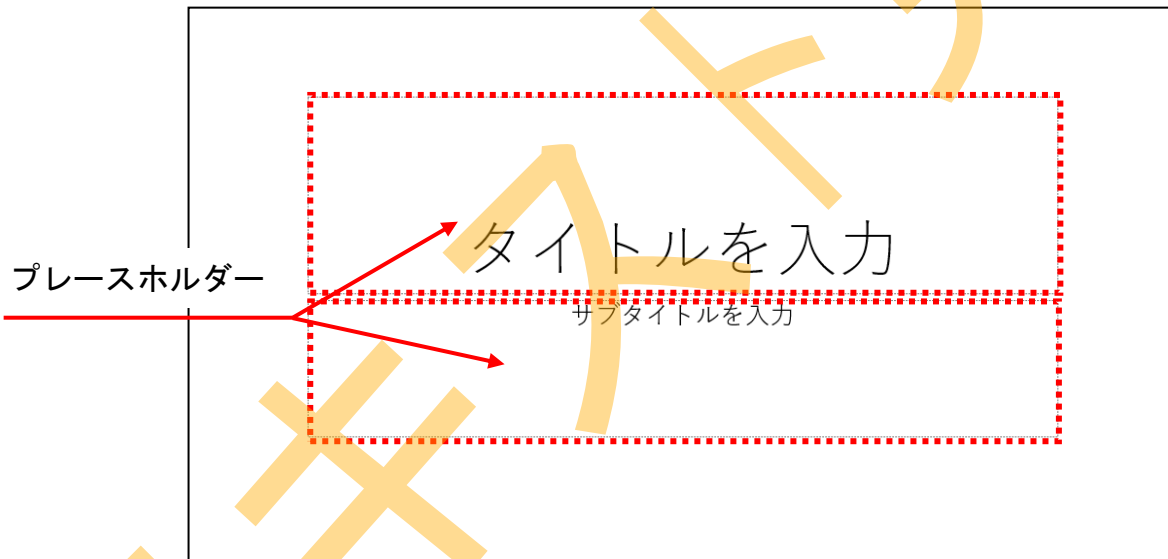


●左の画面が「プレゼンテーションウィンドウ」です。

② プレースホルダーに文字を入力する

■プレースホルダーとは

パワーポイント（PowerPoint）を起動すると、最初に下のような画面が出てきます。その中に2つの枠が表示され、その枠のことを「プレースホルダー」といいます。プレースホルダーはテーマに合ったプレースホルダーが用意されています。



[ホーム] タブの [スライド] グループ内の 新しい [新しいスライド] ボタンをクリックすると、右図のような一覧が表示され、テーマを選択することができます。

表や図、グラフ、絵、ビデオなどを挿入したいときは、「コンテンツ」の入ったテーマを選びます。

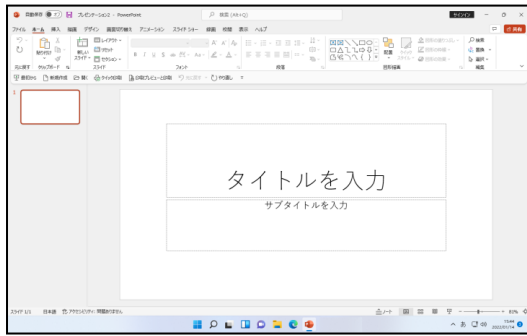
今からプレゼンテーションを作成していきますが、このように「プレースホルダー」はプレゼンテーションを行うにあたってのさまざまな素材を入れる枠になりますので、ここでしっかりとマスターしていきましょう。



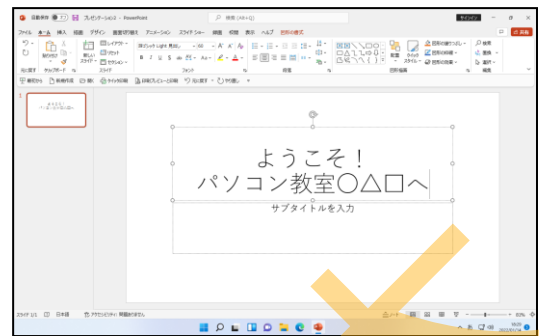
枠組みを1つ1つ作成していき、文字を入力していきましょう。

◆プレースホルダー内に文字を入力する方法をマスターしましょう。

操作前



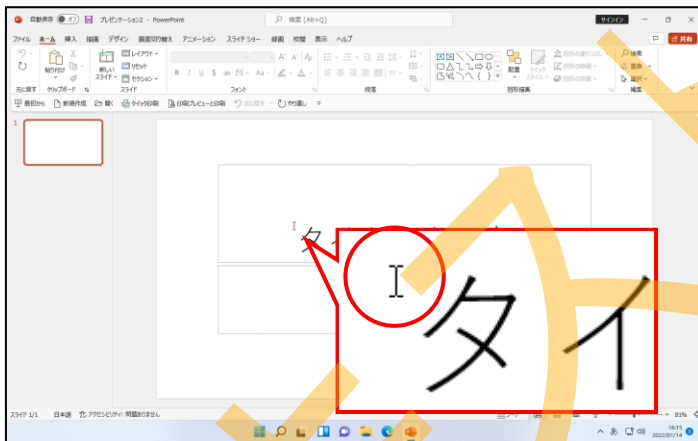
操作後



注意!

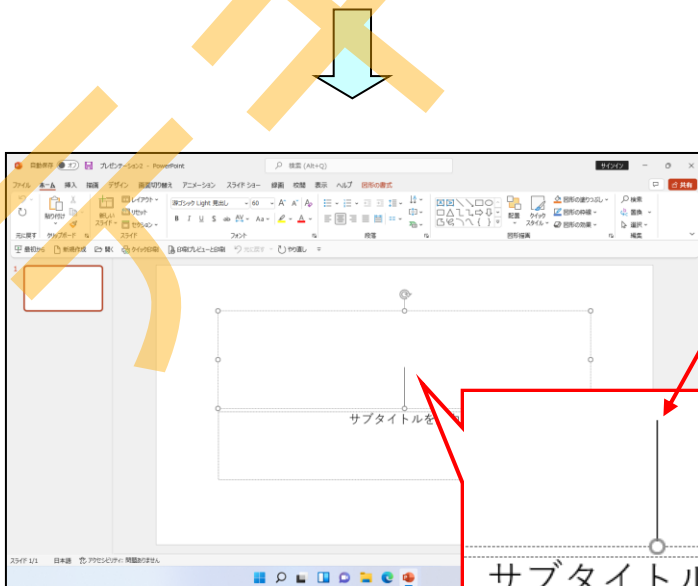
操作は下からです!

画面中央に表示された「タイトルを入力」のプレースホルダー内にマウスポインターを移動し、クリックします。



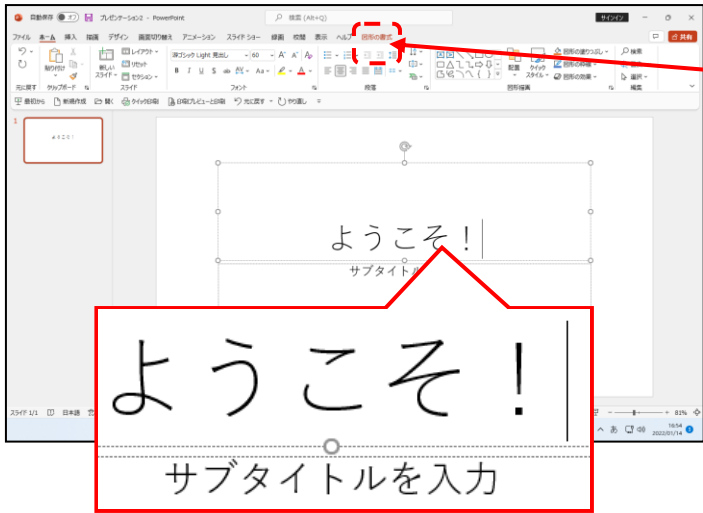
●マウスポインターをプレースホルダーの中に移動すると、マウスポインターは I の形になります。

●「タイトルを入力」のプレースホルダー内であればどこでも構いません。



●カーソルが表示されました。

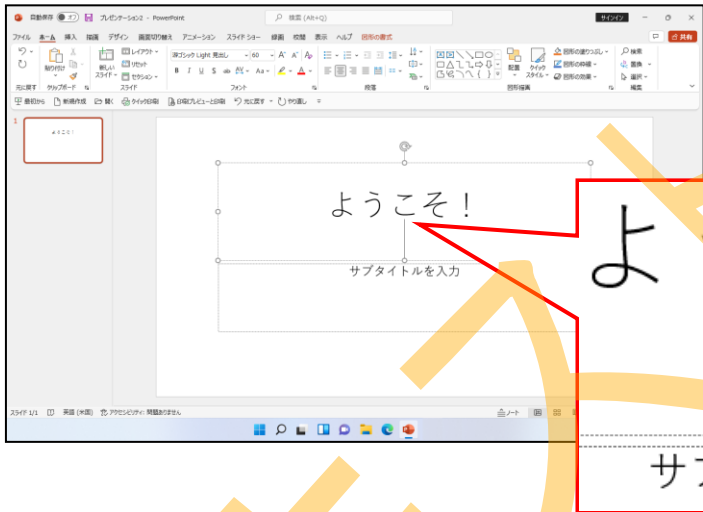
「ようこそ!」と入力します。



● プレースホルダー内を選択すると、画面に【図形の書式】タブが表示されます。

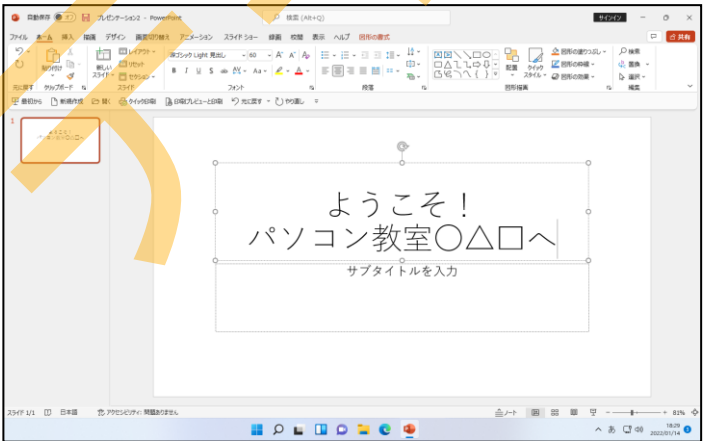
図形の書式

「ようこそ!」の「!」の後ろにカーソルがあることを確認し、[Enter] キーを押します。



● [Enter] キーを押すと改行されてプレースホルダー内に1行追加されます。

そのまま「パソコン教室〇△□へ」と入力します。



③ プレゼンテーションの保存

■ 保存操作の種類

入門編でも学習しましたが「保存」という操作は、画面上に表示されたプレゼンテーションの内容をUSBメモリー等に記憶させる操作をいいます。保存という操作には、「名前を付けて保存」と「上書き保存」の2種類の操作方法があります。



最初は名前がないので、
わかりやすい名前を付けてくださいね。

■ 保存操作の意味

「名前を付けて保存」と「上書き保存」の違いは、次の表のとおりです。それぞれの意味をしっかりと理解しておかないと、せっかく作成して保存しておいたファイルが、うっかり同じ名前で保存してしまったために、消えてしまったということにもなりかねません。

コマンド名 (命令)	利用方法	内容(処理)
名前を 付けて保存	●新たにファイルを作成した場合 ●保存していたファイルとは別に ファイルを保存したい場合	●新しく作成したファイルに名前 を付けて保存します。 ●既存のファイルを別の場所、も しくは別の名前で保存します。
上書き保存	●保存していたファイルを修正し て今の状態に置き換えたい場合	●既存のファイルへの変更を保存 して最新の状態に更新します。

※ 新しく作成したプレゼンテーションに対して、「上書き保存」を選択した場合、「名前を付けて保存」と同じ画面が表示されます。これは、パソコンが「このファイルには、まだ名前が付いていないので名前を付けてください。」といている合図です。

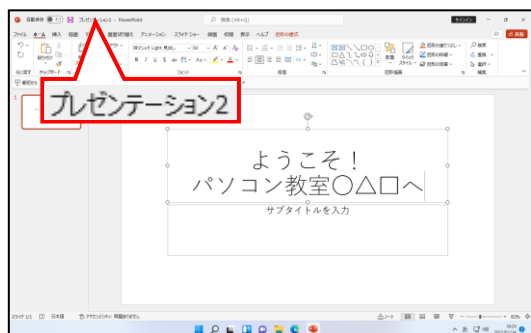
また、「名前を付けて保存」を選択した場合に、同じ場所に同じ名前のファイルがすでに存在する場合は、パソコンが「上書きしてもいいですか？」との問い合わせをしてくれます。

④ USB メモリーに保存

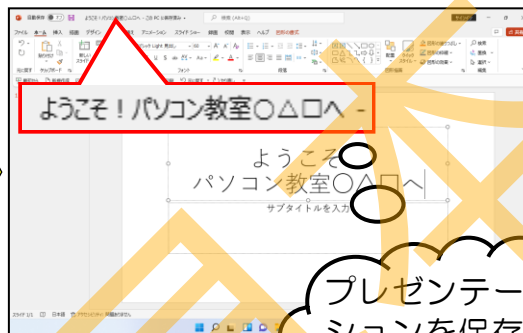
ここでは、プレゼンテーションを「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」という名前で、USB メモリーに保存してみましょう。

◆USB メモリーにプレゼンテーションを保存する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



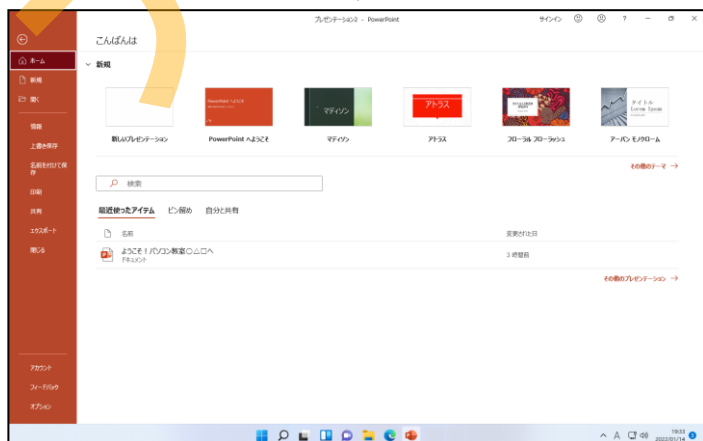
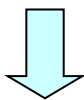
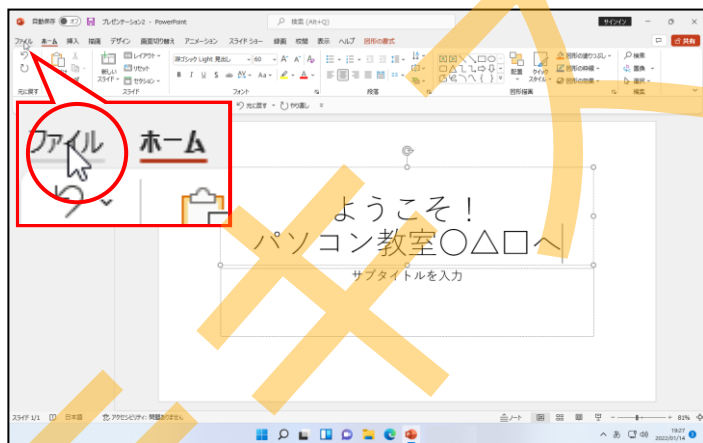
注意!

操作は下からです！

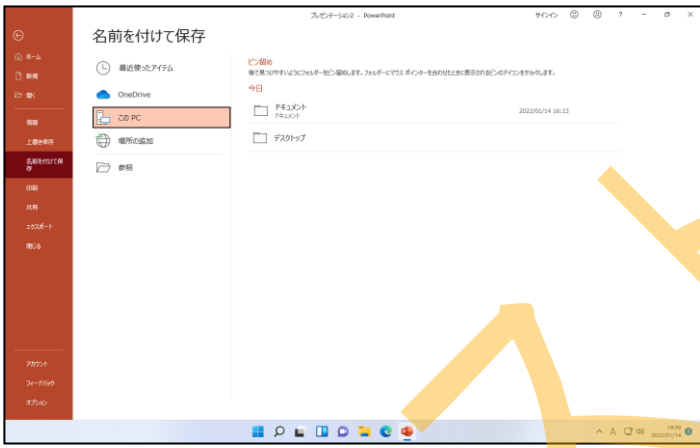
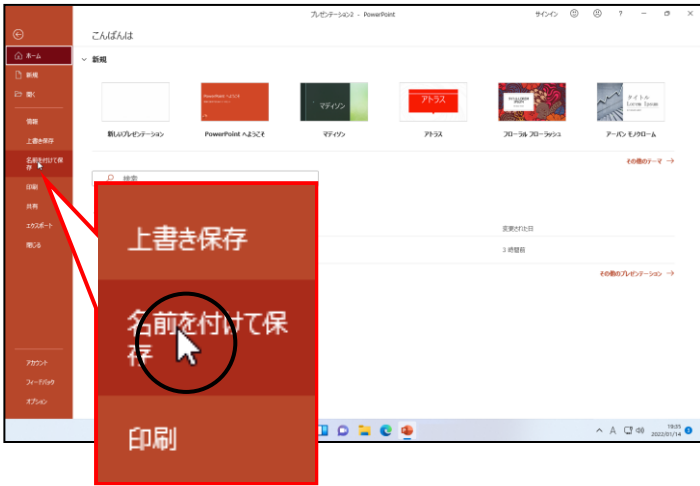
プレゼンテーションを保存しました

操作に入る前に USB メモリーをパソコンに差し込んでおきましょう。

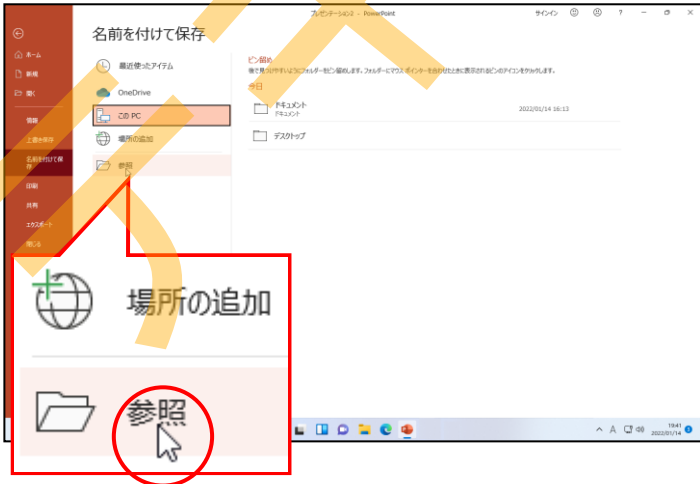
画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。

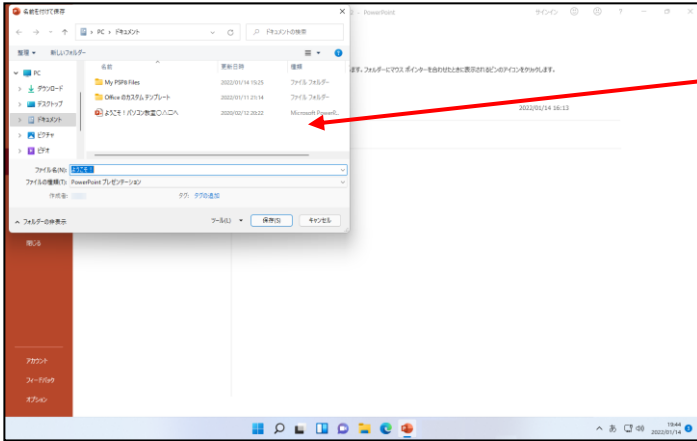


[名前を付けて保存] にポイントし、クリックします。



[参照] にポイントし、クリックします。

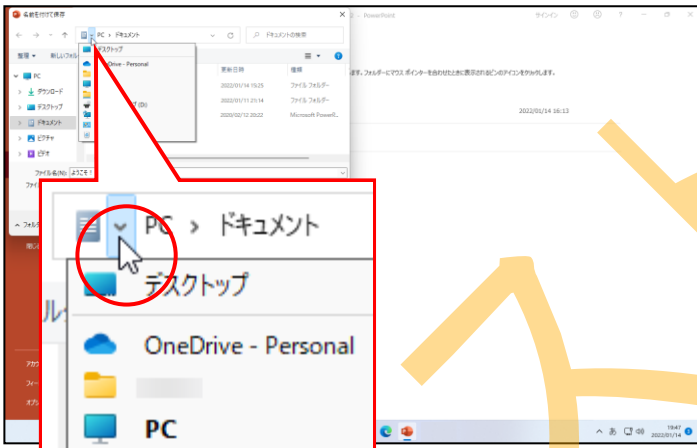




● [参照] をクリックすると、左のように [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

● お使いのパソコンによって [名前を付けて保存] ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左図と異なる場合があります。

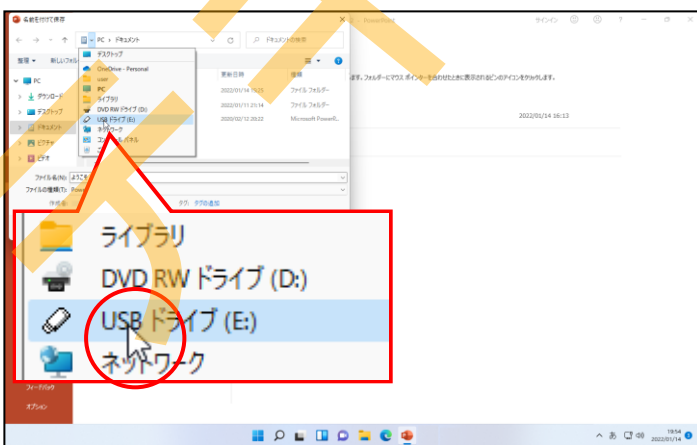
PC の左にある ▶ にポイントし、クリックします。



● 下の図のように表示される場合は、「ユーザー」の左側にある « をクリックします。



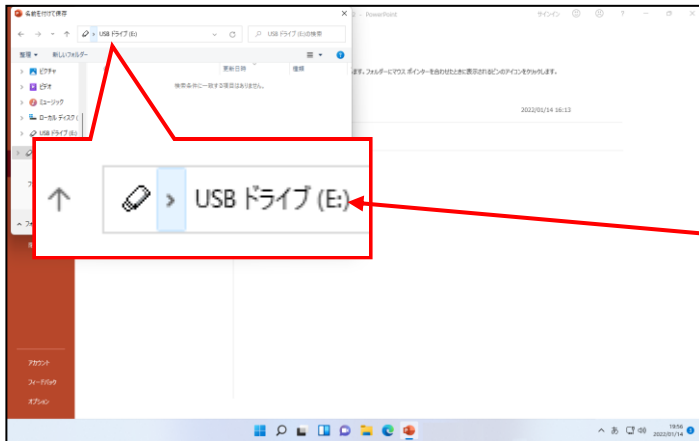
表示された一覧から [USB ドライブ (E:)] にポイントし、クリックします。



● お使いのパソコンによって、USB ドライブの後ろが「(E:)」とは限りません。

名前を付けて保存に関する補足説明

P37



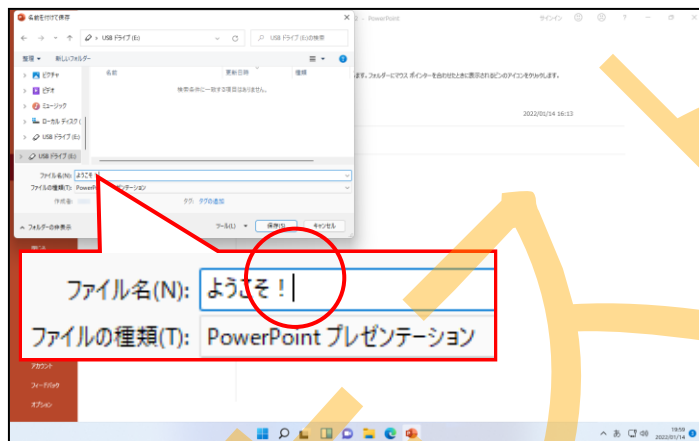
- ここまで行った操作が保存先の指定方法です。自分がどこに保存するかを指定する操作は、このようにして行います。これはパワーポイントに限らずパソコンを操作する場合に共通の操作となります。

- [USB ドライブ (E:)] をクリックすると [保存先] ボックスに [USB ドライブ (E:)] が表示されます。

必ず確認を!!



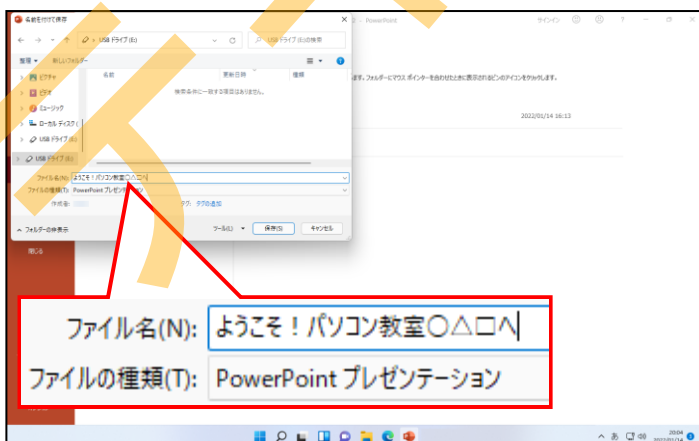
「ようこそ!」の後ろにマウスポインターを移動し、カーソルが表示されるまでクリックします。



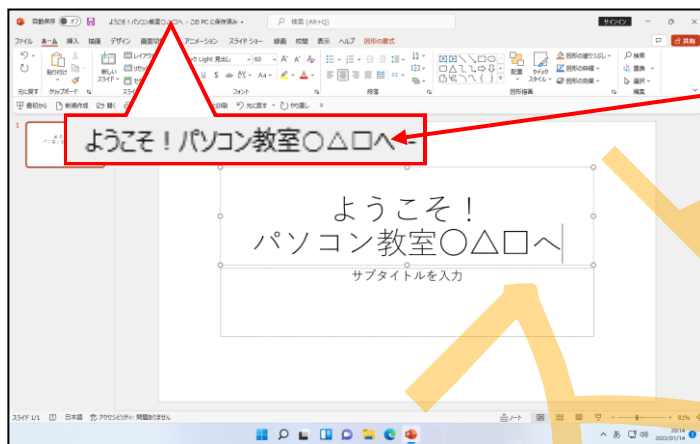
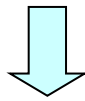
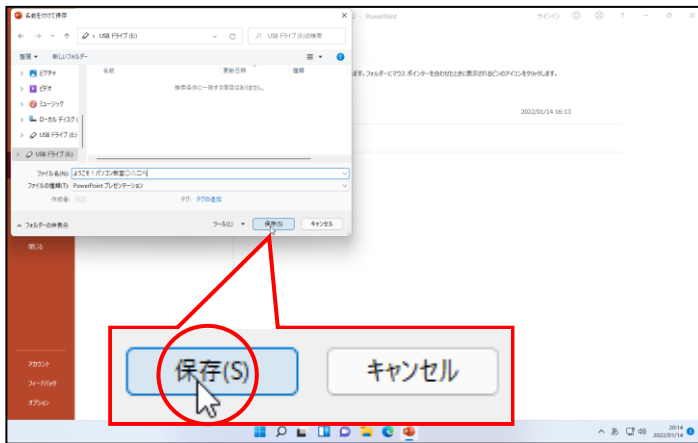
注意!

- [ファイル名 (N):] ボックス内をクリックしても、青く反転表示している状態では、次の操作の時に文字がすべて消えてしまいます。再度、「ようこそ!」の後ろでクリックし、カーソルを表示しておきましょう。

そのまま「パソコン教室〇△□へ」を入力します。






【名前を付けて保存】ダイアログボックスの右下にある【保存(S)】ボタンにポイントし、クリックします。




●【保存(S)】ボタンをクリックすると、保存処理終了後、タイトルバーに「ようこそ！パソコン教室○△□へ」の文字が表示されます。

注意!

●保存中のマウスポインターは  の状態になっています。マウスポインターが  の状態では他の操作を行うことができません。

フォルダーに保存する方法  P38

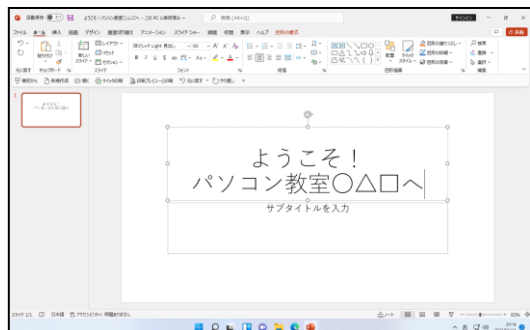
ドキュメントに保存する方法  P40

⑤ プレゼンテーションの上書き保存

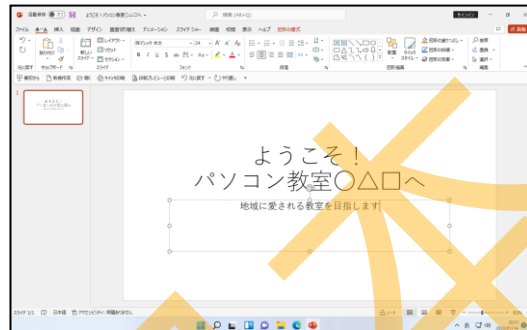
すでに保存されている「ようこそ!パソコン教室〇△□へ」に内容を追加し、その後、上書き保存をしましょう。

◆上書き保存する方法をマスターしましょう。

操作前



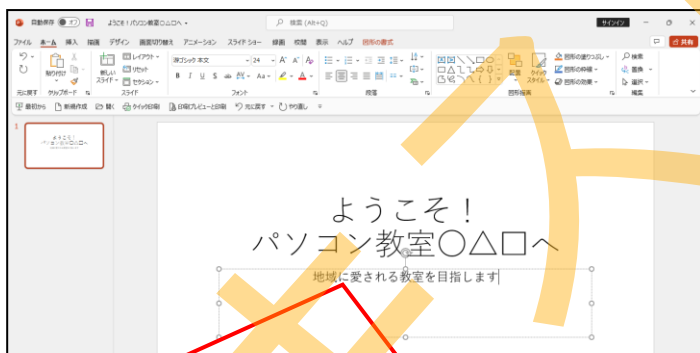
操作後



注意!


操作は下からです!

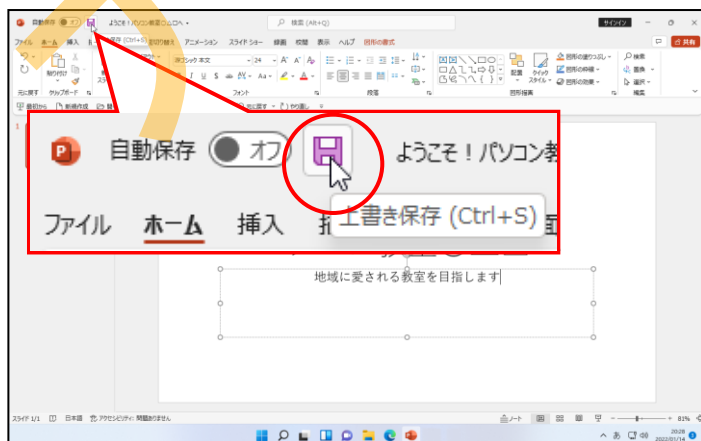
サブタイトルのプレースホルダーに、「地域に愛される教室を目指します」と入力しましょう。





- プレースホルダーに文字を入力する方法を忘れた方は、P27 ② プレースホルダーに文字を入力するを参照してください。

地域に愛される教室を目指します

画面左上 (タイトルバー) にある  [上書き保存] ボタンにポイントし、クリックします。

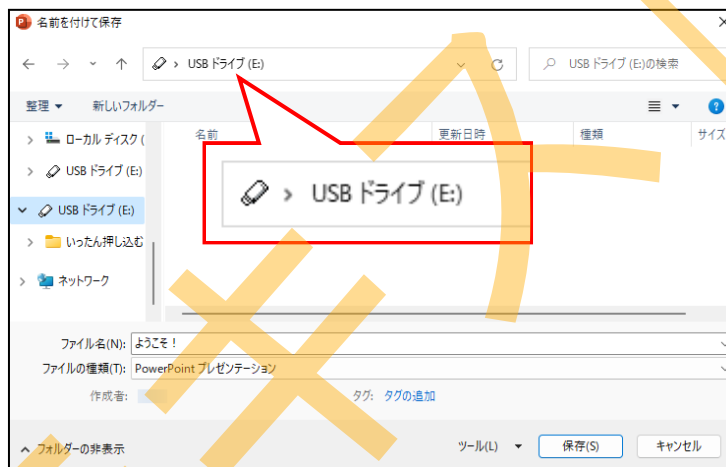
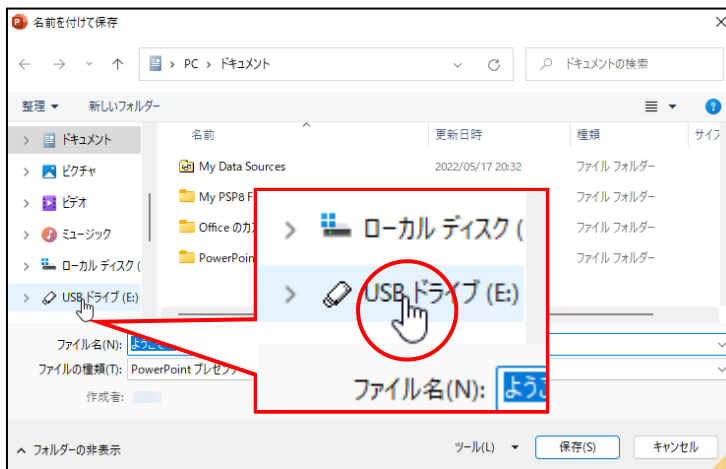


- 保存処理中は、マウスポインターが  の状態になっていますが、少し待つと  の状態に変わり、保存が完了します。

●補足説明（その1）P37～P40

●P33 名前を付けて保存に関する補足説明

【名前を付けて保存】ダイアログボックスの左側に【USB ドライブ (E):】が表示されている場合は、そこをクリックすると、一度でUSBメモリーが開かれます。

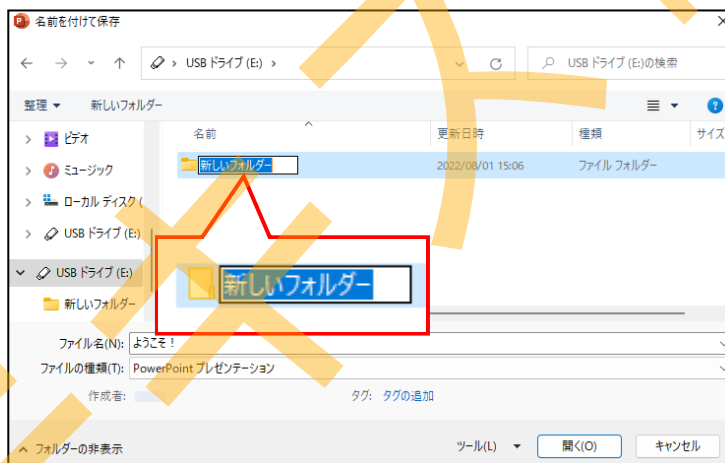
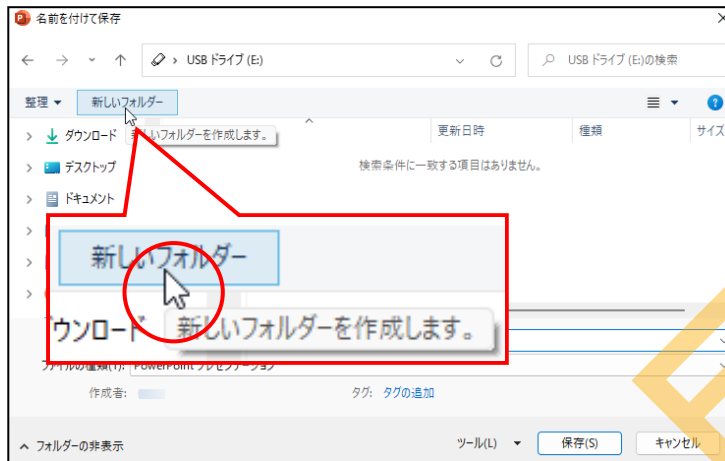


●P35 フォルダーに保存する方法

■フォルダーの作成

ファイルを、フォルダーへ保存する場合の方法を説明します。

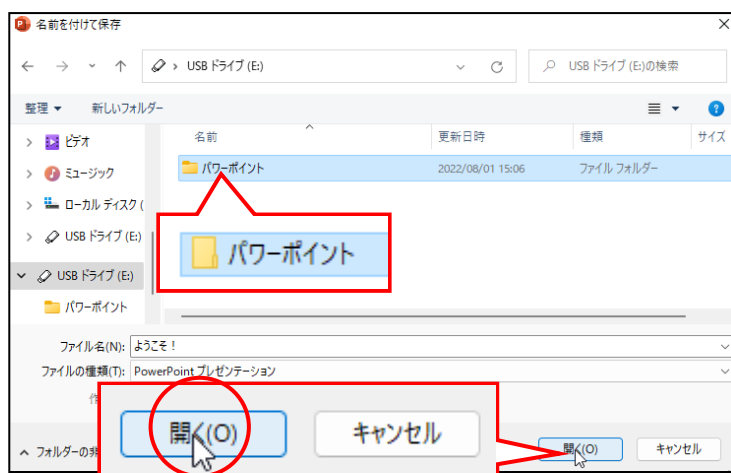
- ① フォルダーへ保存したいファイルを開いておき、[ファイル] タブ→ [名前を付けて保存] で、フォルダーを作りたい保存場所を指定します。(下図ではUSBドライブ)
- ② [新しいフォルダー] をクリックします。



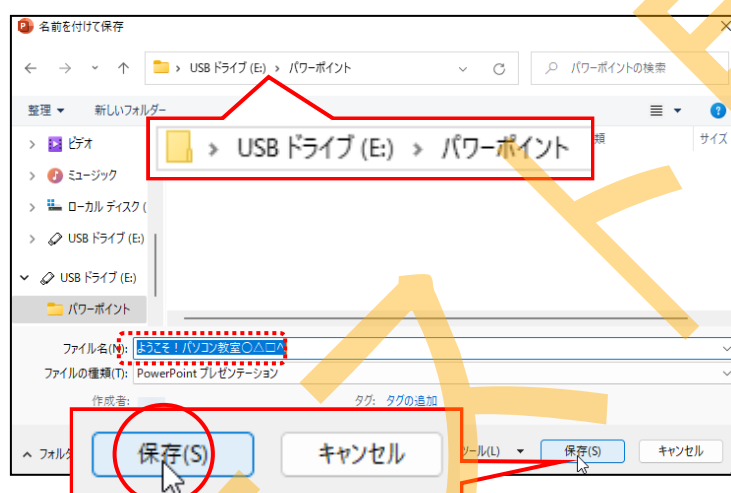
- ③ そのままフォルダーに付けたい名前を入力します。(次ページ上図では「パワーポイント」)
- ④ [Enter] キーを押して文字を確定します。
- ⑤ 再度 [Enter] キーを押してフォルダー名を確定します。

➡ 次ページに続く

- ⑥ 作成したフォルダーが選択されていることを確認し、[開く(O)] ボタンをクリックします。



- ⑦ ファイル名を「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」に変更し、[保存(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」が、USB メモリーの中の「パワーポイント」というフォルダーに保存されました。

USBメモリー

パワーポイント
(フォルダー)

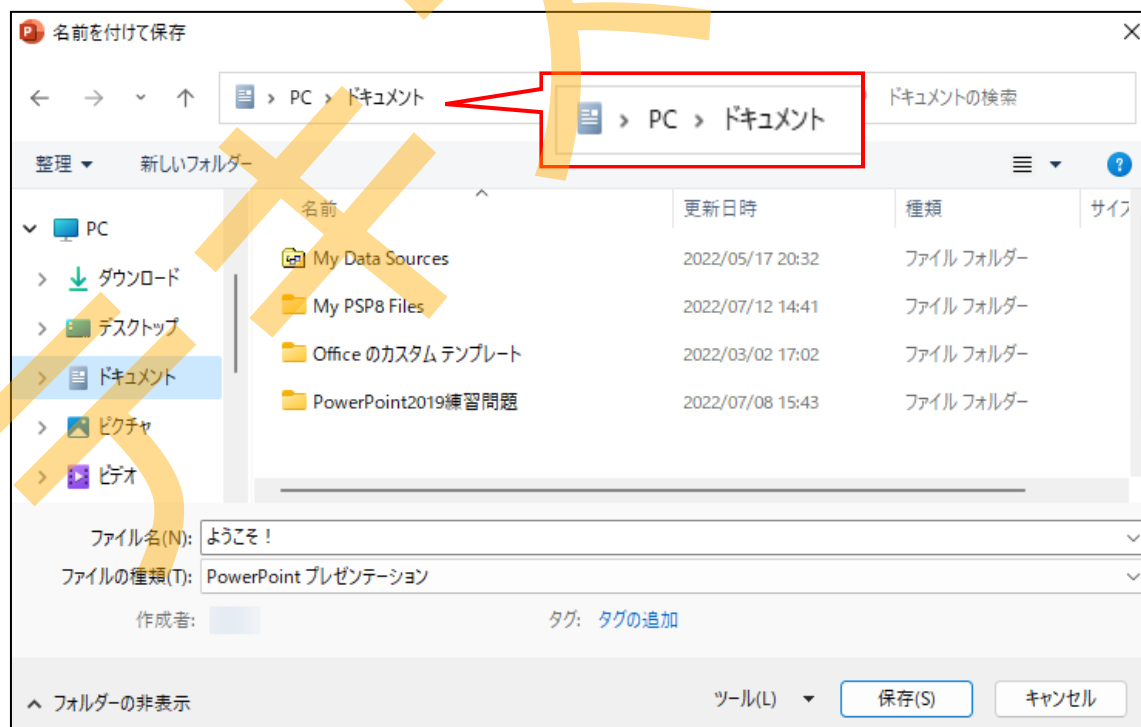
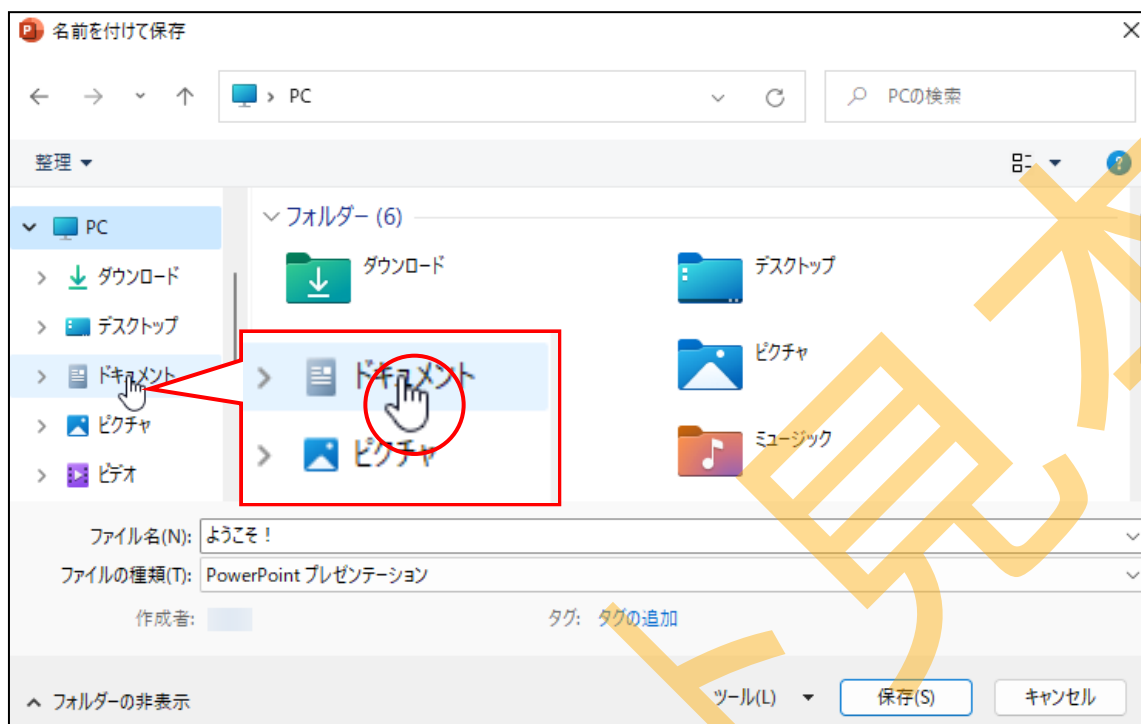
ようこそ！
パソコン教室〇△□へ

●P35 ドキュメントに保存する方法

「ドキュメント」に保存する方法を説明します。

■ドキュメントに保存する場合

表示された保存場所から「ドキュメント」にポイントし、クリックします。



ドキュメントに保存したファイルを開く場合も同様にファイルの場所を指定します。

5. プレゼンテーションの編集

(1) スライドの編集

ここでは、プレゼンテーションを構成している1枚1枚のスライドを追加、削除、順序の入れ替え、スライドのデザインを設定する方法や、スライド内の文字書式の設定、スライド内の段落書式の設定などを説明します。

スライドとは紙芝居の紙のようなもの！！

ケンちゃん 「スライドっていうのはプレゼンテーションひとつひとつの元となるものなんだね！」

くじら先生 「ケンちゃんその通り！発表用の1枚1枚のシートをスライドといいます。わかりやすく言ったら、紙芝居のようなものですね。」

ウメさん 「紙芝居のように画面が次々と変わっていくのね。」

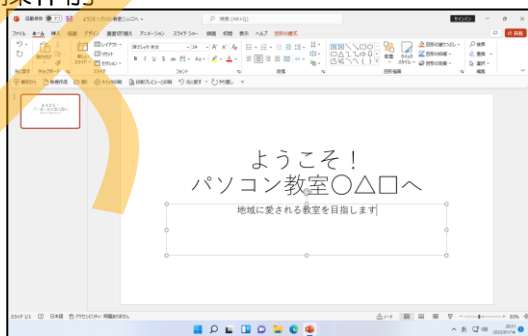
くじら先生 「パワーポイントによる発表は、たくさんのスライドの画面を切り替えながら発表していきます。では、早速スライドのさまざまな操作を勉強していきましょう！！」

① スライドの追加

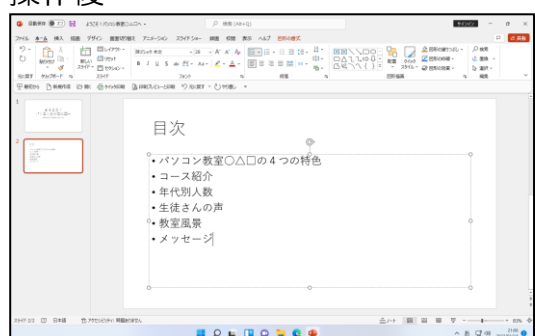
プレゼンテーションの作成途中で新しいアイデアが浮かび、新しくスライドを作成したいと思う場合があります。そのような時に、新しいスライドを自由に追加することができます。

◆スライドを追加する方法をマスターしましょう。

操作前



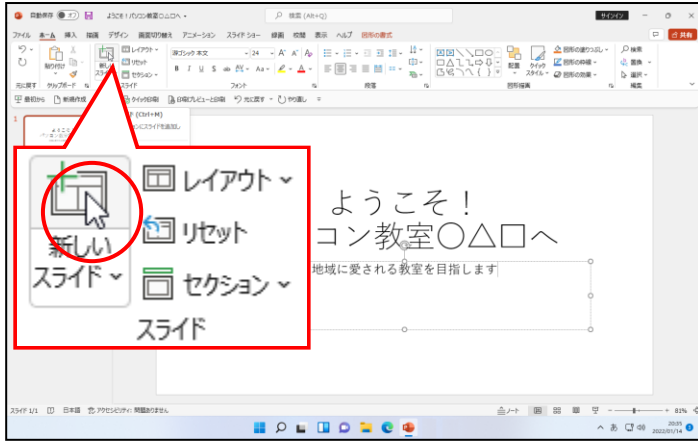
操作後



注意!

操作は次ページからです！

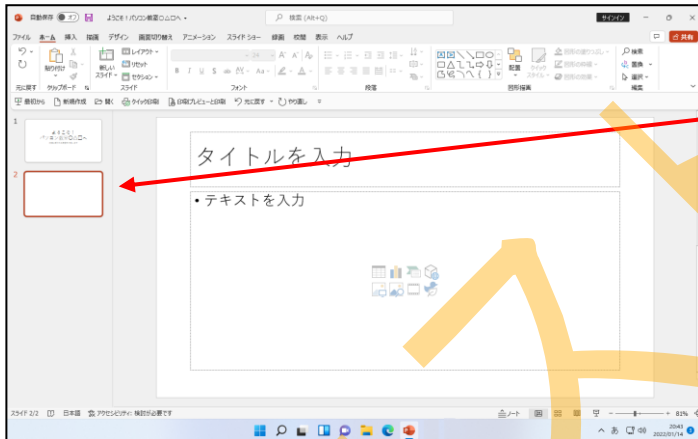
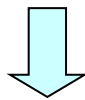
[ホーム] タブが選択されていることを確認し、[スライド] グループ内の [新しいスライド] ボタンにポイントし、クリックします。



- [ホーム] タブが選択されていない方は、[ホーム] タブをクリックして選択しておきましょう。

注意!

- 下側の 新しいスライド をクリックすると、メニューが出てきますので気をつけましょう。

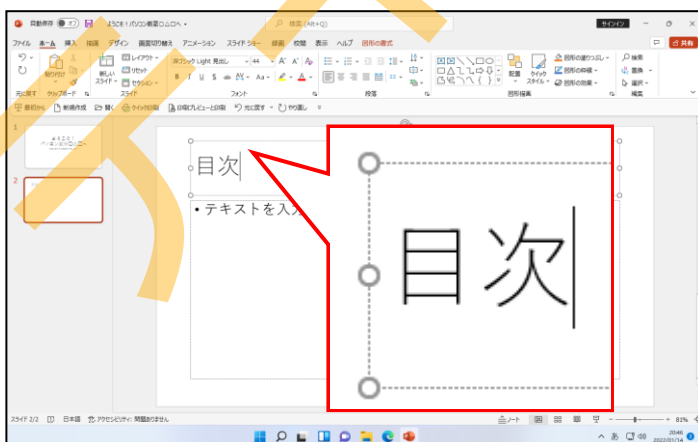


- [新しいスライド] ボタンをクリックすると、画面の左側に新しいスライドが追加されます。

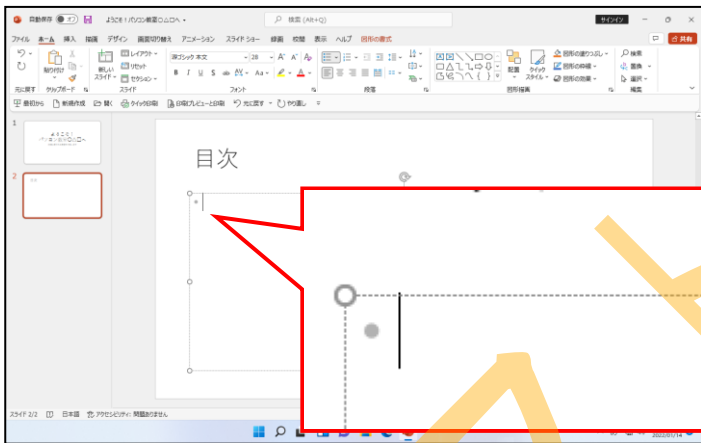
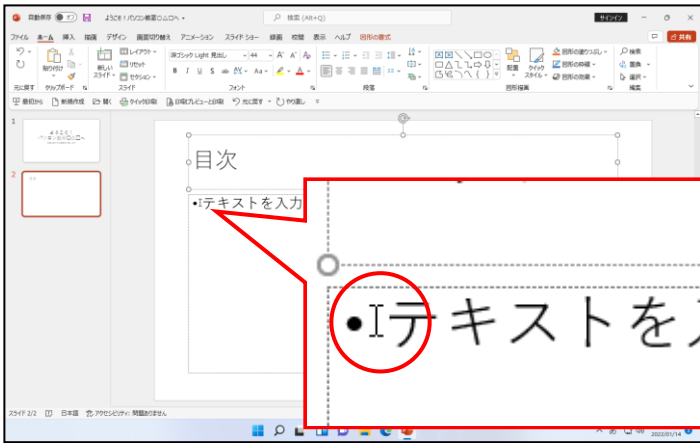
余裕があれば読んでね

- 画面左側に表示されているスライドを右クリックし、表示されるショートカットメニューから [新しいスライド(N)] をクリックしても、同じ操作になります。

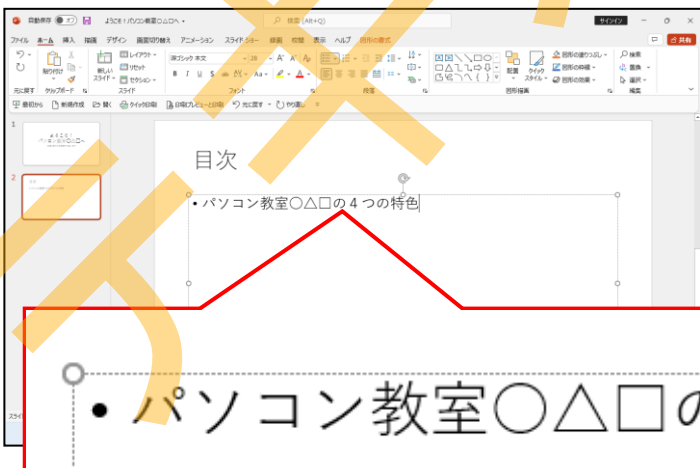
タイトルのプレースホルダーに、「目次」と入力します。



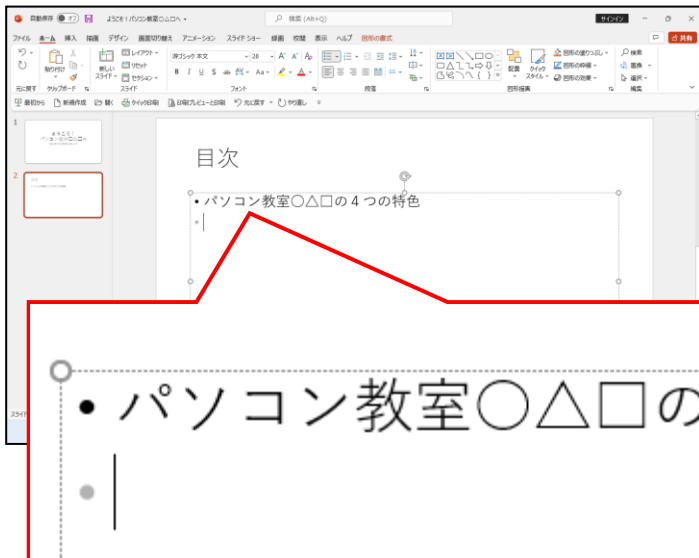
「・」の後ろポイントし、そのままクリックしましょう。



そのまま「パソコン教室○△□の4つの特色」と入力します。

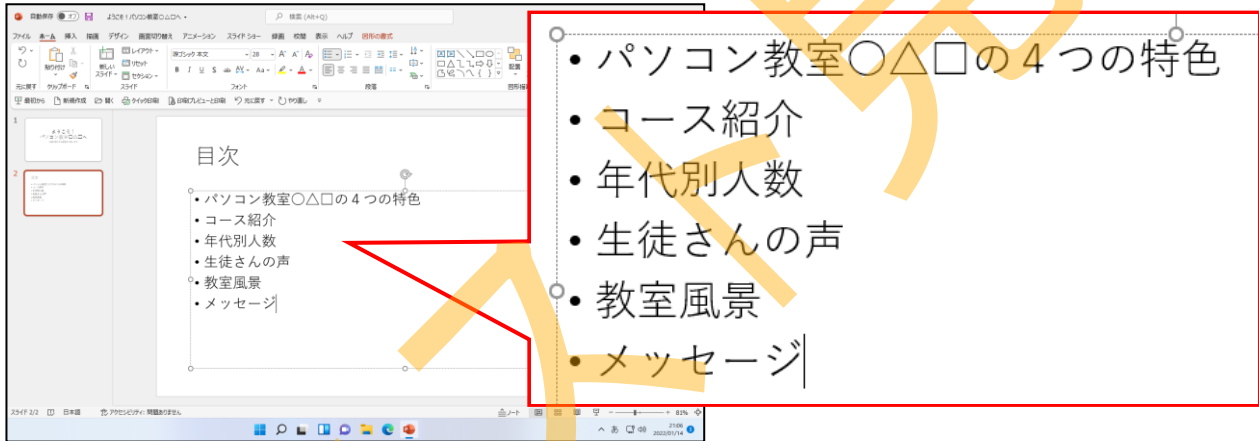


「特色」の「色」の後ろにカーソルがあることを確認し、[Enter] キーを押します。



● [Enter] キーを押すと、行が一行追加されます。

同様に、下図を参考に、文章を追加しましょう。



文字を縦書きに入力する方法

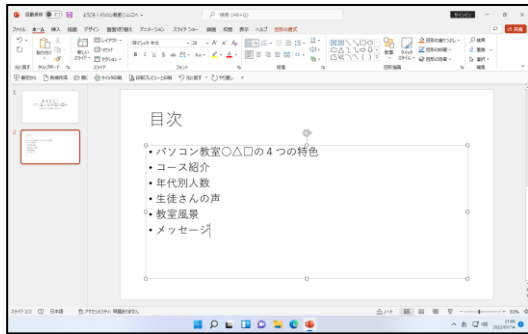
P62

② スライドの切り替え

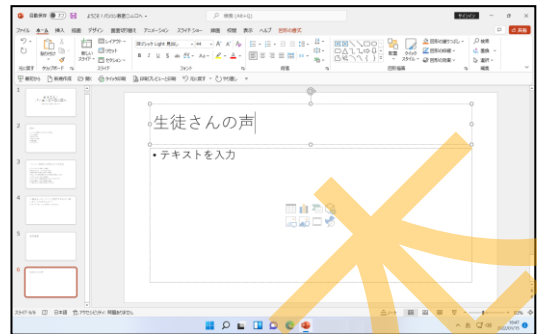
ここでは、2つ目のスライドから1つ目のスライドへ切り替えてみましょう。

◆スライドを切り替える方法をマスターしましょう。

操作前



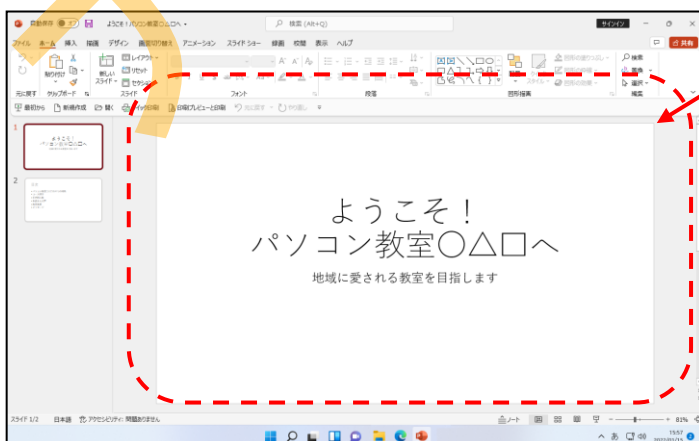
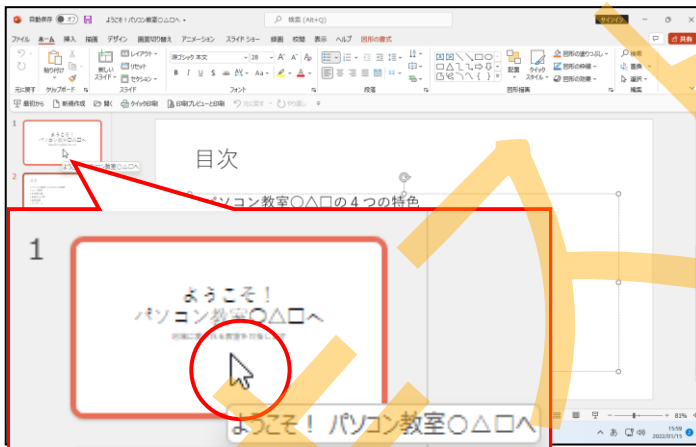
操作後



注意!

操作は下からです!

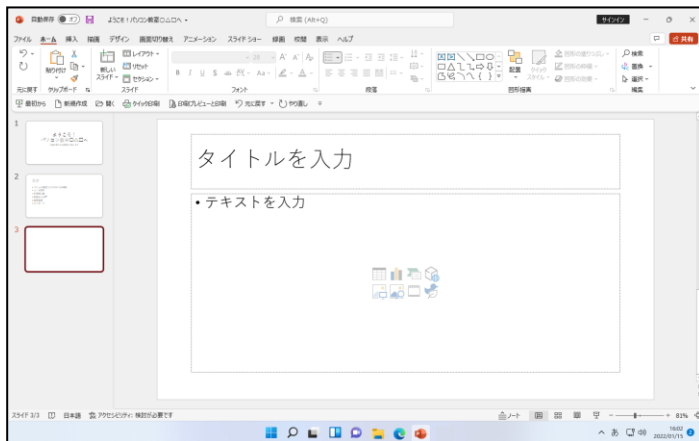
画面左に表示されている1つ目のスライドにポイントし、クリックします。



●1つ目のスライドをクリックすると、右側に表示される画面が変わります。

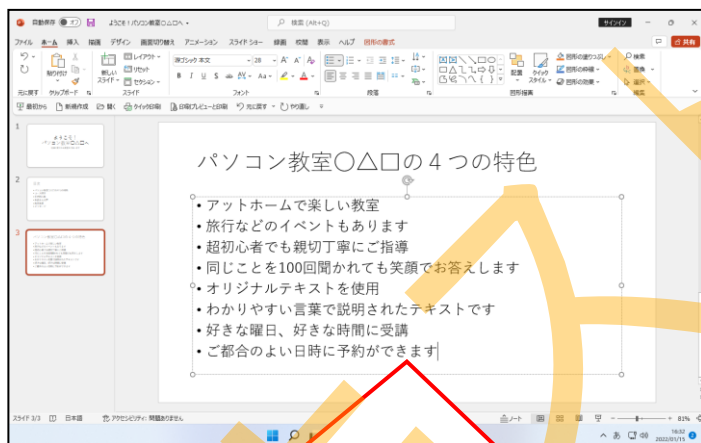
◎ スライドを追加し、同様にして文字を入力していきましょう。

2つ目のスライドに切り替えて、新しいスライドを挿入します。



● 新しいスライドの挿入の仕方を忘れた方は、P41 ① スライドの追加を参照してください。

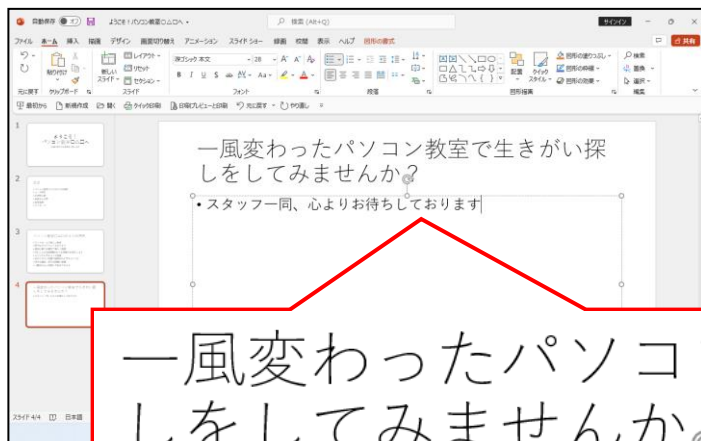
タイトルのプレースホルダーには「パソコン教室○△□の4つの特色」を入力し、コンテンツのプレースホルダーには、下図を参考に文章を入力しましょう。



パソコン教室○△□の4つの特色

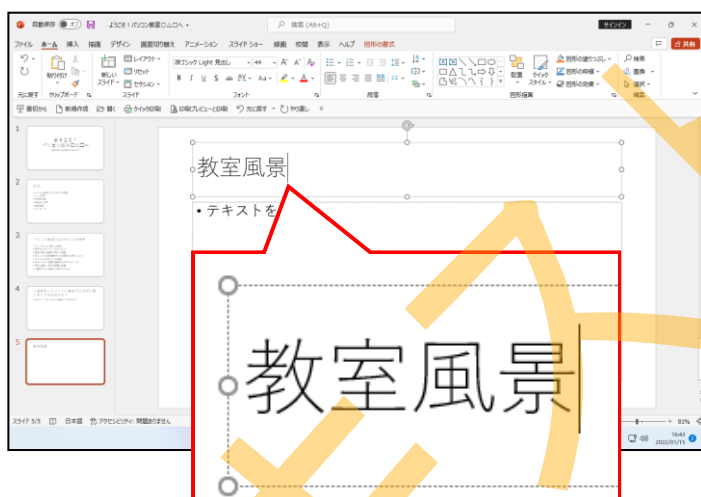
- アットホームで楽しい教室
- 旅行などのイベントもあります
- 超初心者でも親切丁寧にご指導
- 同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします
- オリジナルテキストを使用
- わかりやすい言葉で説明されたテキストです
- 好きな曜日、好きな時間に受講
- ご都合のよい日時に予約ができます

新しいスライドを挿入し、タイトルのプレースホルダーとコンテンツのプレースホルダーに、下図を参考に文章を入力しましょう。



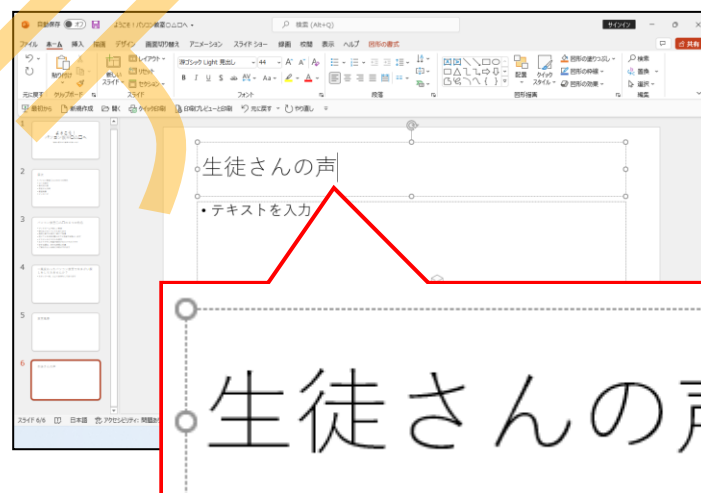
一風変わったパソコン教室で生きがい探しをしてみませんか？
・スタッフ一同、心よりお待ちしております

同様にして、5枚目のスライドを挿入して、タイトルのプレースホルダーに「教室風景」と入力しましょう。



●タイトルのプレースホルダーが選択されていることを確認してから入力してください。

同様にして、6枚目のスライドを挿入して、タイトルのプレースホルダーに「生徒さんの声」と入力しましょう。



●タイトルのプレースホルダーが選択されていることを確認してから入力してください。

③ スライド内の箇条書きの編集

パワーポイント（PowerPoint）では段落ごとに階層を設定することができます。この階層のことを「レベル」といいます。

レベルを設定すると、後からプレゼンテーションを見直したときに構成がよりわかりやすくなります。箇条書きはレベルごとに書式が決められているので、レベルを変更すると書式が変わります。

ここでは、レベルを変更していきましょう。

◆レベルを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

パソコン教室○△□の4つの特色

- アットホームで楽しい教室
- 旅行などのイベントもあります
- 超初心者でも親切丁寧に指導
- 同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします
- オリジナルテキストを使用
 - わかりやすい言葉で説明されたテキストです
 - 好きな曜日、好きな時間に受講
 - ご都合のよい日時に予約ができます

操作後

パソコン教室○△□の4つの特色

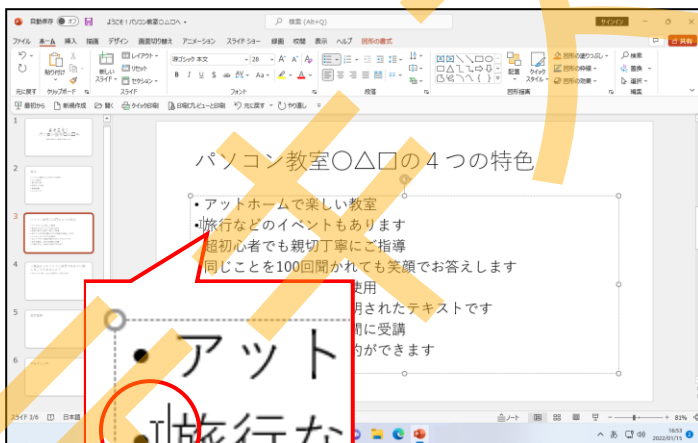
- アットホームで楽しい教室
 - 旅行などのイベントもあります
- 超初心者でも親切丁寧に指導
 - 同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします
- オリジナルテキストを使用
 - わかりやすい言葉で説明されたテキストです
- 好きな曜日、好きな時間に受講
 - ご都合のよい日時に予約ができます



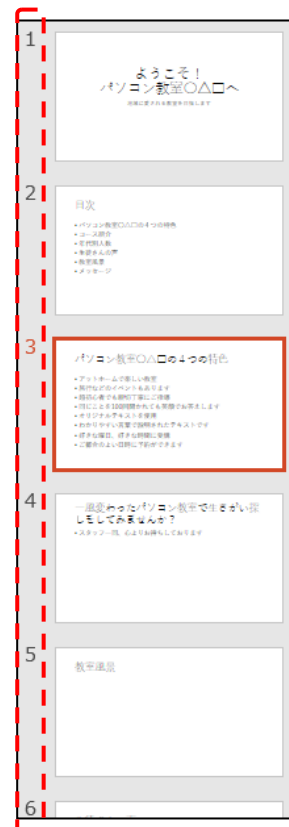
注意!


操作は下からです！

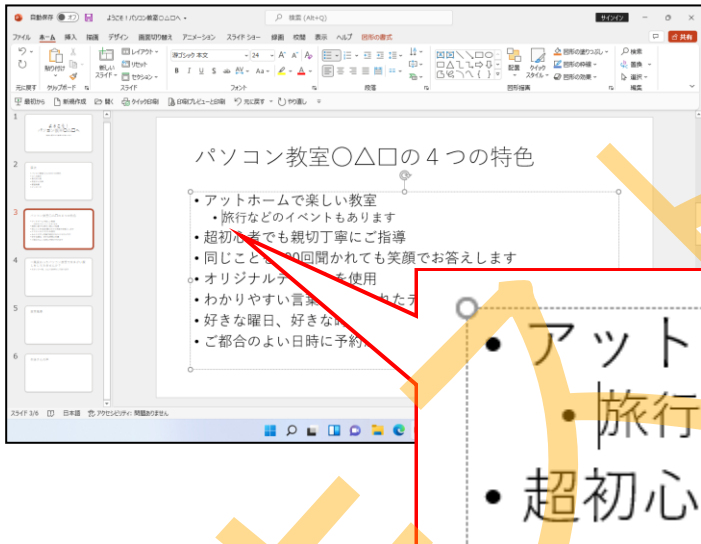
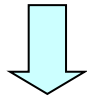
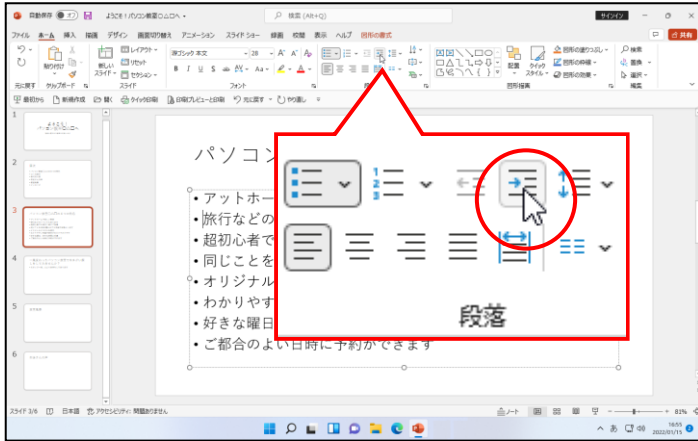
スライド3に切り替え、2行目の段落内にポイントし、クリックします。



●スライドには、それぞれ番号が割り振られています。（下図参照）



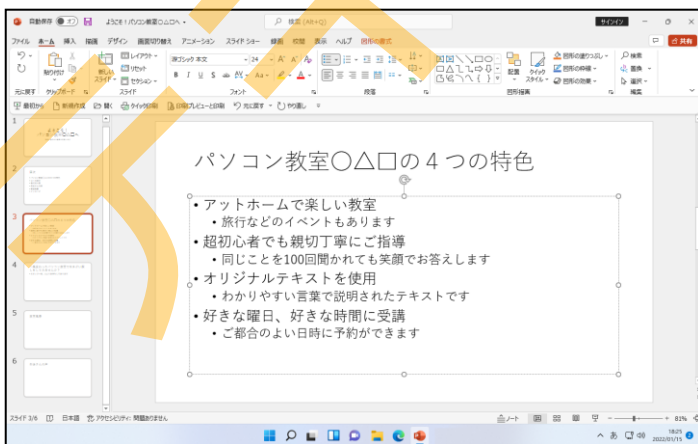
[ホーム] タブが選択されていることを確認し、[段落] グループにある  [インデントを増やす] ボタンにポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

- [Shift] キー + [Alt] キーを押した状態で矢印キー (→または←) を押すことで、レベルを上げ下げすることができます。

4、6、8行目も同様に設定しましょう。



行間を変更する方法

P62

次の操作のために、スライド4を表示しておきましょう。

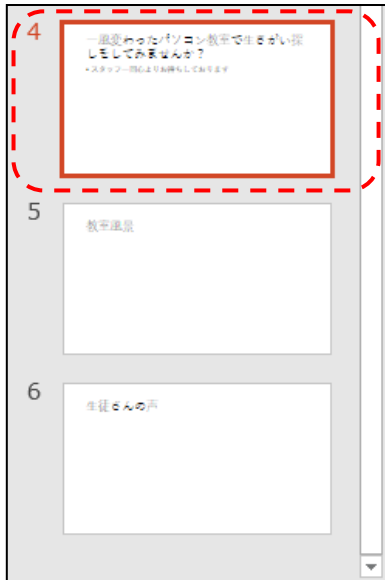
④ スライドの順序の入れ替え

プレゼンテーションの作成途中で見直した時に、このスライドとこのスライドを入れ替えた方が話がつながるときがあります。そのような場合は、スライドアイコンをドラッグすると、スライドの順番を簡単に入れ替えることができます。

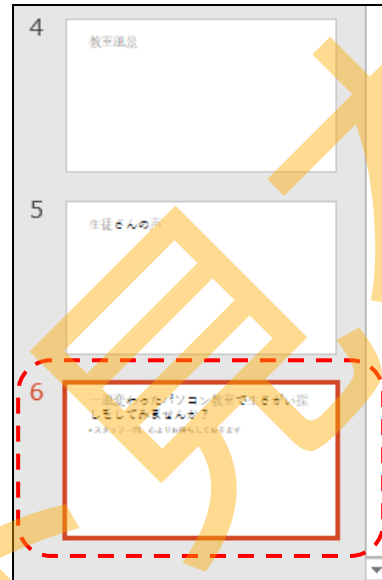
4枚目のスライド「一風変わったパソコン教室で生きがい探してみませんか？」を、一番最後に移動しましょう。

◆スライドの順序を入れ替える方法をマスターしましょう。

操作前



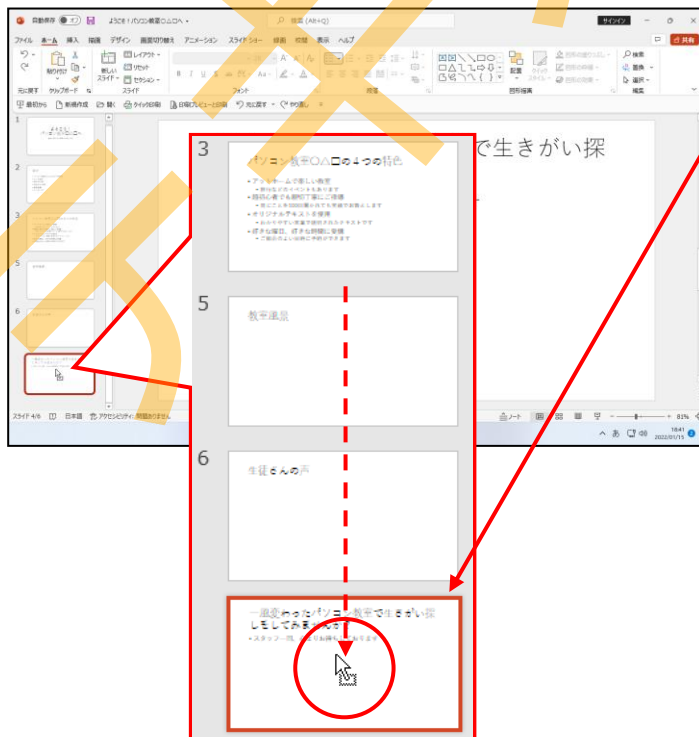
操作後



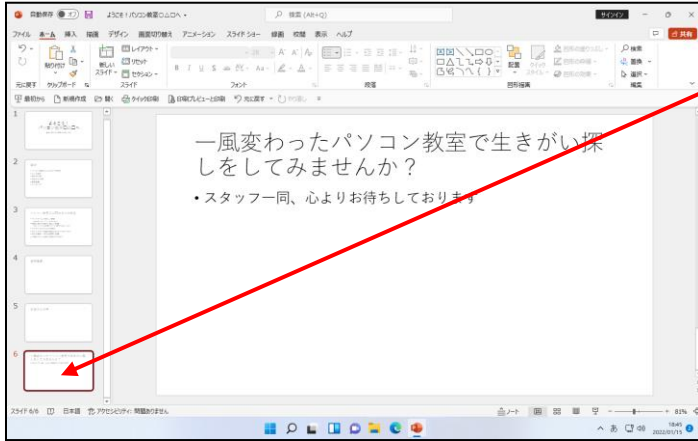
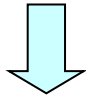
注意!

操作は下からです！

スライド4をスライド6の下へドラッグします。



●スライド6の下にマウスポインターが移動したら、マウスから指を離します。



●スライド4が一番下に移動しました。

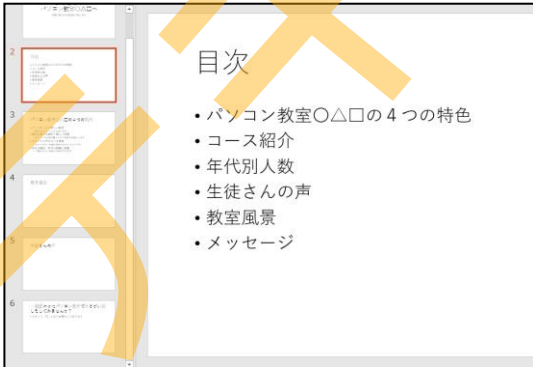
次の操作のために、スライド2を表示しておきましょう。

⑤ アウトライン表示に切り替える

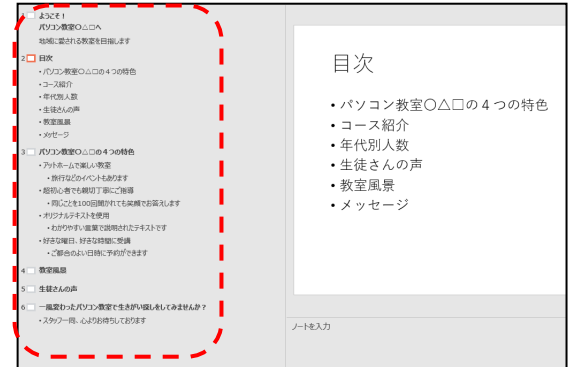
アウトライン表示に切り替えると、スライドのタイトルや箇条書きのテキストのすべてが表示されるので、プレゼンテーションの全体の流れを把握しやすくなります。ここでは、アウトライン表示に切り替え、スライドの構成を確認してみましょう。

◆アウトライン表示に切り替える方法をマスターしましょう。

操作前



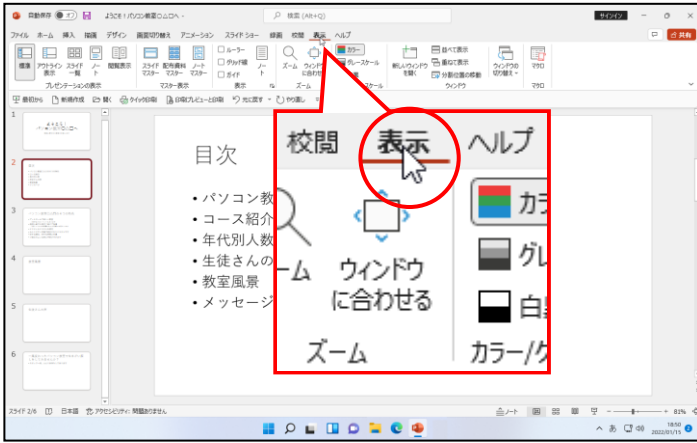
操作後



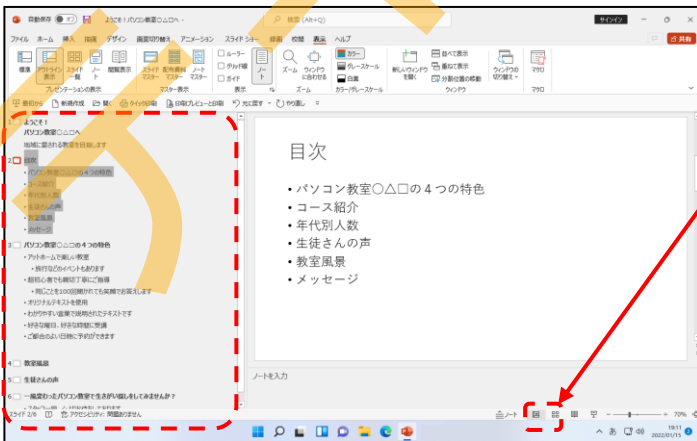
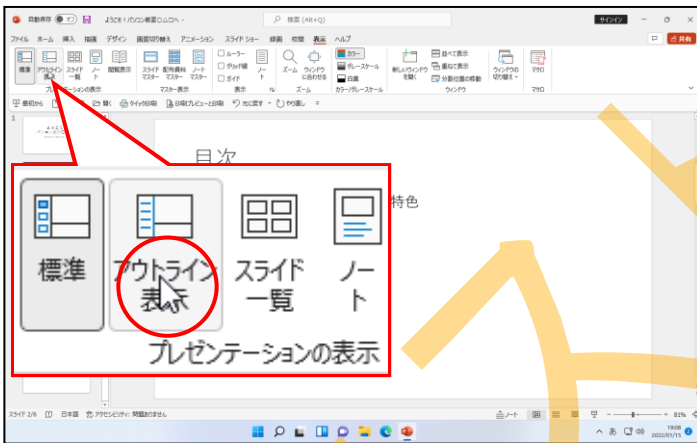
注意!

操作は次ページからです!

画面中央にある「表示」タブにポイントし、クリックします。



「プレゼンテーションの表示」グループ内の「アウトライン表示」ボタンにポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

- 画面右下の「標準」ボタンを2回クリックしても同じ操作になります。1回目のクリックで、「ノートを入力」が表示され、2回目のクリックで、アウトライン表示になります。

スライドの折りたたみと展開

P63

⑥ スライド内の項目の入れ替え

プレゼンテーションの作成途中で見直したときに、1つのスライドの中で、この項目とこの項目を入れ替えたほうが話がつながると思うようなときがあります。そのような場合は、アウトライン表示内の箇条書きテキストの項目の順番を入れ替えることができます。

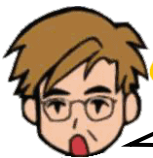
◆スライド内の項目を入れ替える方法をマスターしましょう。

操作前

- 2 □ 目次
 - ・パソコン教室○△□の4つの特色
 - ・コース紹介
 - ・年代別人数
 - ・生徒さんの声
 - ・教室風景
 - ・メッセージ

操作後

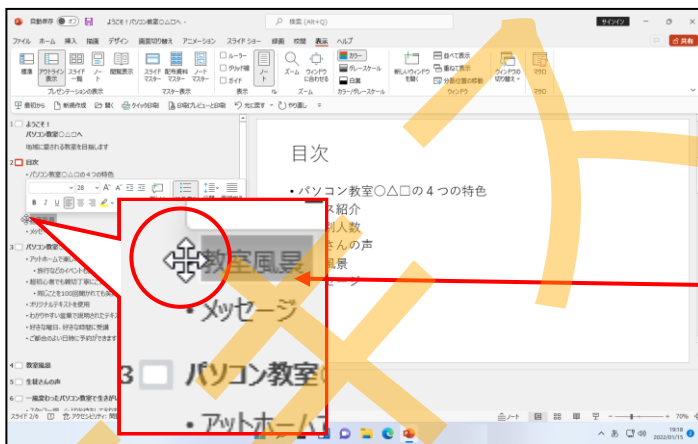
- 2 □ 目次
 - ・パソコン教室○△□の4つの特色
 - ・コース紹介
 - ・年代別人数
 - ・教室風景
 - ・生徒さんの声
 - ・メッセージ




注意!

操作は下からです!

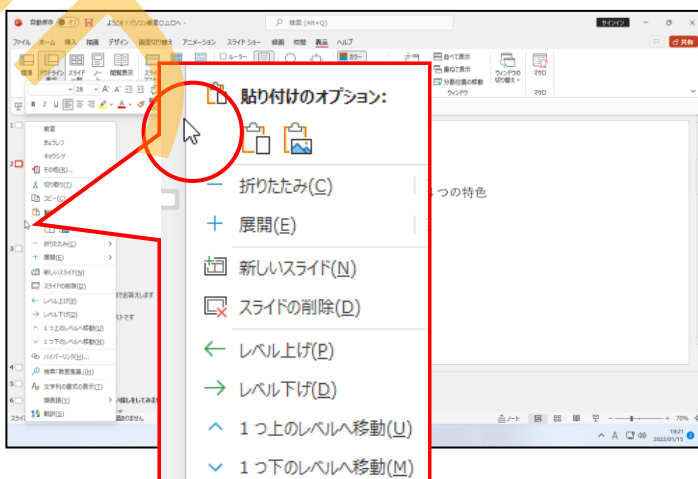
スライド2内の「教室風景」の左の「・」にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。



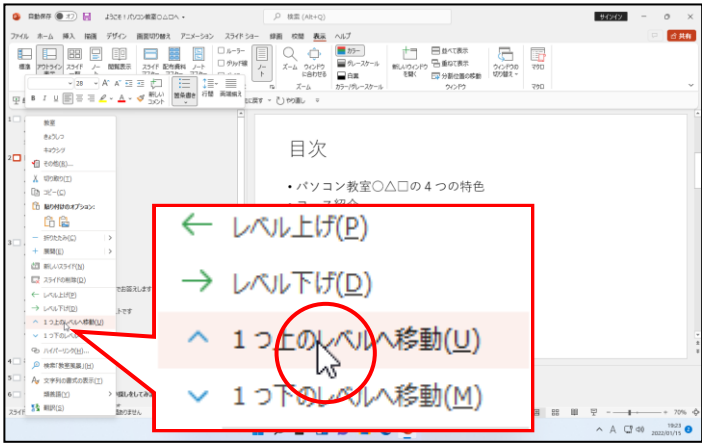
●「教室風景」の前にある「・」にポイントしないと、マウスポインターは  の形になりません。文字の上では選択ができません。

●クリックすると、「教室風景」が選択されます。

そのまま右クリックします。

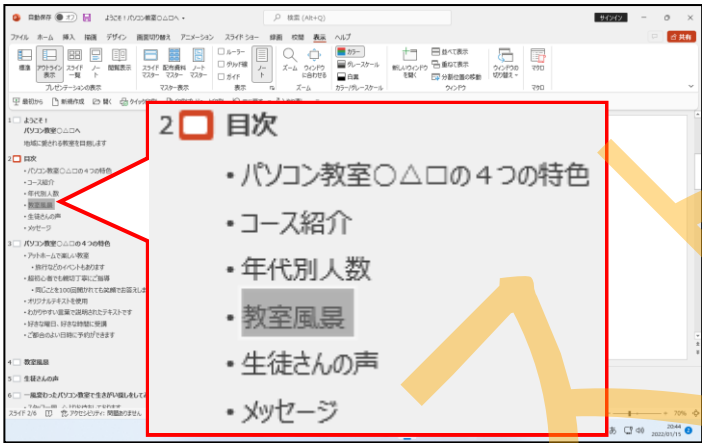


表示された一覧から、[1つ上のレベルへ移動(U)] にポイントし、クリックします。



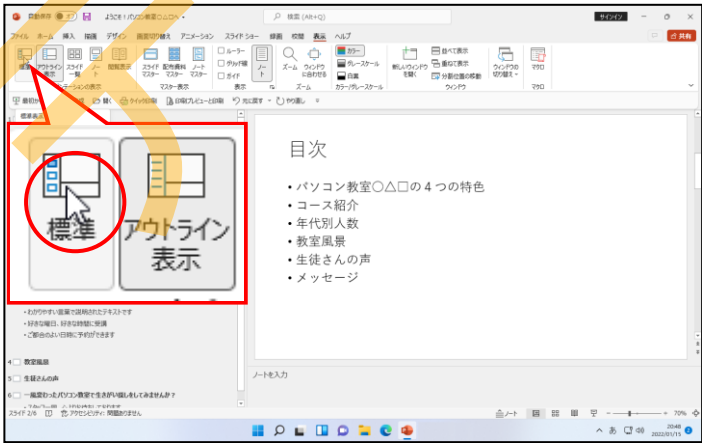
注意!

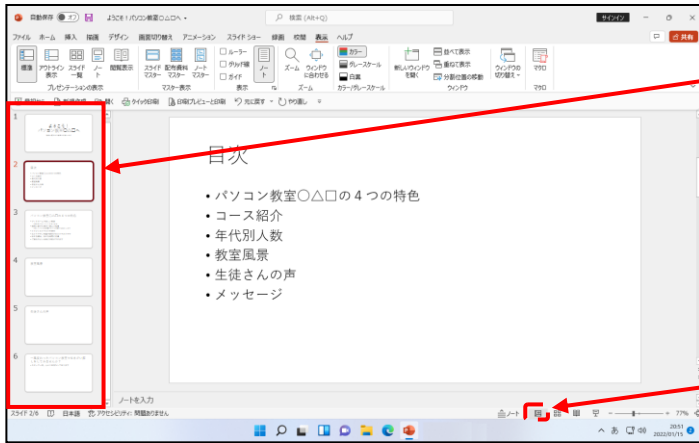
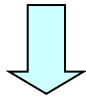
●パソコンによっては、[上へ移動(U)] と表示されている場合がありますが、同じ役割の操作になります。



● [1つ上のレベルへ移動(U)] をクリックすると、「教室風景」が1つ上に移動し、「生徒さんの声」と項目が入れ替わりました。

[表示] タブが選択されていることを確認し、[プレゼンテーションの表示] グループ内の [標準] ボタンにポイントし、クリックします。





●アウトライン表示が、元のスライドのサムネイル（縮小）表示に戻りました。

余裕があれば読んでね

●画面右下の  [標準] ボタンをクリックしても同じ操作になります。

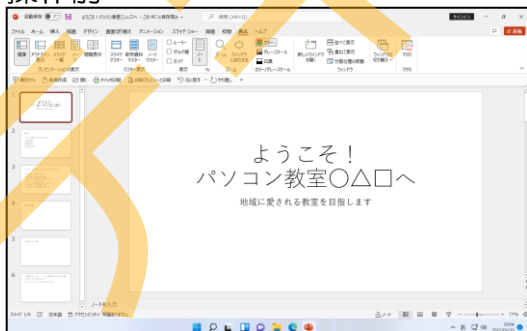
次の操作のために、スライド1を表示しておきましょう。

⑦ スライド一覧表示に切り替える

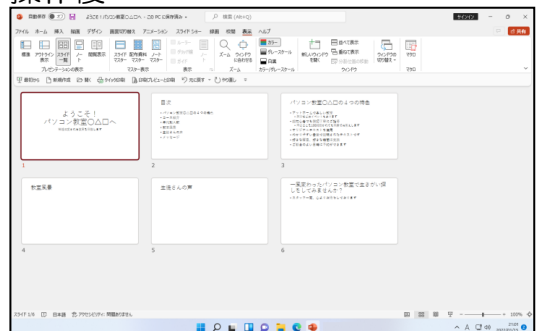
プレゼンテーションの画面表示を、スライド一覧表示モードに変更しておくことで、プレゼンテーション全体が確認でき、目的のスライドを選択しやすくなります。ここでは画面を標準表示モードから、スライド一覧表示モードに切り替えてみましょう。

◆スライド一覧表示に切り替える方法をマスターしましょう。

操作前

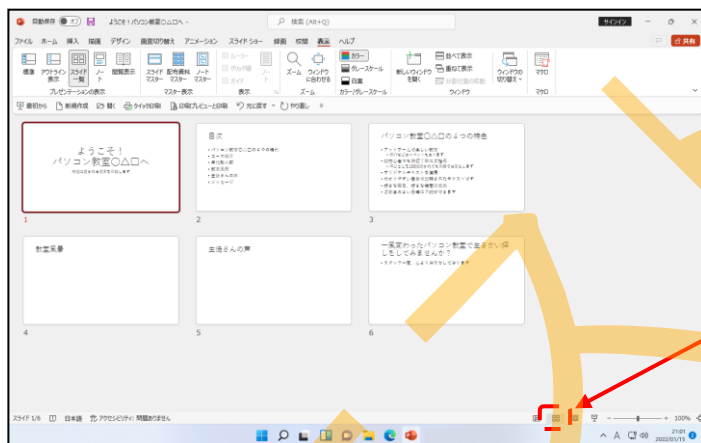
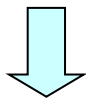
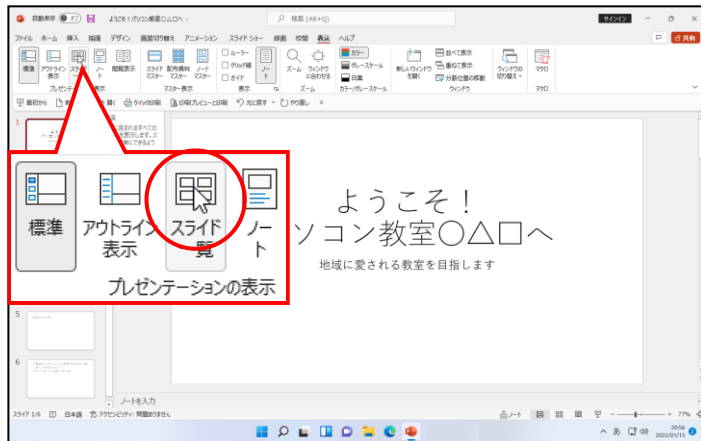


操作後



操作は次ページからです!

[表示] タブが選択されていることを確認し、[プレゼンテーションの表示] グループ内の [スライド一覧] ボタンにポイントし、クリックします。



- [スライド一覧] ボタンをクリックすると、スライドの一覧が表示されます。

余裕があれば読んでね

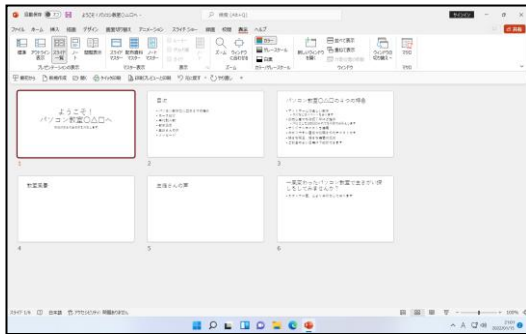
- 画面右下の [スライド一覧] ボタンをクリックしても同じ操作になります。

⑧ スライドの削除

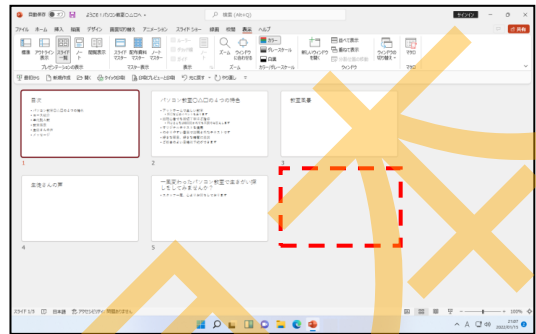
プレゼンテーションを作成した後に、このスライドはいらないと思うことが出てくる場合があります。そのような場合も不要なスライドを簡単に削除することができます。1枚目のスライド「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」を削除してみましょう。

◆スライドを削除する方法をマスターしましょう。

操作前



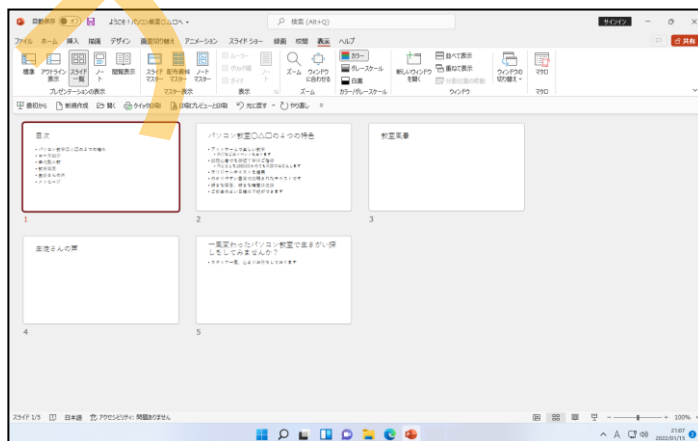
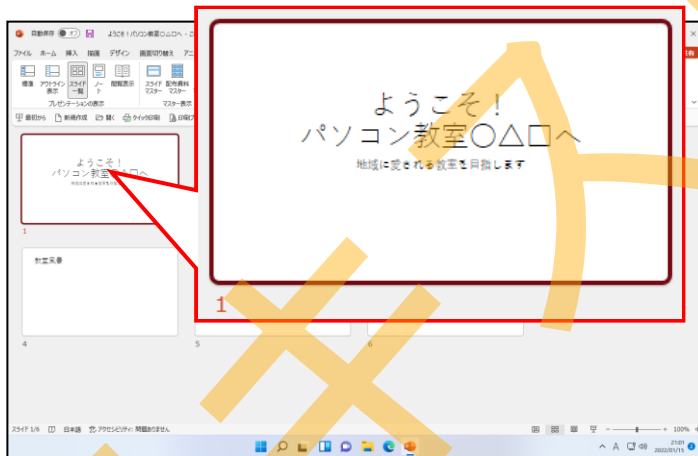
操作後



注意!

操作は下からです！

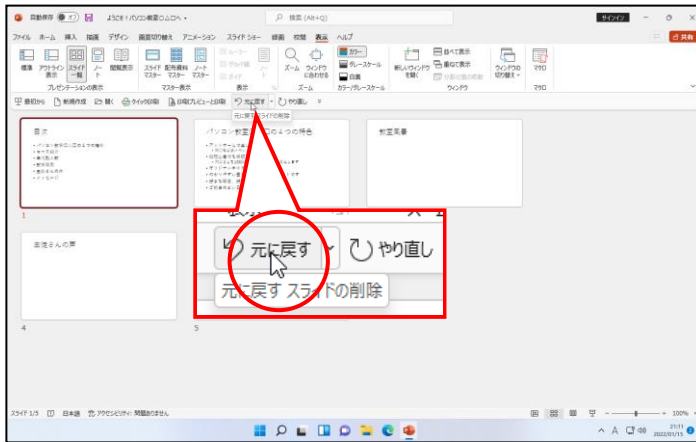
スライド1が選択されていることを確認し、[Delete] キーを押します。



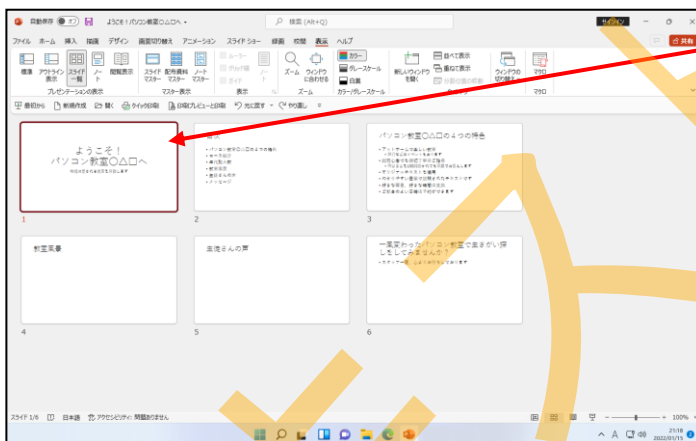
● [Delete] キーを押すと、スライド1が削除されました。

◎ 削除したスライドを元に戻し、表示を「標準表示」にしておきましょう。

削除したスライドを元に戻すために、[クイックアクセス] ツールバーにある [元に戻す] ボタンにポイントし、クリックします。

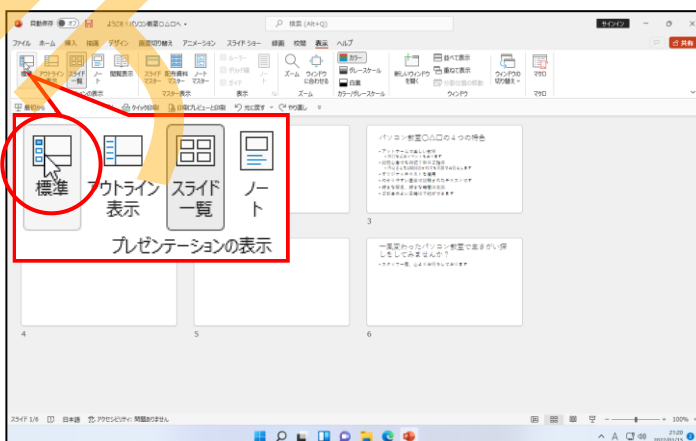


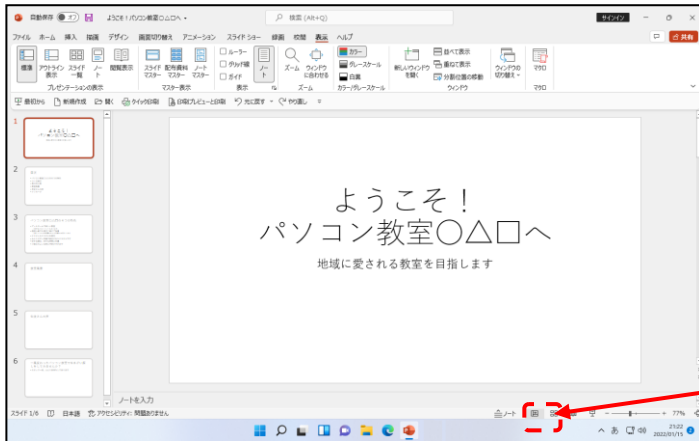
●クイックアクセスツールバーに、
[元に戻す] ボタンが表示されていない方は、P235 を参照してボタンを追加しておきましょう。



●削除したスライドが元に戻りました。

「スライド一覧表示」から、「標準表示」に戻すため、[表示] タブ、[プレゼンテーションの表示] グループ内の [標準] ボタンにポイントし、クリックします。





- [標準] ボタンをクリックすると、標準表示に切り替わりました。

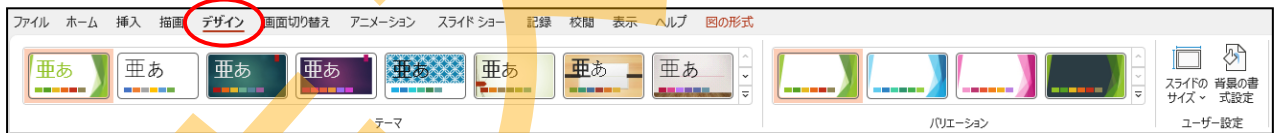
余裕があれば読んでね

- 画面右下の [標準] ボタンをクリックしても同じ操作になります。

⑨ スライドのデザイン変更

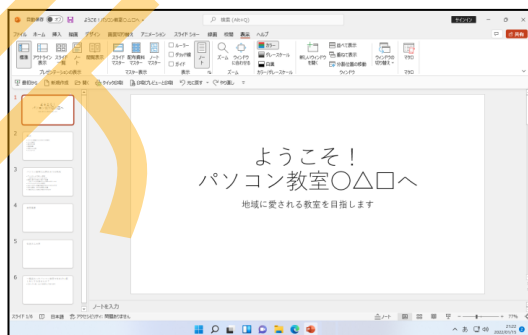
パワーポイント（PowerPoint）には、スライドの背景のデザインや文字の書式などのサンプルが豊富に用意されており、このサンプルを「デザインテンプレート」といいます。スライドのデザインなどを変更するには、[デザイン] タブを使います。

■ [デザイン] タブ

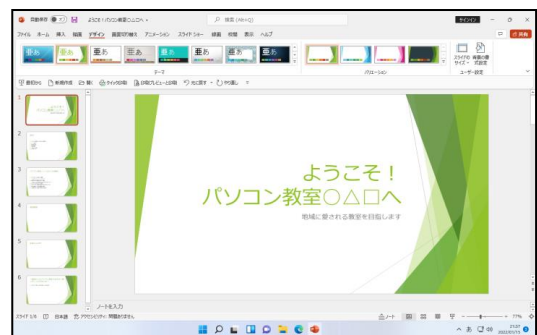


◆スライドのデザインを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



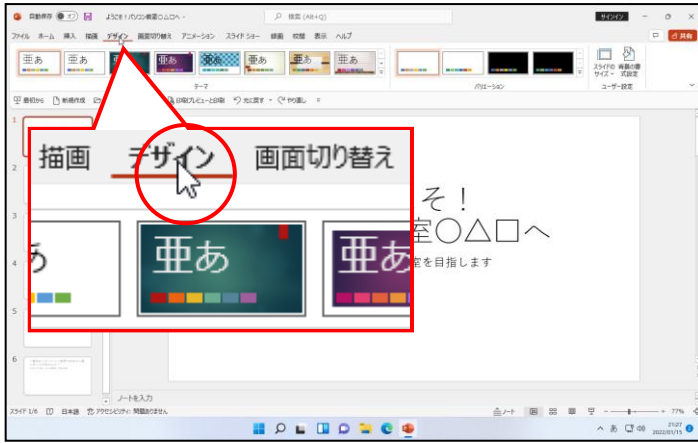
操作後



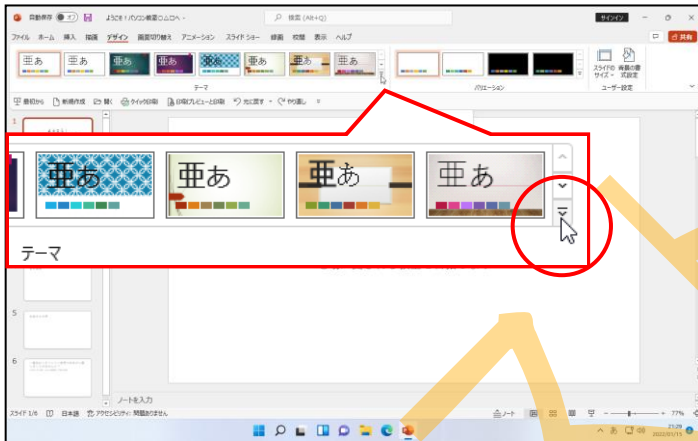
注意!

操作は次ページからです!

画面左上にある [デザイン] タブにポイントし、クリックします。

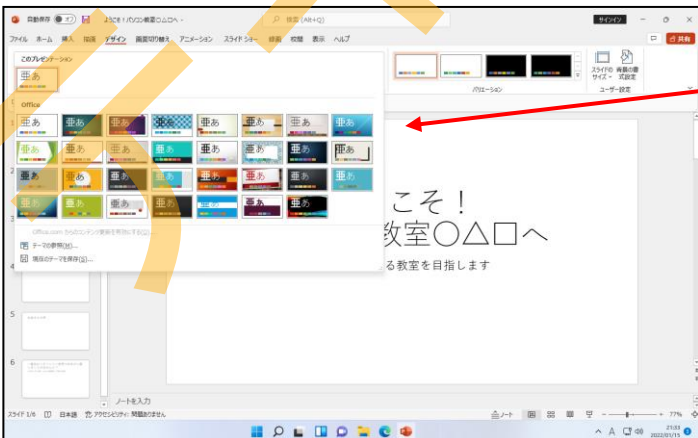
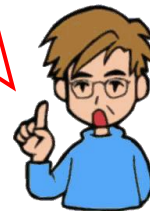


[テーマ] グループ内の ▾ [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



● リボンが表示されていない方は、
P238 リボンの表示オプションの変更
を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ

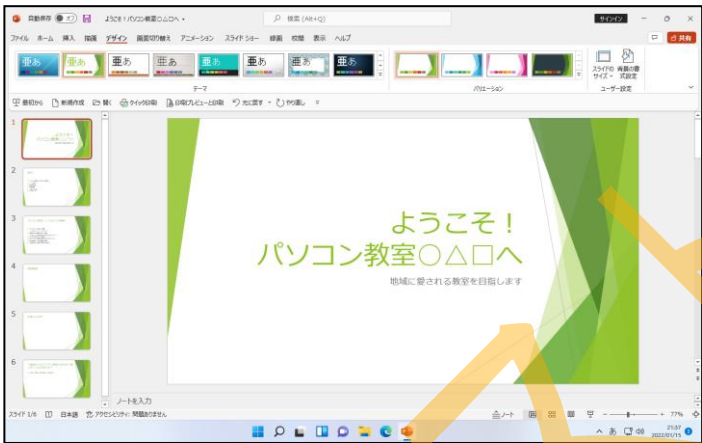


● ▾ [その他] ボタンをクリックすると、左のようにデザインテンプレートの一覧が表示されます。

表示された一覧から、「ファセット」にポイントし、クリックします。



●目的のデザインテンプレートにポイントすると、デザインテンプレートの名前がポップヒントとして表示されます。



●すべてのスライドにデザイン「ファセット」が適用されました。

スライドを縦向きにする方法 P64

配色を変更する方法 P65

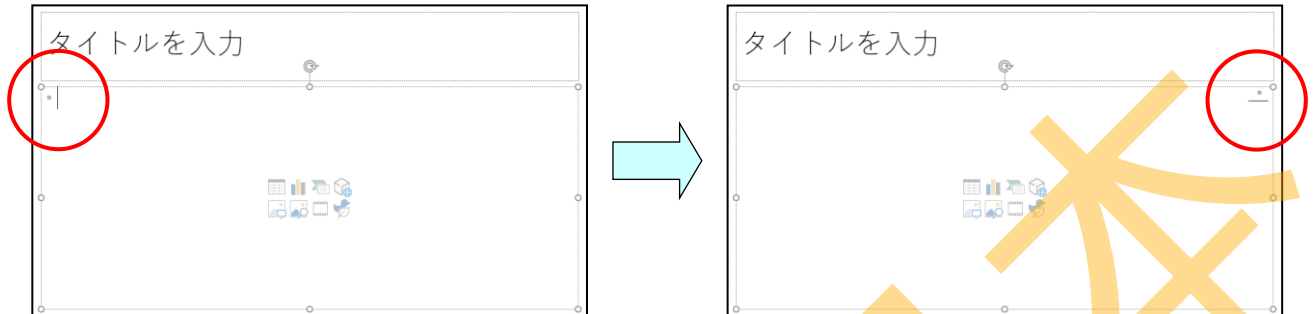
上書き保存をし、次の操作のために、[ホーム] タブを選択しておきましょう。

●補足説明（その2）P62～P65

●P44 文字を縦書きに入力する方法

縦書きにしたいプレースホルダーをクリックして【ホーム】タブをクリックします。

【段落】グループ内の ↓↕ ~ 【文字列の方向】 ボタンをクリックし、下に表示される一覧より【縦書き(V)】をクリックします。



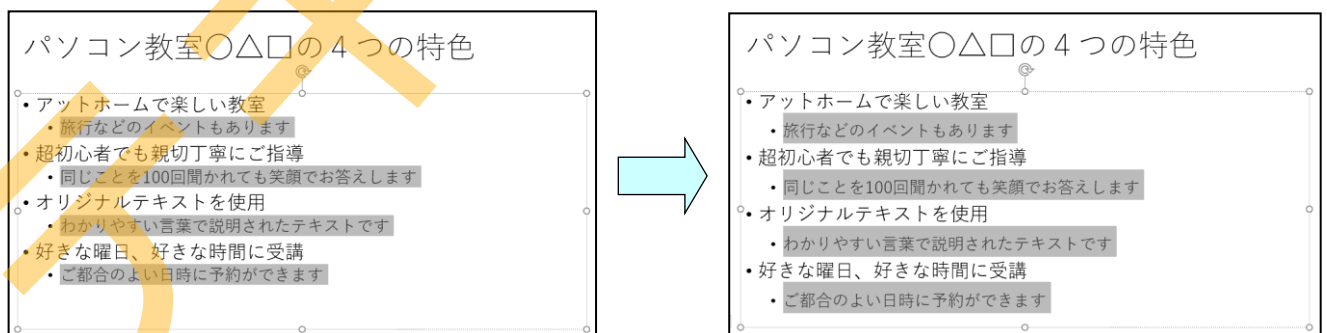
●P49 行間を変更する方法

行と行の間隔のことを「行間」といいます。行間がつかまっていたら、スライドも見にくい場合があります。その場合は行間を広げることができます。箇条書きを使用している場合、行間を調整するとバランスが良くなります。箇条書きの項目が少ない場合などに利用すると便利です。

行間を広げたい段落を選択、もしくは段落内にカーソルを移動します。

【ホーム】タブの、【段落】グループ内の ≡↓ ~ 【行間】 ボタンにポイントし、表示される一覧から任意の行間をクリックします。

右下の図では、行間を「1.5」に広げています。



●P52 スライドの折りたたみと展開

プレゼンテーションを作成する途中で見直しをしたい場合、アウトライン表示では、画面左側にすべての文字が表示されているので、見直しが困難になります。ここで、見出し部分だけを表示するようにしてみましょう。

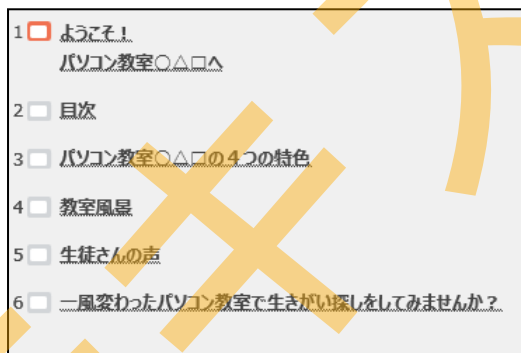
■ スライドの折りたたみ

- ① アウトライン表示になっていることを確認します。
- ② 折りたたみたいスライド内で右クリックし、表示される一覧から **— [折りたたみ(C)]** の右にある **>** にポイントし、さらに右側に表示される **— [折りたたみ(C)]** をクリックすると、選択したスライドのみが折りたたまれます。
- ③ スライド内で右クリックし、表示される一覧から **— [折りたたみ(C)]** の右にある **>** にポイントし、さらに右側に表示される **≡ [すべて折りたたみ(C)]** をクリックすると、すべてのスライドが折りたたまれます。

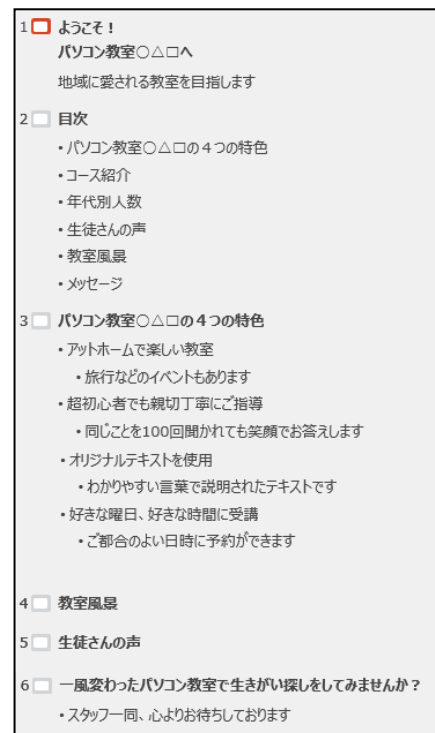
■スライドの展開

- ① 展開したいスライド内で右クリックし、表示される一覧から **+ [展開(E)]** の右にある **>** にポイントし、さらに右側に表示される **+ [展開(E)]** をクリックすると、選択したスライドのみが展開されます。
- ② スライド内で右クリックし、表示される一覧から **+ [展開(E)]** の右にある **>** にポイントし、さらに右側に表示される **≡ [すべて展開(E)]** をクリックすると、すべてのスライドが展開されます。

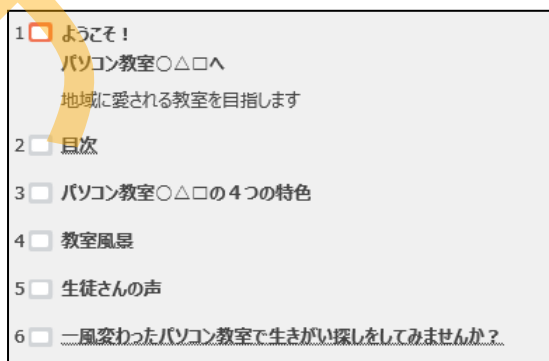
すべて折りたたまれた状態



すべて展開された状態




スライド1のみ展開された状態



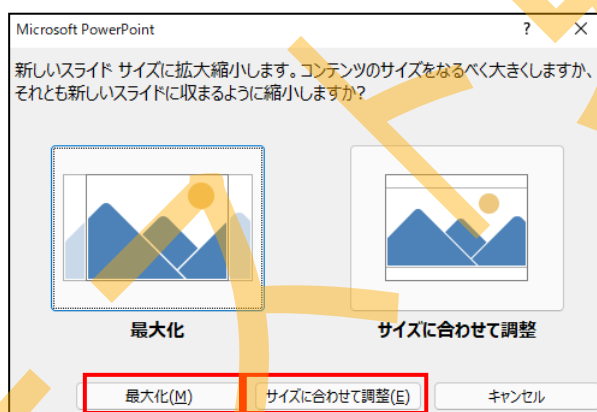
●P61 スライドを縦向きにする方法

※ [ドキュメント] フォルダーに保存しているプレゼンテーション、「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」を使用しています。

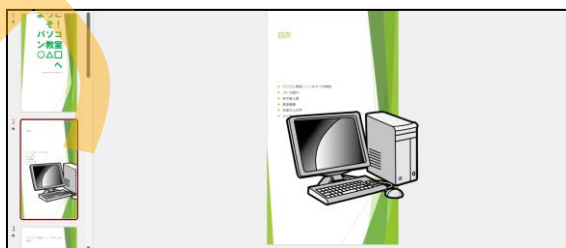
[デザイン] タブをクリックし、[ユーザー設定] グループ内の  [スライドのサイズ] ボタンをクリックし、下に表示されるメニューから [ユーザー設定のスライドのサイズ(C)...] をクリック。[スライドのサイズ] ダイアログボックスが表示されるので、「印刷の向き」の「スライド」で、[縦(P)] をクリックし、[OK] ボタンをクリック。



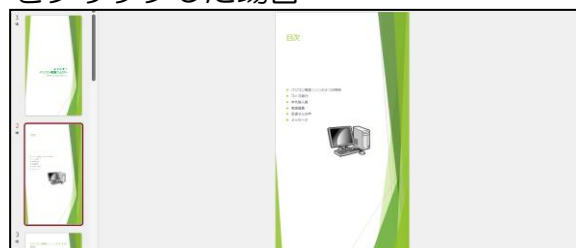
[Microsoft PowerPoint] ダイアログボックスが表示されるので、いずれかを選択します。



[最大化 (M)] ボタンをクリックした場合



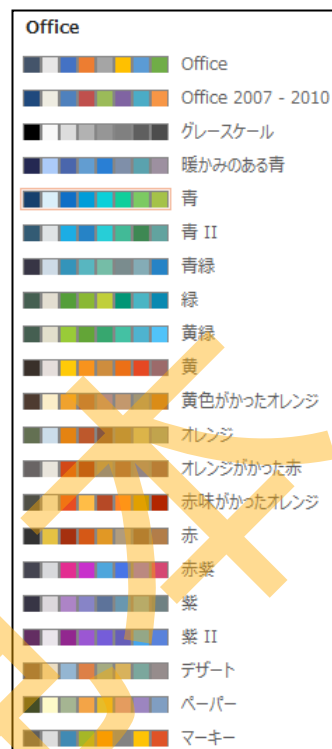
[サイズに合わせて調整 (E)] ボタンをクリックした場合



●P61 配色を変更する方法

[デザイン] タブをクリックし、[バリエーション] グループ内の
の ▾ [その他] ボタンをクリックし、下に表示される一覧から
■ [配色 (C)] にポイントし、表示される一覧から任意の配色を
選びます。(右図)

(下図は、「青」を選択しています。)



[バリエーション] グループ内の ▾ [その他] ボタンをクリックし、下に表示される一覧
から 🖼️ [背景のスタイル] にポイントし、表示されるスタイルの一覧から任意のスタイル
を選びます。(下図は、「スタイル 2」を選択しています。)



(2) 文字の書式設定

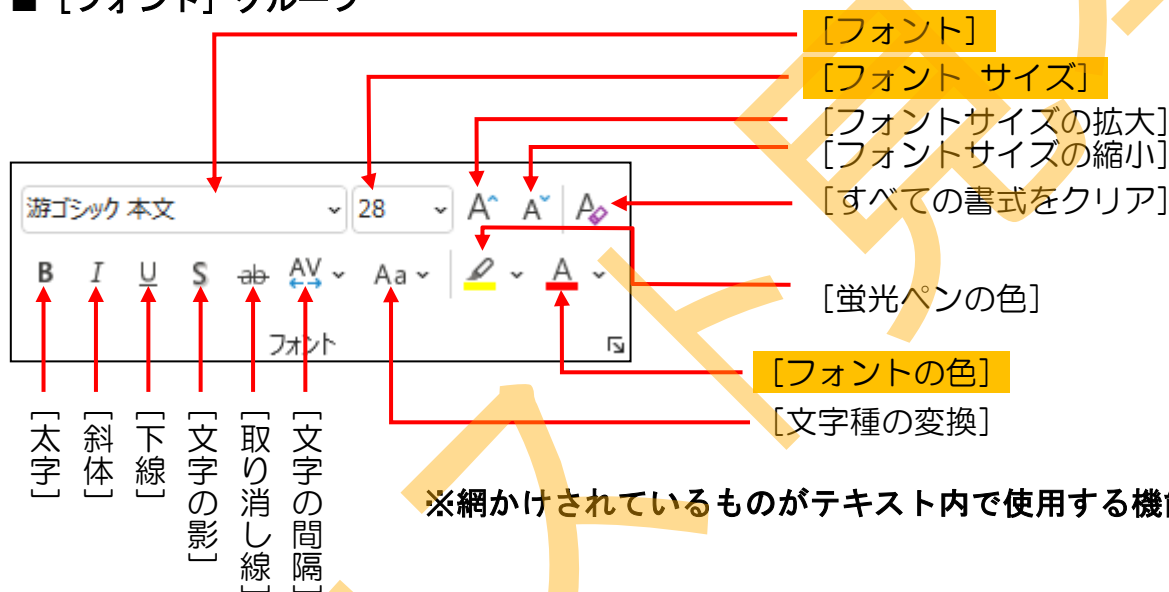
文字の**大きさ**、**色**、**書体**などは、必要に応じて変更することができます。プレゼンテーションの内容に合わせて文字の書式を設定すると、重要な部分を強調したり、バランスを調整したりできるので、内容を的確に伝えるために役立ちます。

① フォント（文字の書体）の変更

ここで覚えていただくのは【ホーム】タブの【フォント】グループを使った文字の書式設定の変更です。



■ 【フォント】グループ



タイトルの「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」のフォントを「HGS 創英角ゴシック UB」に変更してみましょう。

◆フォントを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

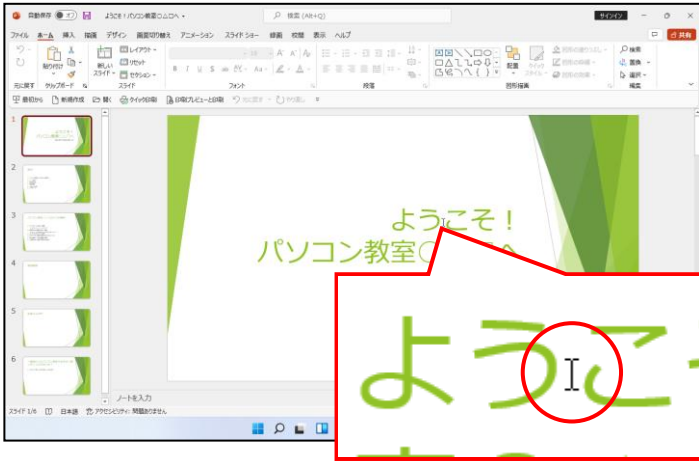


操作後

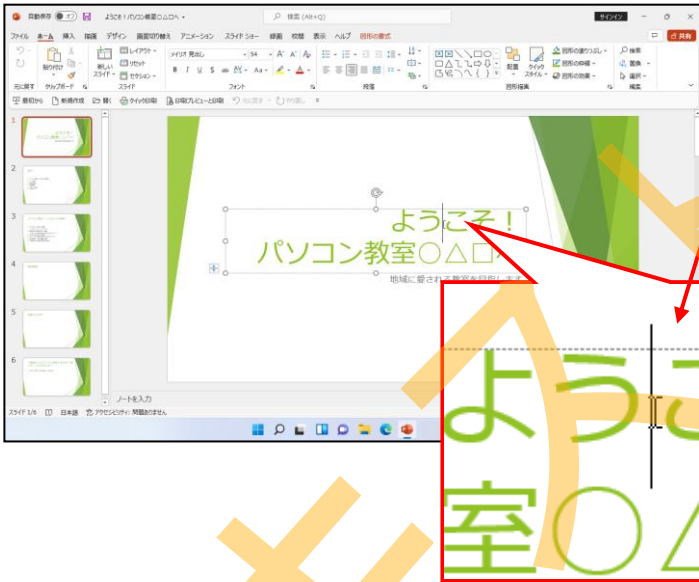


操作は次ページからです！

「ようこそ!～」と書かれている文字の上にポイントし、クリックします。

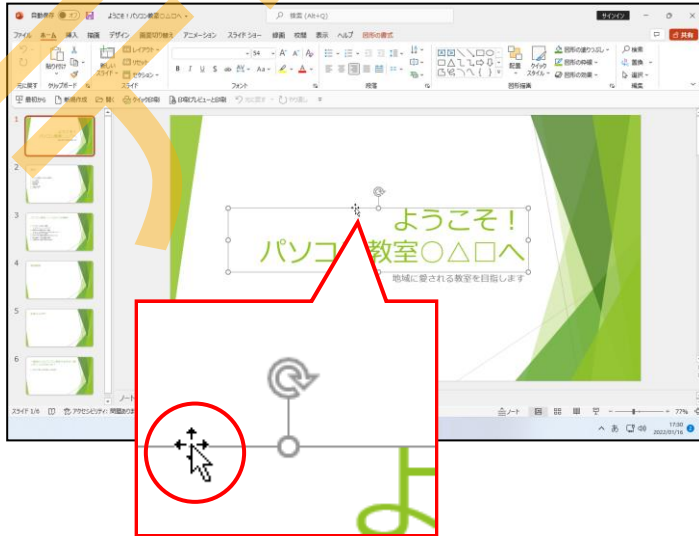


●文字の上にポイントすると、マウスポインターは I の形になります。




●文字の上をクリックすると、プレースホルダーが表示され、カーソルが点滅します。その際のプレースホルダーの枠は、点線になります。

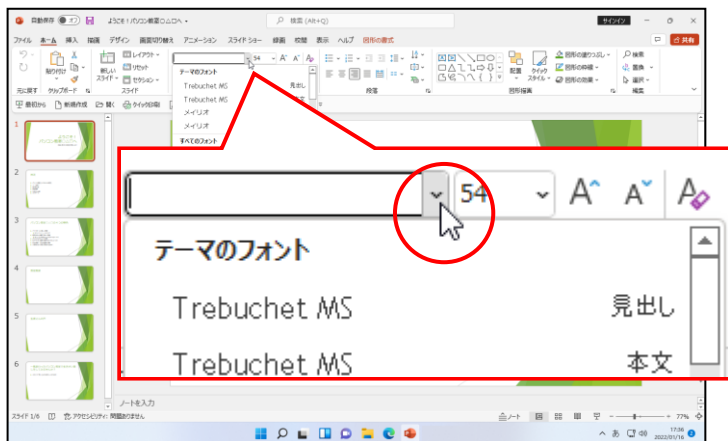
タイトルのプレースホルダーを選択しましょう。



注意!

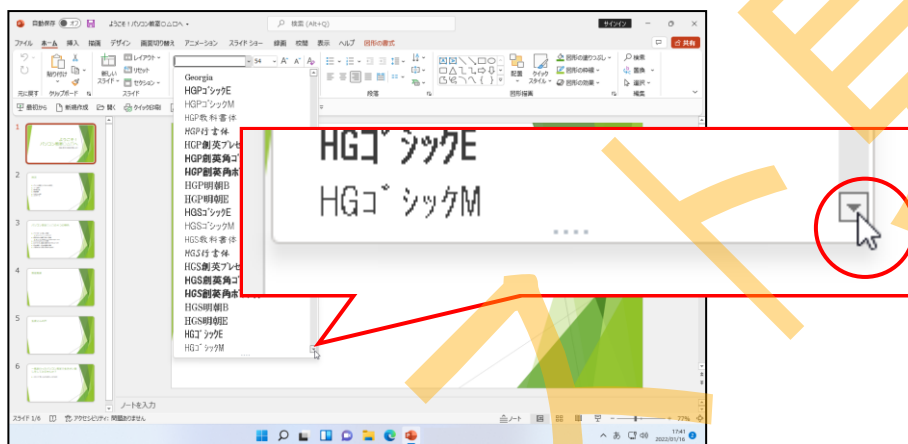
- プレースホルダー内にカーソルが表示されていないことを確認しましょう。
- プレースホルダーにポイントすると、マウスポインターは  の形になります。クリックすると、プレースホルダーの枠は実線になります。

[ホーム] タブが選択されていることを確認し、[フォント] グループ内の [フォント] ボックスの横にある ▼ にポイントし、クリックします。

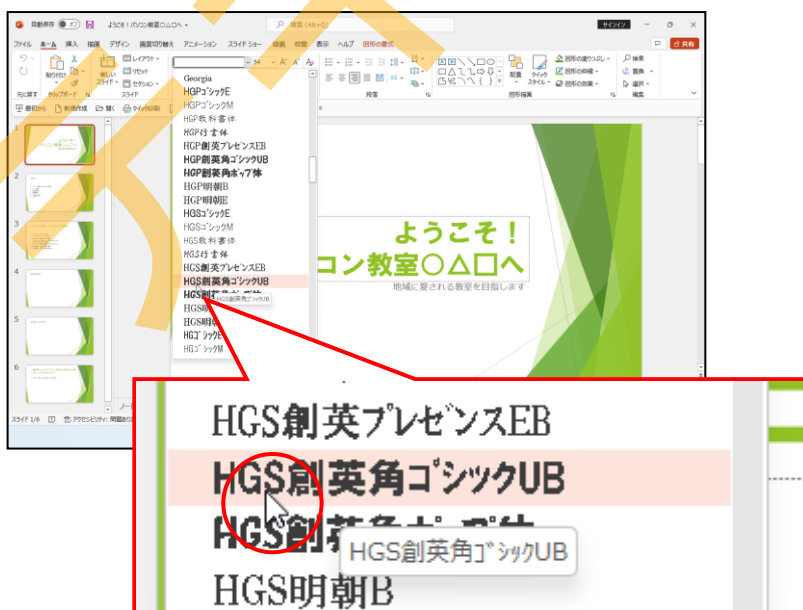


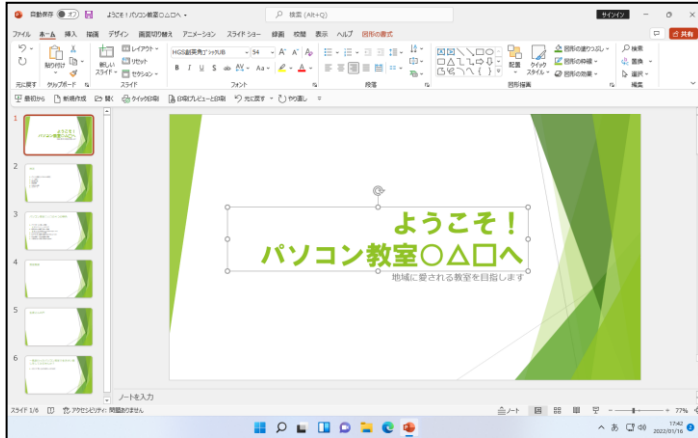
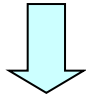
● [ホーム] タブが選択されていない方は、[ホーム] タブをクリックして選択しておきましょう。

表示された一覧から、「HGS 創英角ゴシック UB」が表示されるまで ▼ をクリックします。



「HGS 創英角ゴシック UB」にポイントし、クリックします。





- フォントが「HGS 創英角ゴシック UB」に変更されました。

② フォントサイズ（文字の大きさ）の変更

文字の大きさのことを「フォントサイズ」といいます。フォントサイズを変更すると、スライドのバランスを整えたり、目立たせたい文字を大きくしたりして、見やすいスライドを作成することができます。

1枚目のスライドのタイトルのフォントサイズを小さくしてみましょう。

◆フォントサイズを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



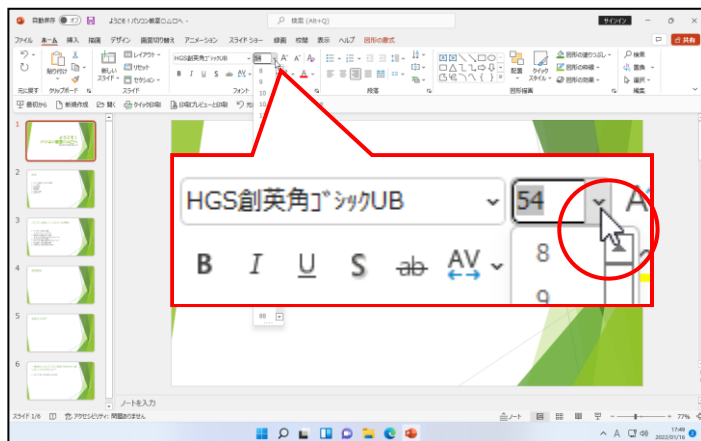
操作後



注意!

操作は次ページからです!

タイトルのプレースホルダーが選択されていることを確認し、[フォント] グループ内の
54 [フォントサイズ] ボックスの横にある ▼ にポイントし、クリックします。

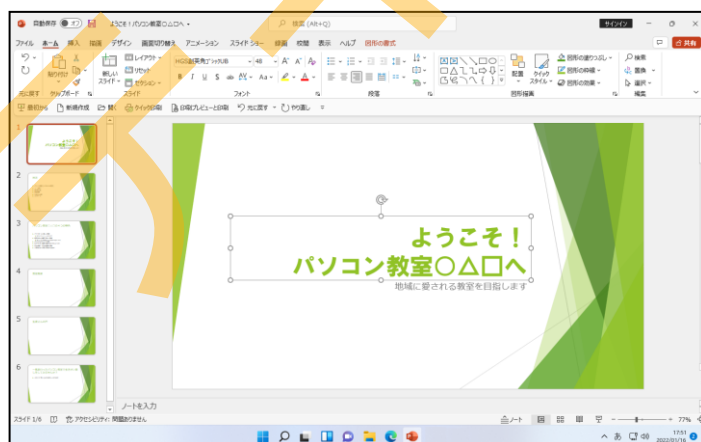
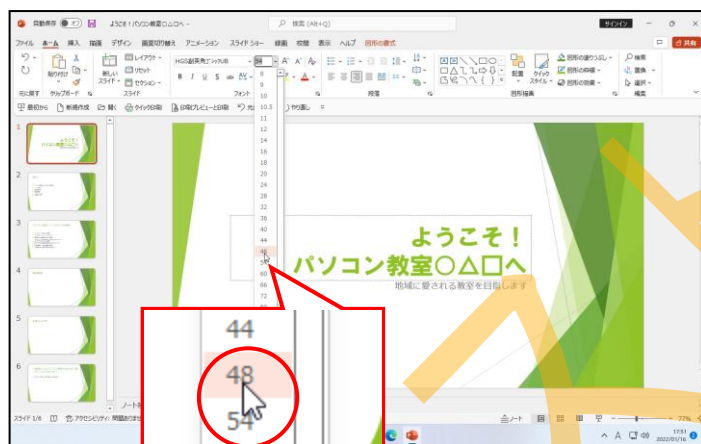


●プレースホルダーが選択されていない場合は、選択しておきましょう。

注意!

●プレースホルダー内にカーソルが表示されていないことを確認しましょう。

表示された一覧から「48」にポイントし、クリックします。



●フォントサイズが小さくなりました。

③ フォントの色（文字の色）の変更

文字の色を変更すると、文字がより強調され、変化を付けることができます。デザインテンプレートを適用すると、自動的に文字の色が設定されますが、自分の好みに応じて変更することもできます。

1枚目のタイトルプレースホルダーのフォントの色を変更してみましょう。

◆フォントの色を変更する方法をマスターしましょう。

操作前



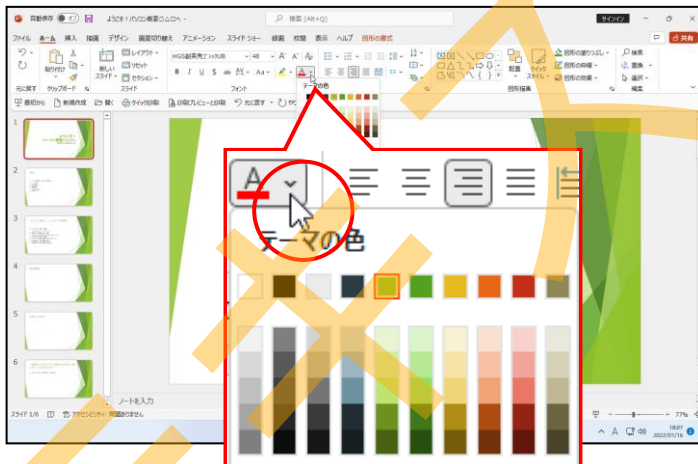
操作後



注意!

操作は下からです!

タイトルのプレースホルダーが選択されていることを確認し、[フォント] グループ内の **A** [フォントの色] ボタンの横にある **v** にポイントし、クリックします。

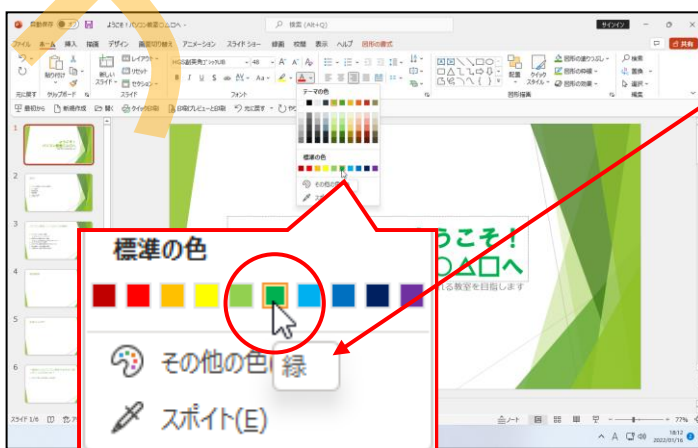


●プレースホルダーが選択されていない場合は、選択しておきましょう。

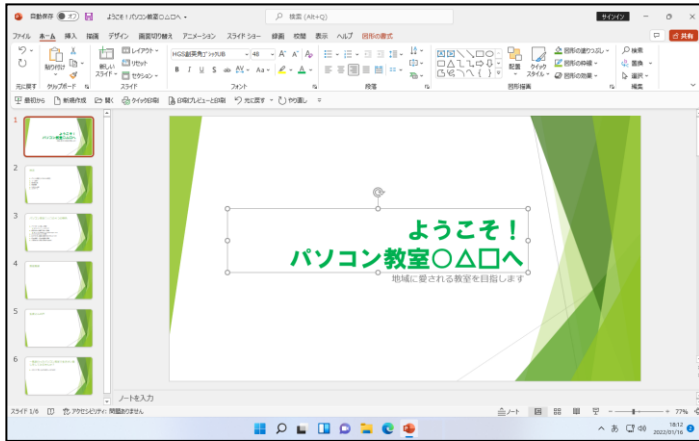
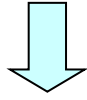
注意!

●プレースホルダー内にカーソルが表示されていないことを確認しましょう。

表示された色の一覧から「緑」にポイントし、クリックします。



●該当の色にポイントすると、左図のように色の名前が表示されます。



●フォントの色が変わりました。

文字を1行に収める方法

P72

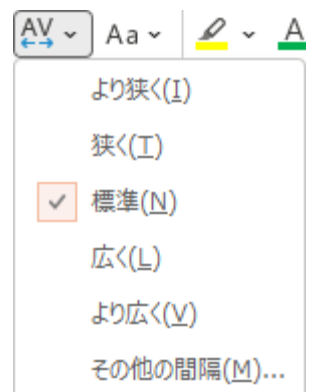
次の操作のために上書き保存をして、パワーポイントの画面を閉じておきましょう。

●補足説明（その3） P72

●P72 文字を1行に収める方法

文字が1行に収まらなかったときに、文字間隔を変えて1行に収めることができます。

文字が入力されている段落を範囲選択し、[ホーム] タブの [フォント] グループ内の AV ▾ [文字の間隔] ボタンをクリックし、表示される一覧から任意で選びます。



☆☆ここまでくれば、練習問題1で理解度を試して下さい。☆☆

6. プレゼンテーションの素材の編集

プレゼンテーションを実際に行うための素材集め？

ウメさん「スライドに文字を入れたり、ってというのはなんとなく理解はできたんだけど、今からが大変そうね。」

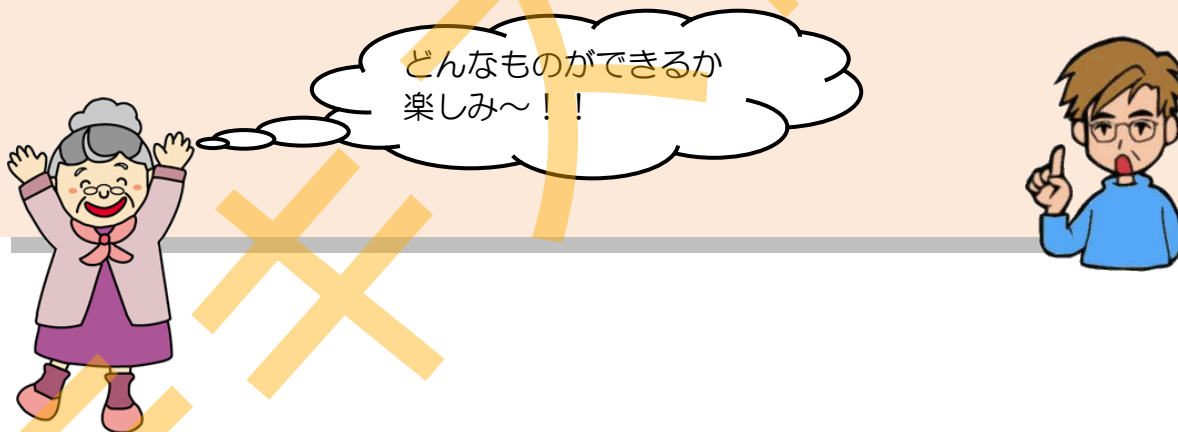
くじら先生「実際にプレゼンテーションを行うためには、相手にわかりやすく伝えるために、必要な参考資料を集める必要があります。」

ウメさん「パソコン教室をアピールする資料って何かしら？」

ケンちゃん「来てもらうために、まずどんなコースがあって月謝がいくらかかるか知りたいですね。」

ウメさん「教室のどういうところが気に入っているか実際通われている方の声ってのも必要かしら・・・」

くじら先生「そうですね。ウメさんもケンちゃんも色々案を出してくれましたね。そういった素材を1つ1つここで作っていきましょう。」



プレゼンテーションの基本操作や、プレゼンテーションを構成するスライドの操作、編集、スライド内の文字の書式設定などは理解できたと思います。

実際にプレゼンテーションを行うには、それに必要な参考資料を集めなければなりません。プレゼンテーションを相手にわかりやすく伝えるには、図形やイラストやグラフが必要になります。これからは、1枚1枚のスライドに挿入する、スマートアートSmartArtや表、イラスト、グラフなどの挿入方法を説明します。

スマートアート (1) SmartArtの挿入

スマートアート
SmartArtグラフィックは、情報を視覚的に表現したものです。組織図や作業の流れなど多くの種類のグラフィックが用意されています。SmartArtグラフィックを活用すると、メッセージなどを効果的に伝えることができます。

スマートアート
5枚目のスライドに下図のようなSmartArtを挿入し、続いて3枚目のスライドの箇条書き設定をSmartArtに変換してみましょう。

【完成例1】

生徒さんの声

- はじめは電源を入れることすら分からなかったのですが、徐々に色々なことが出来だし、楽しくなりました。先生は何回聞いても笑顔で答えてくれるので、気兼ねなく聞けます。今では友達が大勢でき、ここへ来るのが楽しみになりました。
- 自治会の役に当たり、慌ててこちらに入会。最初はパソコンを習うのが目的でしたが、教室の家庭的な雰囲気と居心地の良さを覚え、もう8年も通っています。無料喫茶コーナーもあり、美味しいコーヒーを飲みながら皆さんとの団欒がとても楽しいです。

70代男性
Nさん

60代男性
Kさん

【完成例2】

パソコン教室○△□の4つの特色

- アットホームで楽しい教室
 - 旅行などのイベントもあります
- 超初心者でも親切丁寧にご指導
 - 同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします
- オリジナルテキストを使用
 - わかりやすい言葉で説明されたテキストです
- 好きな曜日、好きな時間に受講
 - ご都合のよい日時に予約ができます

① SmartArtの挿入

SmartArt を選択すると、^{スマートアート} [SmartArtのデザイン] タブと [書式] タブが [ヘルプ] タブの右側に表示されます。この2つのタブを使って書式設定を説明していきます。

■ [SmartArtのデザイン] タブ



■ [書式] タブ



スライド5を表示し、「^{スマートアート}画像付きカード型リスト」というSmartArtを挿入しましょう。

◆ SmartArtを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



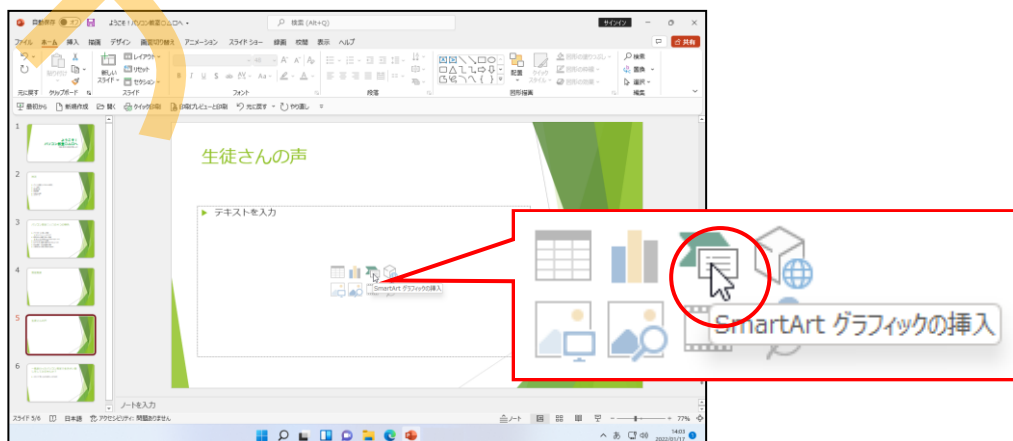
操作後

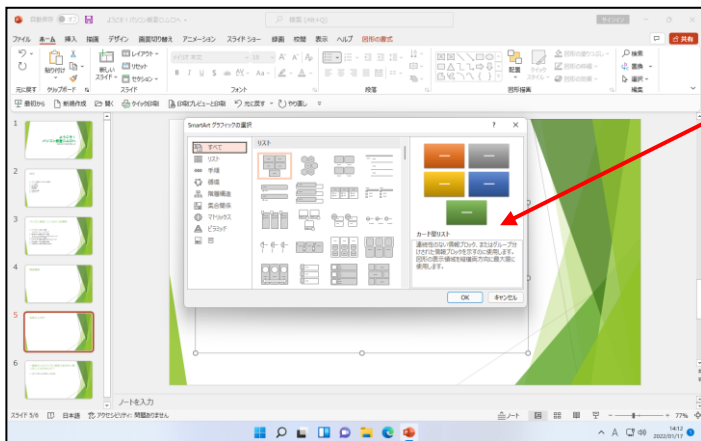


注意!

操作は下からです！

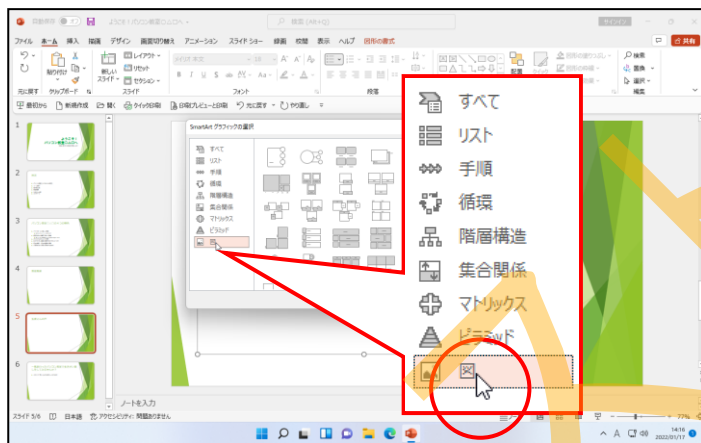
USB メモリーに保存した「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」を開いて、スライド5を選択し、スライド中央にある ^{スマートアート} [SmartArtグラフィックの挿入] ボタンにポイントし、クリックします。



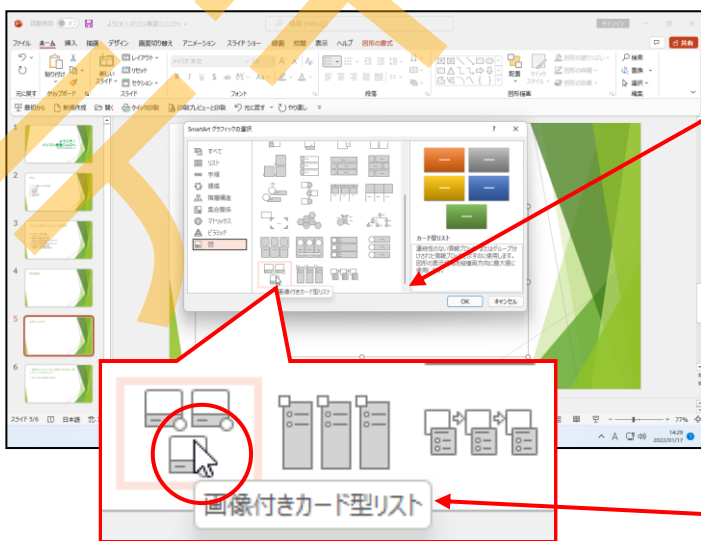


- **スマートアート**
[SmartArtグラフィックの挿入] ボタンをクリックすると、
スマートアート
[SmartArtグラフィックの選択] ダイアログボックスが表示されます。それと同時に [図形の書式] タブが表示されます。

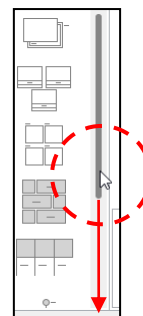
スマートアート
[SmartArtグラフィックの選択] ダイアログボックスの、左側にある「図」にポイントし、クリックします。



表示された一覧から、「画像付きカード型リスト」にポイントし、クリックします。

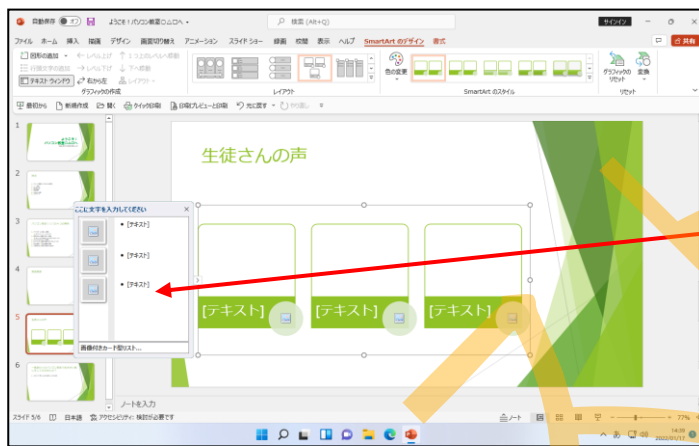
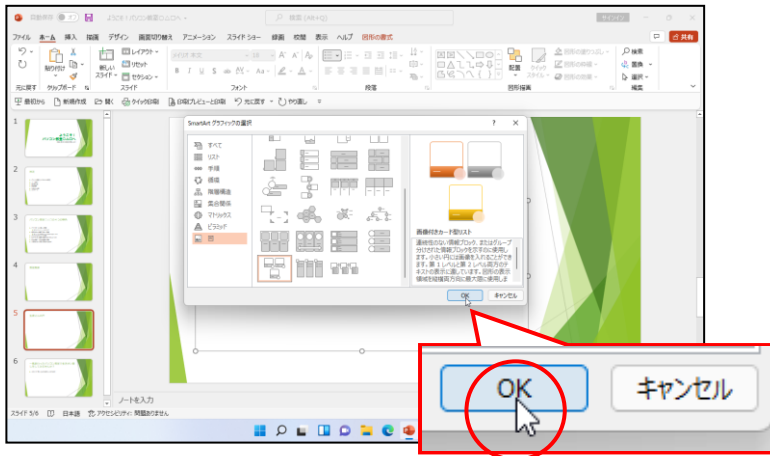


- 「画像付きカード型リスト」は一番下にあるので、グレーのバーをドラッグして表示させましょう。




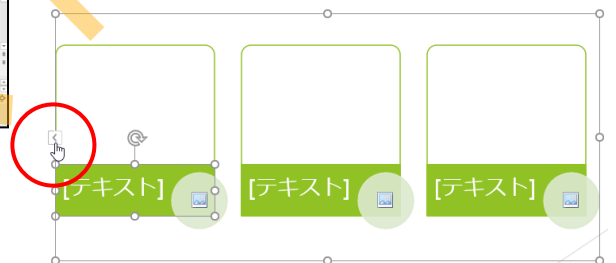
- **スマートアート**
SmartArtにポイントすると、それぞれの名前が表示されます。

[OK] ボタンにポイントし、クリックします。



● 「画像付きカード型リスト」のスマートアートが挿入されました。

● [テキストウィンドウ] が表示されていない方は、スマートアートの左側中央の  をクリックしましょう。



② 図形の追加と削除

スマートアート
SmartArtの図形は、追加や削除が自由にできます。ここでは図形を削除したり追加したりしましょう。

スマートアート
◆SmartArt図形を追加したり削除する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

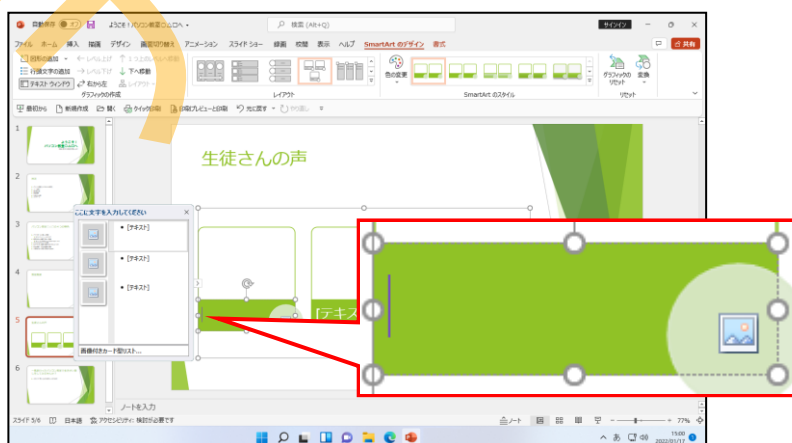
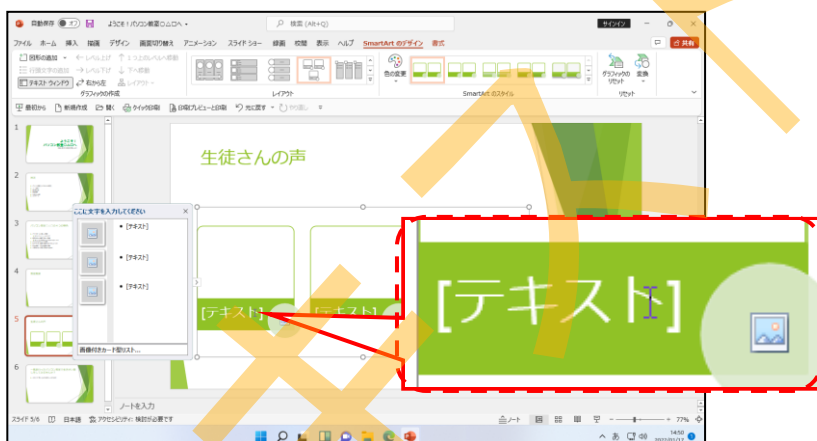


注意!

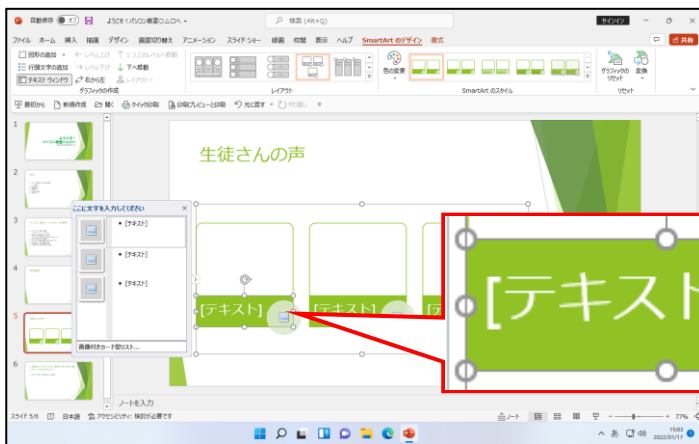
操作は下からです！

まずは、図形を削除しましょう。

一番左側の黄緑色の図形内「テキスト」にポイントし、クリックします。

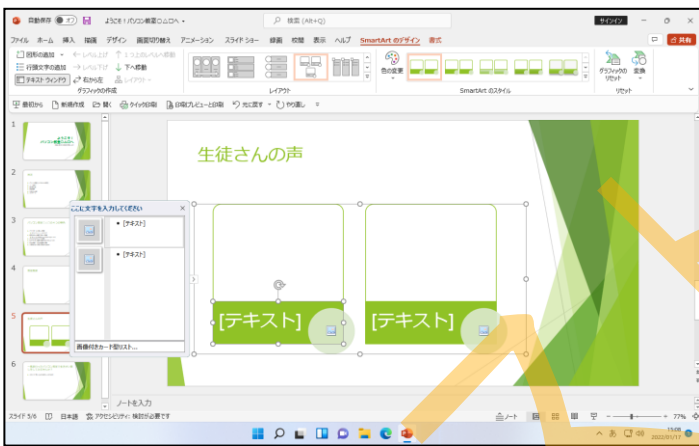


点線の枠にポイントし、クリックします。



● 「テキスト」と書かれた黄緑色の図形が選択されました。

そのまま [Delete] キーを押します。






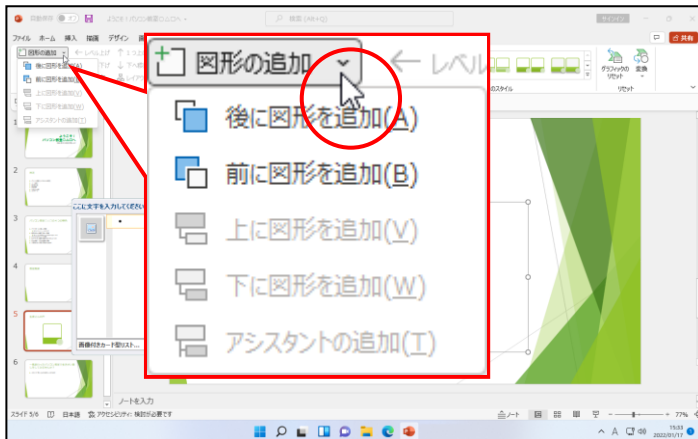
● [Delete] キーを押すと、選択していた図形が削除されました。



同様にして左側の図形も削除してみましょう。



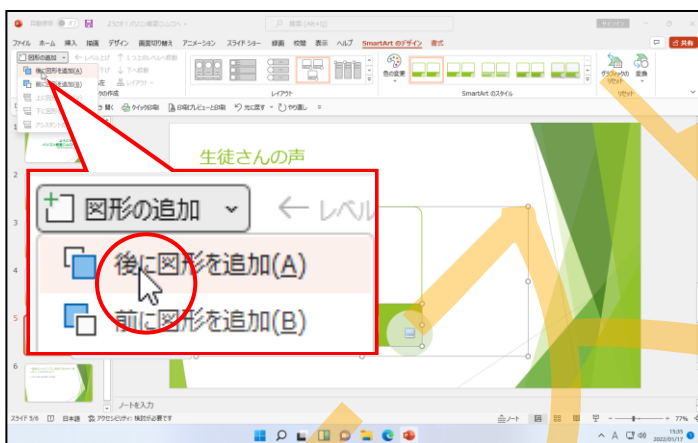
次は、図形を右側に追加してみましょう。

スマートアート
[SmartArtのデザイン] タブが選択されていることを確認し、[グラフィックの作成] グループにある  図形の追加  [図形の追加] ボタンの横の  にポイントし、クリックします。



●後ろに図形を追加したいのか、前に図形を追加したいのかを**選ばずに**直接  図形の追加  [図形の追加] ボタンをクリックすると、パソコンの学習機能により、直前に選択した設定になります。

下に表示された一覧から [後に図形を追加(A)] にポイントし、クリックします。



● [後に図形を追加(A)] をクリックすると、右側に図形が追加されました。

③ 挿入した図形に文字を入力

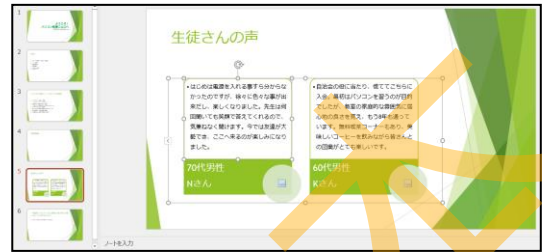
スマートアート
SmartArtの図形の中に、文字を入れることができます。ここではテキストウィンドウというウィンドウを使って文字を図形の中に入れていきましょう。

スマートアート
◆SmartArtの図形の中に文字を入れる方法をマスターしましょう。

操作前



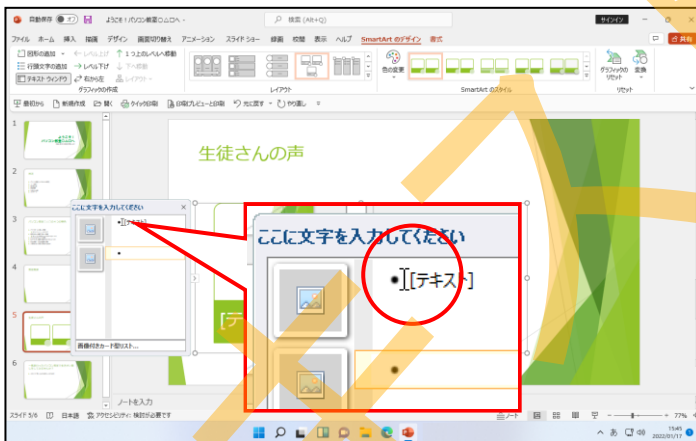
操作後



注意!

操作は下からです!

テキストウィンドウ内の一番上の「・」あたりでポイントし、クリックします。



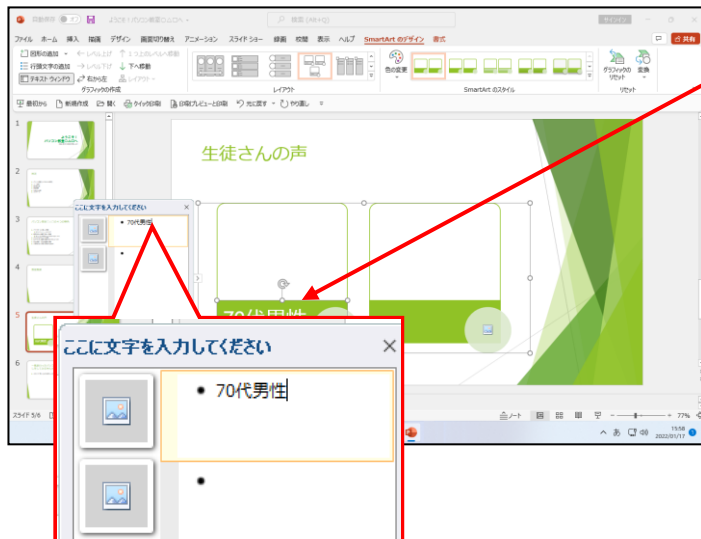
注意!

- テキストウィンドウが表示されていない方は、[SmartArtのデザイン] タブの [グラフィックの作成] グループにある [テキストウィンドウ [テキストウィンドウ]] ボタンをクリックしましょう。



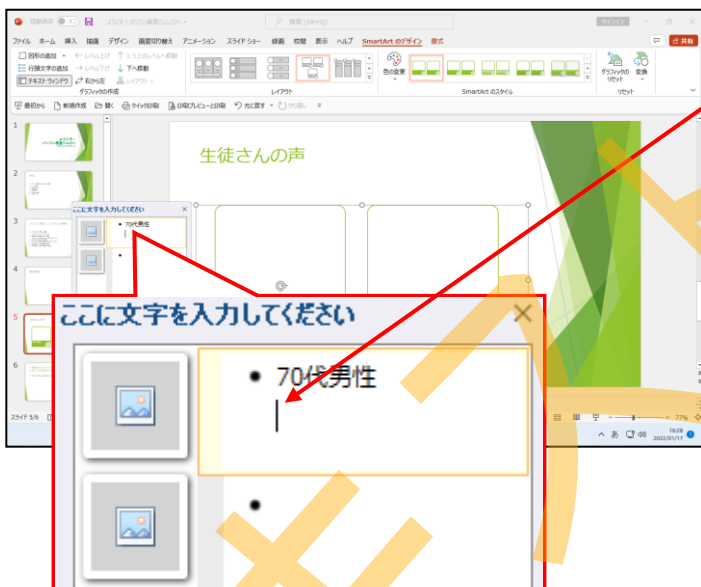
- クリックすると、カーソルが表示されました。

そのまま「70代男性」と入力します。



- パワーポイントでは、プレースホルダーに文字を入力し終わったら、フォントサイズが自動調整されます。最初、文字を入力したら左のように大きく表示されますが、最後に自動調整されるので、気にせず最後まで入力しましょう。

そのまま [Shift] キーを押しながら [Enter] キーを押します。



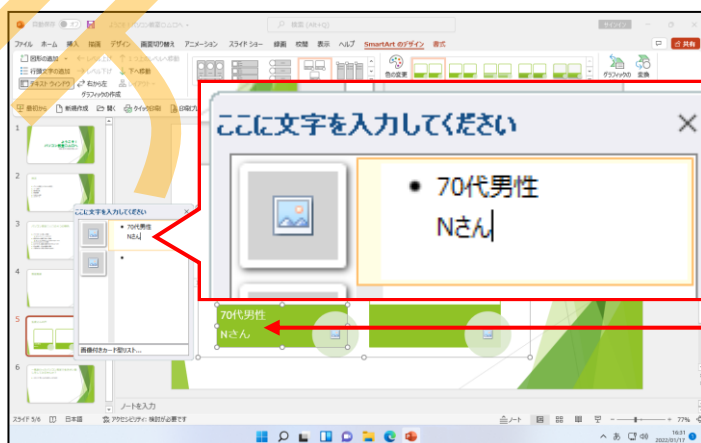
- [Shift] キーを押しながら [Enter] キーを押すと、2行目にカーソルが移動します。

注意!

- [Shift] キーを押さずに [Enter] キーを押すと、下のように入力された内容が追加されてしまうので注意しましょう。

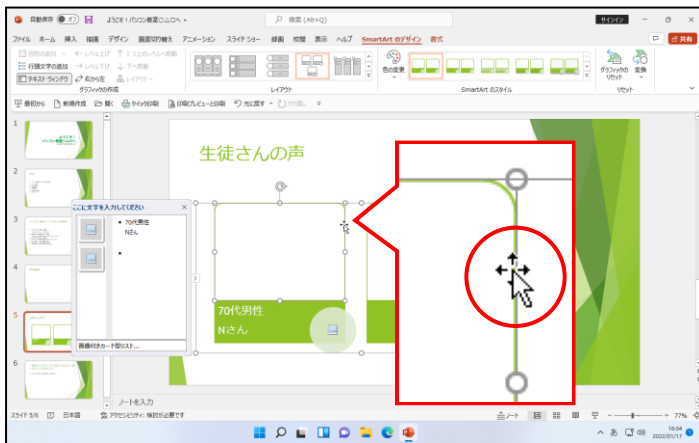


そのまま「Nさん」と入力します。

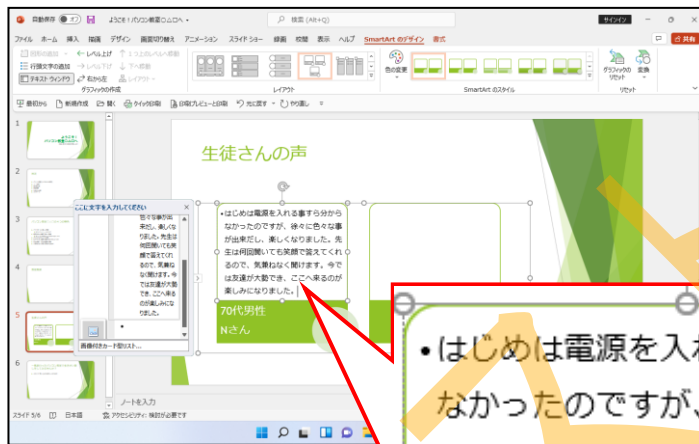


- 左側の黄緑の図形と連動しているので、テキストウィンドウに文字を入力すると、黄緑色の図形内にも同じ内容が反映されます。

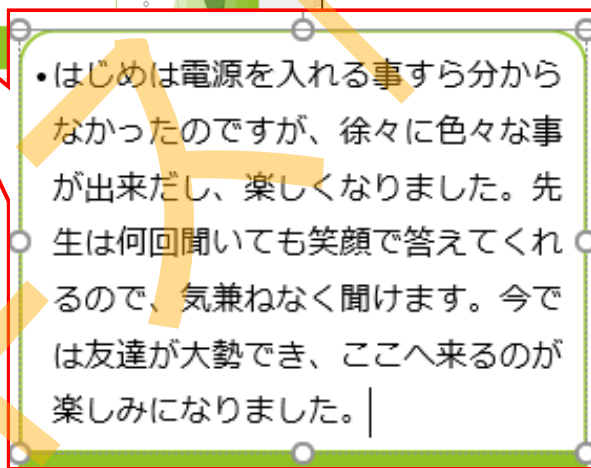
左側の「70代男性 Nさん」と表示された図形の、上の四角の図形を選択します。



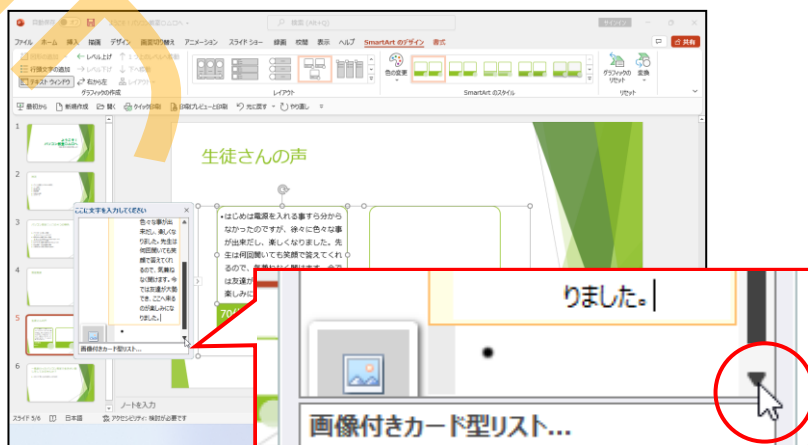
下図のように、吹き出し内の文章を入力しましょう。



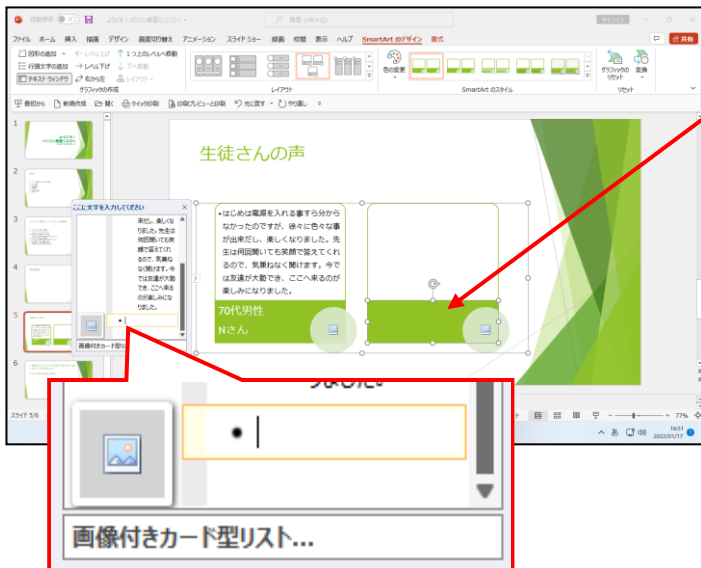
● パワーポイントでは、プレースホルダーに文字を入力し終わったら、フォントサイズが自動調整されます。最初、文字を入力したら大きく表示されますが、最後に自動調整されるので、気にせず最後まで入力しましょう。



「・」が見えるまでテキストウィンドウ右下の ▼ をクリックします。

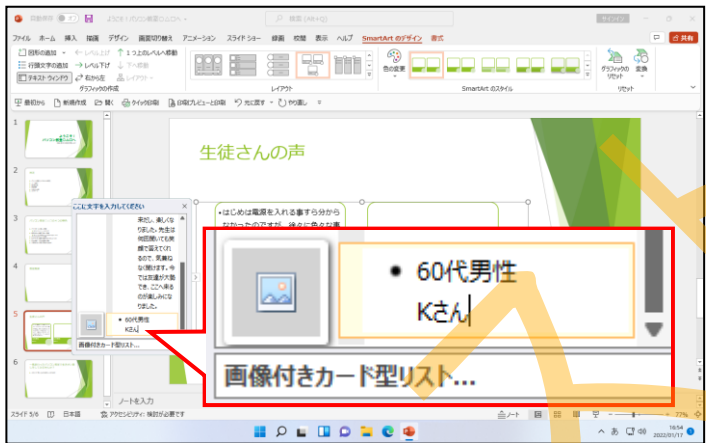


テキストウィンドウ内の下側の「・」あたりでポイントし、クリックします。



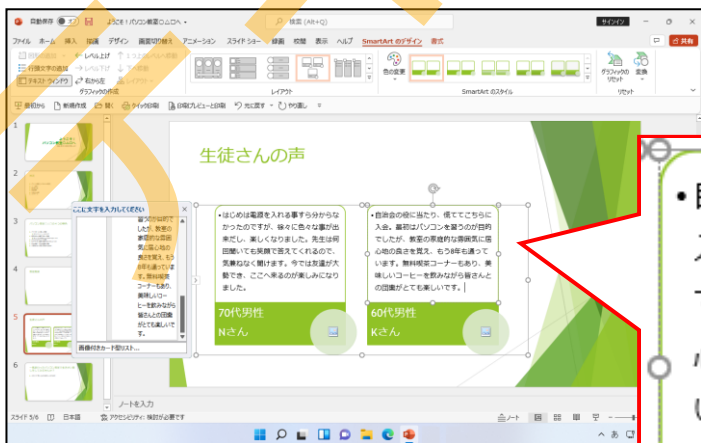
- 「・」をクリックすると同時に、右側の図形の黄緑色の図形の部分が選択されます。

そのまま先ほどと同様に、「60代男性 K さん」と入力しましょう。



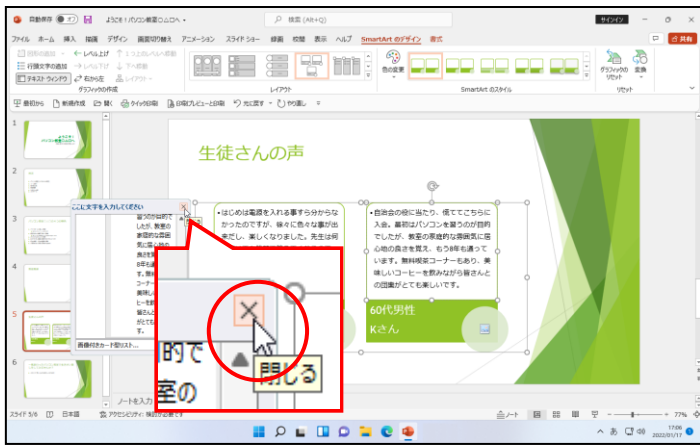
- 改行する時は、[Shift] キーを押しながら [Enter] キーを押しましょう。
- パワーポイントでは、プレースホルダーに文字を入力し終わったら、フォントサイズが自動調整されます。最初、文字を入力したら大きく表示されますが、最後に自動調整されるので、気にせず最後まで入力しましょう。

右側の「60代男性 K さん」と表示された図形の、上の四角の図形を選択し、右側の吹き出し内の文章を入力しましょう。



●自治会の役に当たり、慌ててこちらに入会。最初はパソコンを習うのが目的でしたが、教室の家庭的な雰囲気居心地の良さを覚え、もう8年も通っています。無料喫茶コーナーもあり、美味しいコーヒーを飲みながら皆さんとの団欒がとても楽しいです。|

テキストウィンドウの右にある × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



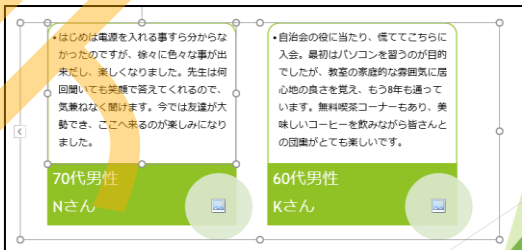
●テキストウィンドウが閉じられました。

④ SmartArt内にイラストを挿入

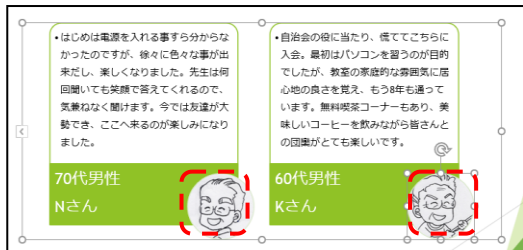
スマートアート
SmartArtの図形の中には、写真などの画像を挿入することができます。ここではイラストを2つ入れてみましょう。

スマートアート
◆SmartArtの図形の中にイラストを入れる方法をマスターしましょう。

操作前




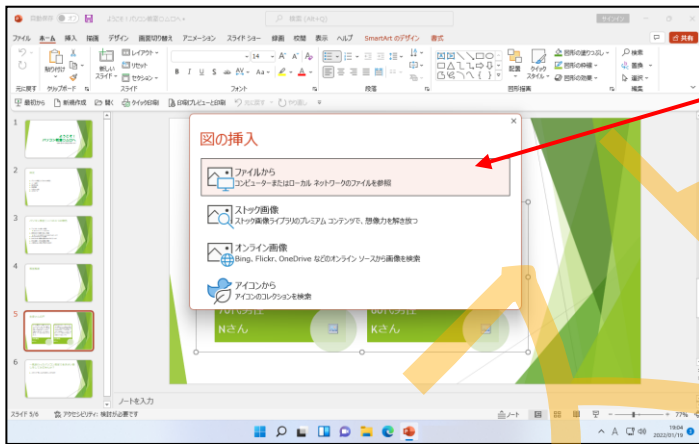
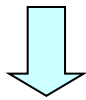
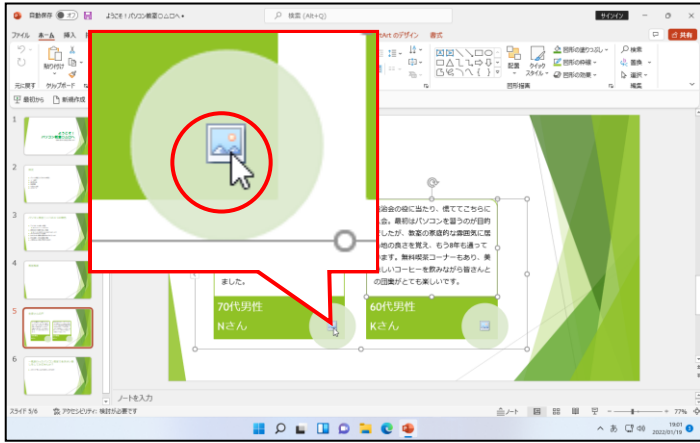
操作後




注意!

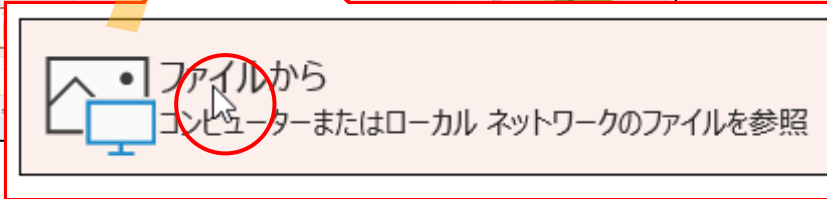
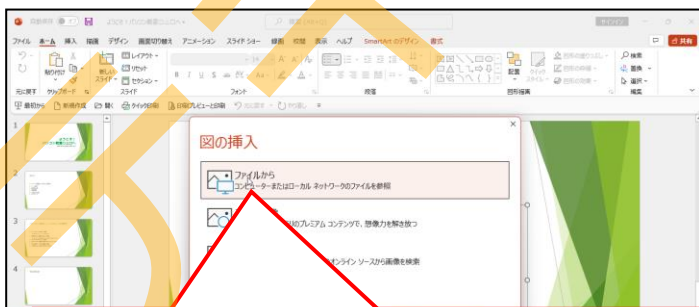
操作は次ページからです!

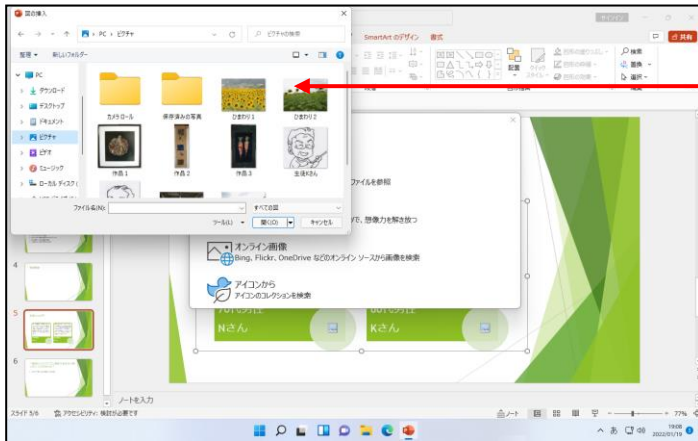
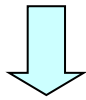
「70代男性 Nさん」の右の丸の図形の中にある  ボタンにポイントし、クリックします。



●  をクリックすると、[図の挿入] ウィンドウが表示されます。

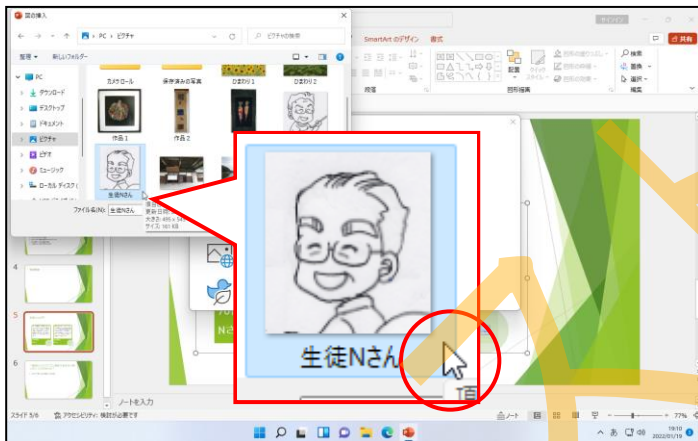
[ファイルから] にポイントし、クリックします。



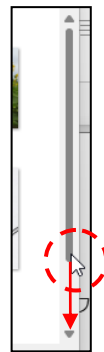


- [ファイルから] をクリックすると、[図の挿入] ダイアログボックスが開き、「ピクチャ」フォルダが表示されます。

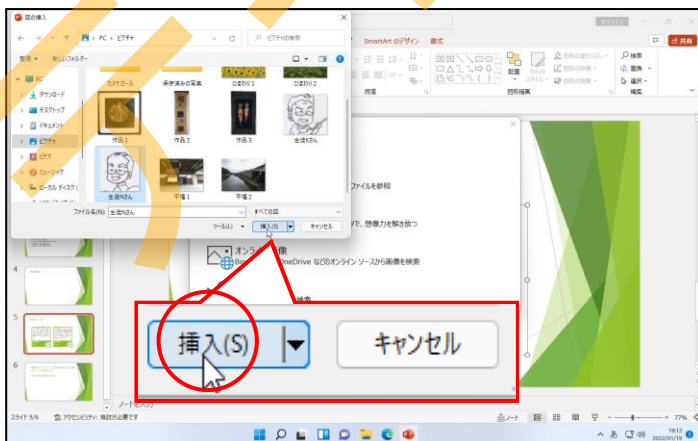
「生徒Nさん」にポイントし、クリックします。

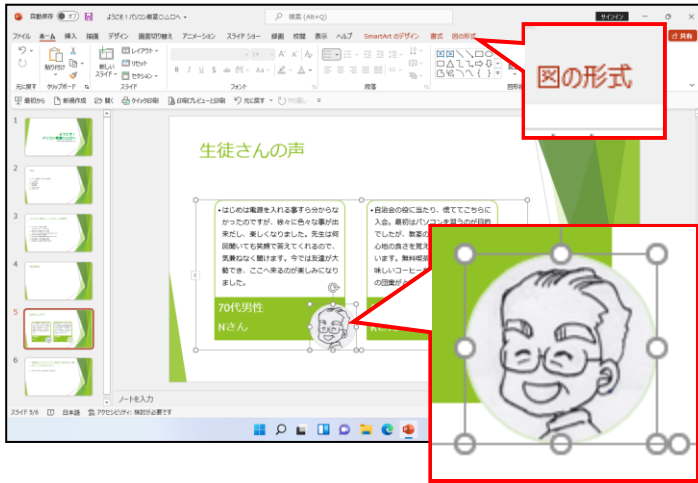
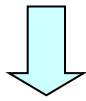


- 「生徒Nさん」が表示されていない方は、グレーのバーをドラッグしてスクロールして表示させましょう。



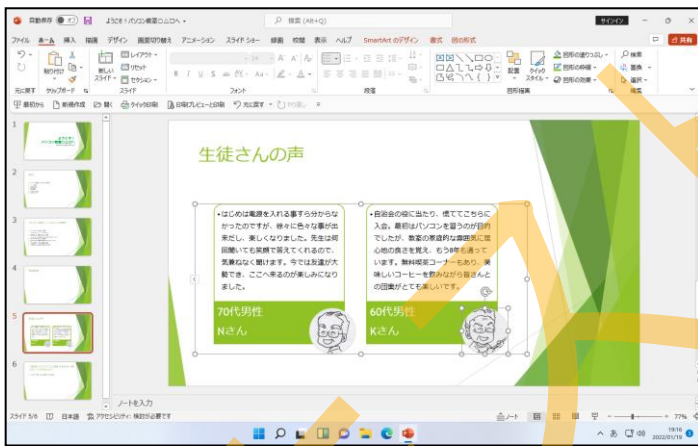
[挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。





- [挿入(S)] ボタンをクリックすると、イラストが挿入されると同時に、[図の形式] タブが表示されます。

同様にして右側の丸の中に「生徒Kさん」を挿入しましょう。

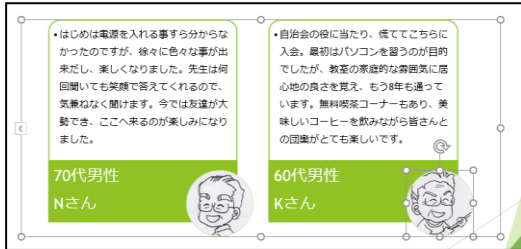


⑤ 図形の色の変更

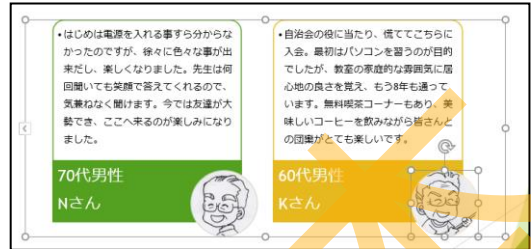
スマートアート
SmartArtは、図形の色を変更することができます。ここで図形の色を変更してみましょう。

スマートアート
◆SmartArtの図形の色を変更する方法をマスターしましょう。

操作前

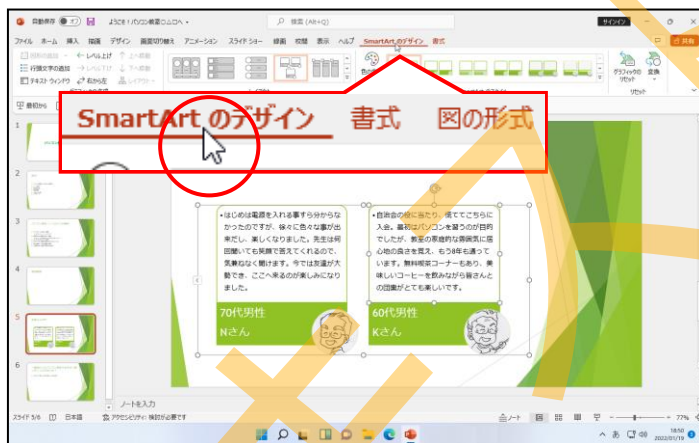


操作後



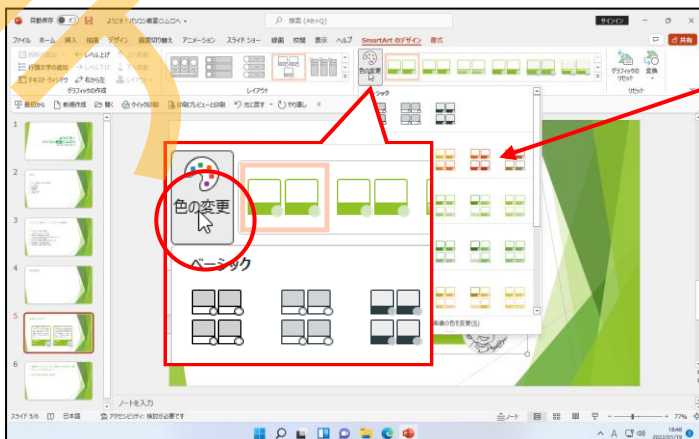
操作は下からです!

スマートアート
[SmartArtのデザイン] タブにポイントし、クリックします。



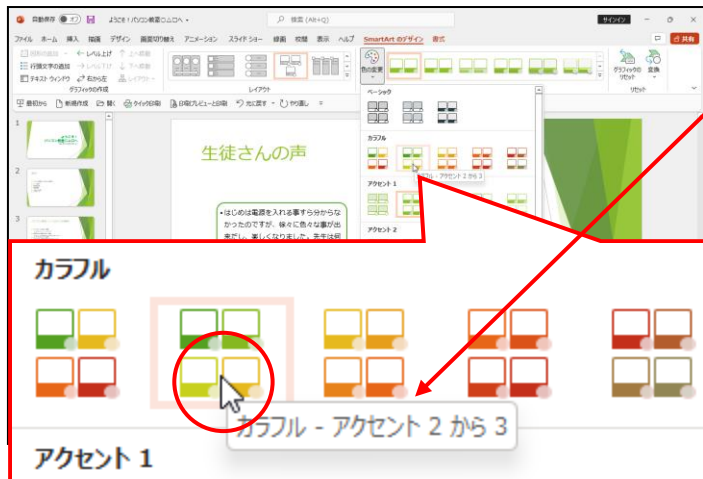
- スマートアート
[SmartArtのデザイン] タブが表示されていない方は、^{スマートアート}[SmartArtのデザイン] タブをクリックして表示させておきましょう。

スマートアート
[SmartArtのスタイル] グループの [色の変更] ボタンにポイントし、クリックします。



- [色の変更] ボタンをクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。

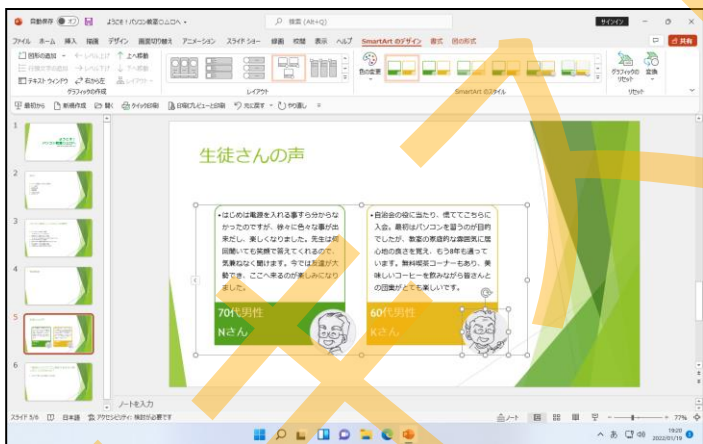
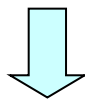
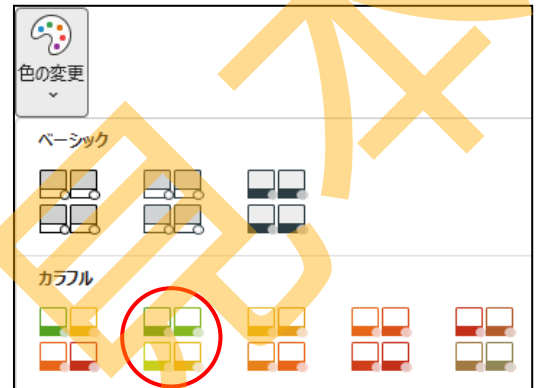
下に表示された一覧から「カラフル」の「カラフル-アクセント 2 から 3」にポイントし、クリックします。



●ポイントすると、左図のように「カラフル-アクセント 2 から 3」と表示されます。

注意!

●お使いのパソコンによって、色の名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



●図形の色が変更されました。

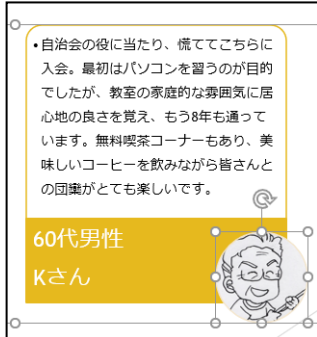
上書き保存をしておきましょう。

⑥ 図形のスタイルの変更

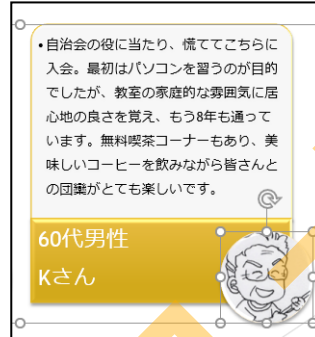
スマートアート
SmartArtは、図形のスタイルを変更することができ、見栄えよく仕上げることができます。

スマートアート
◆SmartArtの図形のスタイルを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



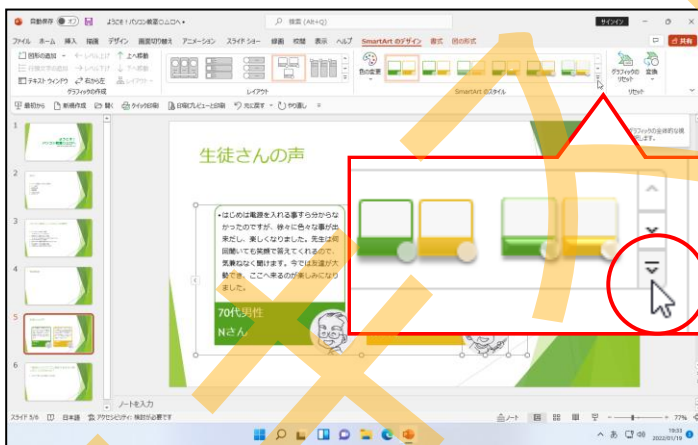
操作後



注意!

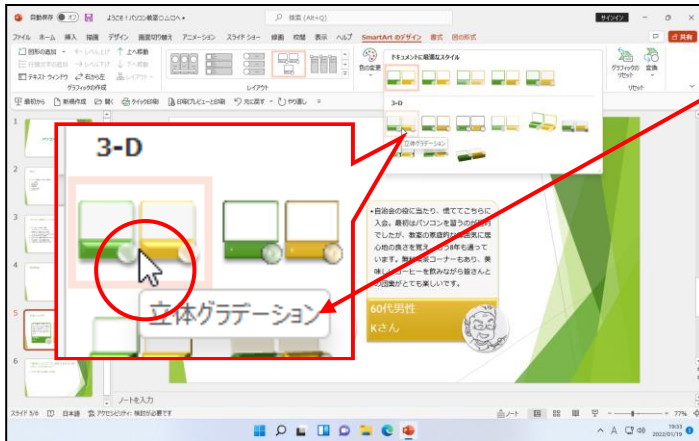
操作は下からです!

スマートアート
[SmartArtのデザイン] タブ内の、[SmartArtのスタイル] グループにある [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



- [その他] ボタンをクリックすると、左のようにSmartArtのスタイルの一覧が表示されます。

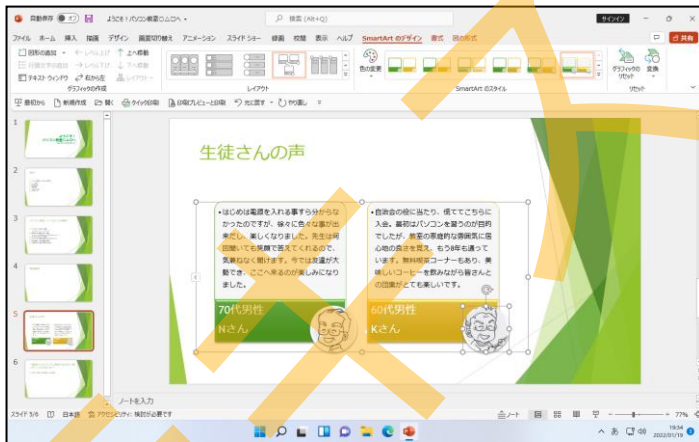
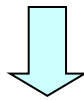
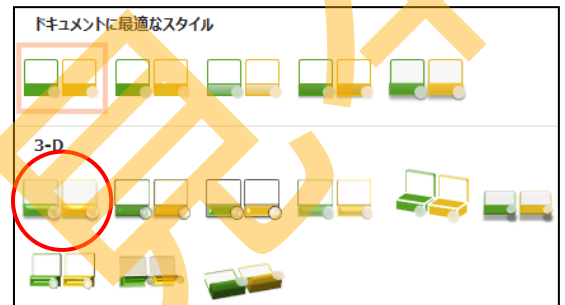
下に表示された一覧から、「3-D」の中の「立体グラデーション」にポイントし、クリックします。



●ポイントすると、左図のように「立体グラデーション」とスタイルの名前が表示されます。

注意!

●お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違います。下の図を参考に選びましょう。



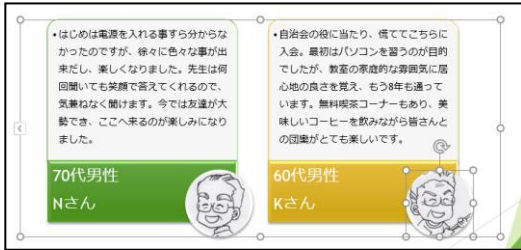
●図形のスタイルが変更されました。

⑦ 文字の塗りつぶしの色の変更

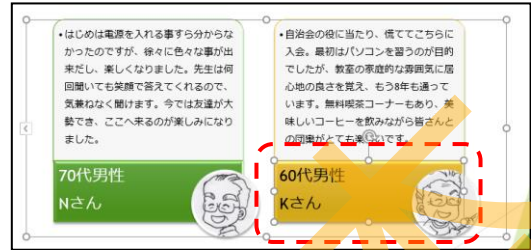
右側の図形内の文字の色が白で見にくいので文字の塗りつぶしの色を変更しましょう。

スマートアート
◆SmartArtの中の文字の色を変更する方法をマスターしましょう。

操作前



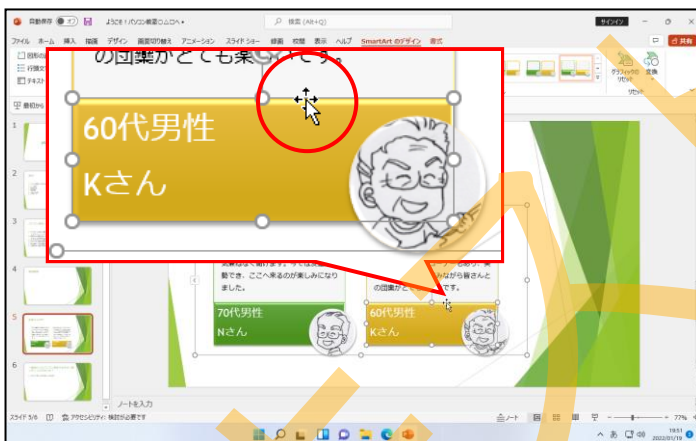
操作後



注意!

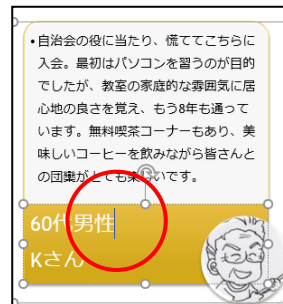
操作は下からです!

右側の「60代男性 Kさん」と表示された図形にポイントし、クリックします。

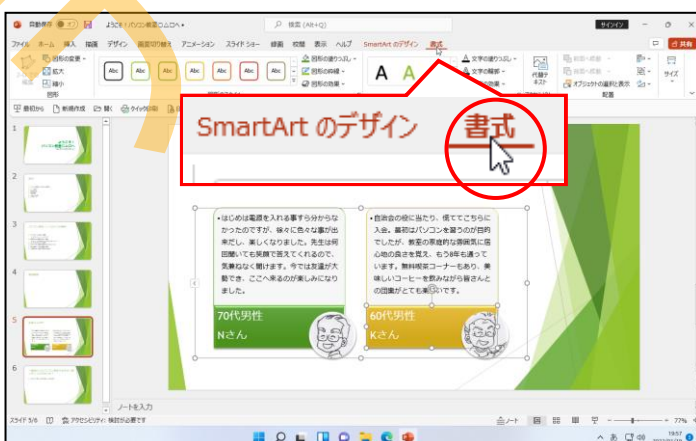


注意!

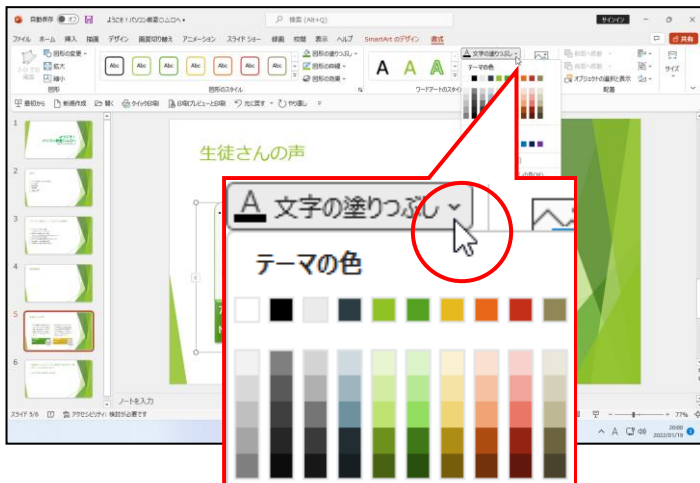
- 下図のように、図形が選択されずに図形の中にカーソルがあると、文字の色が変わらなかったり、部分的にしか変わらない場合があるので注意しましょう。



[書式] タブにポイントし、クリックします。



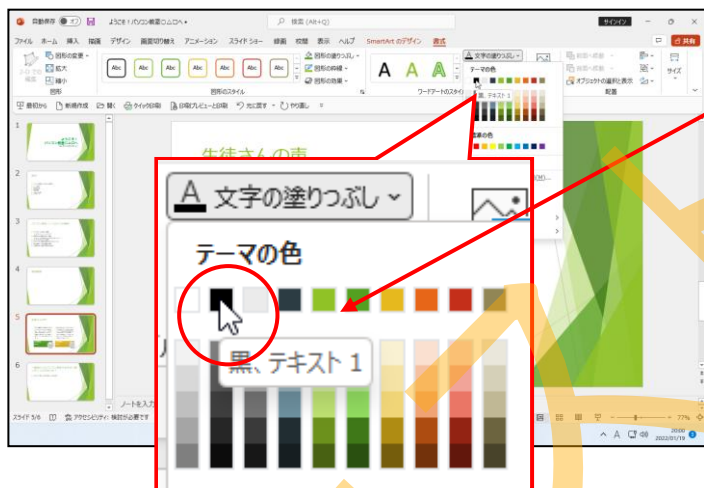
[ワードアートのスタイル] グループにある 文字の塗りつぶし・[文字の塗りつぶし] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

- **A** の部分をクリックしてしまうと色を選択できないので注意しましょう。

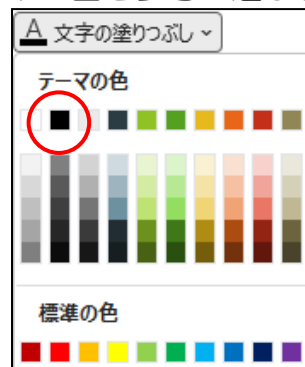
色の一覧から「黒、テキスト 1」にポイントし、クリックします。



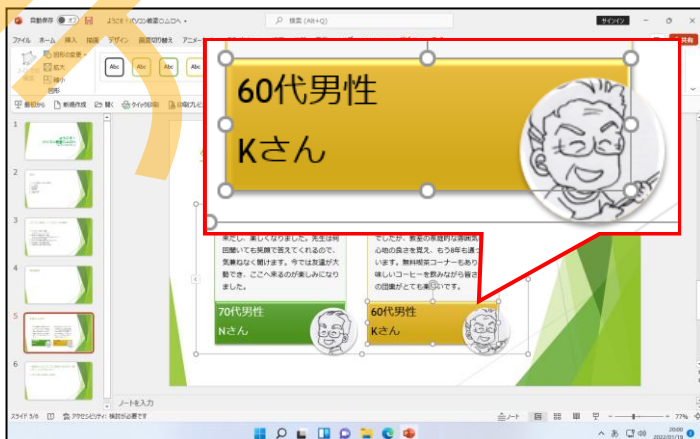
- ポイントすると、左のように [黒、テキスト 1] と色の名前が表示されます。

注意!

- お使いのパソコンによって、色の名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



- 文字の色が変更されました。

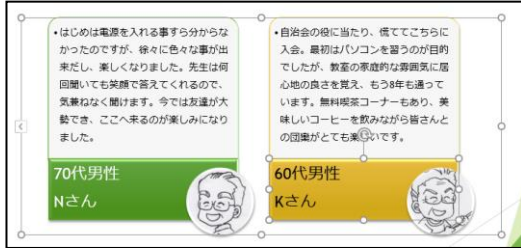


⑧ 図形の塗りつぶしの色の変更

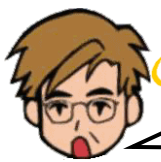
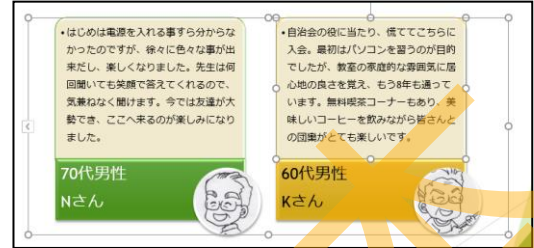
スマートアート
SmartArtの上の図形の塗りつぶしの色を変更してみましょう。

スマートアート
◆SmartArtの中の図形の塗りつぶしを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



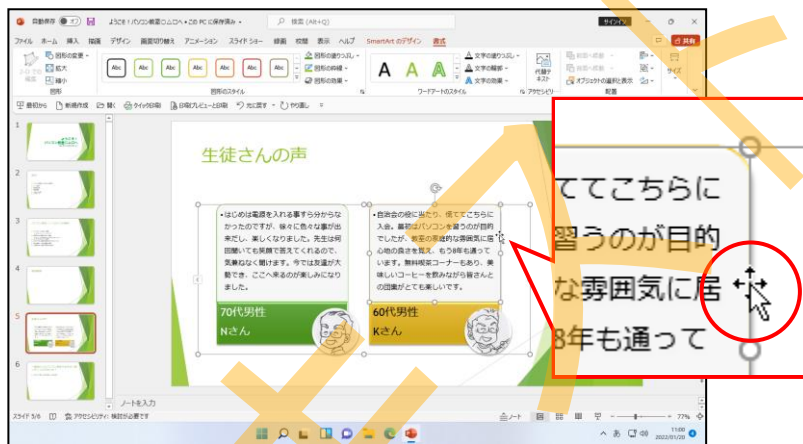
操作後



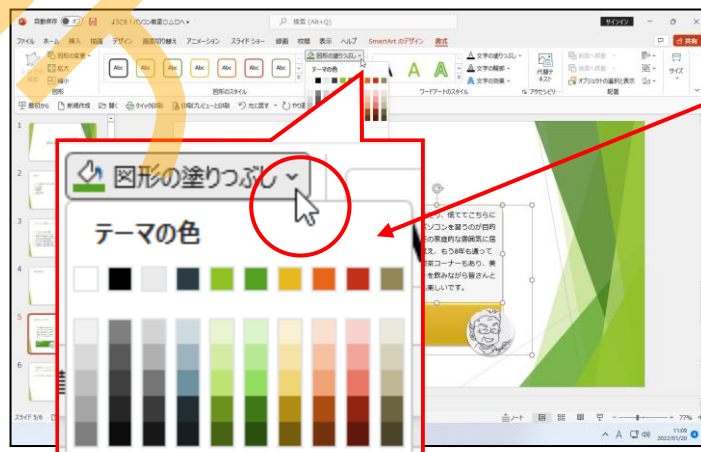
注意!

操作は下からです!

右側の上の図形の輪郭にポイントし、クリックします。



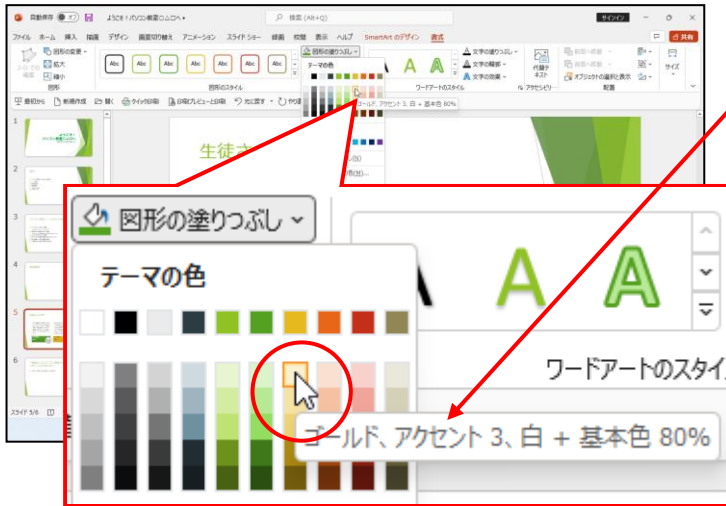
[書式] タブ内の [図形のスタイル] グループにある 図形の塗りつぶし > [図形の塗りつぶし] ボタンにポイントし、クリックします。



● 図形の塗りつぶし > [図形の塗りつぶし] ボタンをクリックすると、色の一覧が表示されます。

● の部分をクリックしてしまうと色を選択できないので注意しましょう。

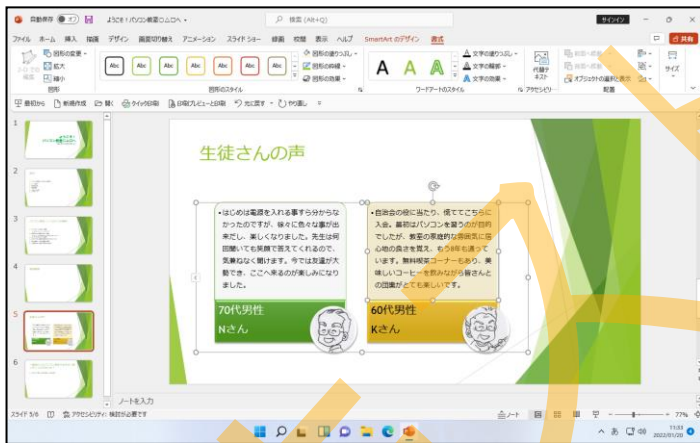
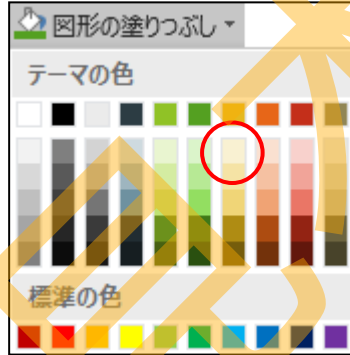
下に表示された一覧から「ゴールド、アクセント 3、白+基本色 80%」にポイントし、クリックします。



●該当の色にポイントすると、左図のように色の名前が表示されます。

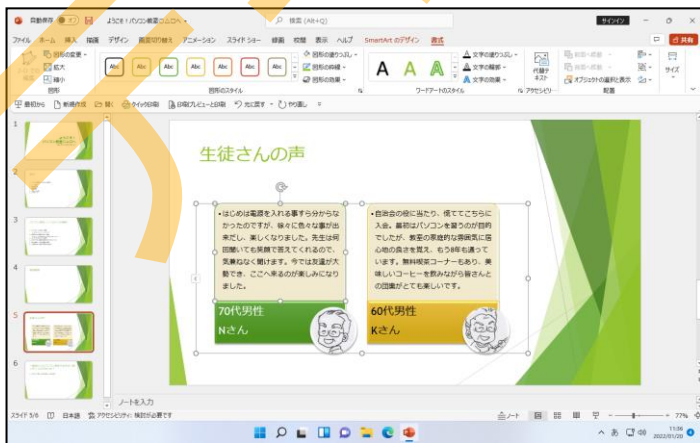
注意!

●お使いのパソコンによって、色の名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



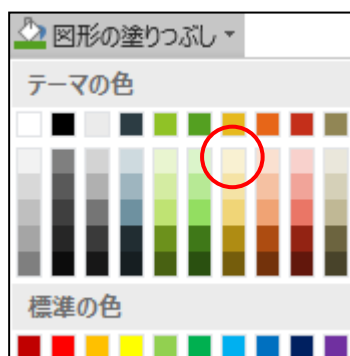
●左側の図形の色が変わりました。

同様にして、左側の上の図形の色も「ゴールド、アクセント 3、白+基本色 80%」に変更しましょう。



注意!

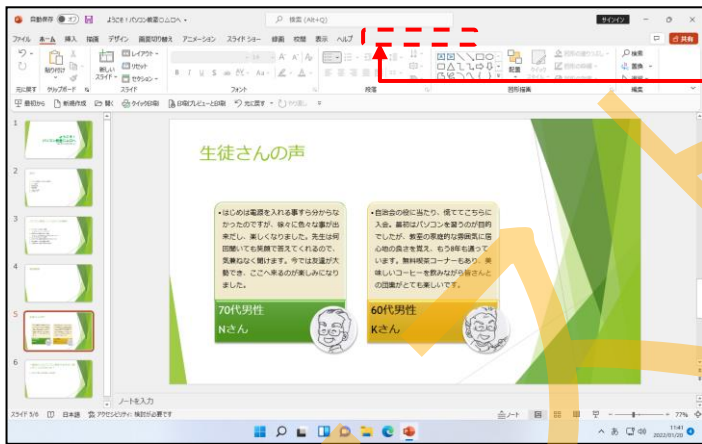
●お使いのパソコンによって、色の名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



スマートアート
SmartArtの外側にポイントし、クリックします。



スマートアート
●SmartArtの選択を解除する操作になります。



スマートアート
●SmartArtの外でクリックすると、
スマートアート
[SmartArtのデザイン] タブと [書式] タブが消えました。

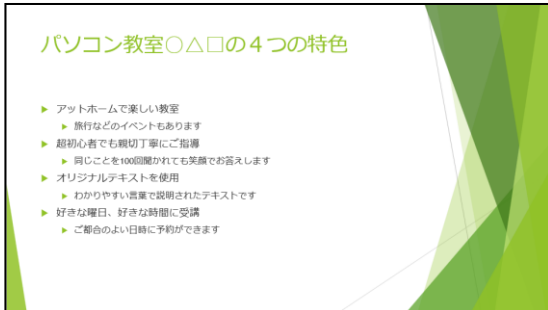
次の操作のために、スライド3を表示しておきましょう。

⑨ 箇条書き設定をSmartArtに変換

パワーポイントでは、箇条書き設定をSmartArtに変換することができます。スライド3の箇条書き設定をSmartArtに変換してみましょう。

◆箇条書き設定を、SmartArtに変換する方法をマスターしましょう。

操作前



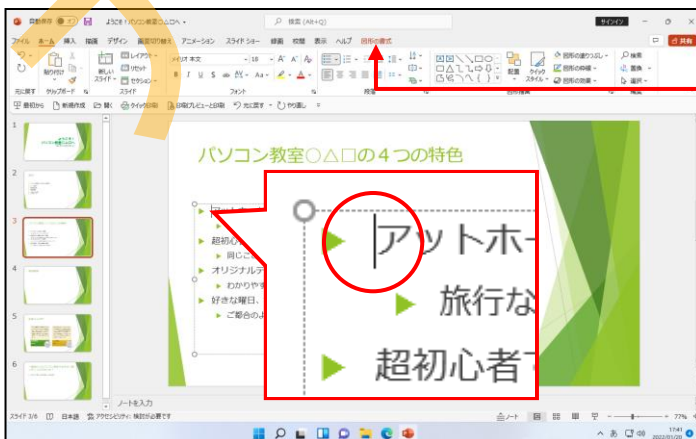
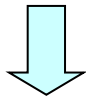
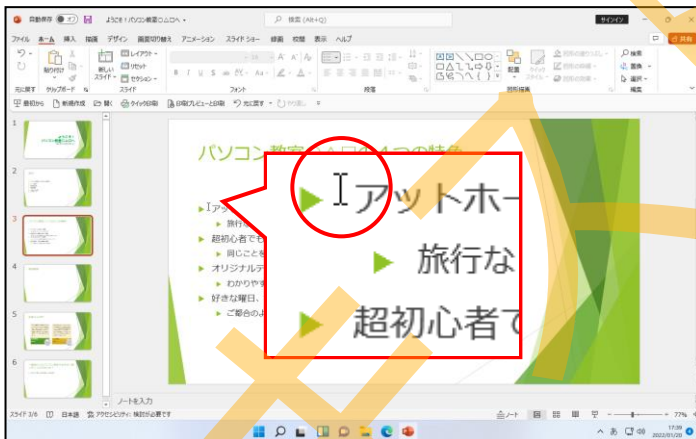
操作後




注意!

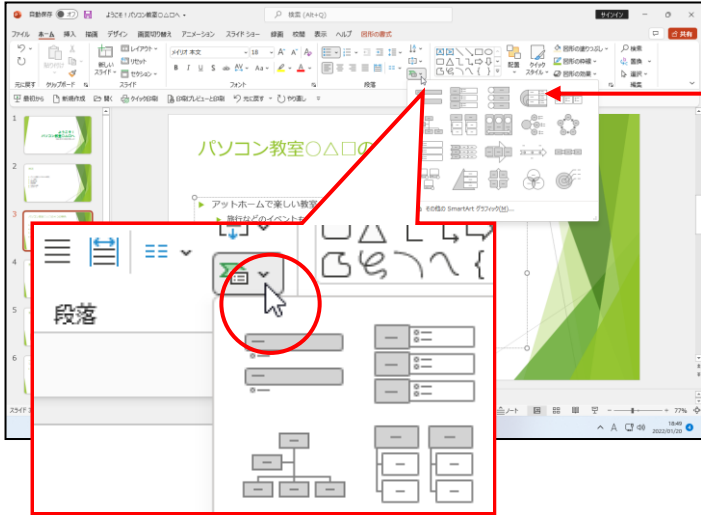
操作は下からです!


コンテンツのプレースホルダー内にポイントし、クリックします。



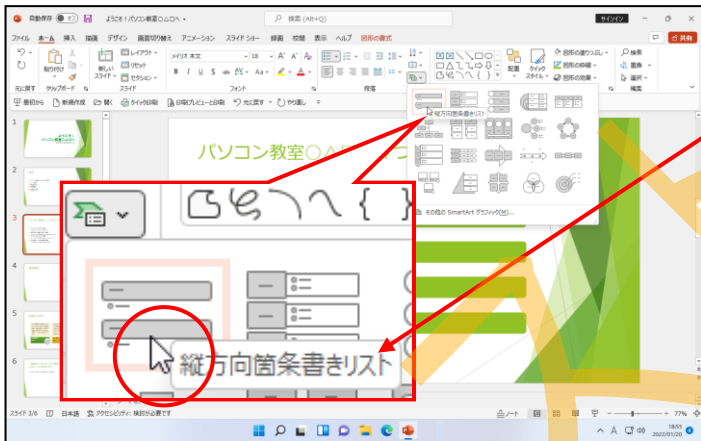
●プレースホルダー内をクリックすると、画面上に「図形の書式」タブが表示されます。

[ホーム] タブの [段落] グループにある  [SmartArtグラフィックに変換] ボタンにポイントし、クリックします。

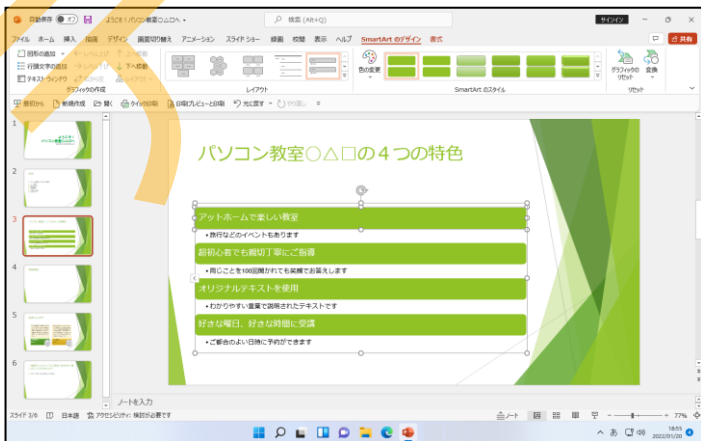


●  [SmartArtグラフィックに変換] ボタンをクリックすると、SmartArtの一覧が表示されます。

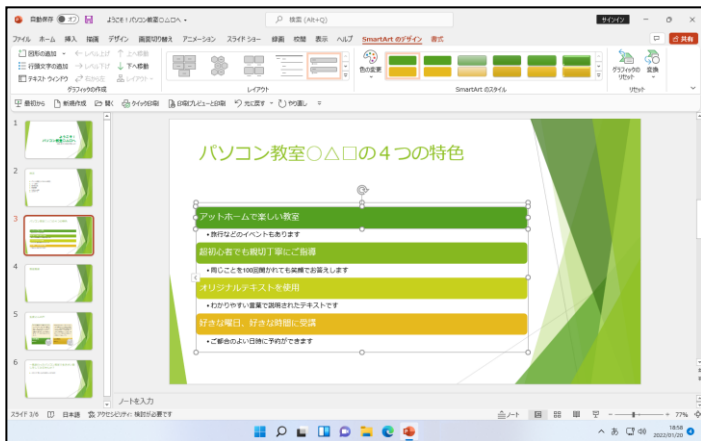
下に表示された一覧から「縦方向箇条書きリスト」にポイントし、クリックします。



● ポイントすると、左のように「縦方向箇条書きリスト」と SmartArtの種類が表示されます。



スマートアート
SmartArtの色を、「カラフル」の「カラフルアクセント2から3」に変更しましょう。



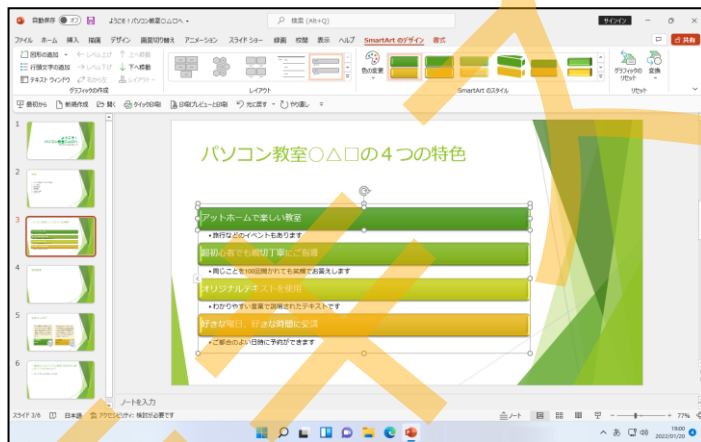
- スマートアート
SmartArtの色の変更を忘れた方は、P89 ⑤ 図形の色の変更を参照してください。

注意!

- お使いのパソコンによって、色の名称が違います。
下の図を参考に選びましょう。



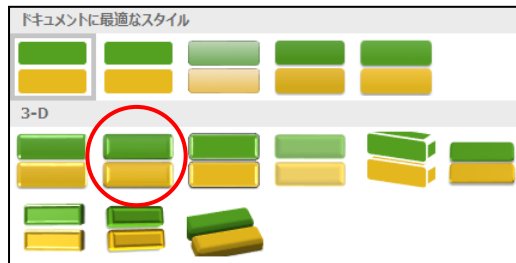
スマートアート
SmartArtのスタイルを、「3-D」の「凹凸」のスタイルに変更しましょう。



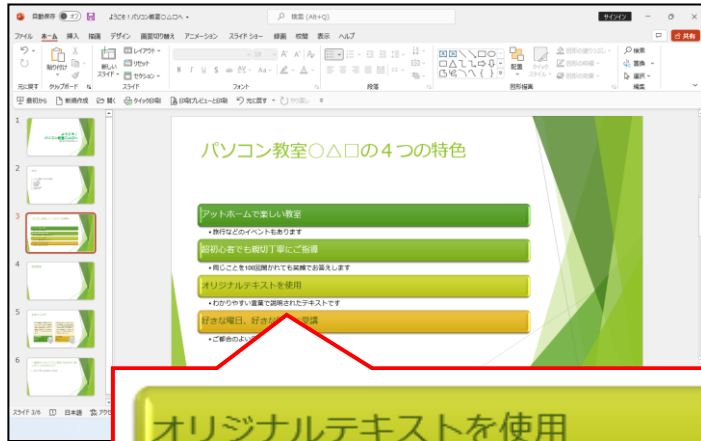
- スマートアート
SmartArtのスタイルの変更を忘れた方は、P91 ⑥ 図形のスタイルの変更を参照してください。

注意!

- お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違います。
下の図を参考に選びましょう。



スマートアート
SmartArtの上から3つ目、4つ目の図形の文字の色を「緑、アクセント1、黒+基本色 50%」に変更しましょう。

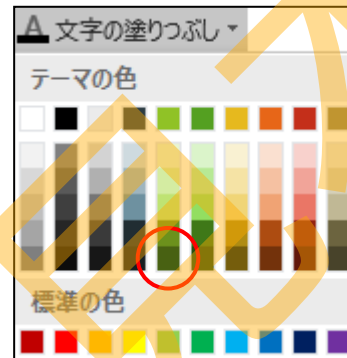


オリジナルテキストを使用
・わかりやすい言葉で説明されたテキストです
好きな曜日、好きな時間に受講

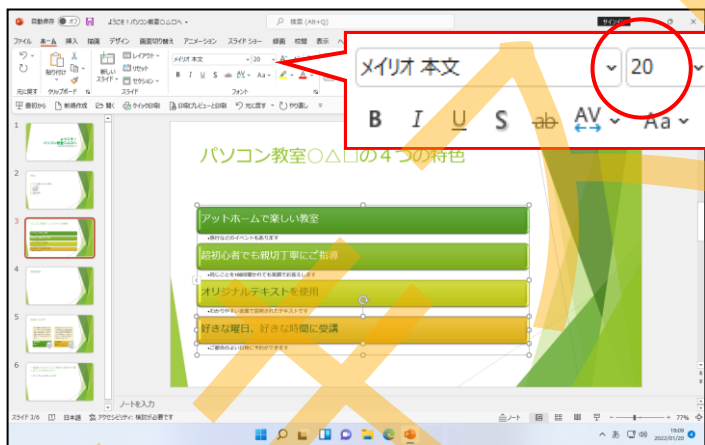
スマートアート
●SmartArtの文字の色の変更を忘れた方は、P93 ⑦ 文字の塗りつぶしの色の変更を参照してください。

注意!

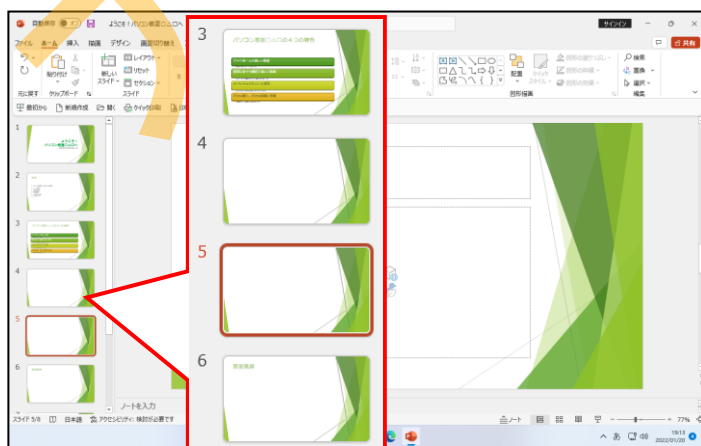
●お使いのパソコンによって、色の名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



スマートアート
SmartArtの図形の中のフォントサイズを「20pt」に設定しておきましょう。



次の操作のために、スライド3とスライド4の間に、スライドを2枚追加し、上書き保存しておきましょう。

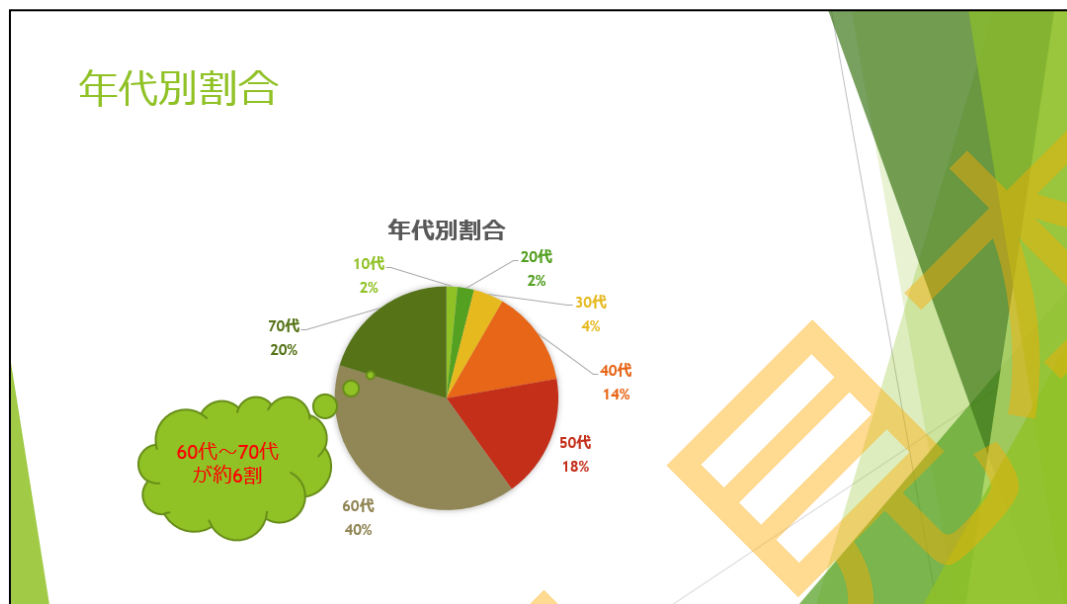


●スライドの追加方法を忘れた方は、P41 ① スライドの追加を参照してください。

(2) グラフの挿入

パワーポイント（PowerPoint）では、簡単にグラフを作成することができます。ここでは、アンケート結果をもとにして、円グラフを作成してどの年齢層が多く受講されているかを分析してみます。

【完成例】



■作成できるグラフの種類

縦棒グラフ	横棒グラフ
折れ線グラフ	面グラフ
円グラフ	ドーナツグラフ

項目間の比較やデータの推移を見るのに適しています。

データの時間的な変化、全体的な傾向を見るのに適しています。

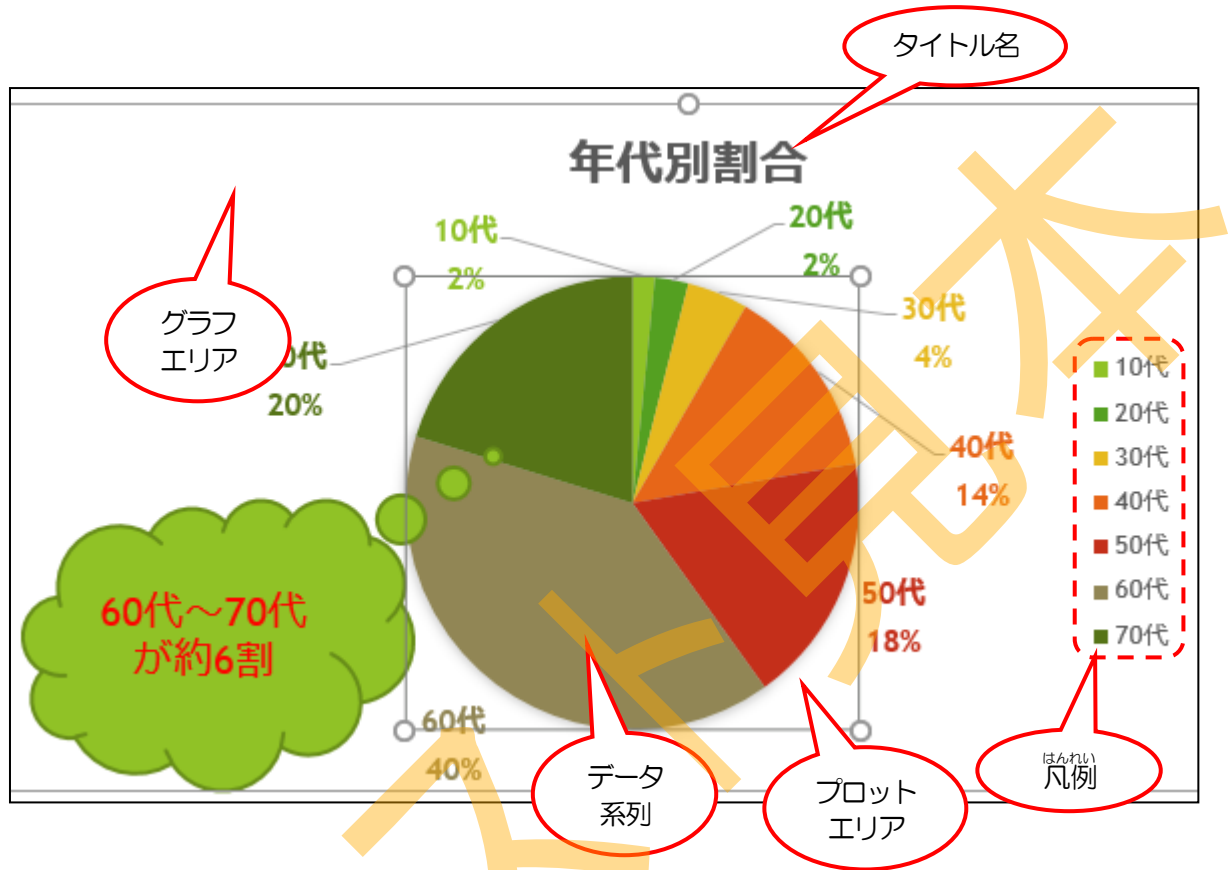
各項目の割合を見るのに適しています。

上の表以外にも、積み上げグラフ、レーダーチャート、等高線グラフなどがあります。

■グラフの構成要素

グラフにはいろいろな構成要素があります。グラフに配置されている構成要素にはそれぞれ名前が付いています。

グラフの中の構成要素にポイントすると、各要素の名前が表示され、クリックすると要素を選択することができます。



●グラフエリア

グラフ全体を表示するエリアです。

●プロットエリア

グラフのデータを表示するエリアです。(円グラフを四角で囲んだ中)

●データ系列

関連するデータを識別するためのエリアです。

●凡例

各データ系列の名前と色を表示するエリアです。

① グラフの挿入

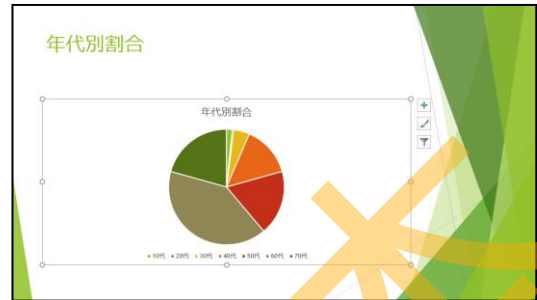
ここでは、年代別割合を示した円グラフを挿入しましょう。

◆スライドにグラフを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



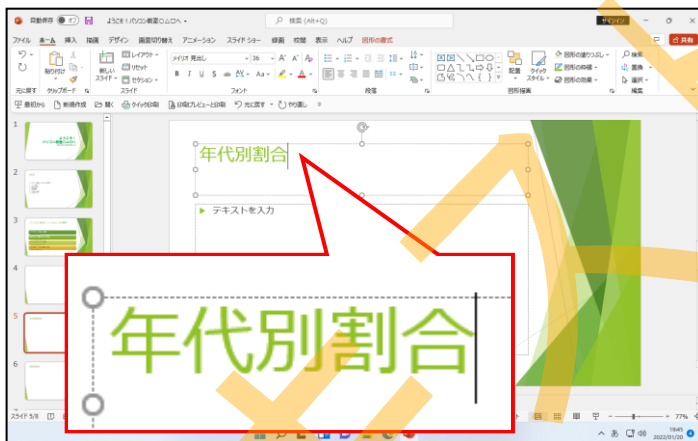
操作後



注意!

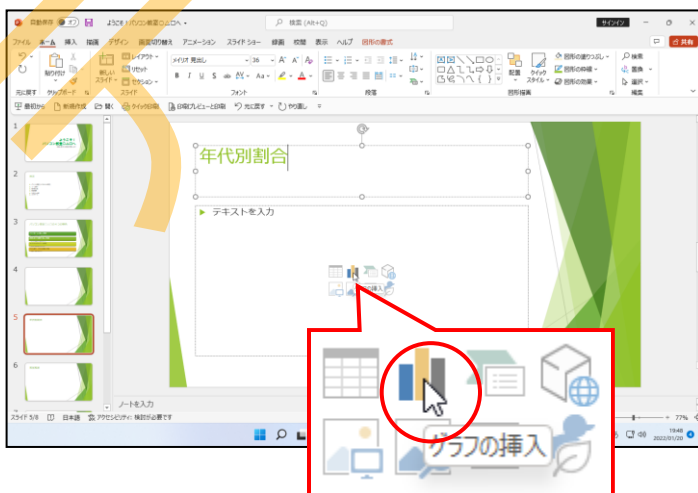
操作は下からです！

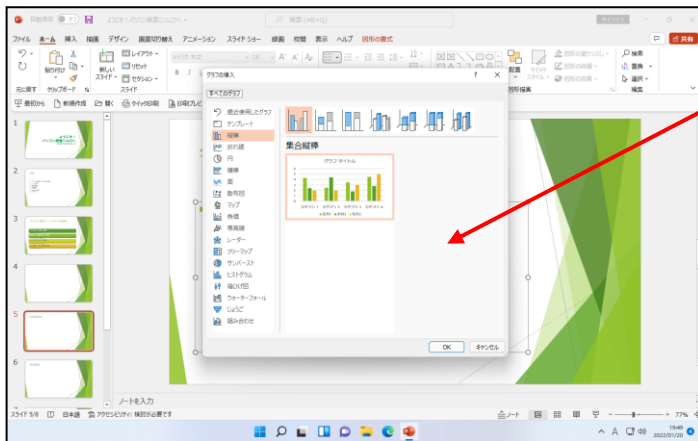
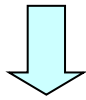
スライド5が選択されていることを確認し、タイトルのプレースホルダーに「年代別割合」を入力しましょう。



●スライド5が選択されていない方は、選択しておきましょう。

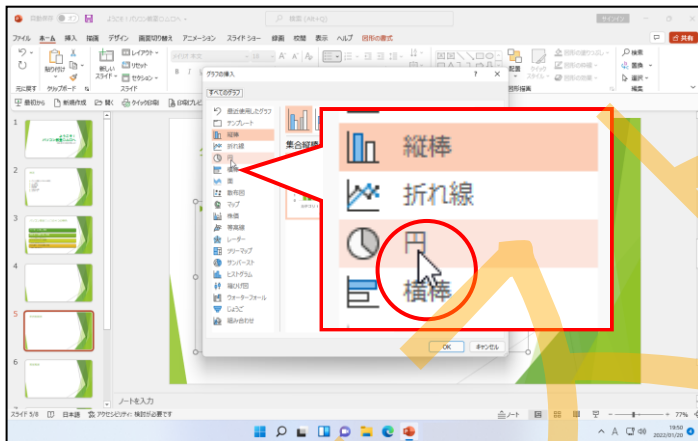
|| [グラフの挿入] ボタンにポイントし、クリックします。



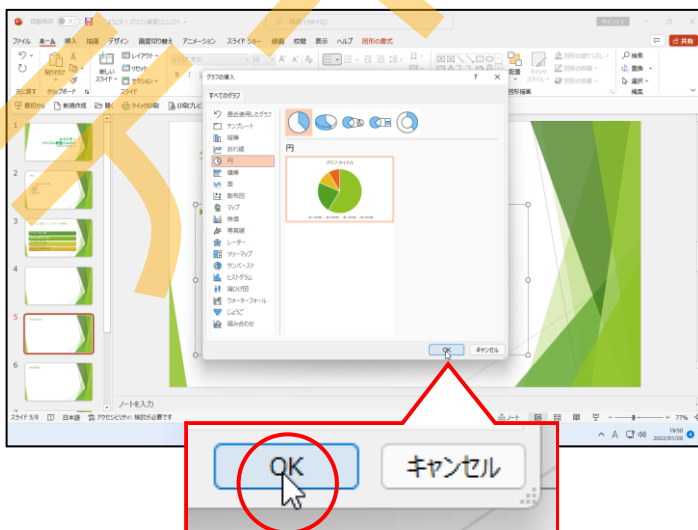


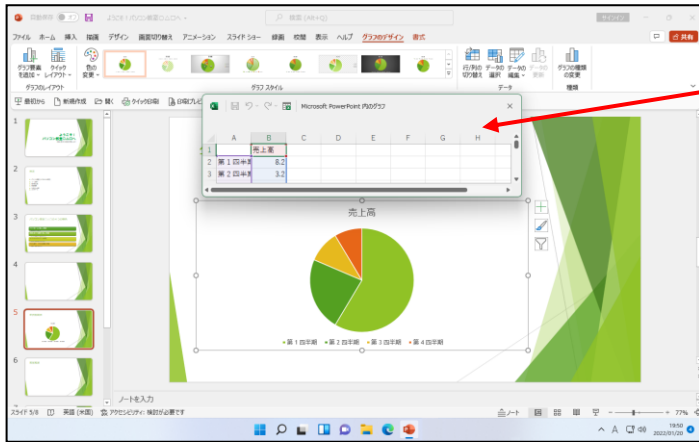
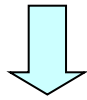
● [グラフの挿入] ボタンをクリックすると、[グラフの挿入] ダイアログボックスが表示されます。

左側に表示された一覧から、「円」にポイントし、クリックします。



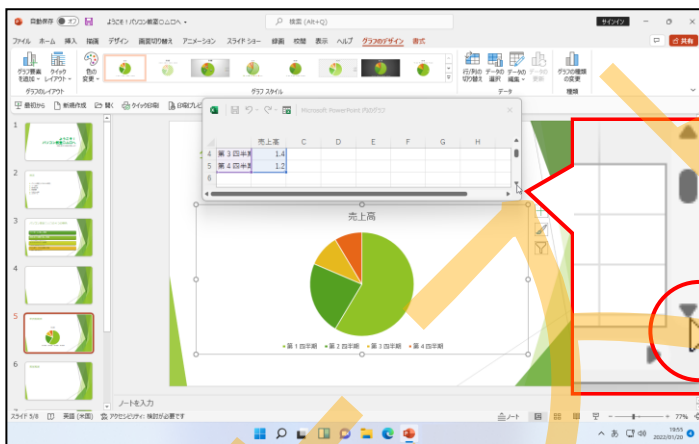
[OK] ボタンにポイントし、クリックします。



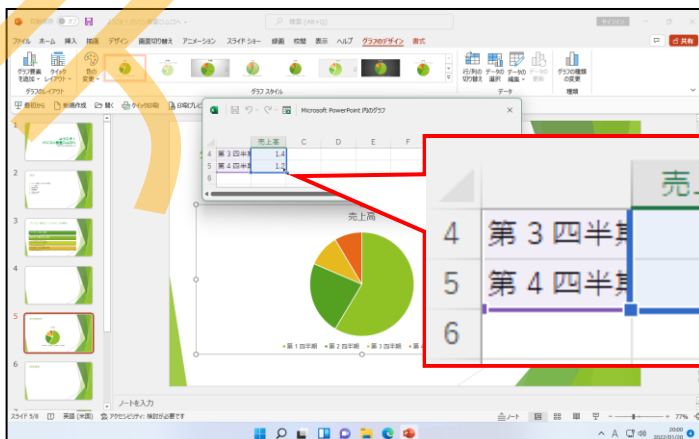


- [Microsoft PowerPoint 内のグラフ] ウィンドウが開かれ、サンプルデータが表示されます。

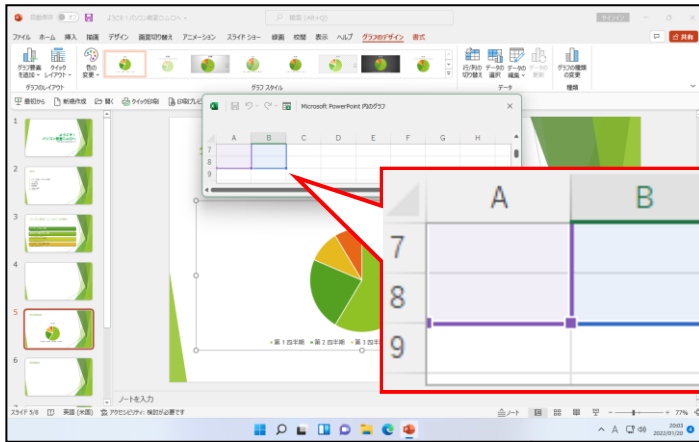
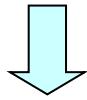
5 行目と 6 行目の間の線が表示されるまで、右端にあるスクロールバーの ▼ ボタンをクリックします。



表の青い線で囲まれている部分の右下にポイントし、マウスポインターが ↘ の形になっている状態でそのまま下に向かって 8 行目までドラッグします。

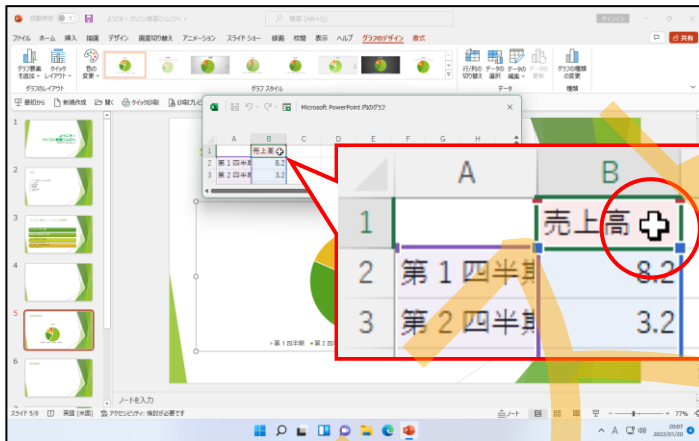


- 右下にポイントすると、マウスポインターは ↘ の形になります。



- データを入力する枠を広げる操作になります。

セル B1 にマウスポインターを移動し、クリックします。

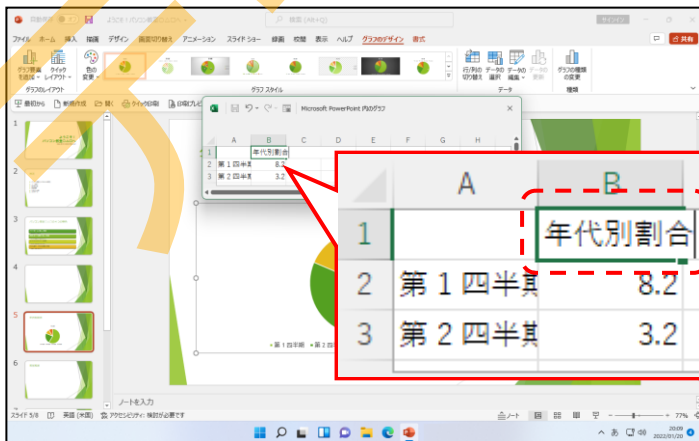


- 1つ1つのマス目のことをセルといい、選択されているセル B2 (B列2行目) のことを、アクティブセルといいます。

	A	B
1		
2		
3		

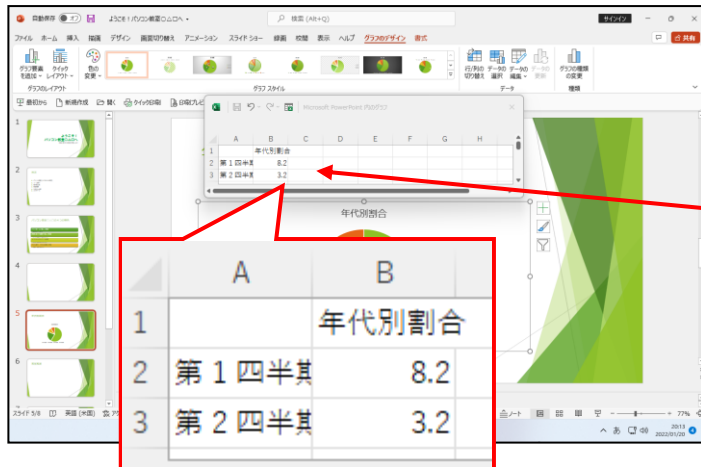
- セルの上でポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

そのまま「年代別割合」と入力しましょう。



- Microsoft-IMEが **A** になっていると日本語入力できません。
[半角/全角] キーを押して Microsoft-IMEを **あ** に切り替えておきましょう。

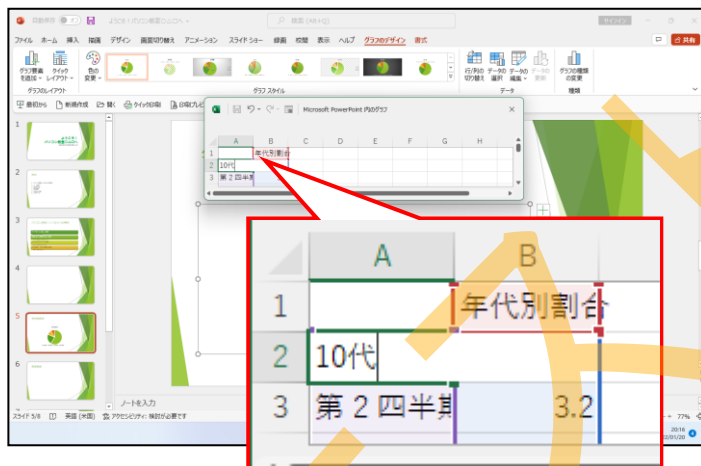
そのまま [Enter] キーを押します。



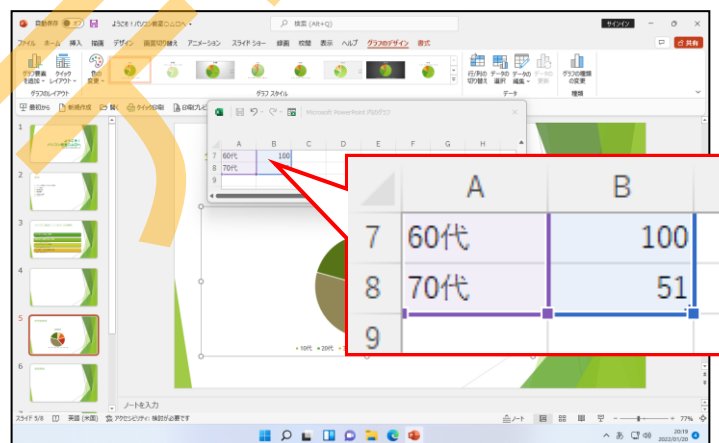
● データが確定し、アクティブセルがすぐ下のセルに移動しました。

● [Microsoft PowerPoint 内のグラフ] ウィンドウのデータとグラフは連動しています。[Enter] キーを押すと自動的に、「売上高」からセル B1 に入力した「年代別割合」に、グラフタイトルが変更されます。

同様に、「第1四半期～」と入力されている部分にマウスポインターを移動し、クリックして「10代」と入力しましょう。

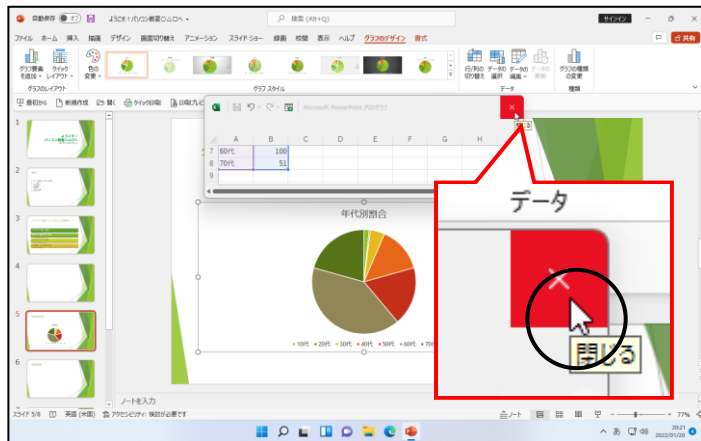


同様にして、右下図を参考にして、文字とデータを入力していきましょう。

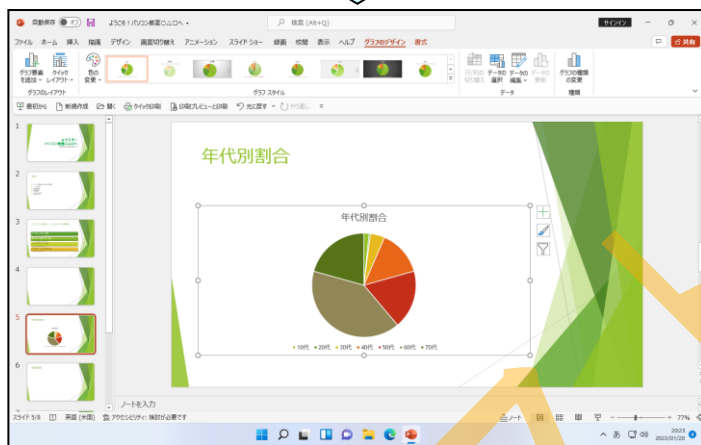


	A	B
1	年代別割合	
2	10代	4
3	20代	1
4	30代	11
5	40代	35
6	50代	45
7	60代	100
8	70代	51
9		

【Microsoft PowerPoint 内のグラフ】 ウィンドウの右上にある [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



●間違えてパワーポイントの画面を消さないように注意しましょう。



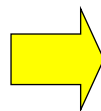
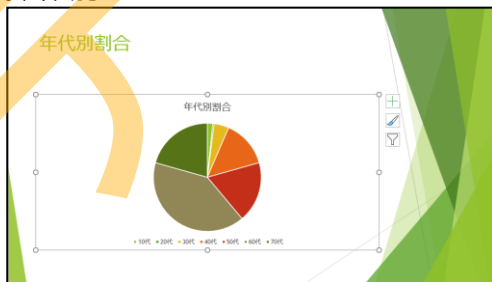
● [閉じる] ボタンをクリックすると、【Microsoft PowerPoint 内のグラフ】 ウィンドウが閉じられます。

② グラフのデータラベルの設定

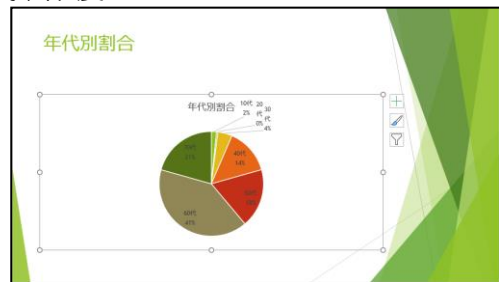
①で円グラフを挿入しました。ここではその円グラフを見て、どの年代が全体の何パーセントを示しているのかということがわかるように、年代とパーセンテージのデータラベルを表示させるように設定しましょう。

◆円グラフにデータラベルを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



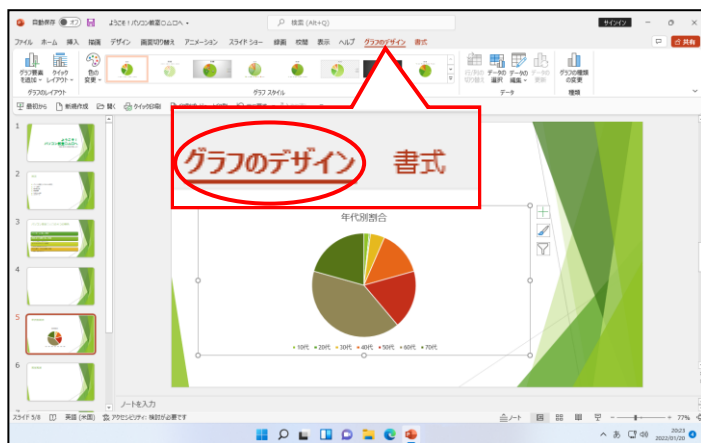
操作後



注意!

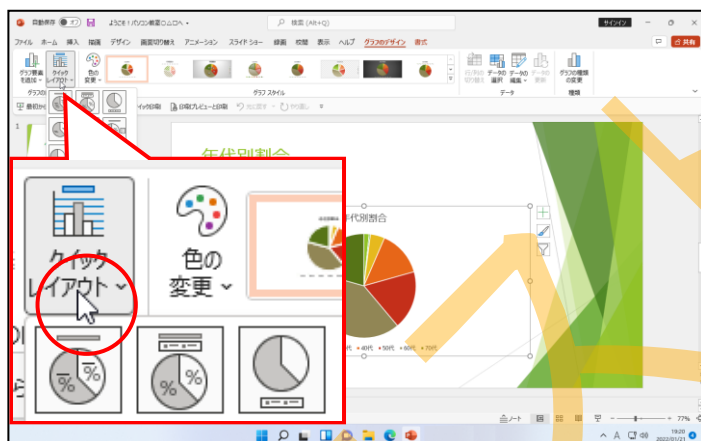
操作は次ページからです!

[グラフのデザイン] タブが選択されていることを確認します。

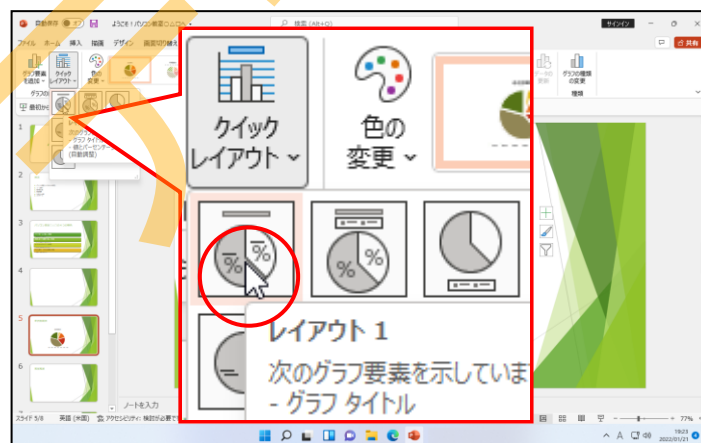


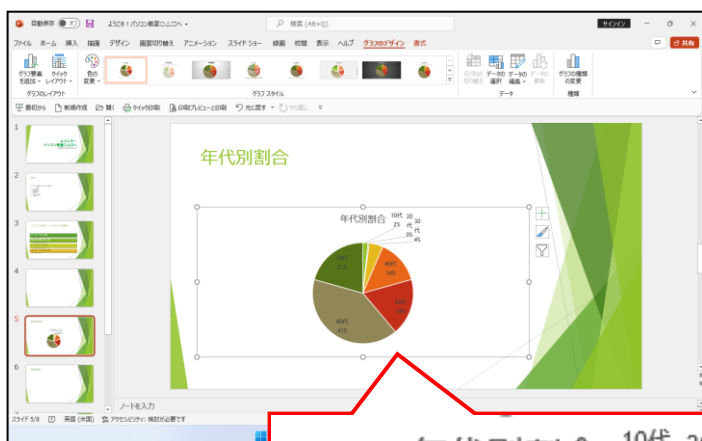
●グラフを選択していない方は、グラフを選択しておきましょう。

[グラフのレイアウト] グループ内の [クイックレイアウト] ボタンにポイントし、クリックします。



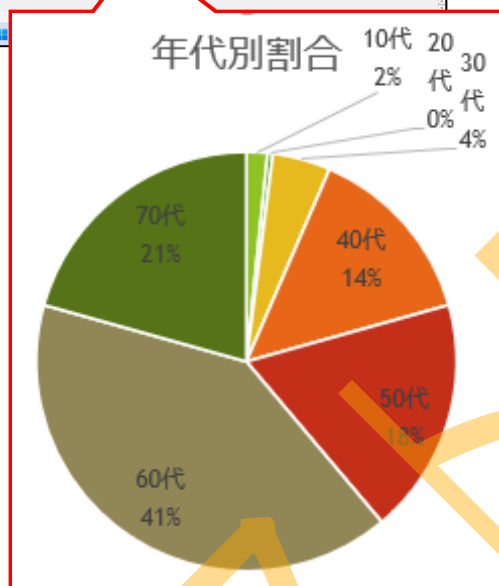
下に表示された一覧から、「レイアウト 1」にポイントし、クリックします。





●「分類名」と「パーセンテージ」のデータラベルと引き出し線が表示されました。

●データラベルの位置が左の図と違う場合があります。この後、データラベルの位置を見やすい位置に移動させますので、気にせず続けましょう。

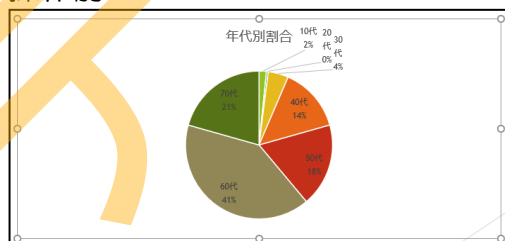


●データラベルの移動

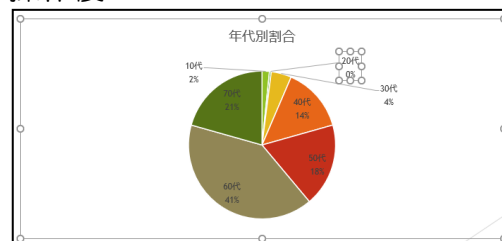
データラベルを表示させましたが、現在のデータラベルの位置はどこの部分を示しているのかわかりづらい状態です。データラベルの位置をわかりやすい位置へ移動しましょう。

◆データラベルを移動する方法をマスターしましょう。

操作前

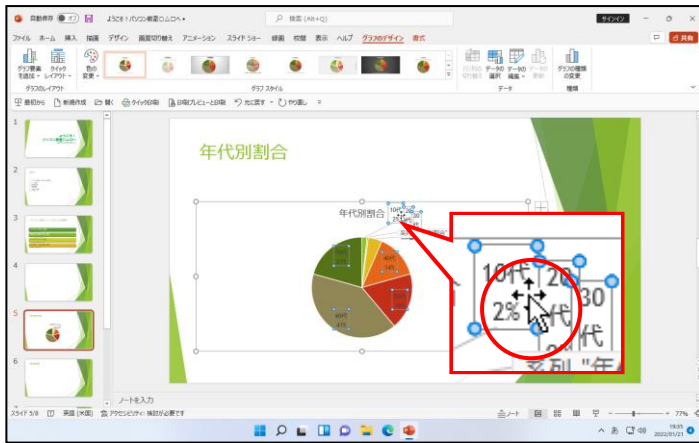


操作後



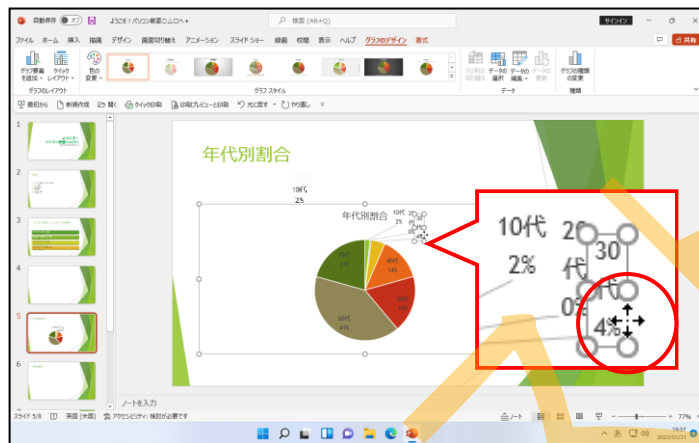
操作は次ページからです！

データラベルにポイントし、クリックします。



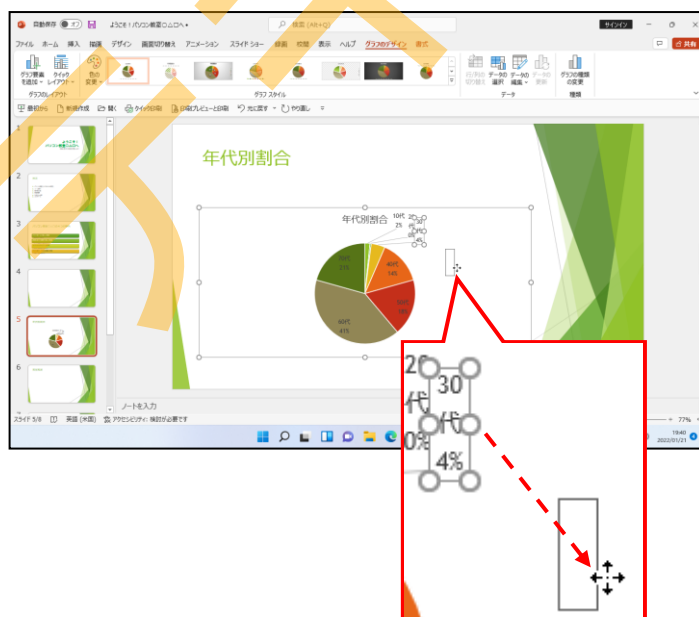
- ここでクリックするのは、どのデータラベルでも構いません。データラベルをクリックすると、すべてのデータラベルが選択されます。

「30代」のデータラベルにポイントし、クリックします。



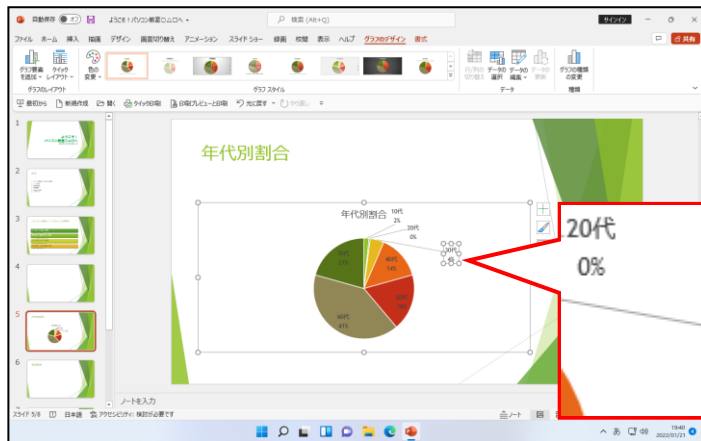
- データラベルが選択された状態で、もう一度クリックすると、選択したいデータラベルだけを選択することができます。

マウスポインターが \updownarrow の形になっていることを確認し、そのまま斜め右下へドラッグします。



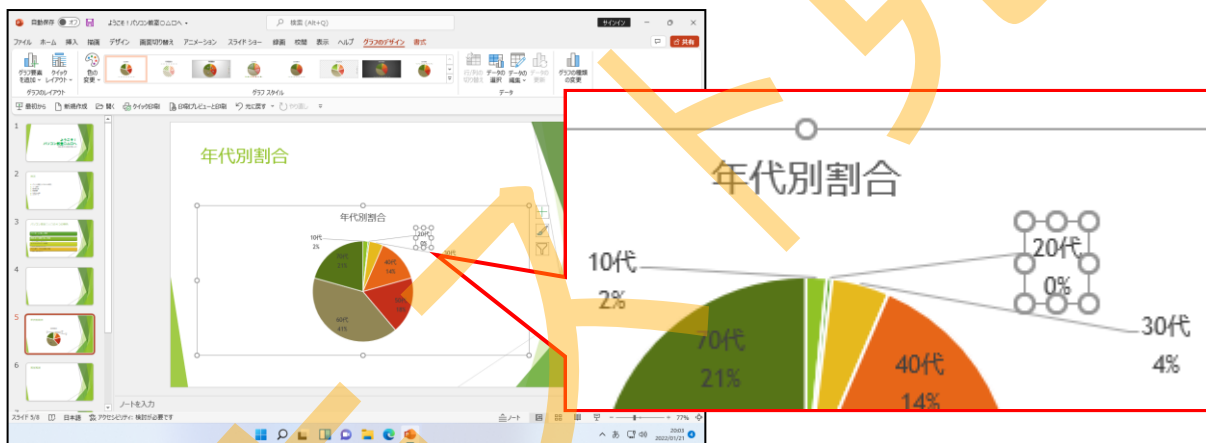
注意!

- 下へドラッグしすぎると、引き出し線が消えてしまう場合があります。消えてしまった場合は、もう一度データラベルを任意の位置へドラッグしましょう。



●「30代」のデータラベルが移動しました。

同様にして、下図のように10代と20代のデータラベルを移動しましょう。

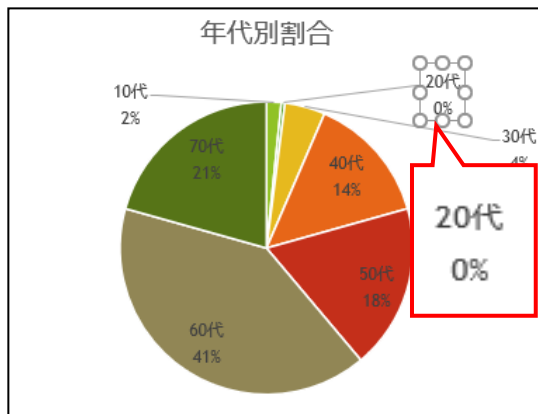


③ グラフのデータの編集

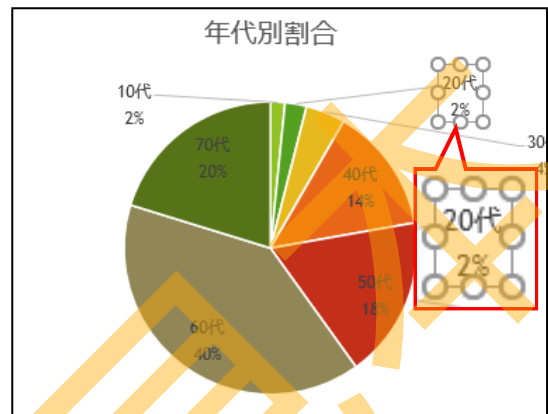
グラフを作成した後も、データを編集することができます。ここで20代のデータを「1」から「6」に変更しましょう。

◆グラフのデータを編集する方法をマスターしましょう。

操作前



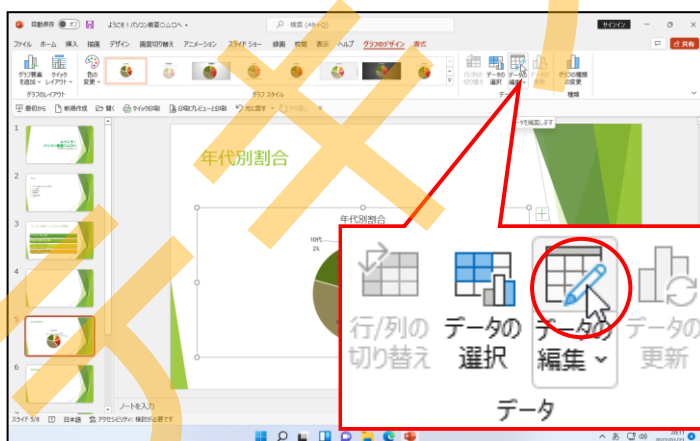
操作後



注意!

操作は下からです！

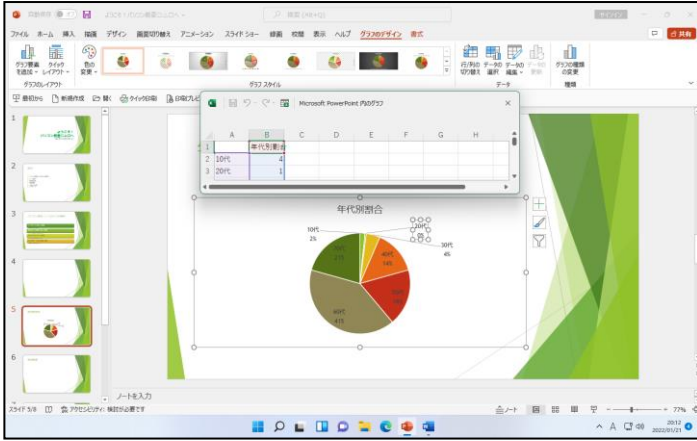
[グラフのデザイン] タブが選択されていることを確認し、[データ] グループの [データの編集] ボタンにポイントし、クリックします。



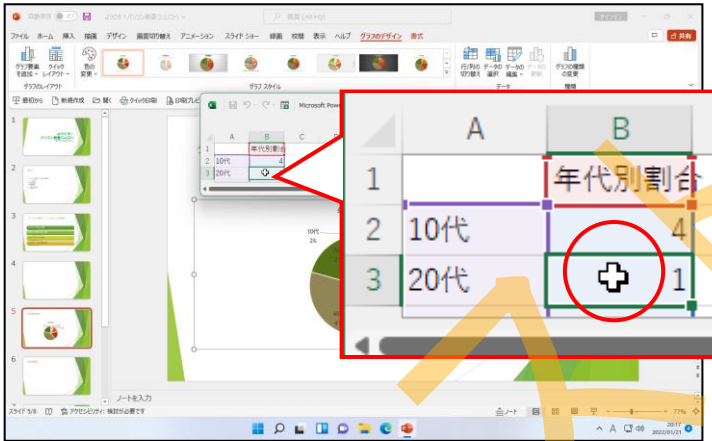
- [グラフのデザイン] タブが選択されていない方は、選択しておきましょう。

注意!

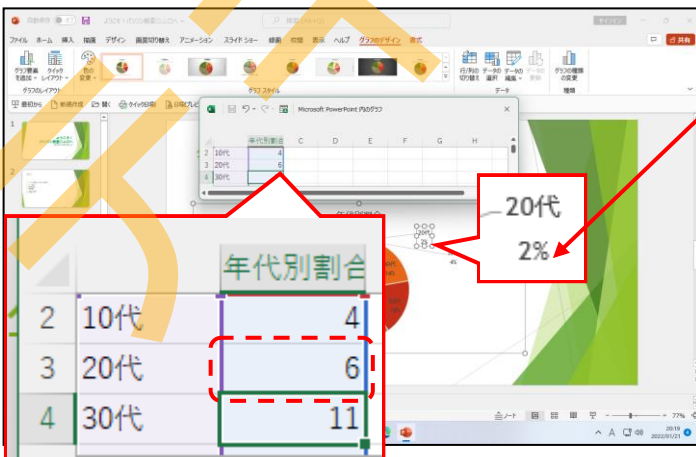
- データの編集 をクリックしないように注意しましょう。



セル B3 にポイントし、クリックします。

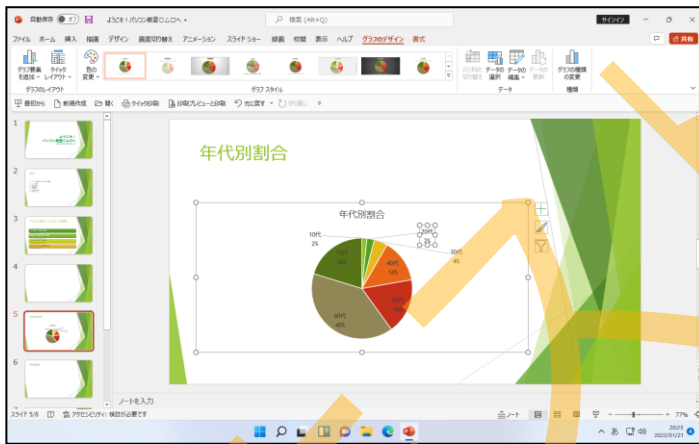
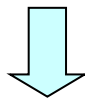
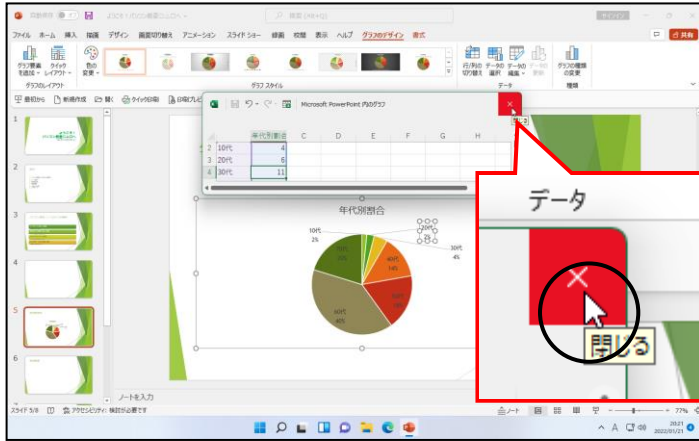


そのまま「6」を入力し、確定しておきましょう。



● 「6」を入力すると、データも「0%」から「2%」に変更になりました。

[Microsoft PowerPoint 内のグラフ] ウィンドウの × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。

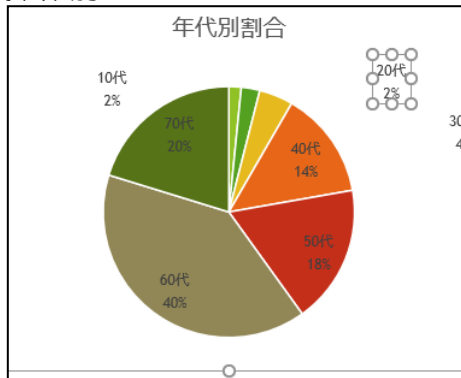


④ グラフのスタイルの変更

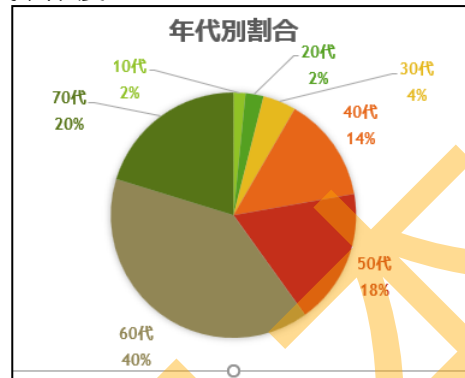
グラフは、スタイルを変更することができます。

◆グラフのスタイルを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



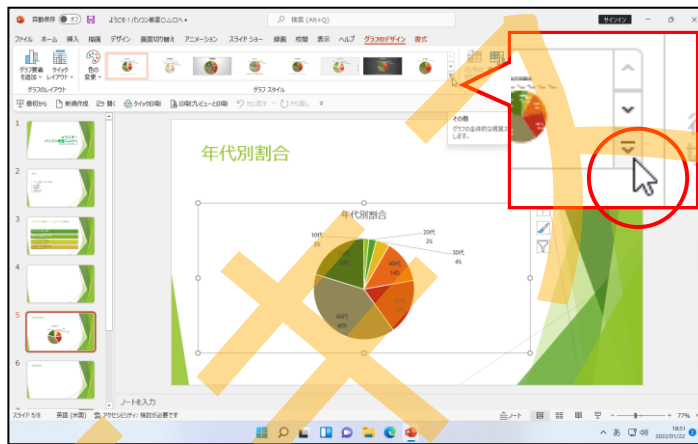
操作後



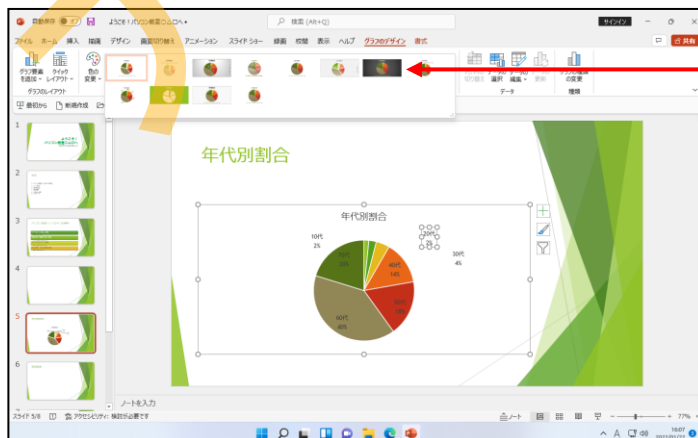
注意!

操作は下からです!

[グラフのデザイン] タブが選択されていることを確認し、[グラフスタイル] グループの [その他] ボタンにポイントし、クリックします。

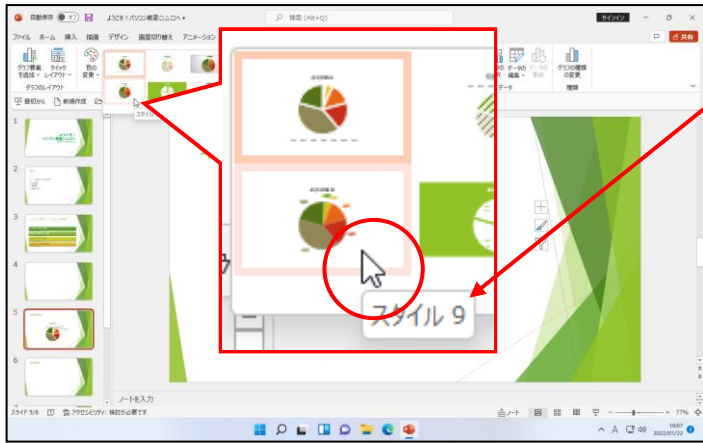


● [グラフのデザイン] タブが選択されていない方は、選択しておきましょう。

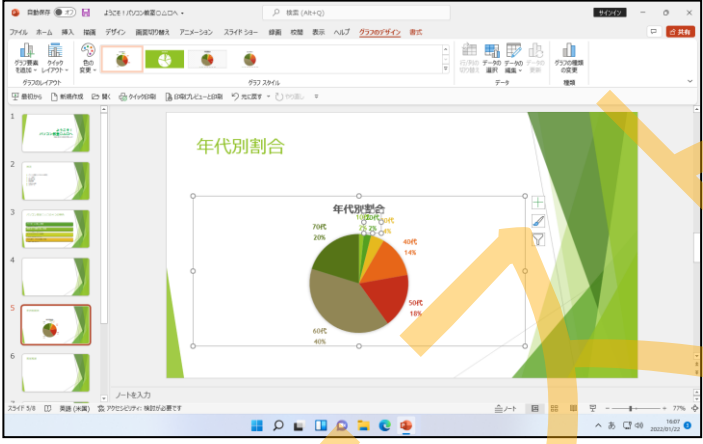


● グラフのデザインの種類が表示されました。

表示された一覧から、「スタイル9」にポイントし、クリックします。

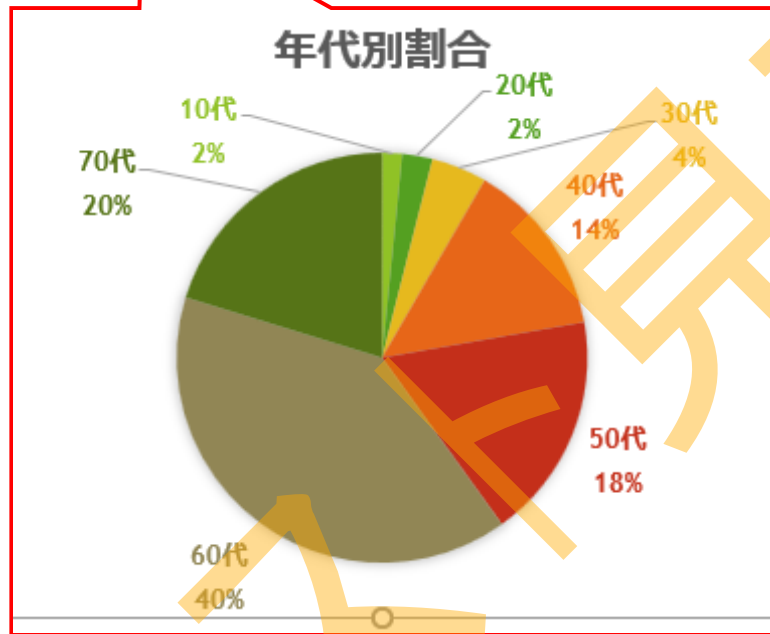
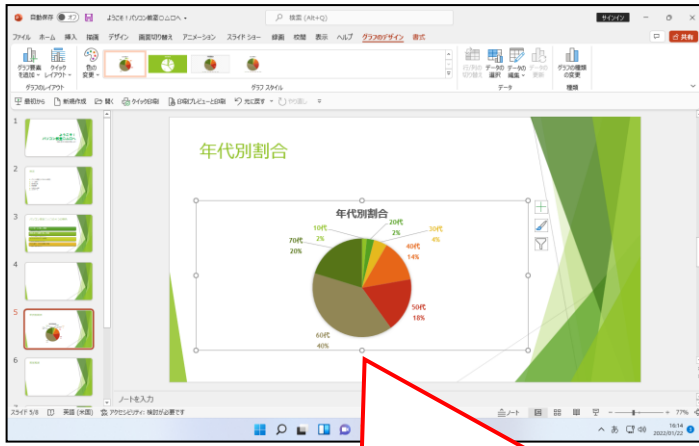


●ポイントすると、左のように「スタイル9」と、グラフのスタイル名が表示されます。



●グラフのスタイルが変更されました。

◎ 仕上げとして、データラベルの位置を、下図を参考に移動しましょう。



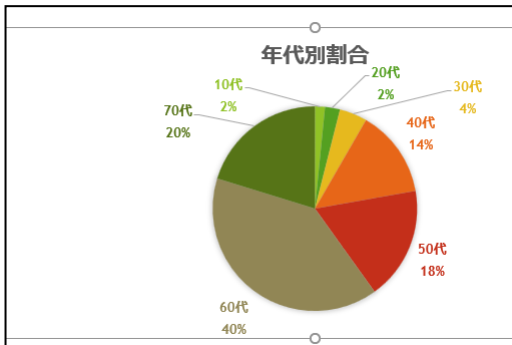
次の操作のために、グラフエリアの選択を解除しておきましょう。

⑤ グラフに図形を追加

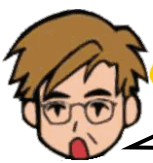
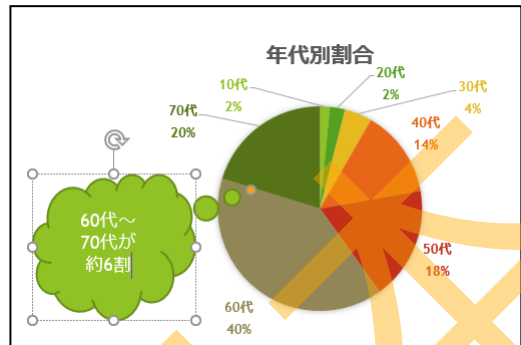
グラフの特徴がひと目でわかるように、吹き出しを追加してその中に文字を入力します。

◆グラフに図形を追加する方法をマスターしましょう。

操作前



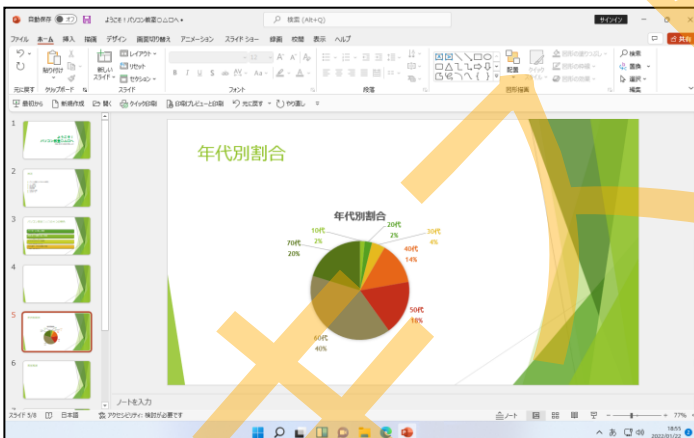
操作後



注意!

操作は下からです!

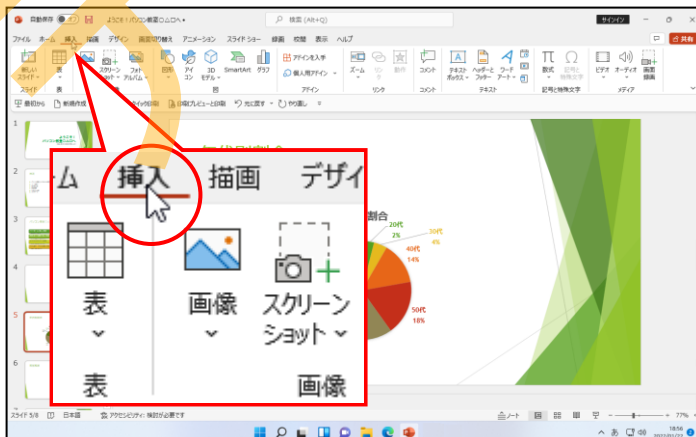
グラフエリアが選択されていないことを確認します。



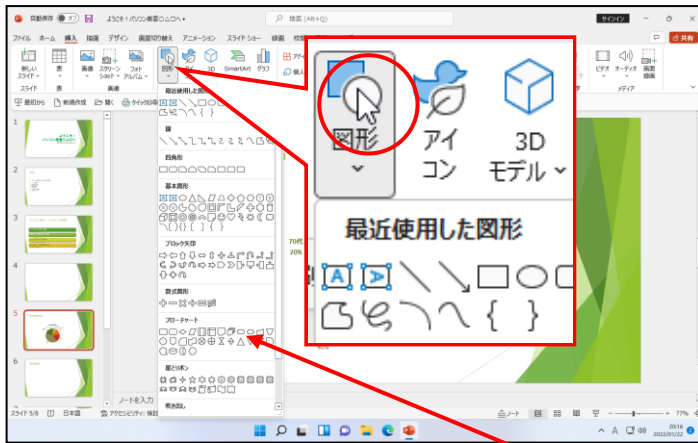
注意!

- グラフを選択した状態で以後の操作を続けると、アニメーションの箇所であまり動きませんので注意しましょう。

[挿入] タブにポイントし、クリックします。



【図】 グループにある [図形] ボタンにポイントし、クリックします。



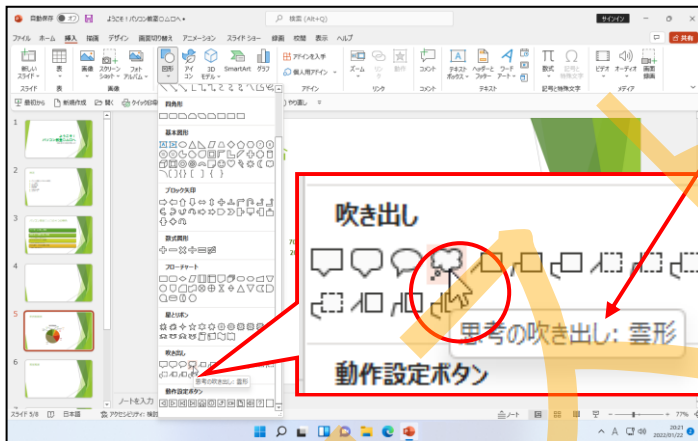
- リボンが表示されていない方は、P238 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ



- クリックすると、図形の一覧が下に表示されます。

表示された一覧から、「吹き出し」の中の「思考の吹き出し：雲形」にポイントし、クリックします。



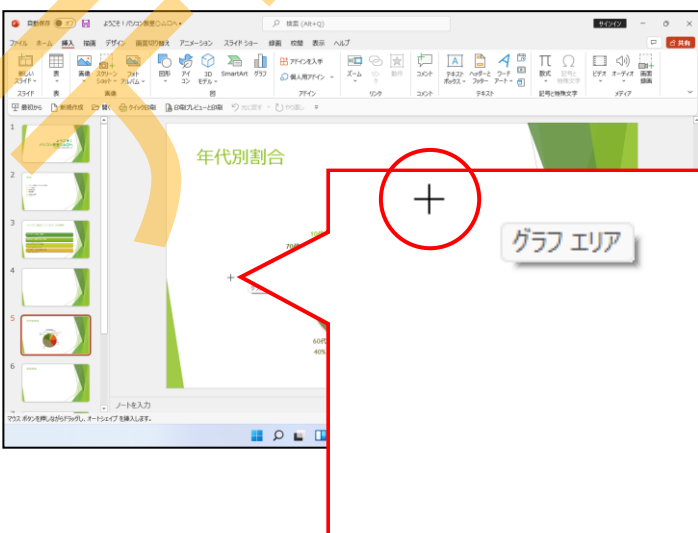
- ポイントすると、「思考の吹き出し：雲形」と、図形の名前が表示されます。

注意!

- お使いのパソコンによって、図形の名称が異なる場合があります。下の図を参考に選びましょう。

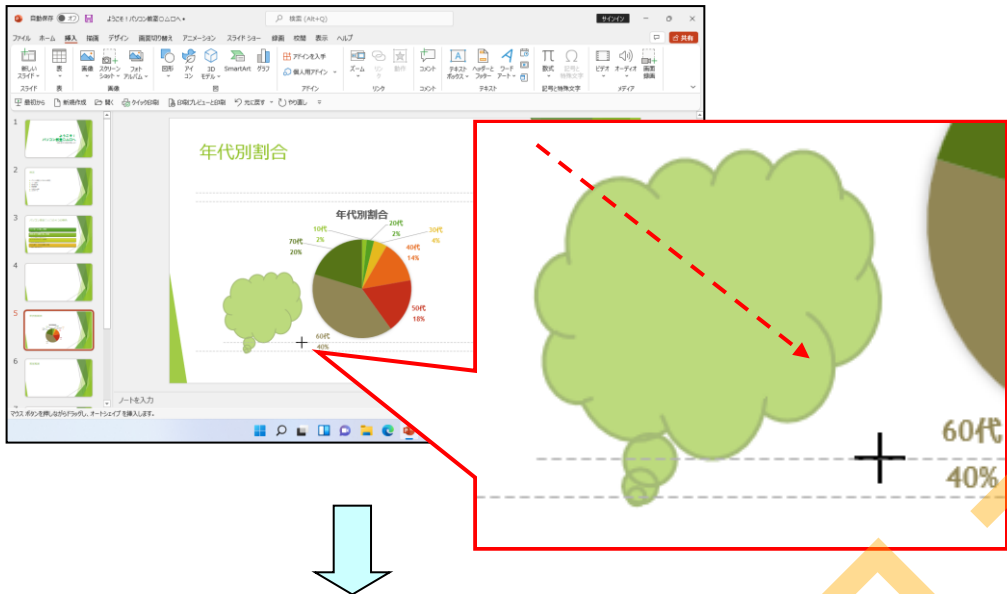


マウスポインターを下図を参考に移動します。

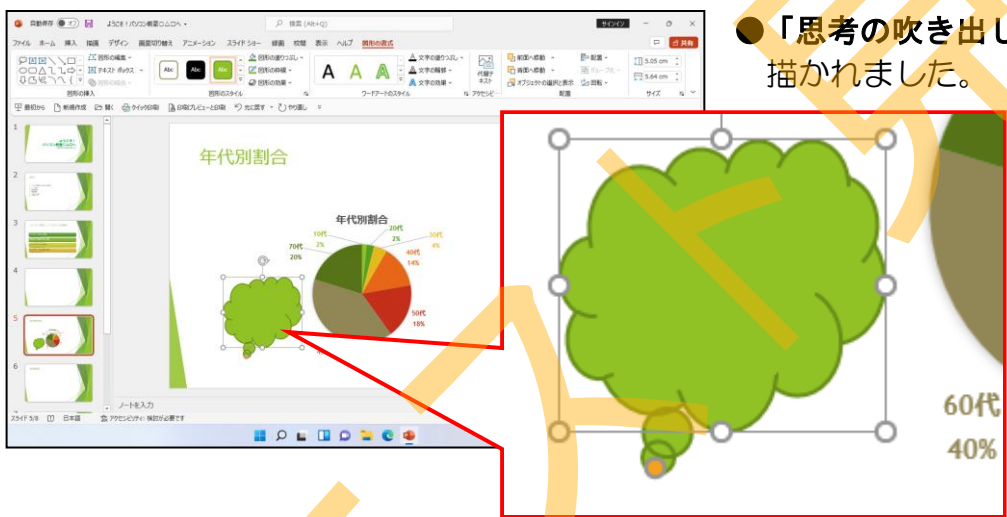


- 「思考の吹き出し：雲形」をクリックすると、マウスポインターは + の形になります。

マウスポインターが **+** になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。



● 「思考の吹き出し：雲形」の図形が描かれました。

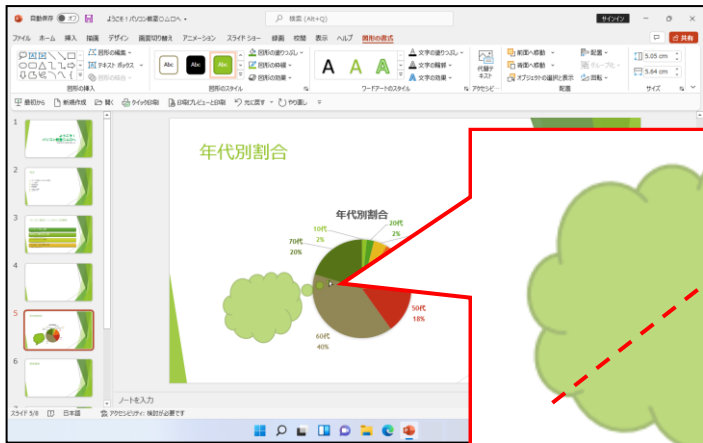


思考の吹き出し：雲形の下に表示されている ● (変形ハンドル) にポイントします。

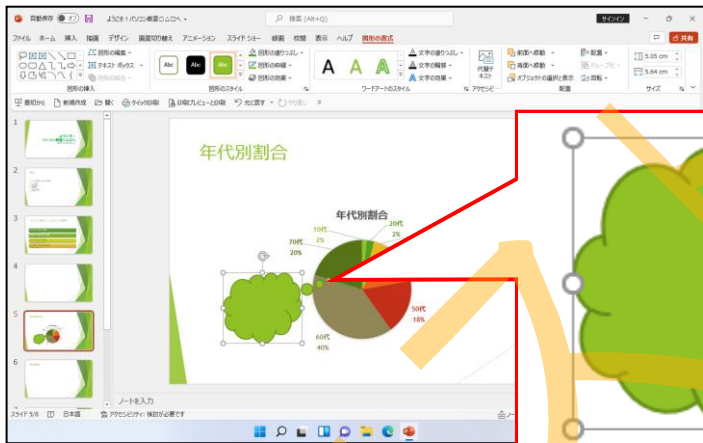
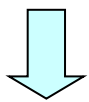
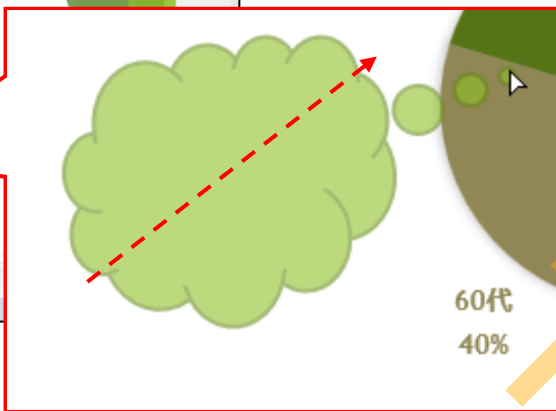
● (変形ハンドル) にポイントすると、マウスポインターは **△** の形になります。



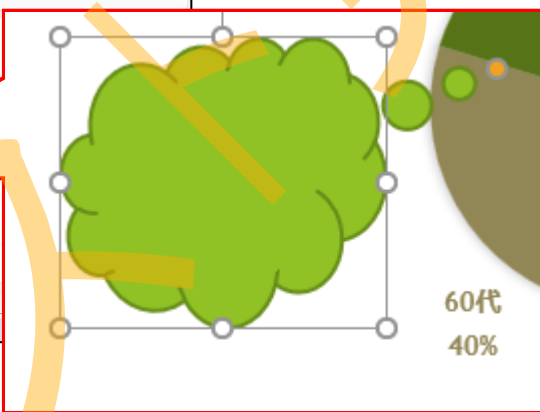
そのまま、「70代」と「60代」の境界あたりに向かってドラッグします。



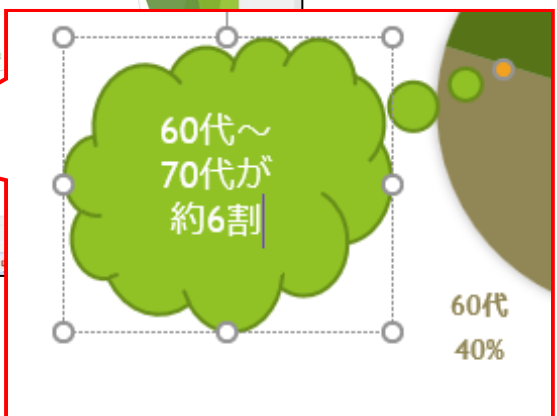
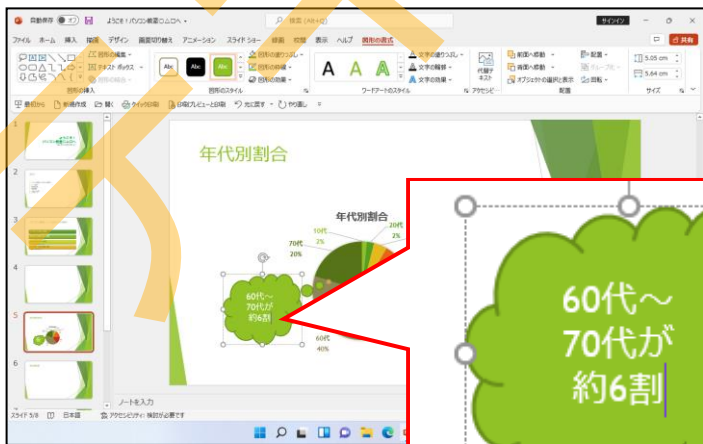
●指を放すまでは、吹き出しの形は確定されません。



●吹き出しの先が、「70代」と「60代」の境界あたりに移動しました。



そのまま、「60代～70代が約6割」と入力しましょう。

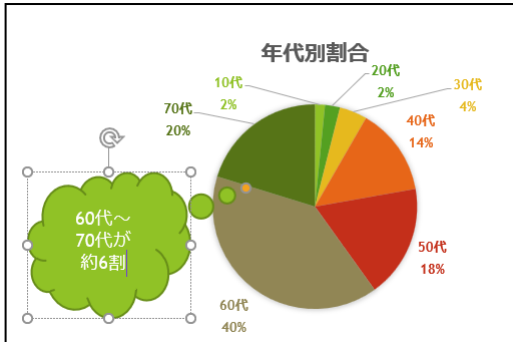


⑥ 図形内の文字の色を変更

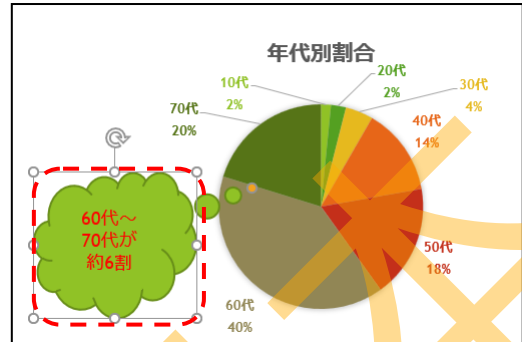
ここでは吹き出し内の文字の色を変更してみましょう。

◆吹き出し内の文字の色を変更する方法をマスターしましょう。

操作前



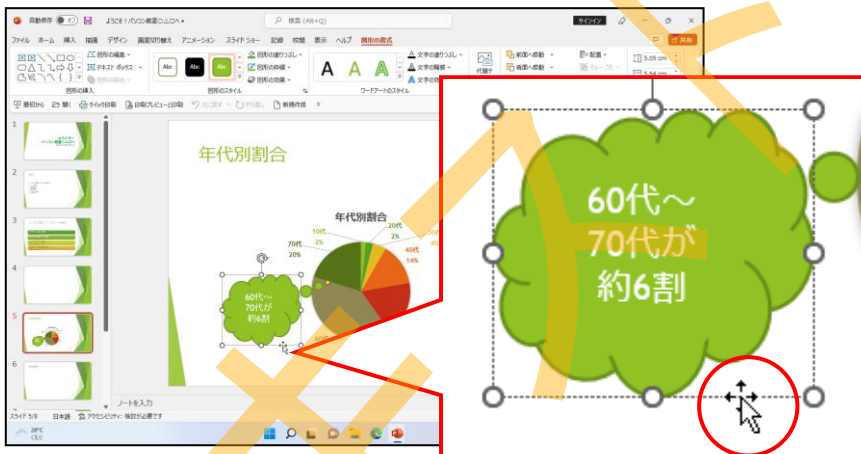
操作後



注意!

操作は下からです!

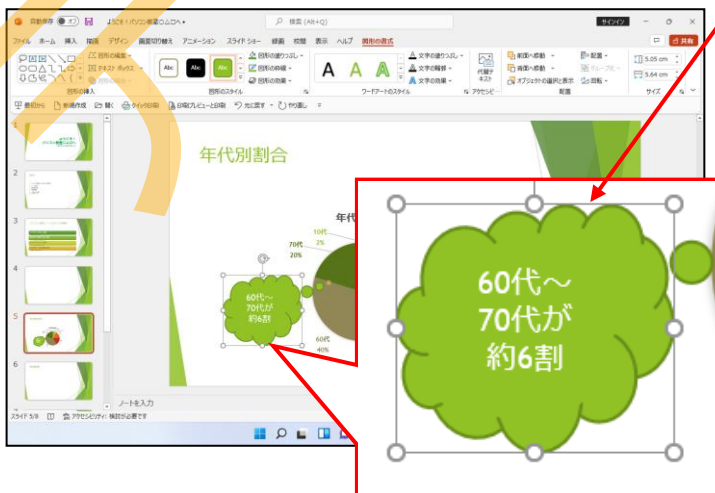
吹き出しの周りの点線にポイントし、そのままクリックします。



●周りの点線をクリックすると、実線になります。

注意!

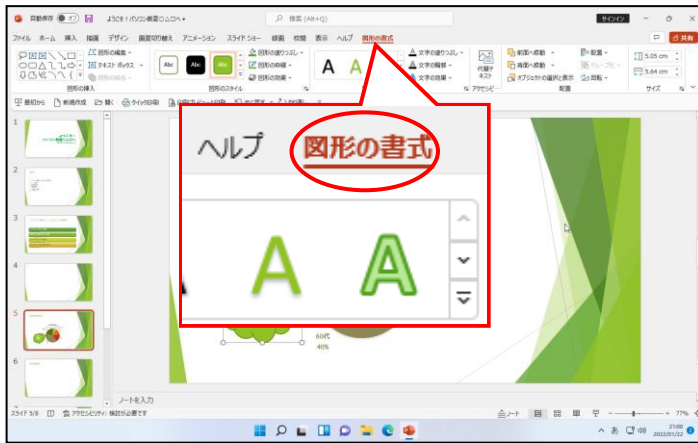
●吹き出しが選択されずに、吹き出しの中にカーソルがあると、文字の色が変わらなかったり、部分的にしかならない場合があるので注意しましょう。



エクセルのグラフをスライドに挿入

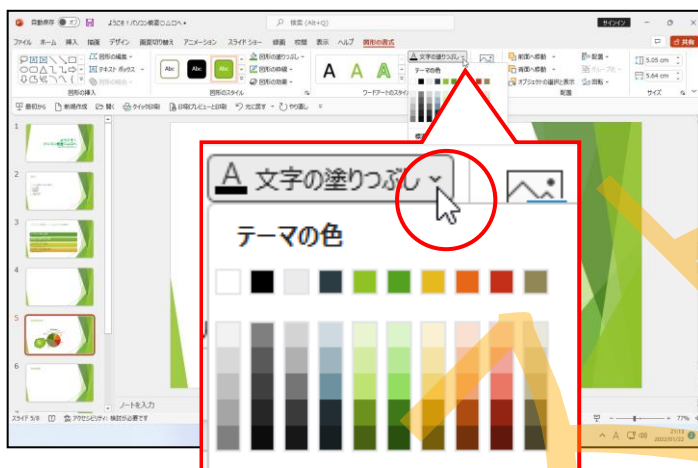
P127

【図形の書式】 タブが選択されていることを確認します。



- 【図形の書式】 タブが選択されていない方は、【図形の書式】 タブを選択しておきましょう。

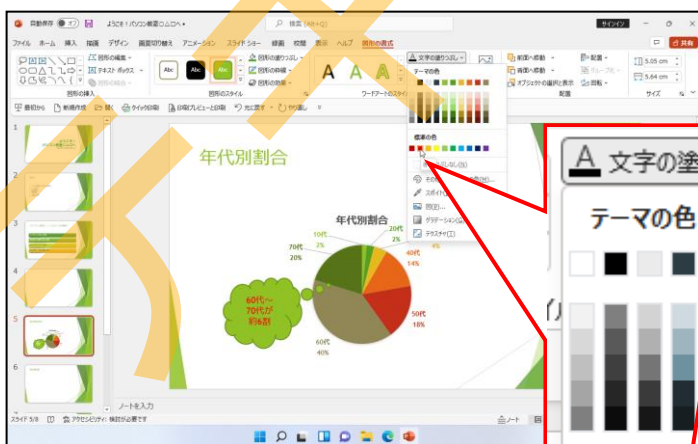
【ワードアートのスタイル】 グループにある 文字の塗りつぶし ▾ 【文字の塗りつぶし】 ボタンにポイントし、クリックします。



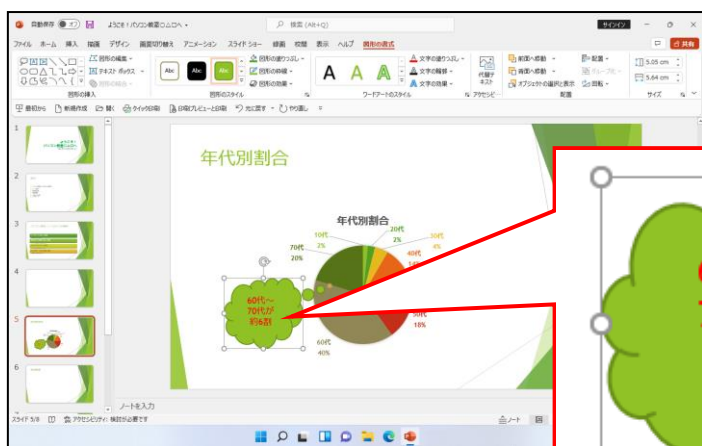
注意!

- **A** の部分をクリックしてしまうと色を選択できないので注意しましょう。

下に表示された一覧から、「赤」にポイントし、クリックします。



- ポイントすると、左のように「赤」と色の名前が表示されます。



●吹き出し内の文字の色が「赤」に変わりました。



上書き保存をしておきましょう。



●補足説明（その4）P127

●P124 エクセルのグラフをスライドに挿入

エクセル（Excel）で作成したグラフ、表は、スライドの中にオブジェクトとして挿入することができます。挿入する形式は、「埋め込み式」と「リンク」があります。


● 埋め込み式

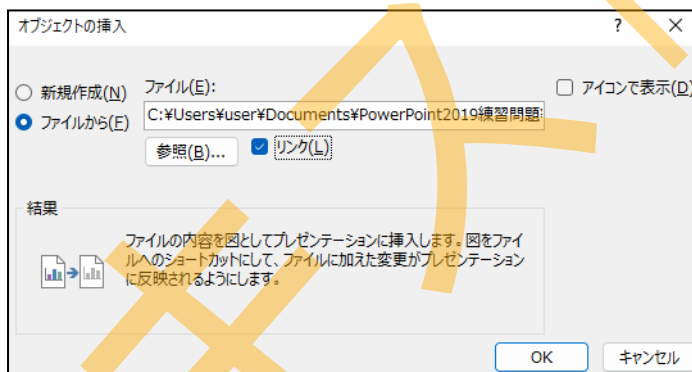
エクセル（Excel）で作成したグラフのデータを変更しても、パワーポイント（PowerPoint）のスライドのデータには反映されません。

● リンク

エクセル（Excel）で作成したグラフのデータを変更すると、パワーポイント（PowerPoint）のスライドのデータにも反映されます。

■ Excel のグラフを PowerPoint のスライドへ挿入する方法

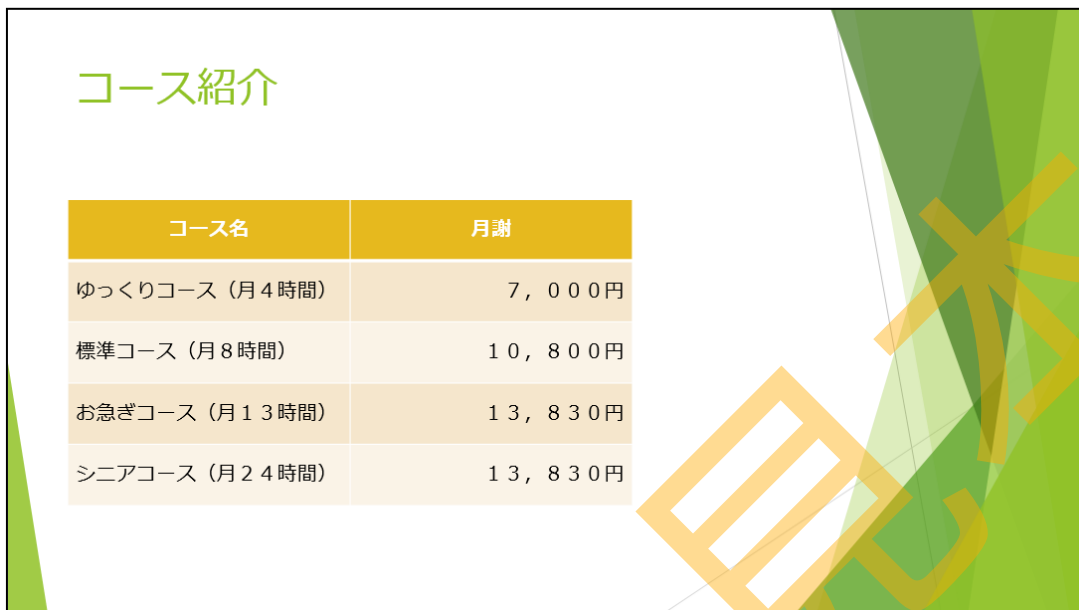
- ① [挿入] タブをクリックして、[テキスト] グループ内の、 オブジェクト [オブジェクト] ボタンをクリックします。
- ② [オブジェクトの挿入] ダイアログボックスが表示されるので、[ファイルから (F)] のチェックボックスをオンにし、[参照 (B)...] ボタンをクリックします。
- ③ Excel グラフのファイルを指定し、[OK] ボタンをクリックします。
- ④ [オブジェクトの挿入] ダイアログボックスに戻るので、[リンク (L)] のチェックボックスをオンにし、[OK] ボタンをクリックします。




(3) 表の挿入

パワーポイント（PowerPoint）では、独自の機能を利用して表を作成したり、編集したりすることができます。

【完成例】



コース名	月額
ゆっくりコース（月4時間）	7,000円
標準コース（月8時間）	10,800円
お急ぎコース（月13時間）	13,830円
シニアコース（月24時間）	13,830円

表を挿入するには、プレースホルダー内の  **【表の挿入】** ボタンをクリックします。表を選択すると、「コンテキストツール」が表示されます。表の場合、次に示す**表ツール**を使って設定します。表ツールは**【デザイン】** タブ、**【レイアウト】** タブの以下の2種類のタブが表示されます。

■表ツール【デザイン】タブ

表の塗りつぶしの色や線の色を設定します。



■表ツール【レイアウト】タブ

表の列幅、行の高さを変更したり、表内の文字列の配置を設定します。



① 表の挿入

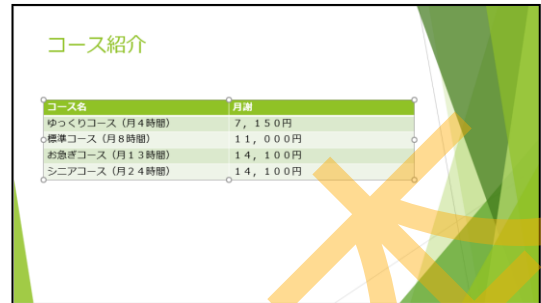
スライド4に「コース紹介」というタイトルを入力し、表を挿入していきましょう。

◆スライドに表を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



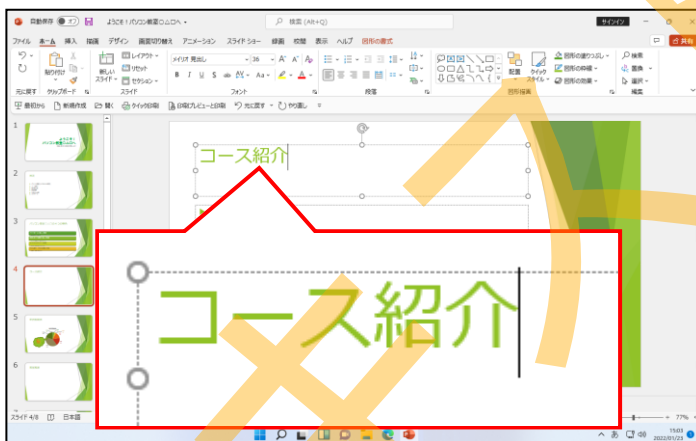
操作後



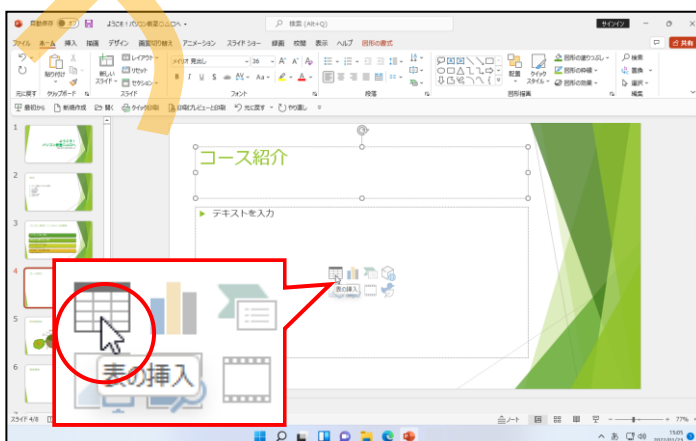
注意!

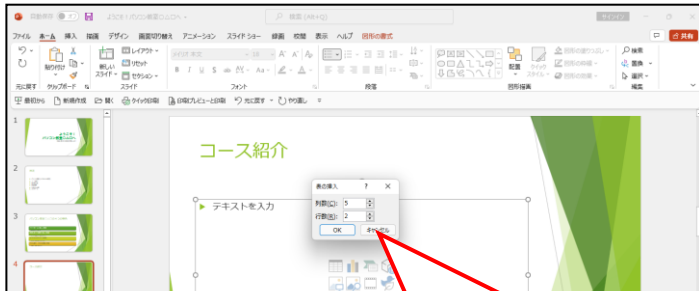
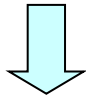
操作は下からです!

スライド4を表示し、タイトルのプレースホルダーに、「コース紹介」と入力しましょう。

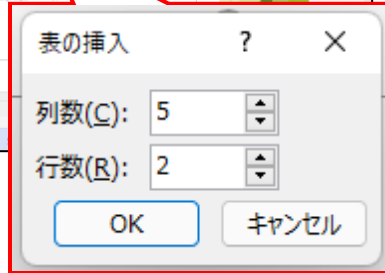


スライド中央にある [表の挿入] ボタンにポイントし、クリックします。

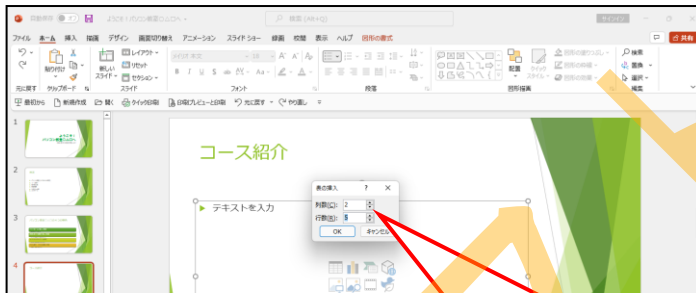




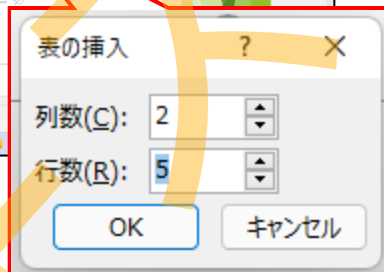
- [表の挿入] ボタンをクリックすると、[表の挿入] ダイアログボックスが表示されます。



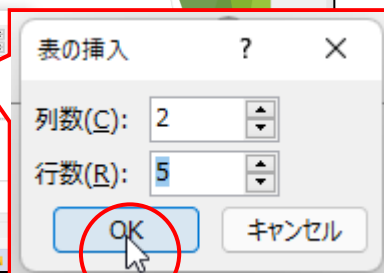
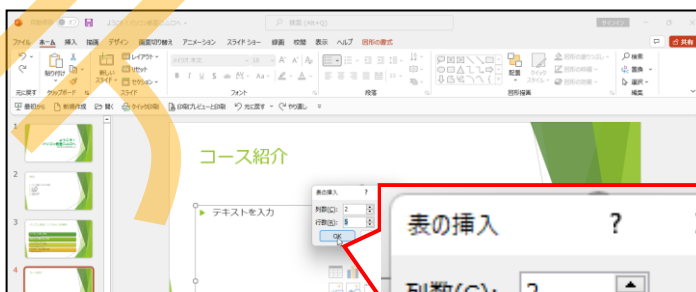
[表の挿入] ダイアログボックスの [列数(C):] ボックスに「2」を、[行数(R):] ボックスに「5」を指定します。

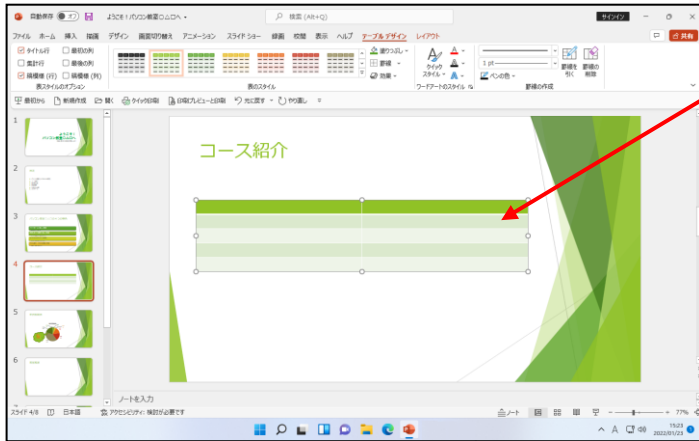
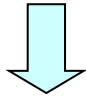


- 列数の指定を行うには、[列数(C):] ボックスの数値をドラッグして青く反転表示し、直接数値を入力するか、または [列数(C):] ボックスの右側の ▲ ▼ で数値を上げ下げして指定します。



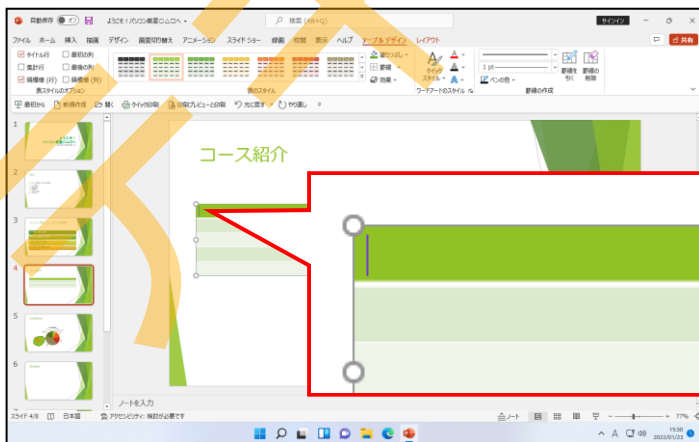
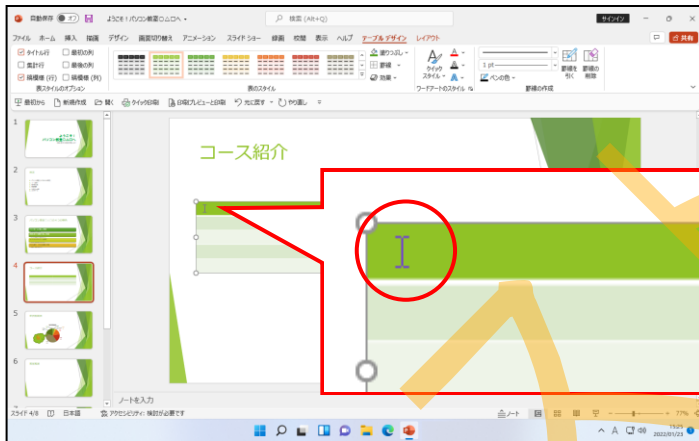
[OK] ボタンにポイントし、クリックします。



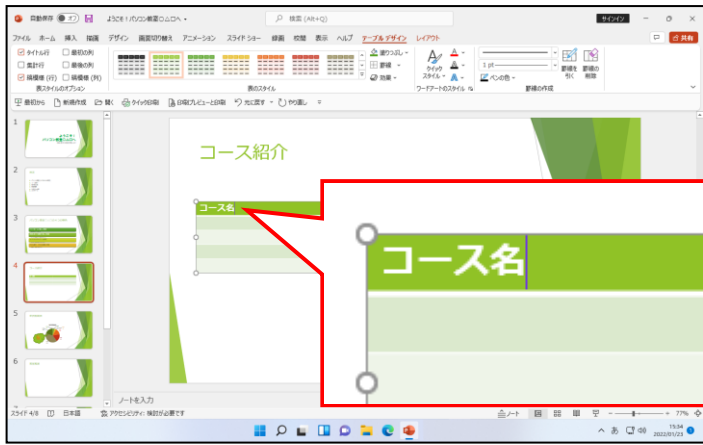


●列数、行数を指定して [OK] ボタンをクリックすると、表が挿入されました。

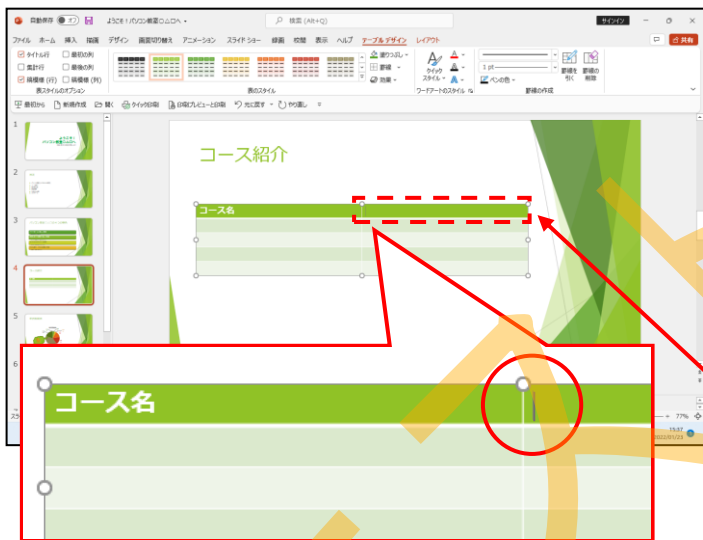
表の左 1 列 1 行目にポイントし、そのままクリックします。



カーソルが表示されていることを確認し、「コース名」と入力します。



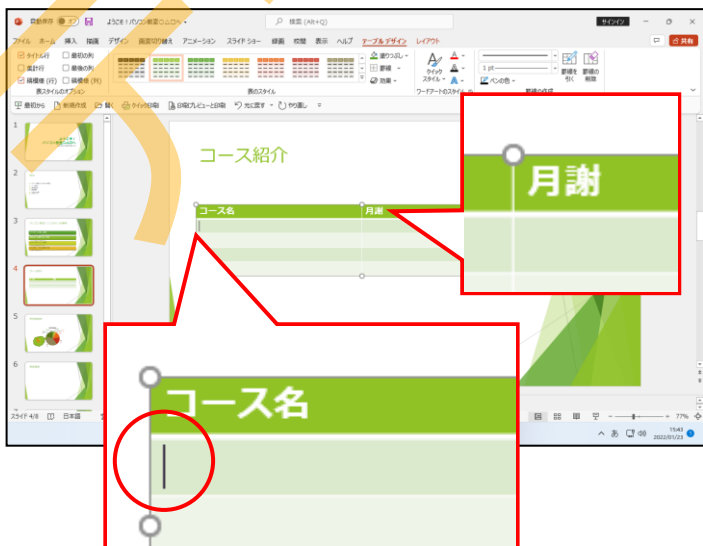
[Tab] キーを押します。



注意!

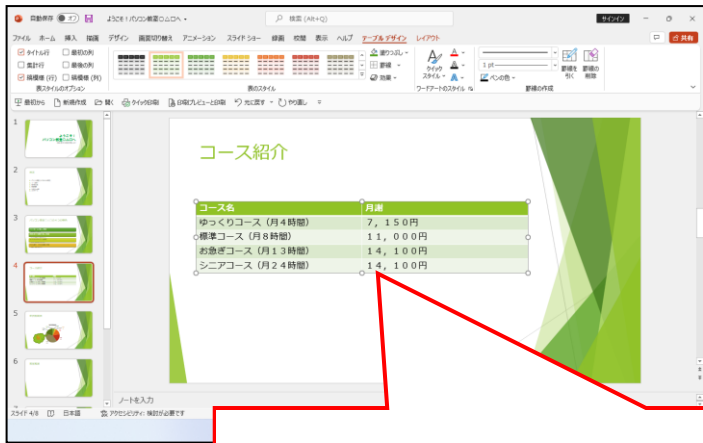
- 表内でカーソルを移動するには、[Tab] キーを利用すると便利です。文字を入力後に [Enter] キーを押してしまうと、セル内で改行されてしまうので注意しましょう。
- [Tab] キーを押すと、カーソルが表の右列の1行目に移動します。

そのまま「月謝」と入力し、[Tab] キーを押します。



- [Tab] キーを押すと、カーソルが表の左列の2行目に移動します。

表の中に、下図の吹き出し内の文字を入力しましょう。



コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円

② 表の列幅の変更

表の列幅を少し狭くしてみましょう。

◆表の列幅を変更する方法をマスターしましょう。

操作前

コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円

操作後

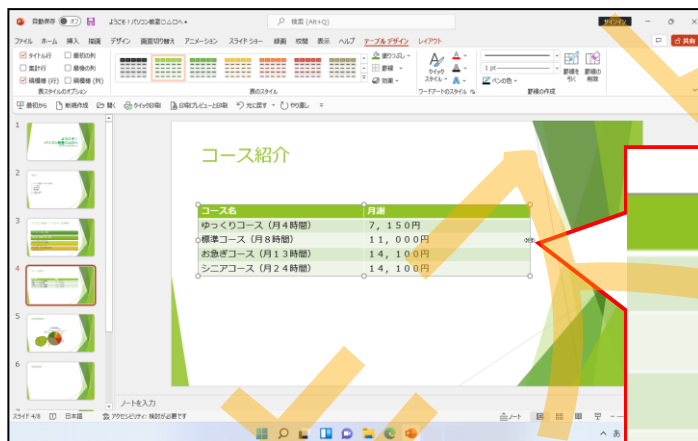
コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円



注意!

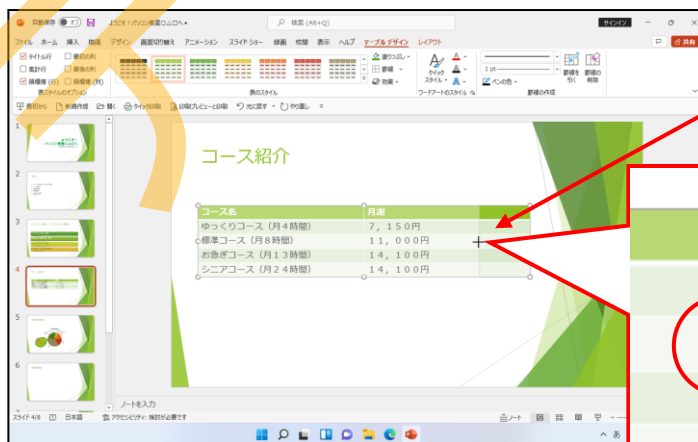
操作は下からです!

表の右側中央の○にポイントします。

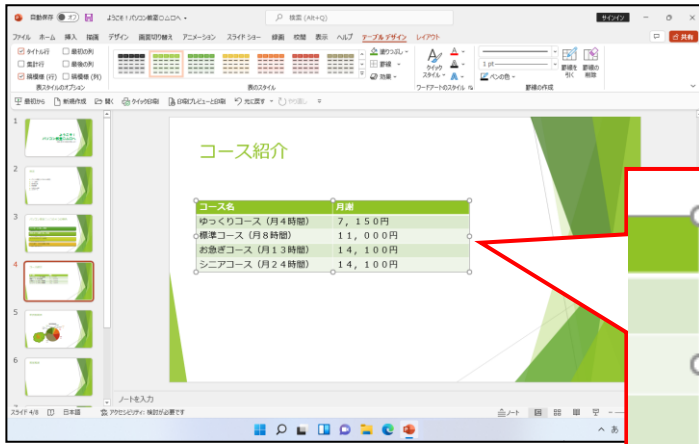
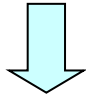


●表の右側中央の○にポイントすると、マウスポインターは⇔の形になります。

そのまま左方向へドラッグします。



●ドラッグをすると、マウスポインターは+の形になります。



- ○ をドラッグして列幅を変更すると、1列目と2列目の列幅は、同じ幅の状態では表が縮小されます。



③ 表の行の高さの変更

表の行の高さを変更しましょう。

◆表の高さを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

コース名	月額
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円

操作後

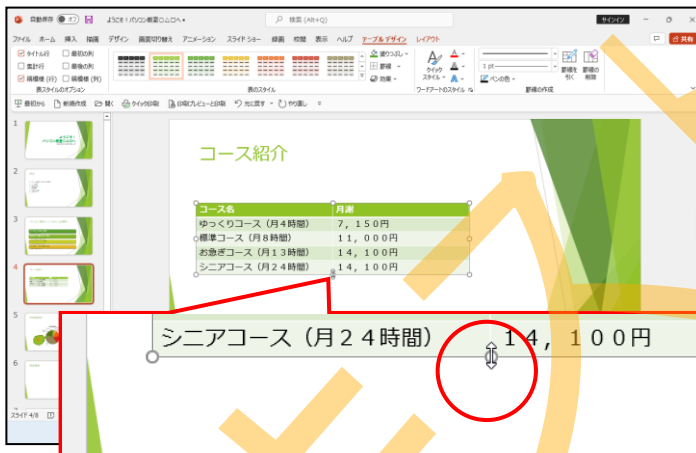
コース名	月額
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円



注意!

操作は下からです!

表の一番下中央の○にポイントします。

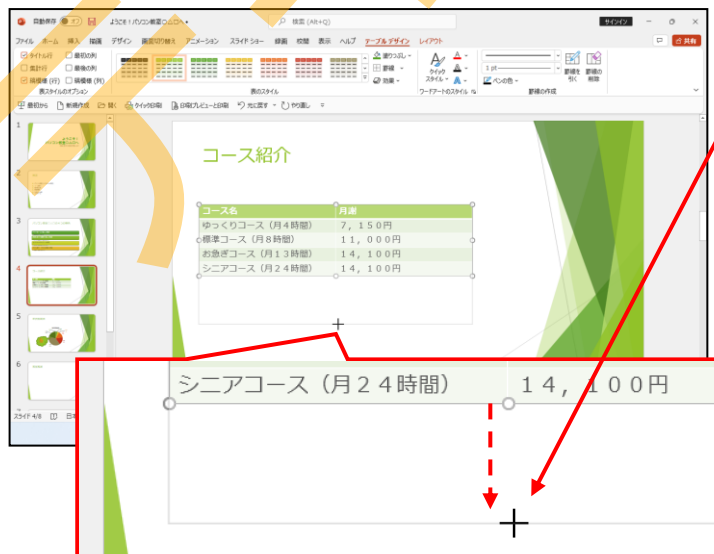


●表の一番下中央の○にポイントすると、マウスポインターは↑↓の形になります。

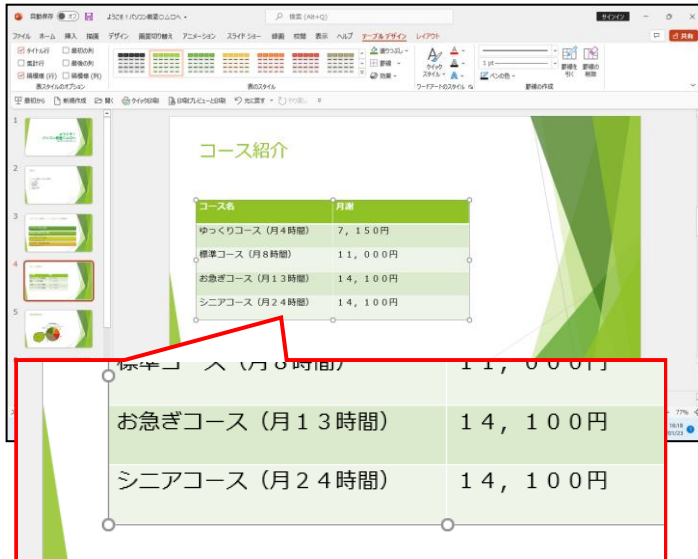
注意!

●マウスポインターが↑↓の形の時にドラッグしないように注意しましょう。

そのまま下方向へドラッグします。



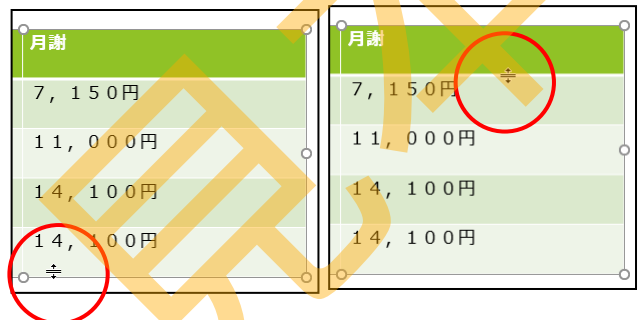
●ドラッグすると、マウスポインターは+の形になります。



- ○ をドラッグして行の高さを変更すると、すべての行が同じ高さの状態です、表が大きくなりました。

余裕があれば読んでね

- 任意の行のみ変更したい場合は、下図のように表の一番下なら ○ より少し上側に、表の中の行なら、表の横ラインにポイントし、マウスポインターが ⇕ の形でドラッグします。



④ 表のセルの文字列の配置

表内の文字列を、上下中央揃え、中央揃え、右揃えに設定していきましょう。

◆表のセル内の文字の配置を変更する方法をマスターしましょう。

操作前

コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円

操作後

コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円

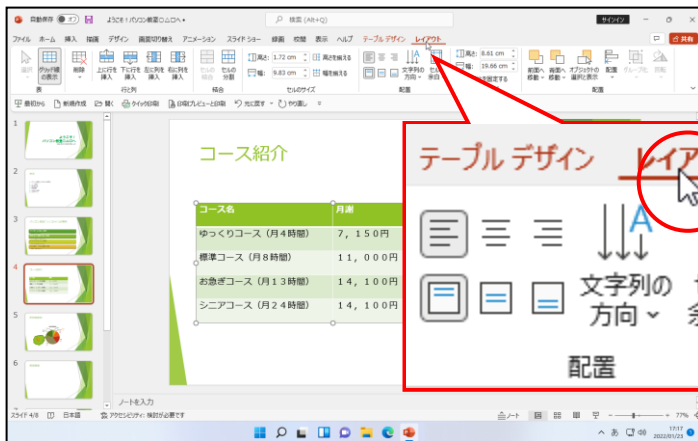


操作は次ページからです！

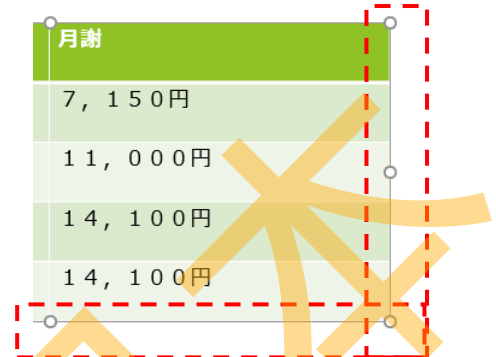
●上下中央揃え

セルの中で上下でみたときに中央に文字が配置されるように設定しましょう。

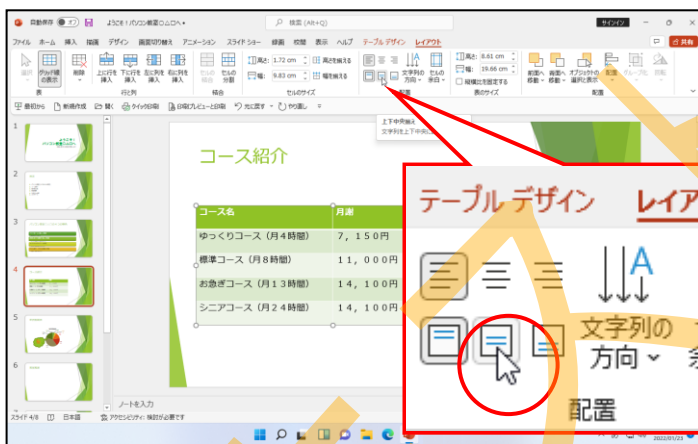
表が選択されていることを確認し、[レイアウト] タブにポイントし、クリックします。



●表が選択されていると、表の周りにグレーの枠が表示されます。



[配置] グループの [上下中央揃え] ボタンにポイントし、クリックします。



● [上下中央揃え] ボタンをクリックすると、セルの中で上下中央に揃いました。



●左右中央揃え

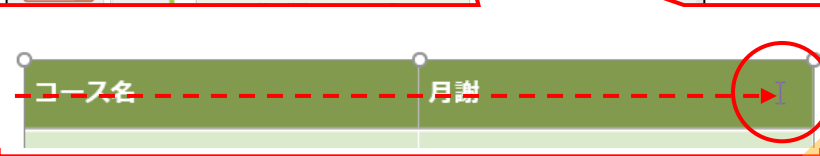
1行目の「コース名」と「月謝」の文字を、セルの中で左右中央に文字が配置されるように設定していきましょう。

表の1行目をドラッグで選択します。

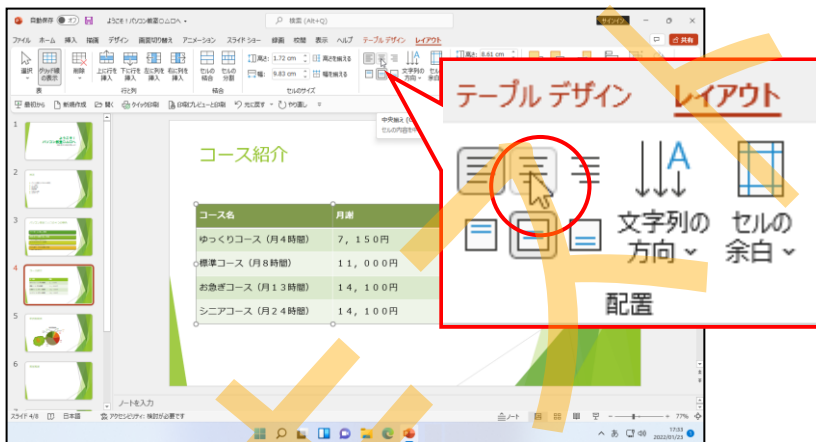


注意!

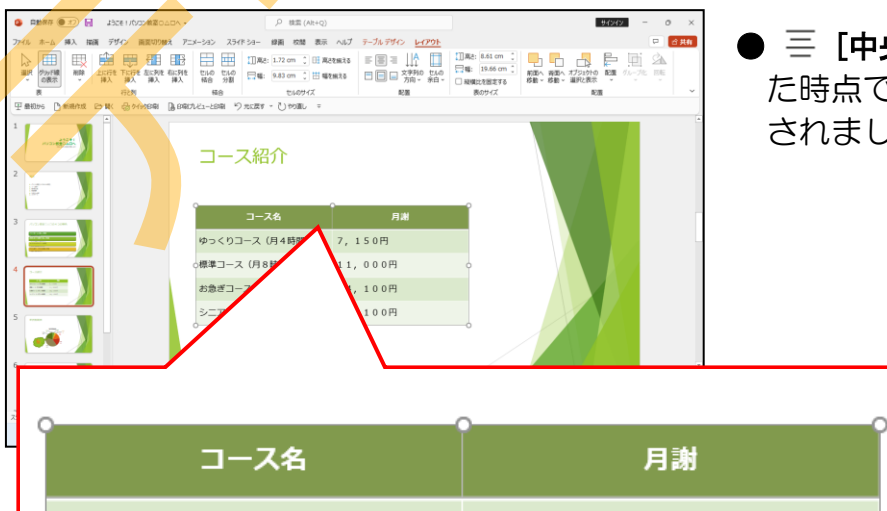
●表の左側にマウスポインターを移動し、→の状態をクリックしても同じように1行目が選択されます。



表ツールの[レイアウト]タブ内で、[配置]グループ内にある ≡ [中央揃え] ボタンにポイントし、クリックします。



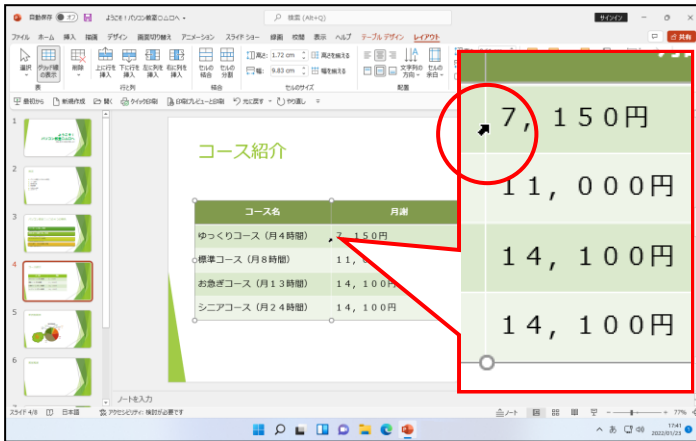
● ≡ [中央揃え] ボタンをクリックした時点で、文字がセルの中央に配置されました。





●右揃え

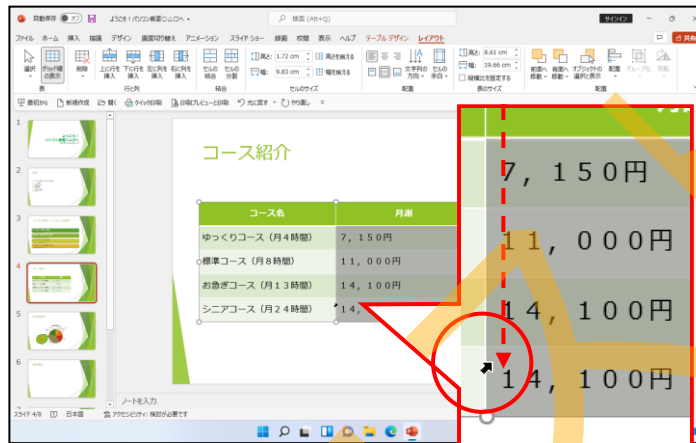
表の金額の部分が、セルの中で右側に文字が配置されるように設定しましょう。


「7, 000円」の左側の縦ラインより少し右にポイントします。

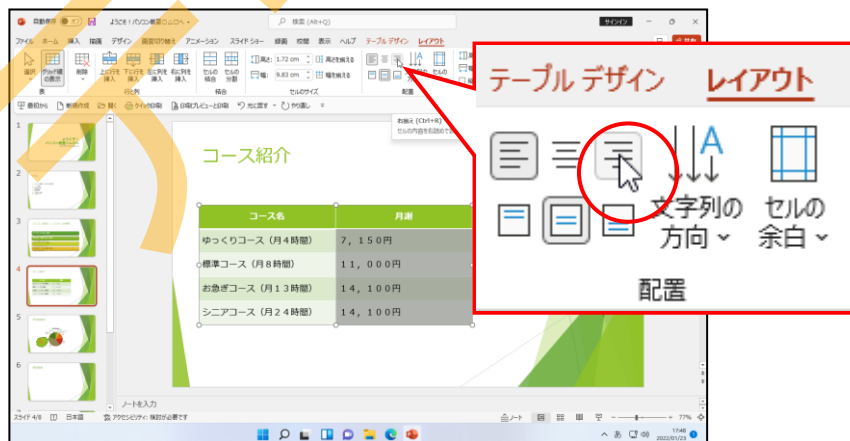


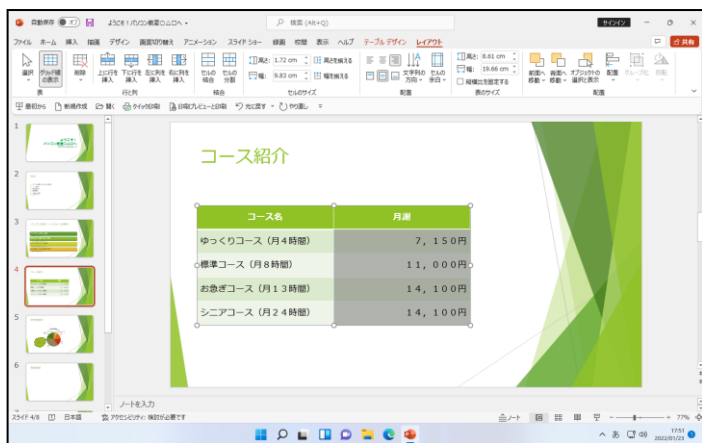
●縦ラインより少し右にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

マウスポインターが  の状態で、下までドラッグします。



表ツールの [レイアウト] タブ内で、[配置] グループ内にある  [右揃え] ボタンにポイントし、クリックします。





●金額の部分が右揃えになりました。

セルを結合する方法 P143

⑤ 表のスタイルの変更

下の右図のように、挿入した表のスタイルを変更してみましょう。

◆表のスタイルを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円

操作後

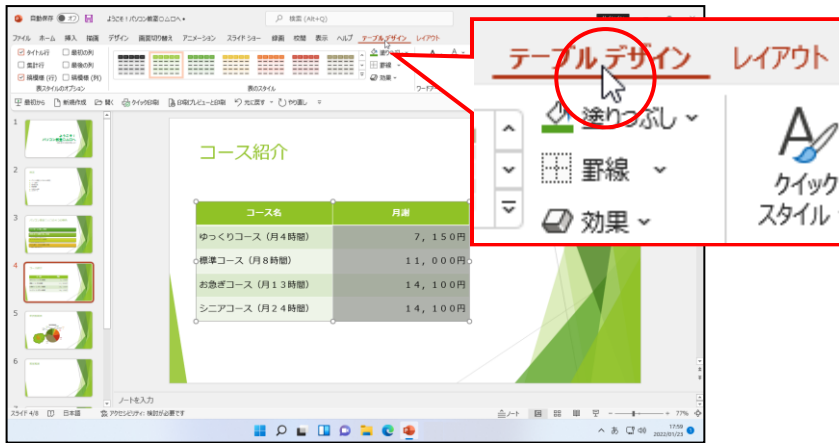
コース名	月謝
ゆっくりコース (月4時間)	7,150円
標準コース (月8時間)	11,000円
お急ぎコース (月13時間)	14,100円
シニアコース (月24時間)	14,100円



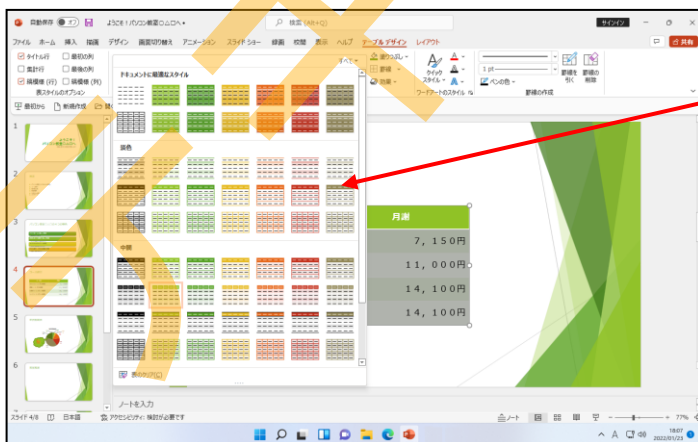
注意!

操作は次ページからです!

[テーブルデザイン] タブにポイントし、クリックします。

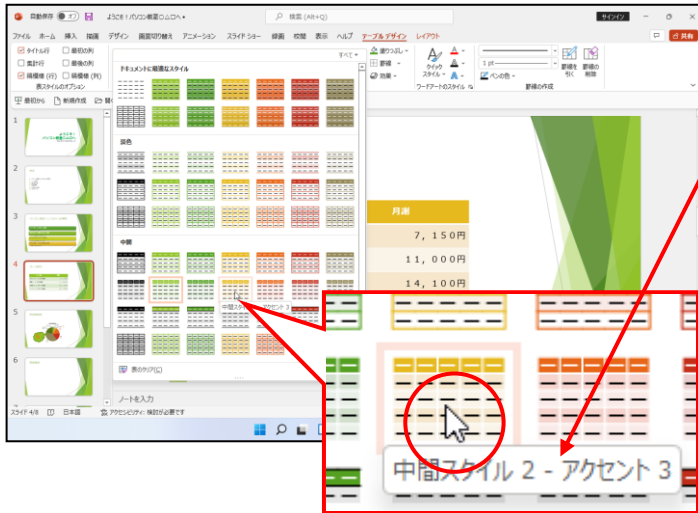


[表のスタイル] グループ内の [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



● [その他] ボタンをクリックすると、左のように表のスタイルの一覧が表示されます。

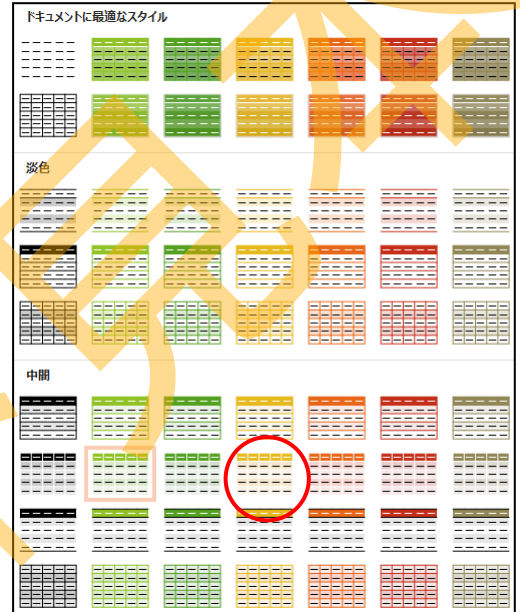
下に表示された一覧から、「中間」の中の「中間スタイル 2-アクセント 3」にポイントし、クリックします。



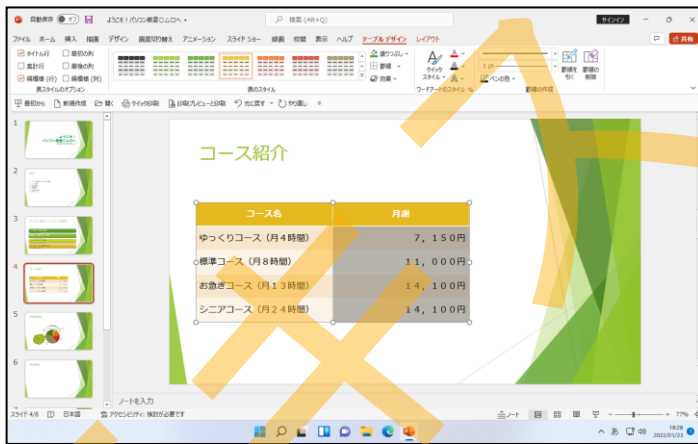
●ポイントすると、左のように「中間スタイル 2-アクセント 3」とスタイルの名前が表示されます。

注意!

●お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違います。下の図を参考に選びましょう。



●表のスタイルが変更されました。



上書き保存をしておきましょう。

●補足説明 (その5) P143

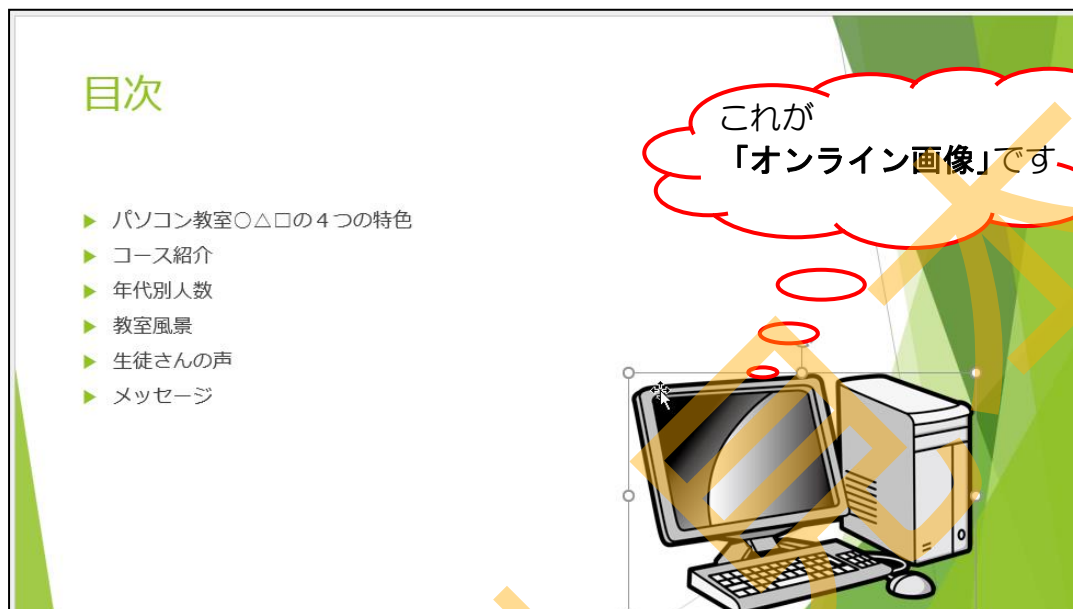
●P141 セルを結合する方法

結合したいセル同士を選択して[レイアウト]タブをクリックし、[結合]グループの [セルの結合] ボタンをクリックします。

(4) オンライン画像（イラスト）、ワードアートの挿入

オンライン画像の挿入では、インターネット上からさまざまな画像を挿入することができます。オンライン画像を利用すれば、自分が作成しなくても、テーマに合わせたイラストを、簡単にスライド内へ挿入することができます。

【完成例】



※オンライン画像を挿入する際には皆さんがお持ちのパソコンがオンライン（インターネットにつながっている状態）でないと、画像を挿入することはできませんので、注意しましょう。



① オンライン画像（イラスト）の挿入

スライド2の右側に、下の図のようなパソコンに関する「画像（イラスト）」を挿入しましょう。

◆画像（イラスト）を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



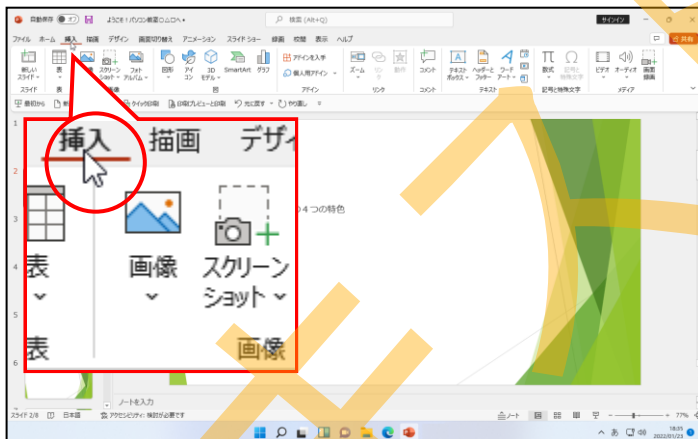
操作後




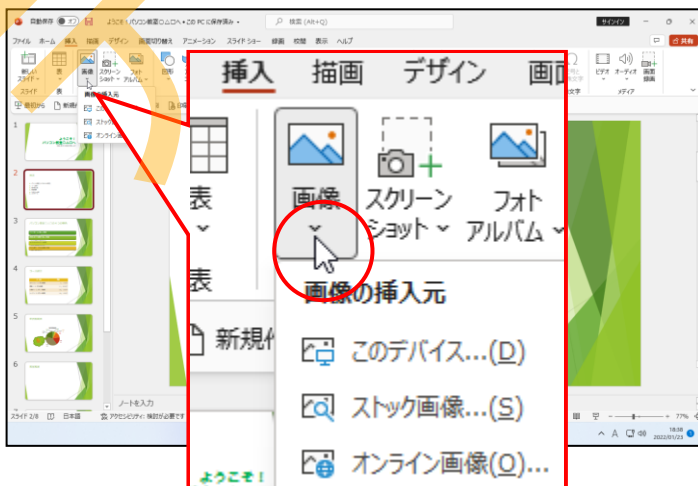
注意!

操作は下からです！

スライド2を表示して、[挿入] タブにポイントし、クリックします。



[画像] グループにある  [画像] ボタンにポイントし、クリックします。

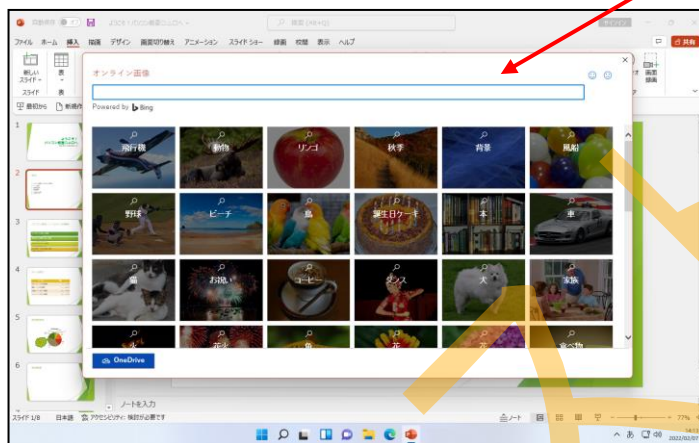
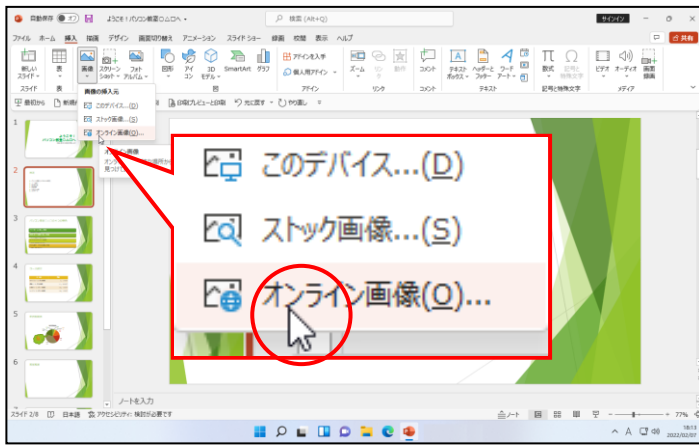


●リボンが表示されていない方は、**P238 リボンの表示オプションの変更**を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ



下に表示された [オンライン画像 (0)] にポイントし、クリックします。



- [オンライン画像 (0)...] をクリックすると、[オンライン画像] ウィンドウが表示されます。

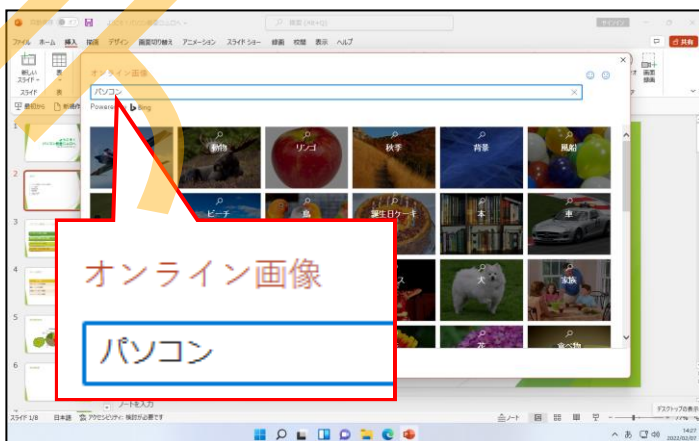
注意!

- オンライン画像を挿入するときは、インターネットに接続していないと、下のようなウィンドウが表示され、画像が挿入できませんので、注意しましょう。

オンライン画像を挿入するには、インターネット接続が必要です。
オフラインの場合は、ご使用のコンピューターから画像を挿入できます。

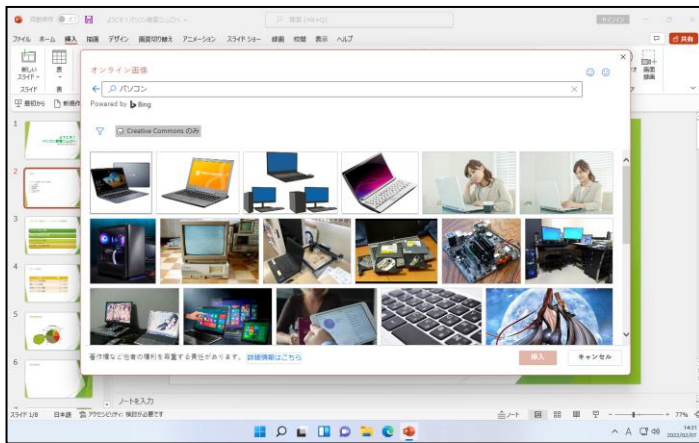
再試行 オフライン作業 キャンセル

[オンライン画像] ウィンドウのボックスにカーソルが表示されていることを確認し、そのまま「パソコン」と入力し、文字を確定します。

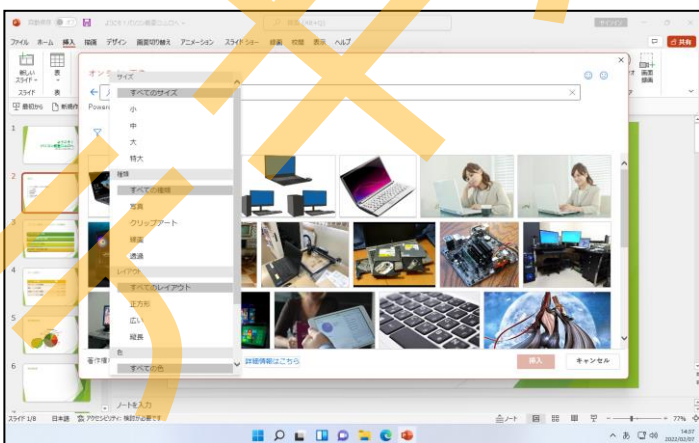
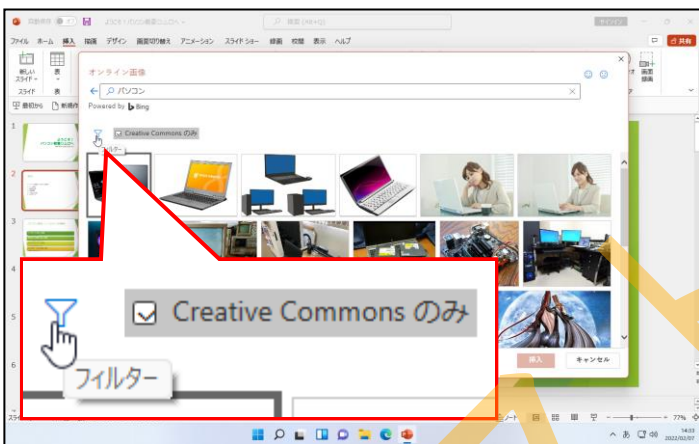


- 「パソコン」と入力することで、「パソコン」に関する画像（イラスト）だけが表示される準備をしないと、パソコンに指示しています。

[Enter] キーを押します。



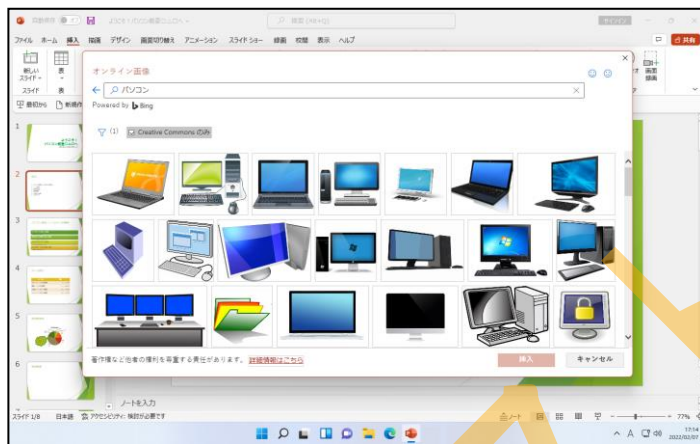
[フィルター] ボタンにポイントし、クリックします。



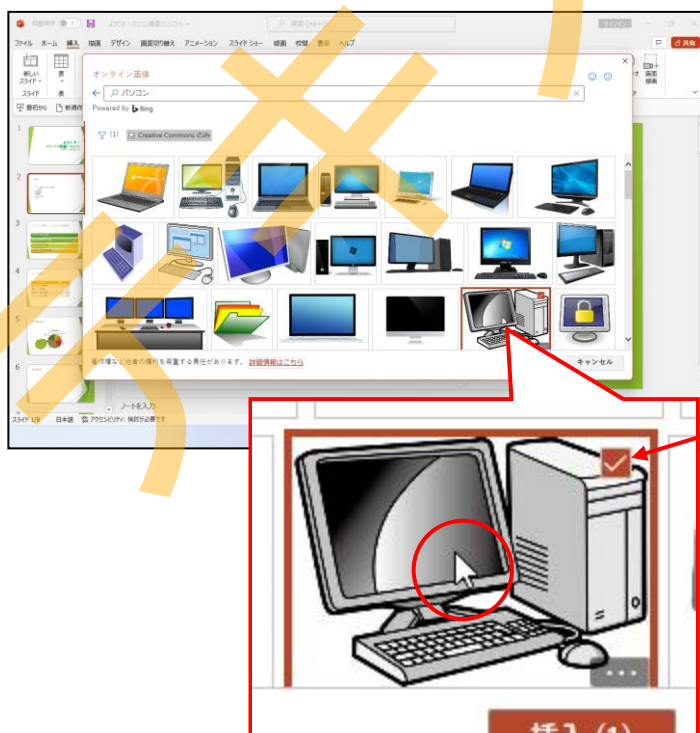
一覧の種類から [クリップアート] にポイントし、クリックします。



- 一覧から表示したい画像の種類をクリックします。
今回は、パソコンに関するイラストを表示したいので「クリップアート」を選択しました。



目的の画像（イラスト）にポイントし、クリックします。

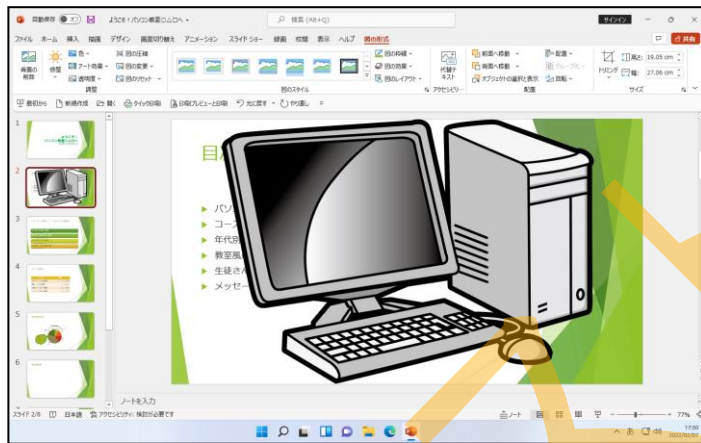
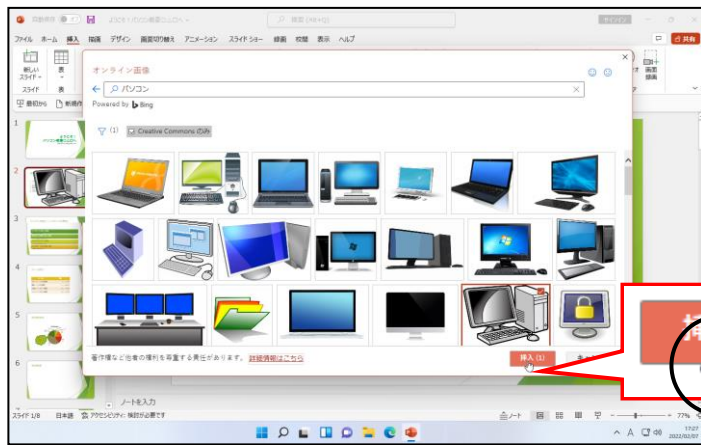


- 目的の画像（イラストや写真）が表示されていない場合は、表示されるまでスクロールします。
スクロールは、[オンライン画像] ウィンドウ右端にある ▼ または ▲ をクリックすることで操作ができます。
- 目的の画像をクリックすると画像の右上に が表示されます。

注意!

- 検索する時期によって、テキストと同じ画像（イラストや写真）が検索されない場合があります。
目的の画像（イラストや写真）がない場合は、お好きなものを選んでください。

[挿入] ボタンにポイントし、クリックします。



● 「パソコン」の画像（イラスト）が挿入されました。

余裕があれば読んでね

● 画像（イラスト）を削除するときは、画像を選択した状態で [Delete] キー、または [Back Space] キーを押します。

② オンライン画像（イラスト）のサイズ変更

「画像（イラスト）」を小さくしてみましょ。

◆ 画像（イラスト）の大きさを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



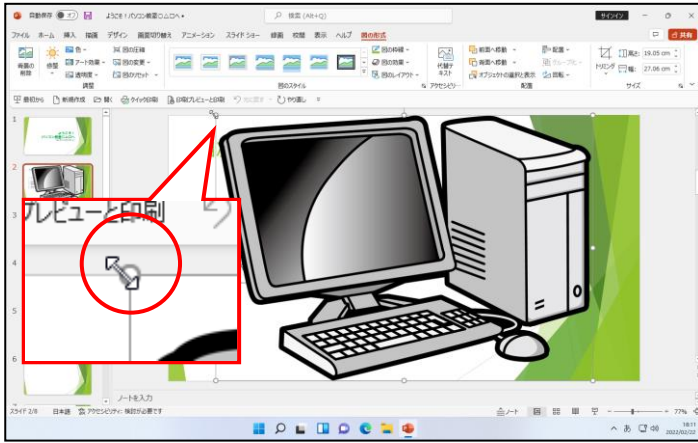
操作後





注意!


操作は次ページからです！

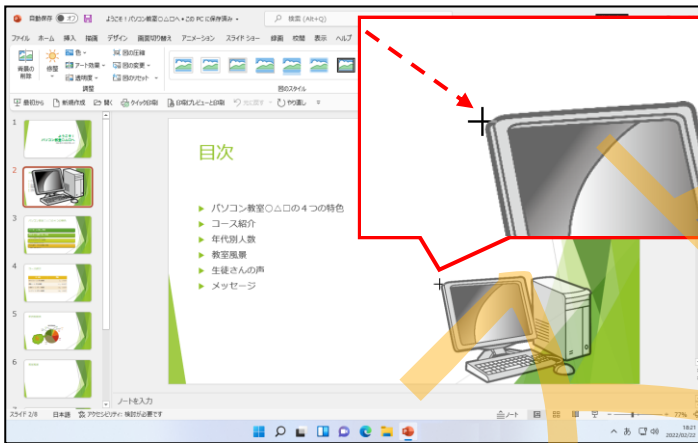
画像（イラスト）の左上の○（サイズ変更ハンドル）にポイントします。









注意!

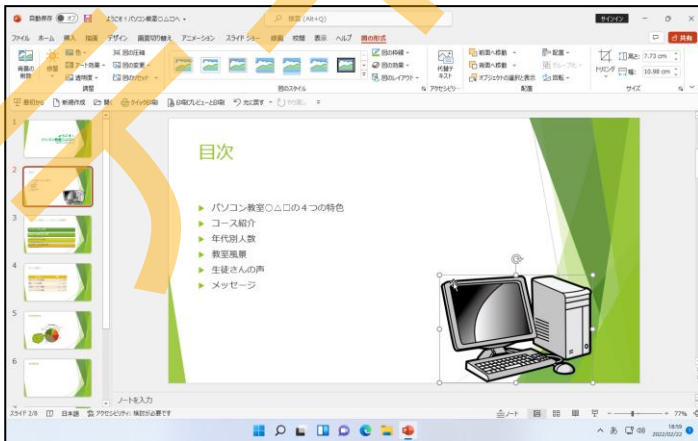
- ○ サイズ変更ハンドルが表示されていない方は、画像（イラスト）にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックしておきましょう。
- 左上の ○ サイズ変更ハンドルにマウスポインターを移動すると、マウスポインターは  の形になります。

マウスポインターが  の状態で、右下に向かってドラッグします。



余裕があれば読んでね

- ポイントするハンドルによって、マウスポインターは次のようにいろいろな形に変わります。
   
- 図形の縦と横の比率を変えずに大きさを調整する場合は、マウスポインターが  もしくは  の状態でドラッグします。



- 画像（イラスト）の大きさが小さくなりました。

図の圧縮の操作方法

P163

③ オンライン画像（イラスト）の移動

「画像（イラスト）」を移動してみましょう。

◆画像（イラスト）を移動する方法をマスターしましょう。

操作前



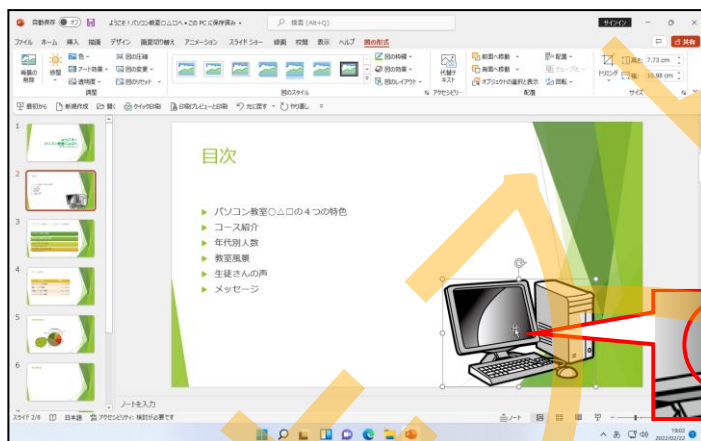
操作後




注意!

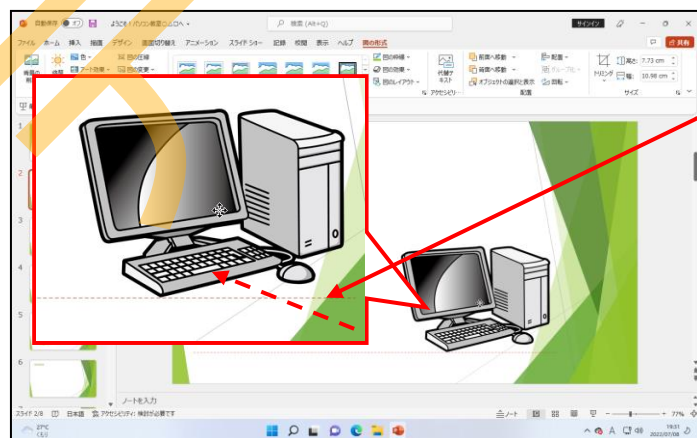
操作は下からです!

画像（イラスト）の上にポイントします。



●移動するときは、マウスポインターを画像（イラスト）の上にポイントします。マウスポインターの形は  になります。

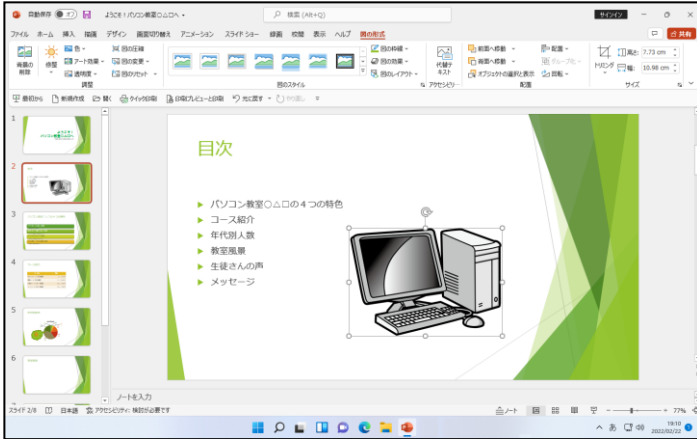
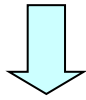
そのまま左上に向かってドラッグします。



●画像（イラスト）を移動中に画面に表示される赤い点線のことを、スマートガイドといいます。

スマートガイドについて

P163



●画像（イラスト）が移動しました。

グリッド線の表示方法 P164

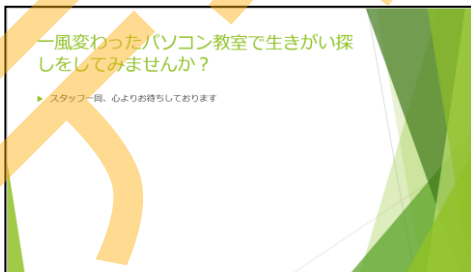
次の操作のために、スライド8を表示しておきましょう。

④ ワードアートの挿入

ワードアートを使うと、さまざまな効果を付けたり、飾り文字を作成することができます。ワードアートの操作方法は2つあり、1つ目はもともとの文字をワードアートに変更する方法と、2つ目は最初からワードアートを挿入する方法です。

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



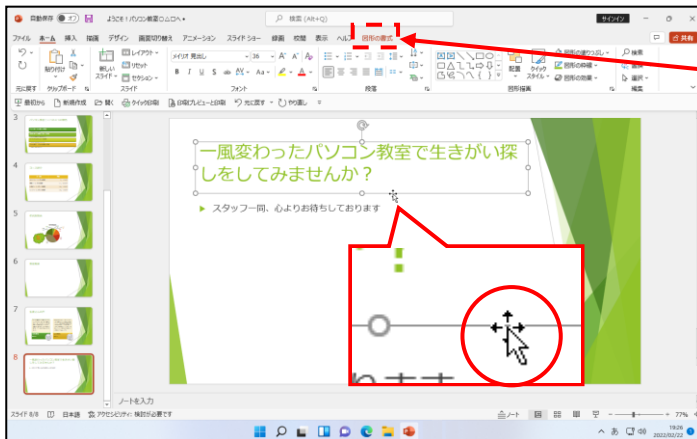
注意!

操作は次ページからです！

●文字からワードアートの挿入

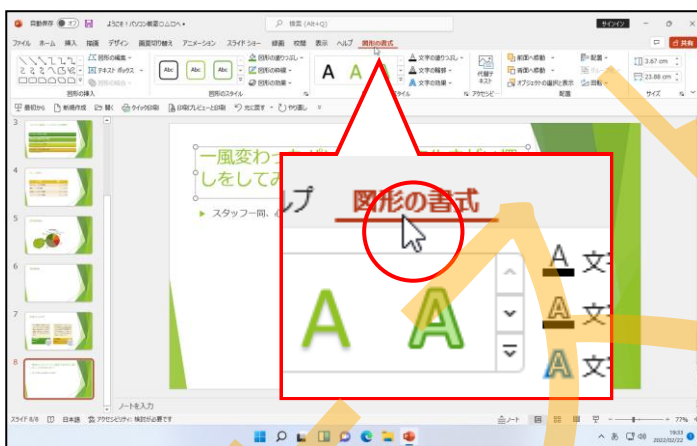
まず、もともとの文字からワードアートを挿入します。

スライド8が表示されていることを確認し、タイトルのプレースホルダーを選択します。

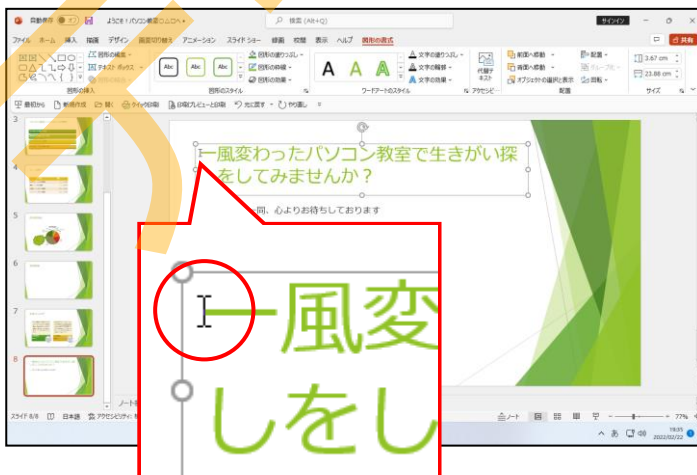


●タイトルのプレースホルダーを選択すると、[図形の書式] タブが表示されます。


[図形の書式] タブにポイントし、クリックします。



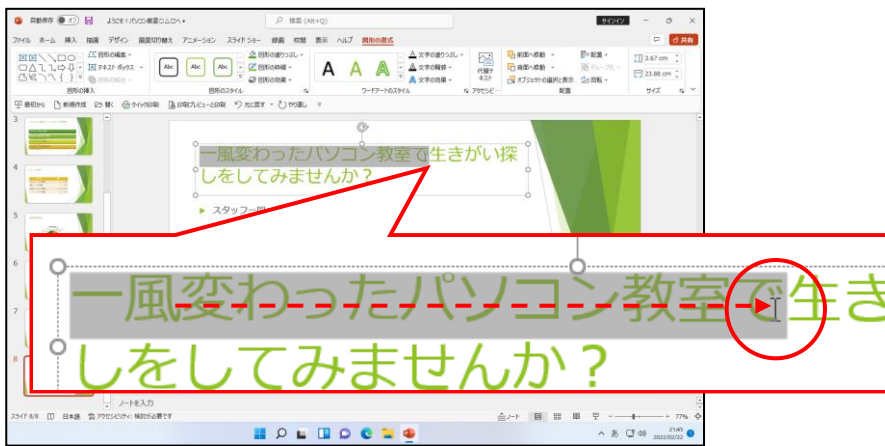
下図を参考にマウスポインターを移動します。



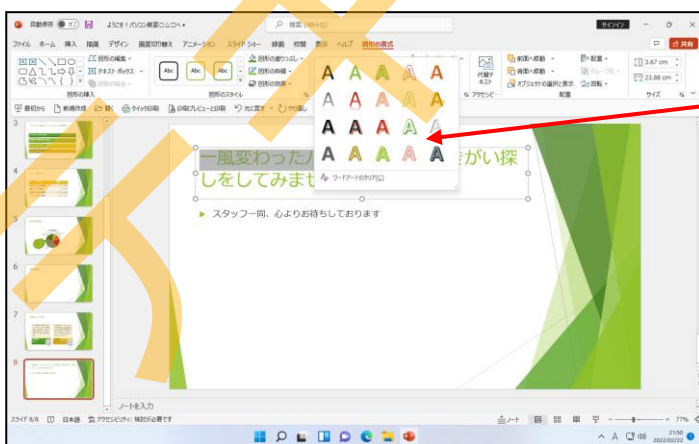
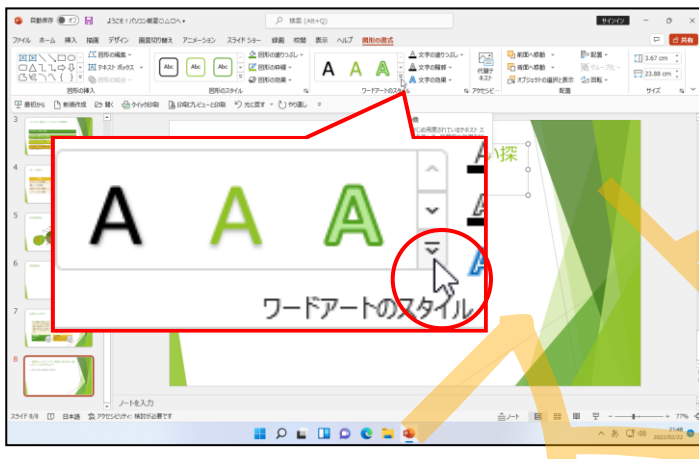
注意!

●マウスポインターの形が  の場合、うまくいかないので注意しましょう。

そのまま「一風変わったパソコン教室で」までドラッグします。

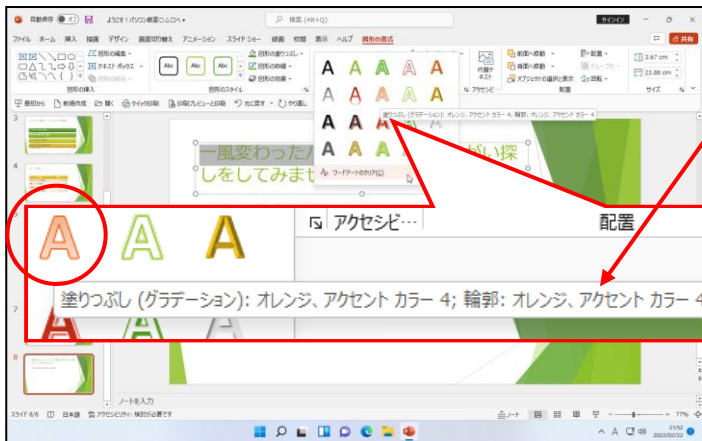


[ワードアートのスタイル] グループ内の [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



● [その他] ボタンをクリックすると、左のようにワードアートのスタイルの一覧が表示されます。

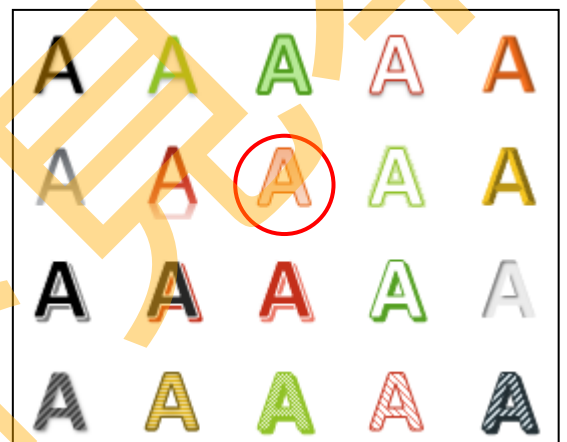
下に表示される一覧から、「塗りつぶし (グラデーション): オレンジ、アクセントカラー 4; 輪郭: オレンジ、アクセントカラー 4」にポイントし、クリックします。



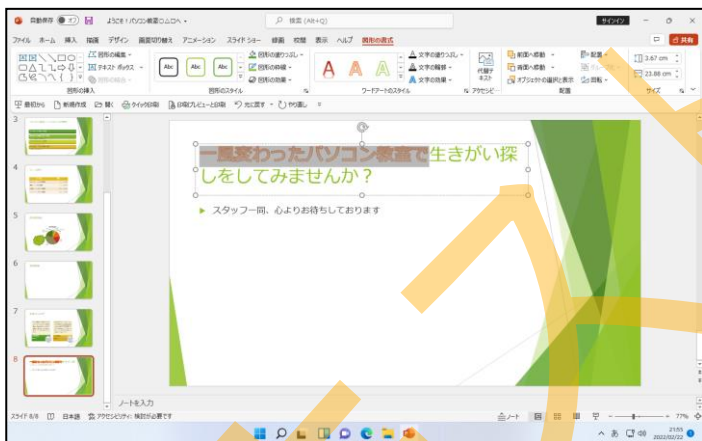
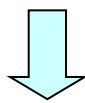
- ポイントすると、左のように「塗りつぶし (グラデーション): オレンジ、アクセントカラー 4; 輪郭: オレンジ、アクセントカラー 4」と、スタイルの名前が表示されます。

注意!

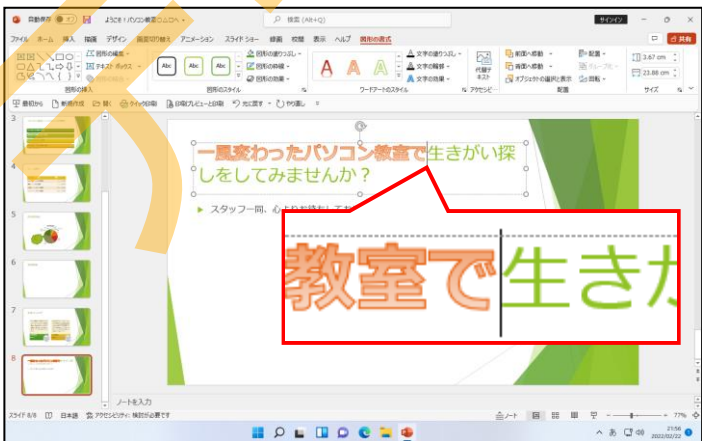
- お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違います。下の図を参考に選びましょう。



- 選択した部分が、ワードアートに変更されました。

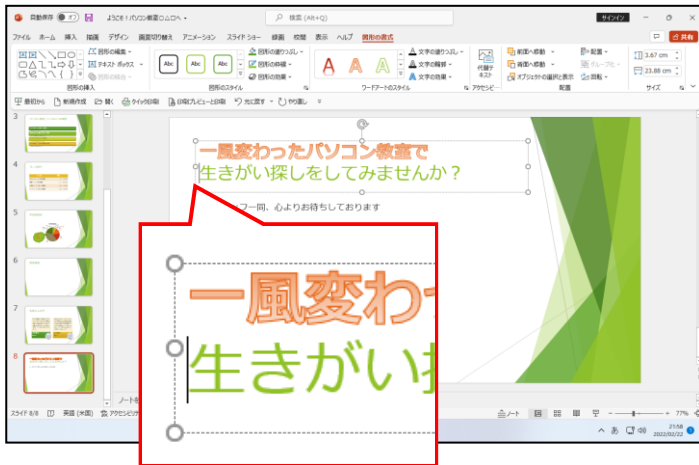


「生きがい」の前にポイントし、クリックします。



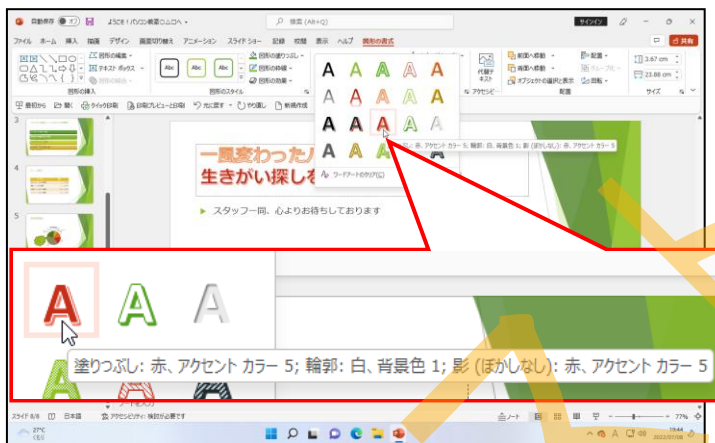
- クリックすると、「生きがい」の前にカーソルが表示されます。

そのまま [Enter] キーを押します。



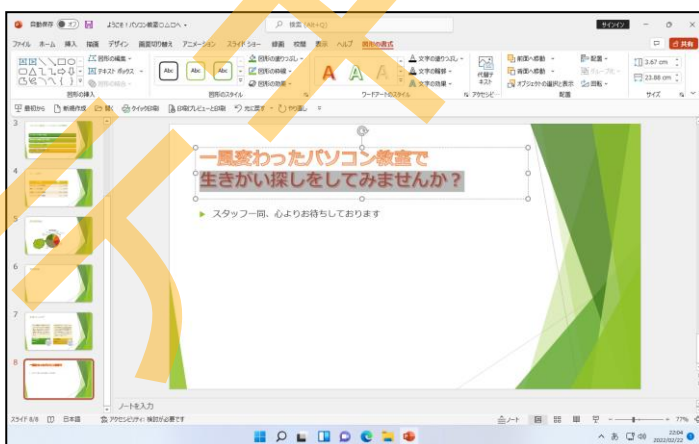
●ワードアートを改行して2段にするための操作です。

「生きがい探しをしてみませんか?」を、「塗りつぶし: 赤、アクセントカラー-5; 輪郭: 白、背景 1; 影 (ぼかしなし); 赤、アクセントカラー-5」のワードアートに変更しましょう。



注意!

●お使いのパソコンによって、スタイルの名称が異なる場合があります。下の図を参考に選びましょう。

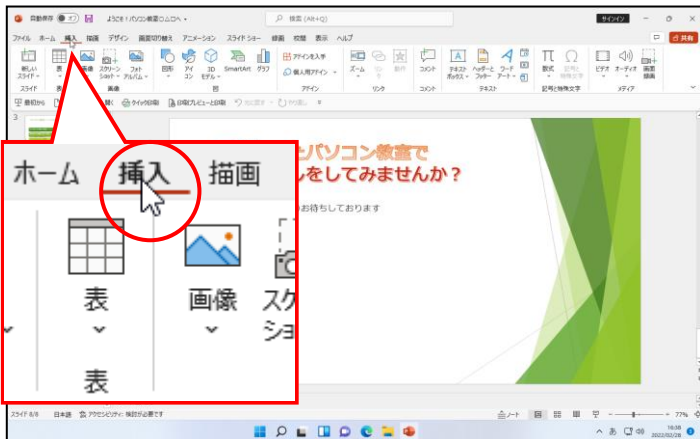


次の操作のために、タイトルのプレースホルダーの外側でクリックし、ワードアートの選択を解除しておきましょう。

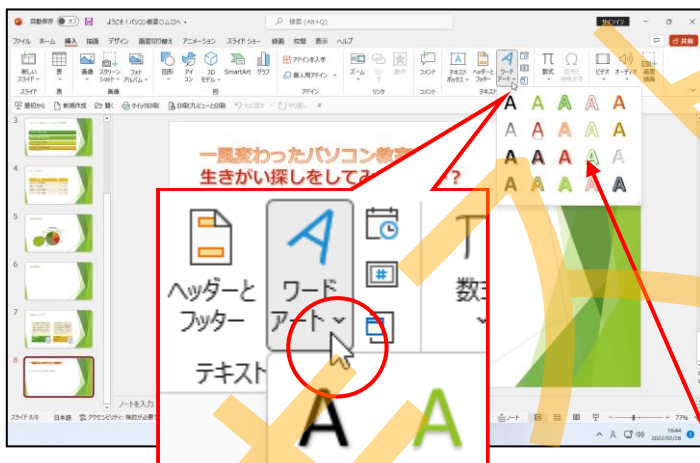
●ワードアート（最初からワードアートに）

次に、最初からワードアートを挿入する方法を説明します。

【挿入】タブにポイントし、クリックします。



【テキスト】グループにある A [ワードアート] ボタンにポイントし、クリックします。



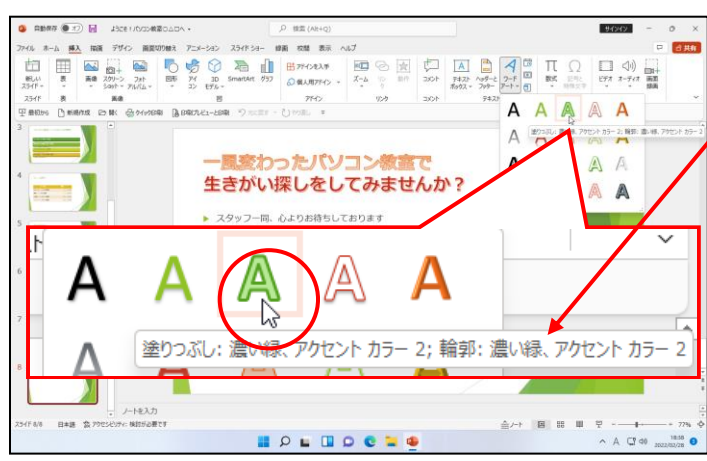
●リボンが表示されていない方は、**P238 リボンの表示オプションの変更**を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ



● A [ワードアート] ボタンをクリックすると、左のようにワードアートスタイルの一覧が表示されます。

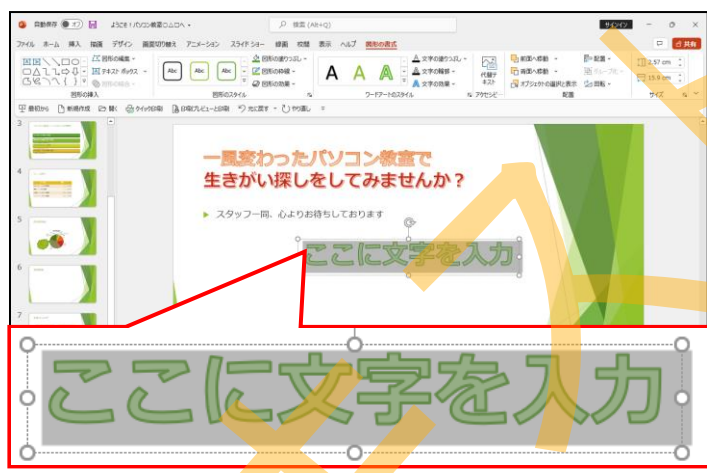
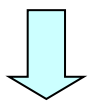
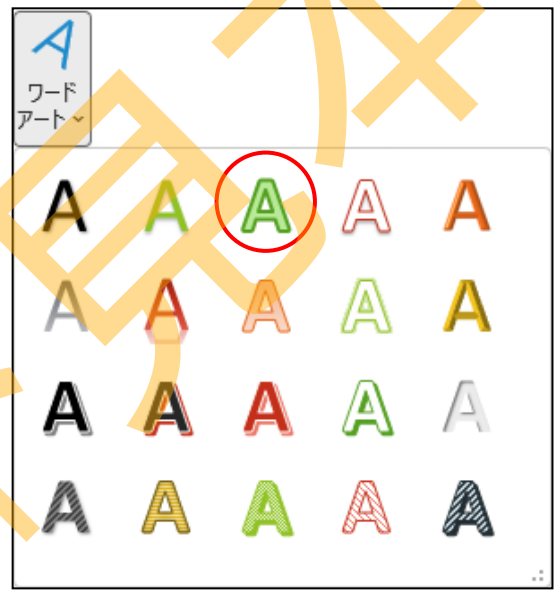
表示される一覧から「塗りつぶし：濃い緑、アクセントカラー2；輪郭：濃い緑、アクセントカラー2」にポイントし、クリックします。



●ポイントすると、左のように「塗りつぶし：濃い緑、アクセントカラー2；輪郭：濃い緑、アクセントカラー2」とスタイルが表示されます。

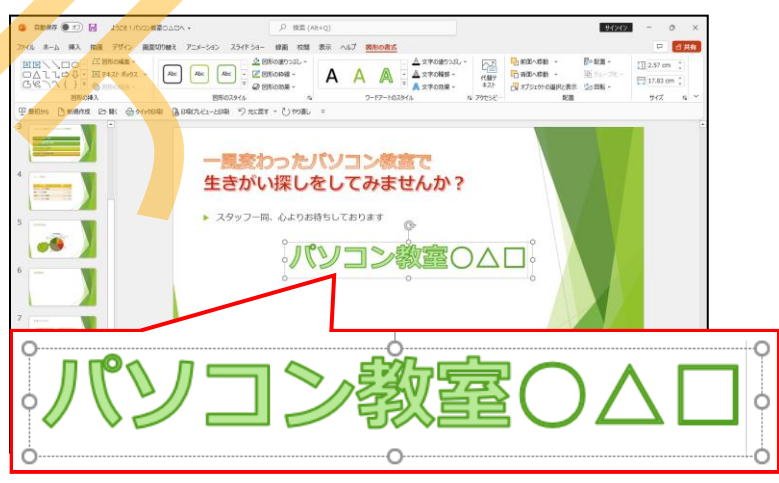
注意!

●お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



● [ここに文字を入力] と書かれたワードアートが画面上に表示されました。

そのまま、「パソコン教室○△□」を入力しましょう。



⑤ ワードアートのフォントの変更

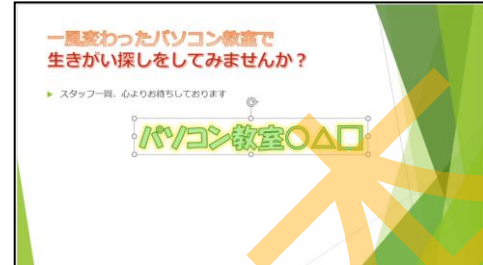
④で挿入したワードアート「パソコン教室〇△□」のフォントをHGP 創英角ポップ体に変更してみましょう。

◆ワードアートのフォントを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



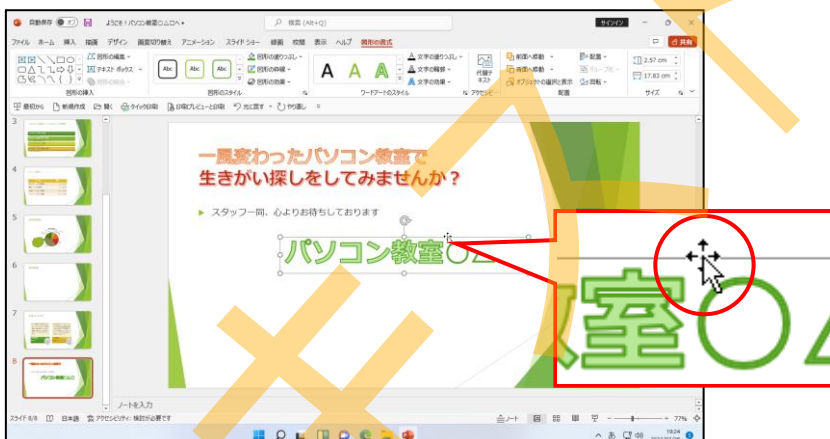
操作後



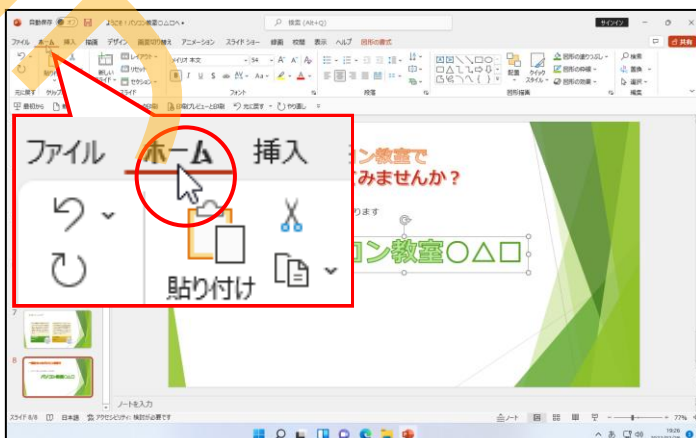
注意!

操作は下からです！

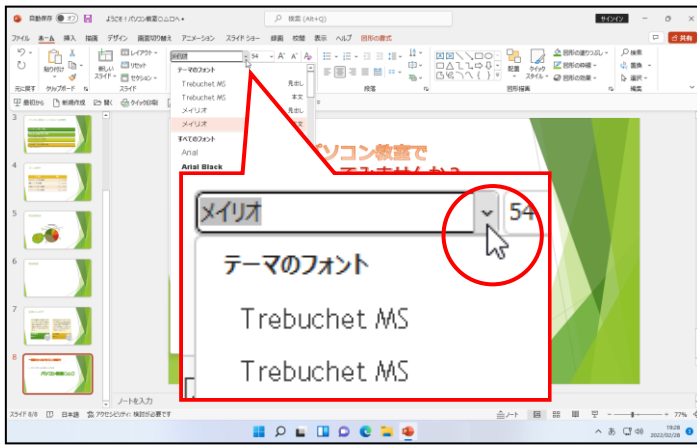
ワードアートの周りの点線にポイントし、クリックします。



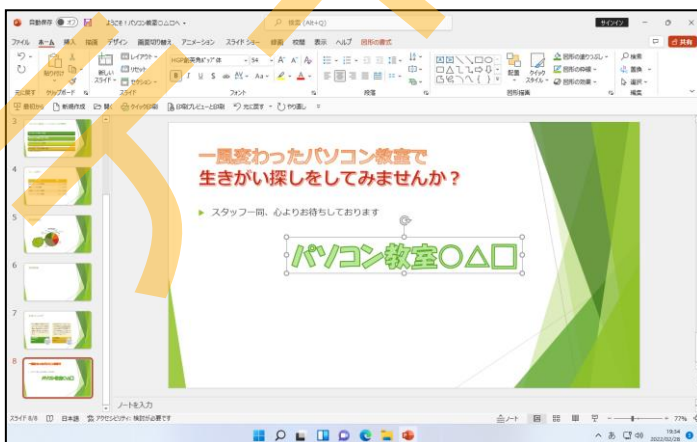
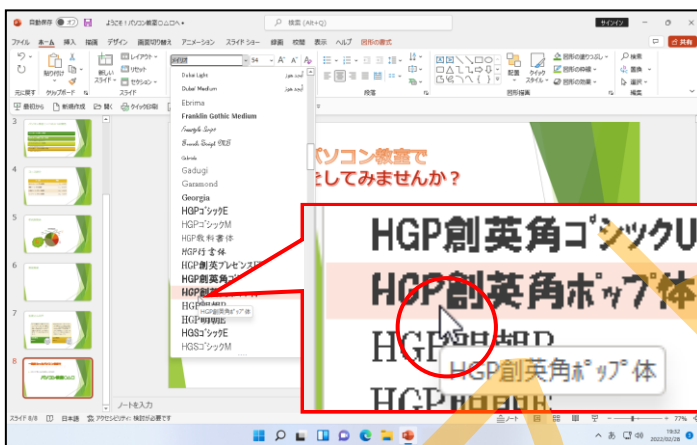
[ホーム] タブにポイントし、クリックします。



[フォント] ボックスの ▾ にポイントし、クリックします。



下に表示された一覧から「HGP 創英角ポップ体」にポイントし、クリックします。



●フォントが変わりました。

⑥ ワードアートに文字の効果を設定

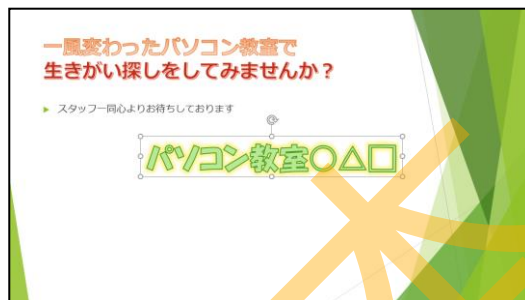
ワードアート「パソコン教室〇Δ□」に文字の効果の設定をしてみましょう。

◆ワードアートに文字の効果を設定する方法をマスターしましょう。

操作前



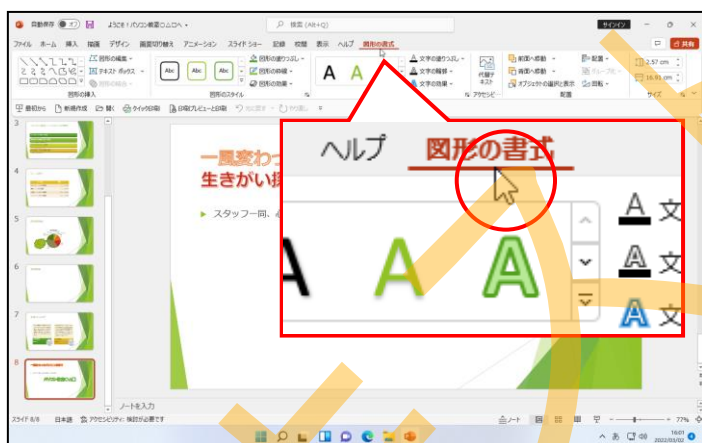
操作後



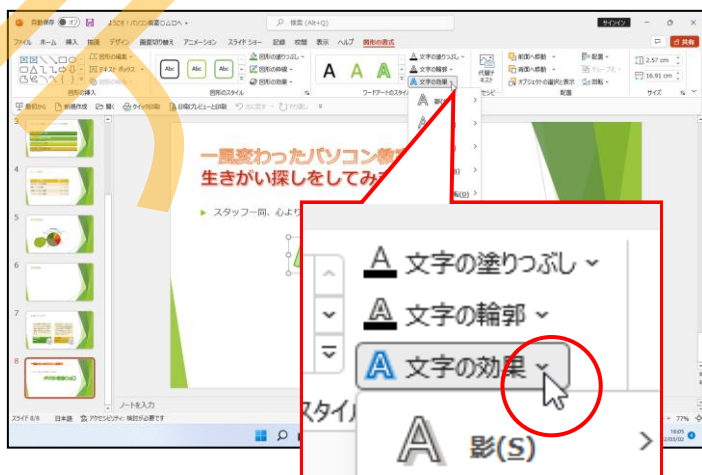
注意!

操作は下からです！

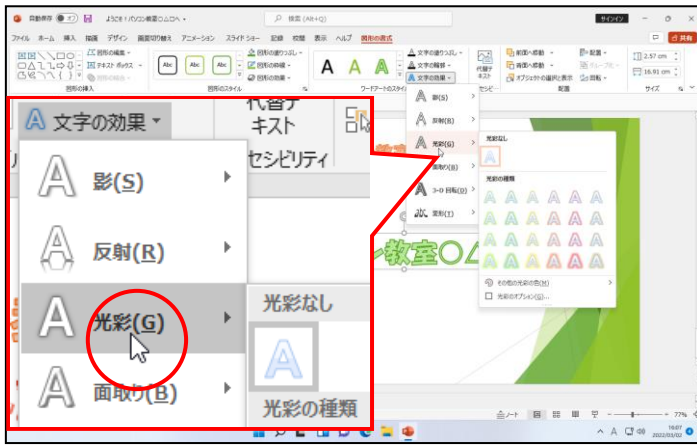
ワードアートが選択された状態で、[図形の書式] タブにポイントし、クリックします。



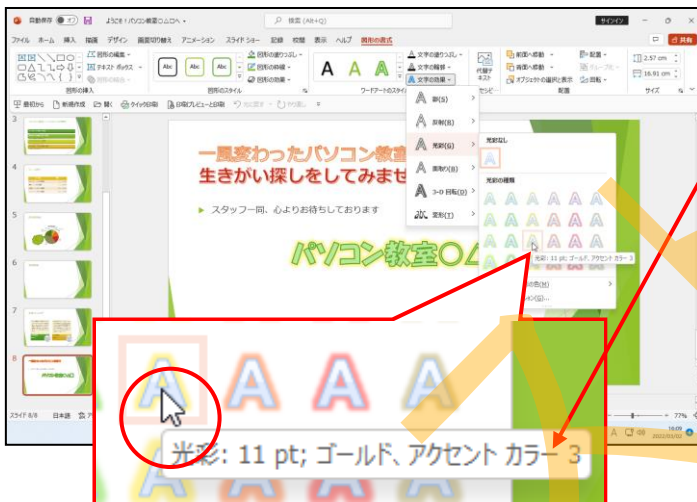
[ワードアートのスタイル] グループにある **A** 文字の効果 - [文字の効果] ボタンにポイントし、クリックします。



下に表示された一覧から、[光彩(G)] にポイントします。



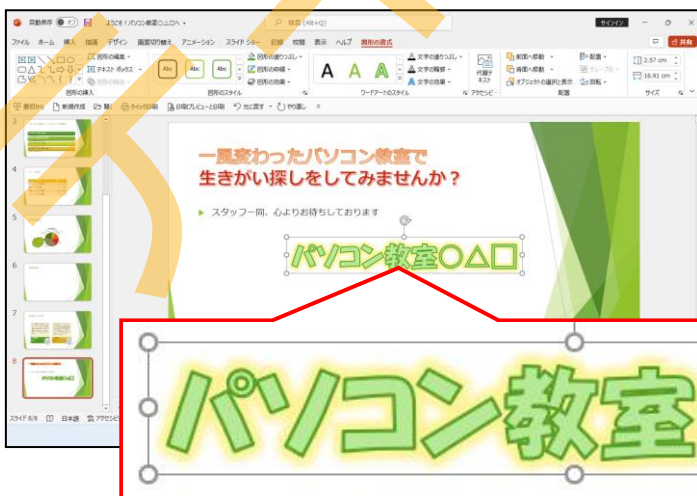
右に表示された一覧から「光彩の種類」の中の「光彩：11pt；ゴールド、アクセントカラ-3」にポイントし、クリックします。



●ポイントすると、左のように「光彩：11pt；ゴールド、アクセントカラ-3」と、光彩の種類が表示されます。

注意!


●お使いのパソコンによって、光彩の名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。

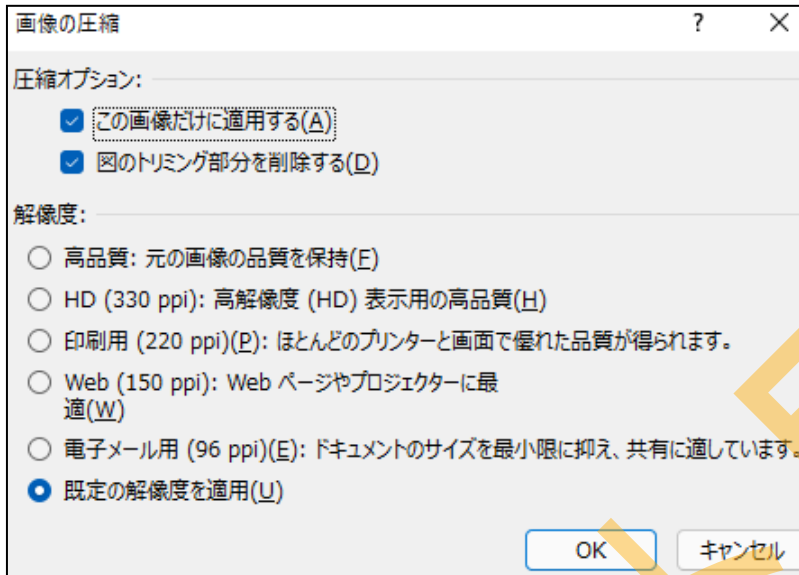


上書き保存をしておきましょう。

●補足説明（その6）P163～P164

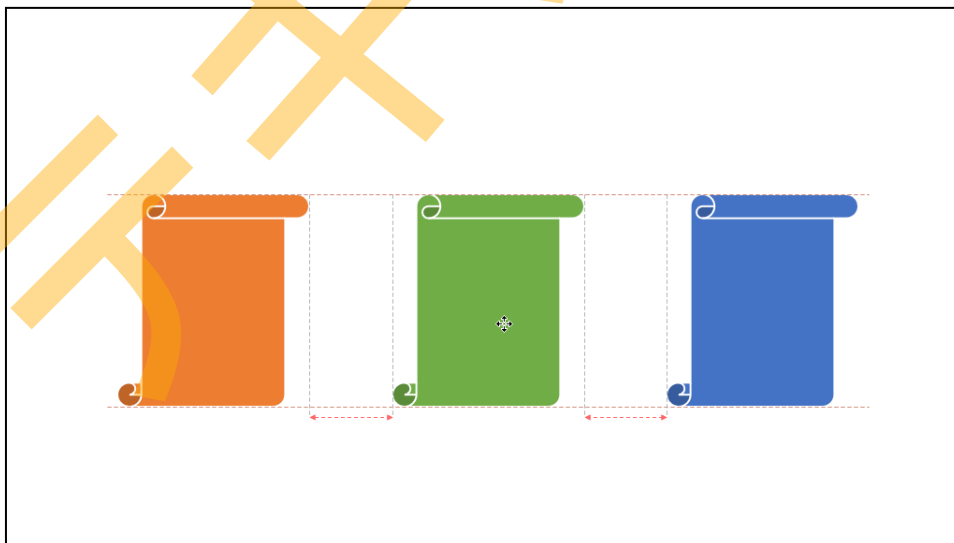
●P150 図の圧縮の操作方法

- ① 画像を選択した状態で [図の形式] タブの [調整] グループ、 図の圧縮 [図の圧縮] ボタンをクリックします。
- ② [画像の圧縮] ダイアログボックスが表示されるので、それぞれ設定することができます。



●P151 スマートガイドについて

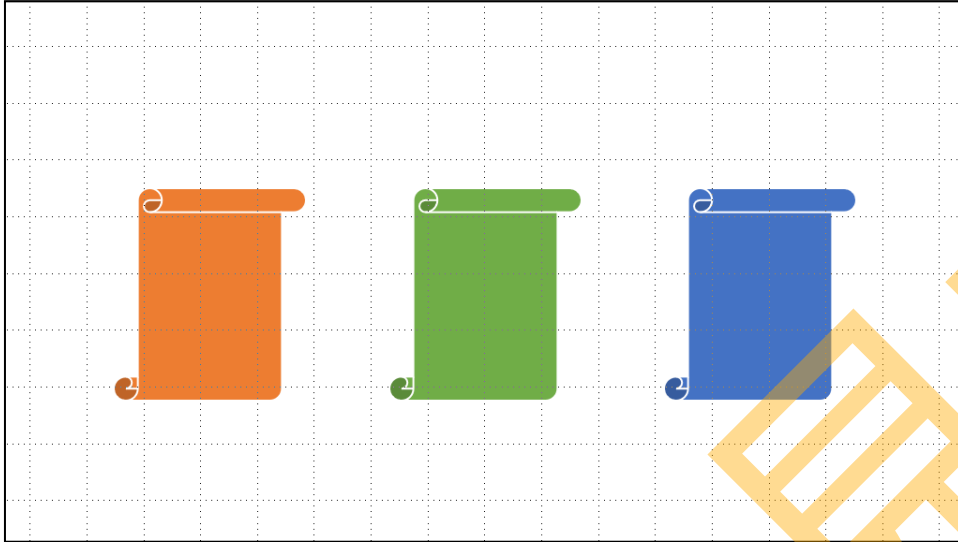
プレゼンテーション内の画像や図形など（総称してオブジェクトといいます）を移動したり、サイズ変更したりすると、赤色の線のスマートガイドが表示されます。このスマートガイドを利用すると、オブジェクトの大きさや配置を決定するのに目安となるので、便利です。



●P152 グリッド線の表示方法



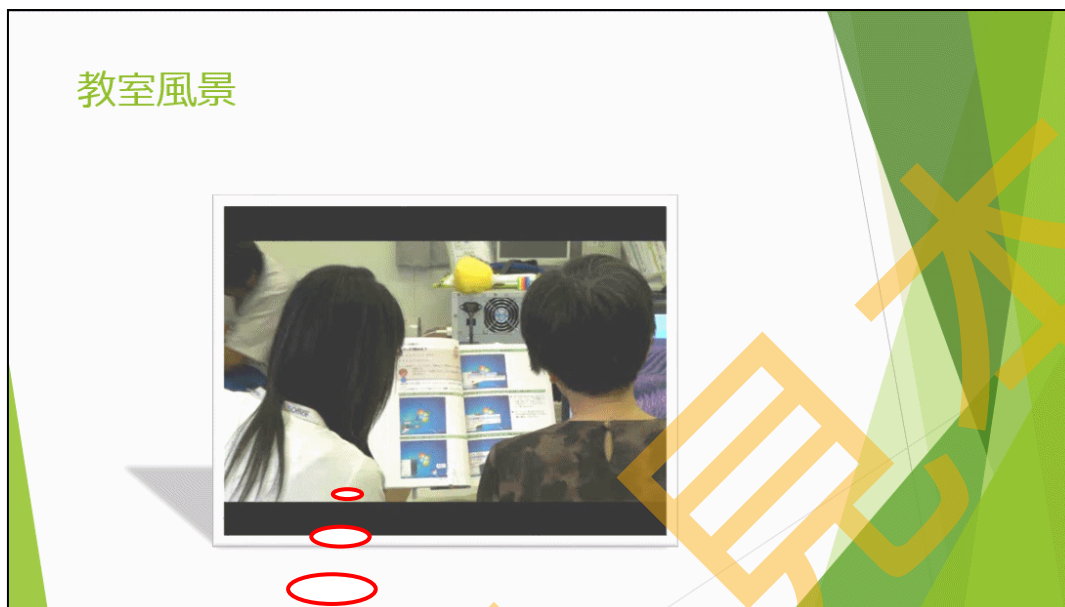
[表示] タブー [表示] グループー [グリッド線] のチェックボックスをオンにします。



(5) ビデオファイルの挿入

パワーポイントでは、ビデオファイルも編集ができます。

【完成例】



これが
「ビデオファイル」です

① ビデオファイルの挿入

ここでは、「教室風景」というビデオファイルを挿入しましょう。

◆ビデオファイルを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前




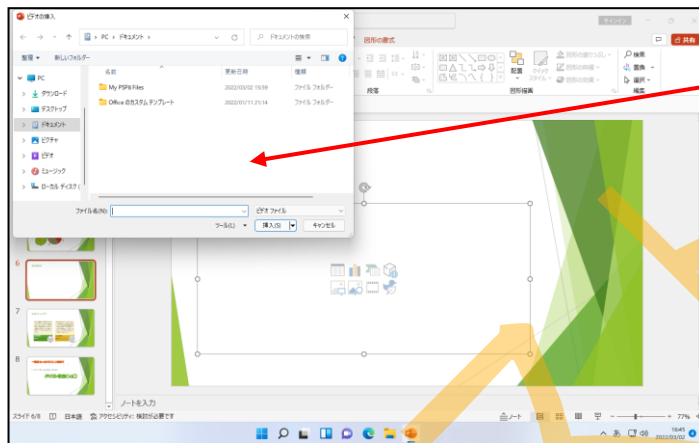
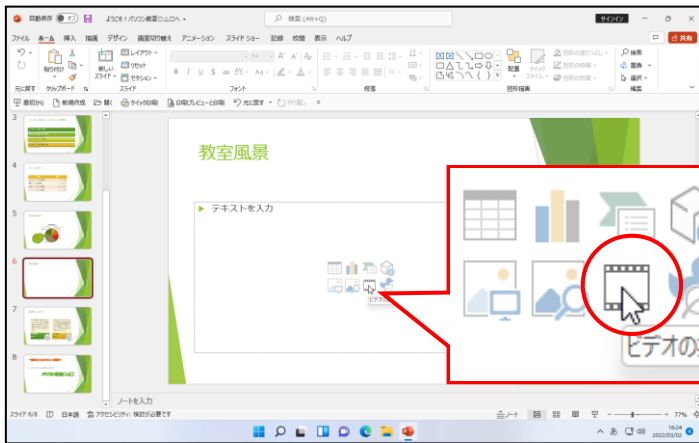
操作後




注意!

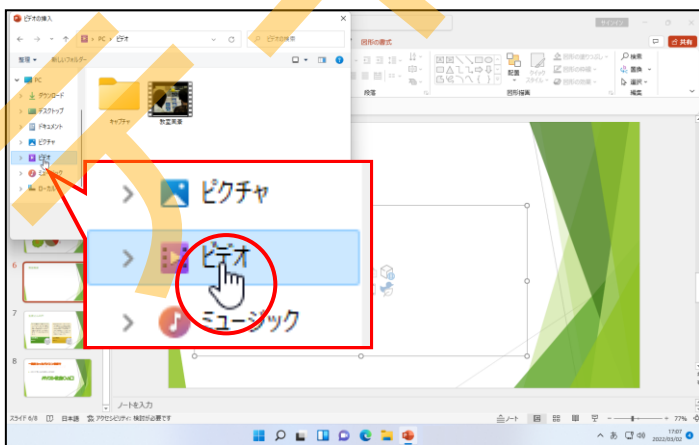
操作は次ページからです！

スライド6を表示し、 [ビデオの挿入] ボタンにポイントし、クリックします。



●  [ビデオの挿入] ボタンをクリックすると、[ビデオの挿入] ウィンドウが表示されます。

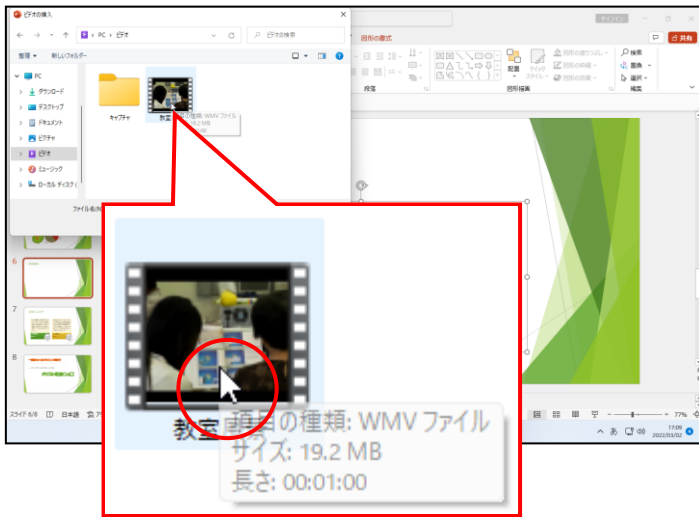
[ビデオの挿入] ダイアログボックスの左側にある「ビデオ」にポイントし、クリックします。



注意!

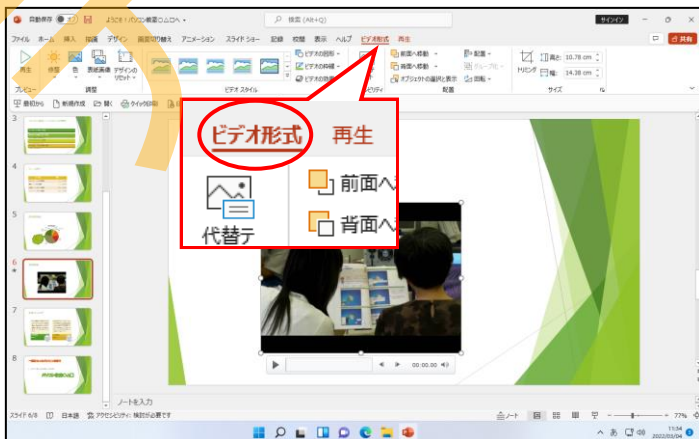
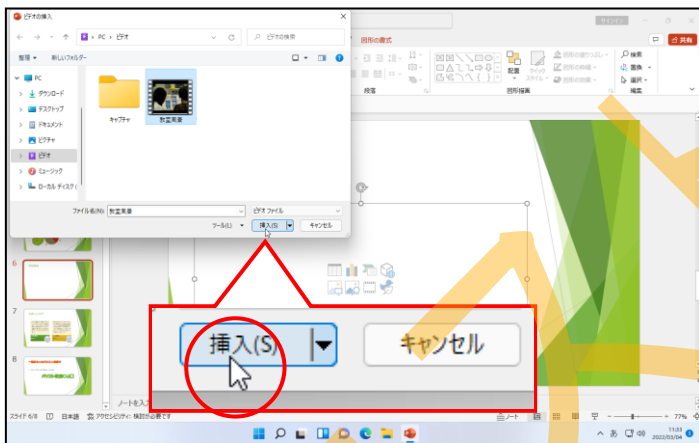
●すでに [ビデオ] が選択されている方は、この操作は不要になります。

「教室風景」にポイントし、クリックします。



●「教室風景」は、ビデオファイルです。

【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。



●ビデオファイルがスライドに挿入され、【ビデオ形式】タブが選択された状態になります。

② ビデオファイルの修整

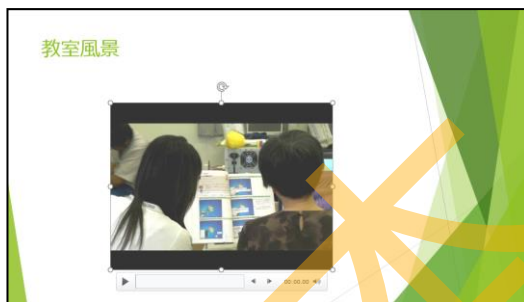
挿入した「教室風景」のビデオファイルの明るさを、少し明るくしてみましょう。

◆ビデオファイルの明るさを修整する方法をマスターしましょう。

操作前



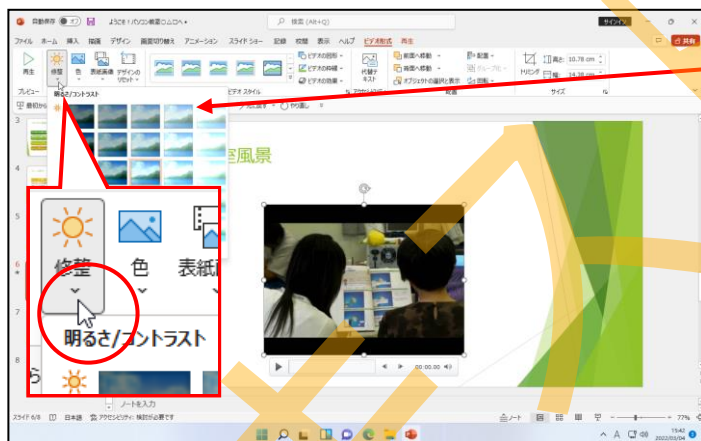
操作後



注意!

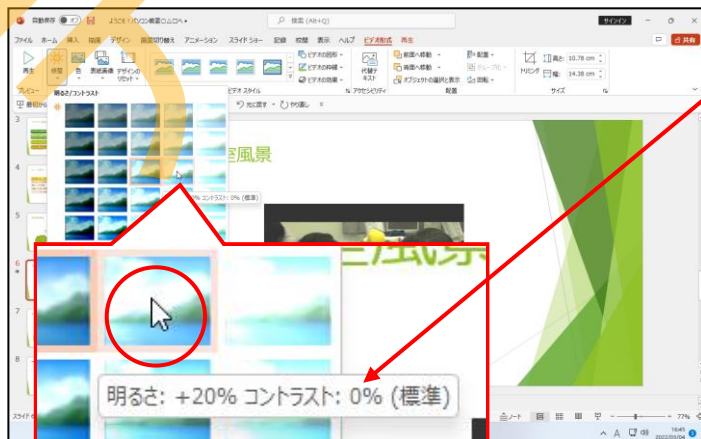
操作は下からです！

[ビデオ形式] タブの、[調整] グループにある ☀ [修整] ボタンにポイントし、クリックします。

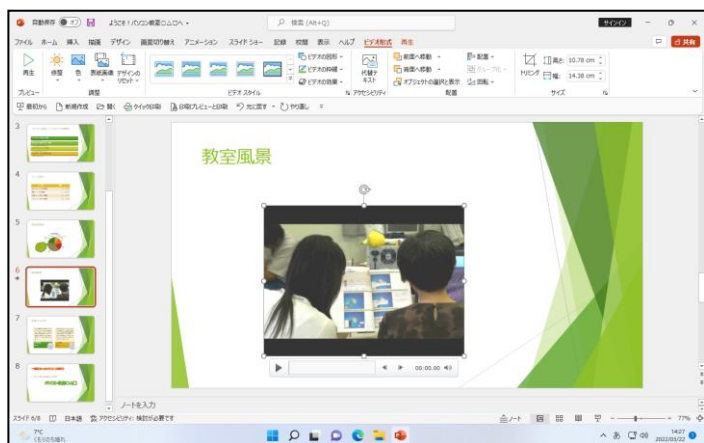
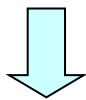


● ☀ [修整] ボタンをクリックすると、調整できる明るさとコントラストの一覧が表示されます。

下に表示される一覧から、「明るさ：+20%コントラスト：0%（標準）」にポイントし、クリックします。



● ポイントすると、左のように「明るさ：+20%コントラスト：0%（標準）」と、明るさとコントラストの名前が表示されます。



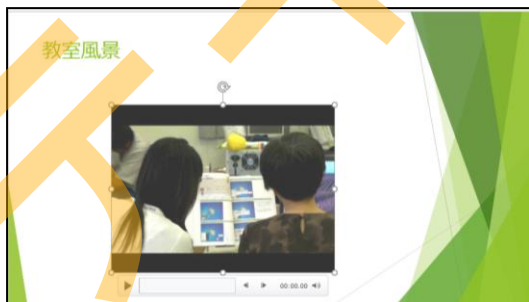
- 「明るさ : +20% コントラスト : 0% (標準)」をクリックすると、少し明るくなりました。

③ ビデオファイルのスタイルの変更

挿入した「教室風景」のビデオファイルのスタイルを変更してみましょう。

◆ビデオファイルのスタイルを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



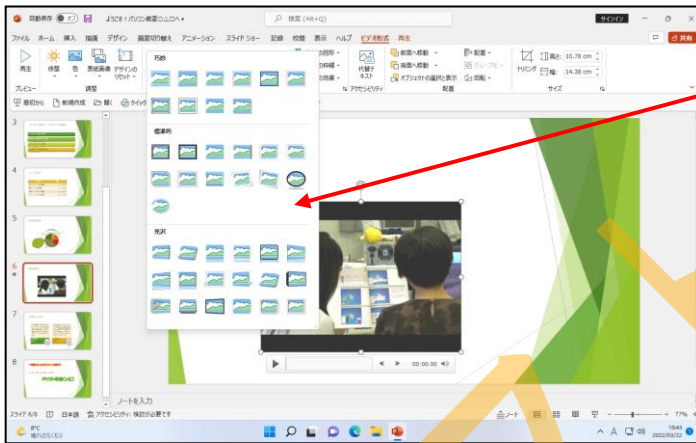
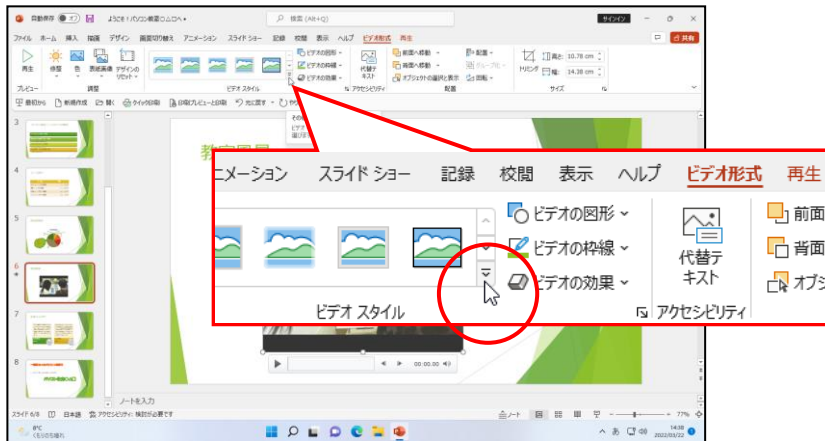
操作後



注意!

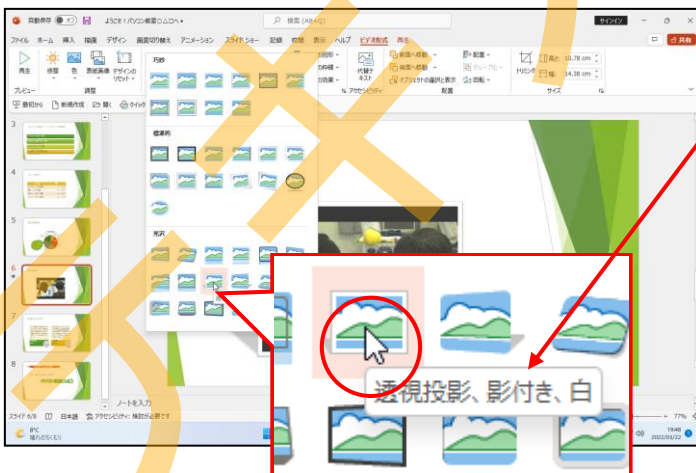
操作は次ページからです!

「ビデオ形式」タブの、「ビデオスタイル」グループにある「その他」ボタンにポイントし、クリックします。



● 「その他」ボタンをクリックすると、左のようにビデオのスタイルの一覧が表示されます。

下に表示された一覧から、「透視投影、影付き、白」にポイントし、クリックします。

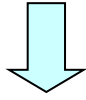


● ポイントすると、左のように「透視投影、影付き、白」と、スタイルの名前が表示されます。

注意!

● お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違います。下の図を参考に選びましょう。





- 挿入されたビデオファイルが、影と白い枠がついたスタイルに変更されました。

④ ビデオファイルのトリミング

PowerPointでは、ビデオファイルの開始時刻、または終了時刻を指定することにより、ビデオファイルをトリミング（不要な部分をカット）できます。ここではビデオファイルの後半部分をトリミングしてみましょう。

◆ビデオファイルをトリミングする方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



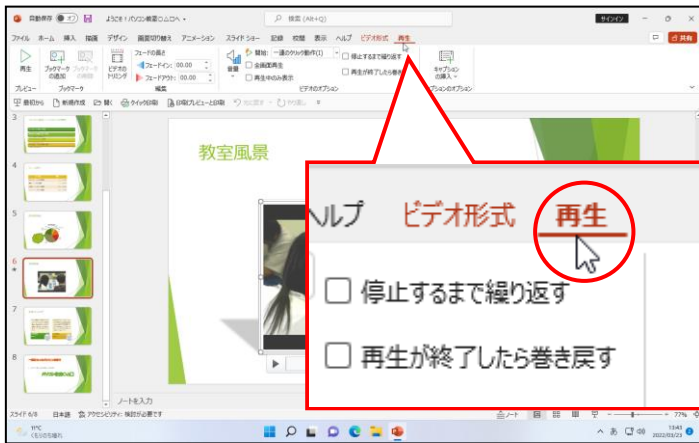
画面上では何も変わりません



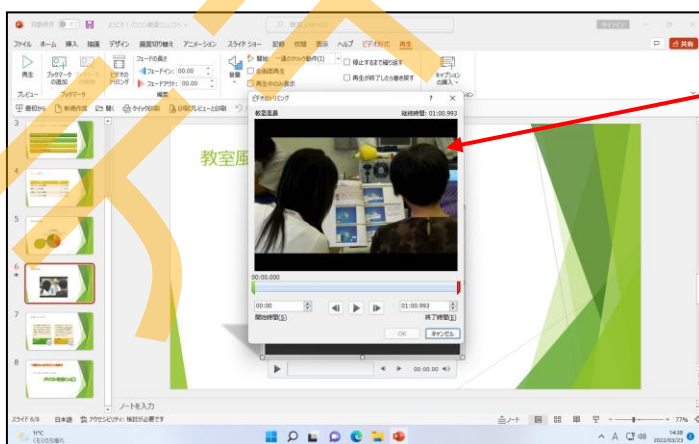
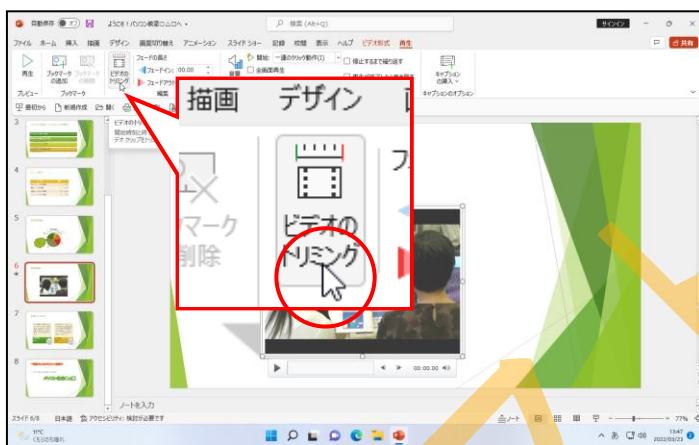
注意!

操作は次ページからです！


[再生] タブにポイントし、クリックします。

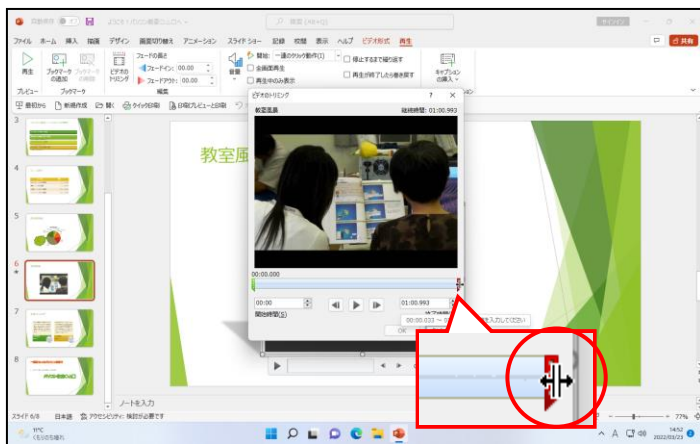




[編集] グループにある [ビデオのトリミング] ボタンにポイントし、クリックします。



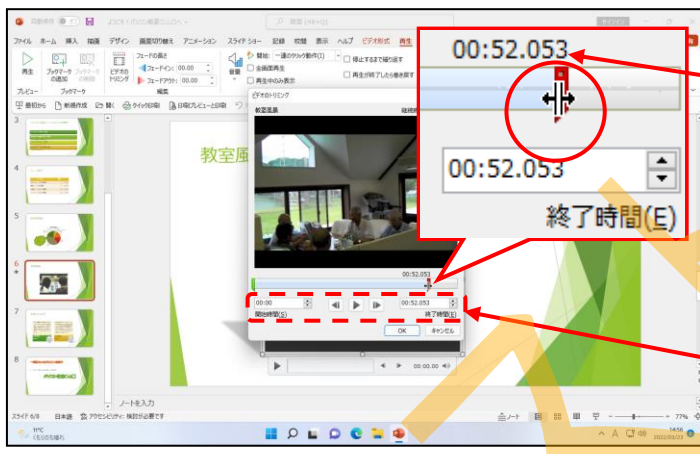
● [ビデオのトリミング] ボタンをクリックすると、左のように [ビデオのトリミング] ダイアログボックスが表示されます。




[ビデオのトリミング] ダイアログボックスの右下にある  にポイントします。

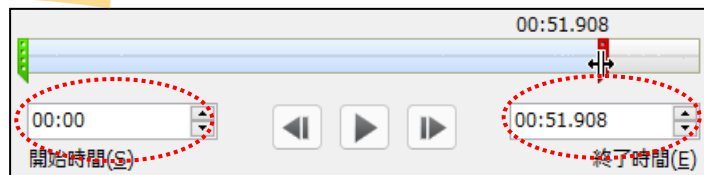


-  にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

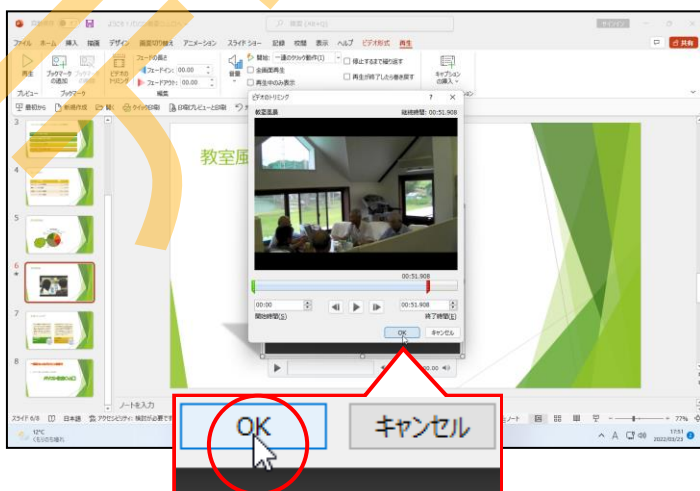
そのまま左方向にドラッグし、約「00:52」になるようにします。



-  をドラッグし始めると、 の上に時間が表示されます。
- 開始から「00:52」でビデオが終了する設定です。「00:52」以降はトリミング（カット）されます。
- 下図のように、[開始時間(S)]、[終了時間(E)]の  をクリックして時間を設定しても同じ操作になります。



[OK] ボタンにポイントし、クリックします。





●ビデオファイルのトリミングの操作が終わりました。

⑤ ビデオファイルの再生

これまで編集してきたビデオファイルをここで再生してみましょう。

◆ビデオファイルを再生する方法をマスターしましょう。

操作前



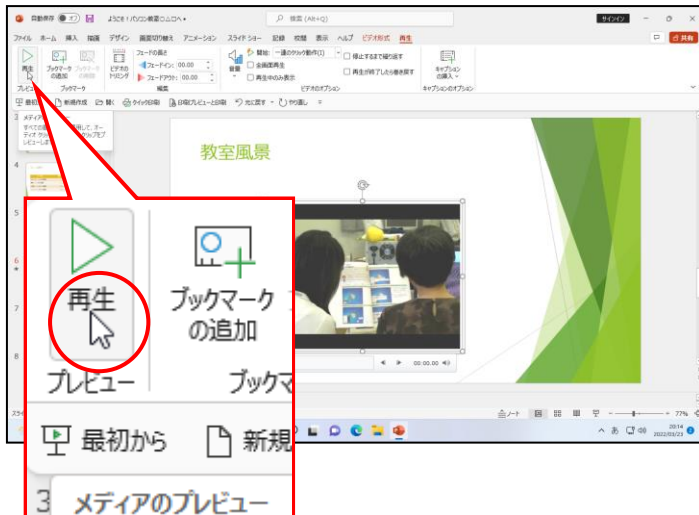
操作後



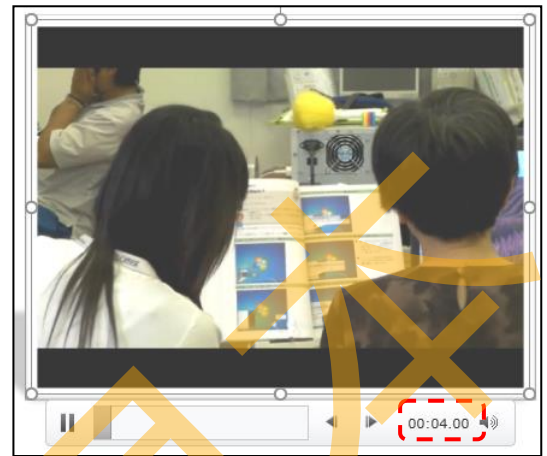
注意!

操作は次ページからです！

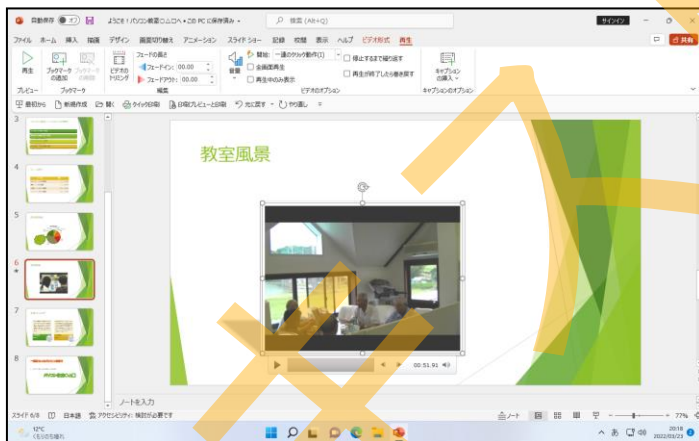
[再生] タブの、[プレビュー] グループにある ▶ [再生] ボタンにポイントし、クリックします。



- ▶ [再生] ボタンをクリックすると、ビデオファイルが動き始め、ビデオ画面の右下に時間が表示されます。



最後まで動画が流れるのを見ておき、ビデオファイルの画面右下が約「00:52」になったことを確認しましょう。



- ビデオを途中で止めたいときは [プレビュー] グループにある || [一時停止] ボタンをクリックします。
- 約「00:52」になっていたら、④ビデオファイルのトリミングで、トリミングの設定ができています。

上書き保存をし、パワーポイントを閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題2で理解度を試して下さい。☆☆

7. プレゼンテーションの実施

プレゼンテーションを構成する1枚1枚のスライドが完成したところで、これからプレゼンテーションを実施するためのスライドショーの実行と、スライドショーに対する特殊効果であるアニメーション効果の設定方法について説明します。

インパクトのあるプレゼンテーションを…

ケンちゃん「これまでは資料を作成してきたわけだけど、今からパワーポイントの特徴の『動き』を出していきんだよね？」

ウメさん「なんだか楽しそうね。」

くじら先生「パワーポイントの資料に動きを付けてインパクトのあるプレゼンテーションをやっていきましょう！」

ウメさん「資料が動くななんてなんだか不思議ね！！」

くじら先生「そうですね。このテキストの順番でやっていくとうまく動くようになるので、がんばってやっていきましょう！！」



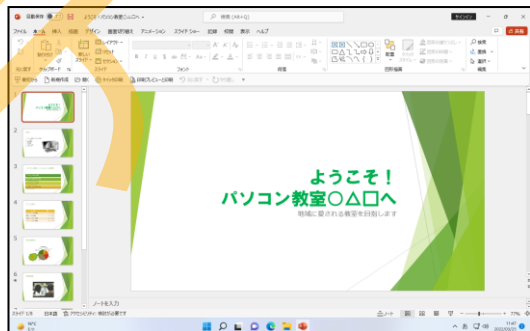
(1) 画面切り替え効果の設定

画面全体の特殊効果を「画面切り替え効果」といいます。画面切り替え効果を設定しておくと、プレゼンテーションの実行時に、スライドが横から滑り込んでくるようにしたり、徐々に現れるように設定したりすることができます。

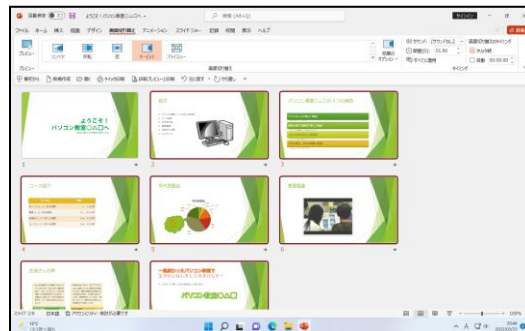
スライド1に「窓」という画面切り替え効果を設定し、スライド2から8に「オービット」という画面切り替え効果を設定しましょう。

◆スライドの画面切り替えの方法をマスターしましょう。

操作前




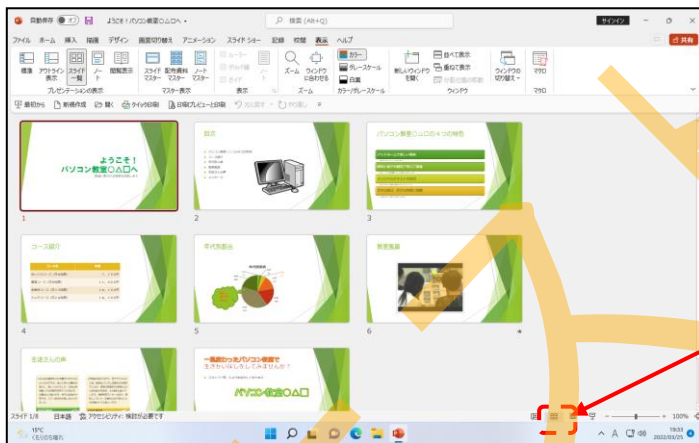
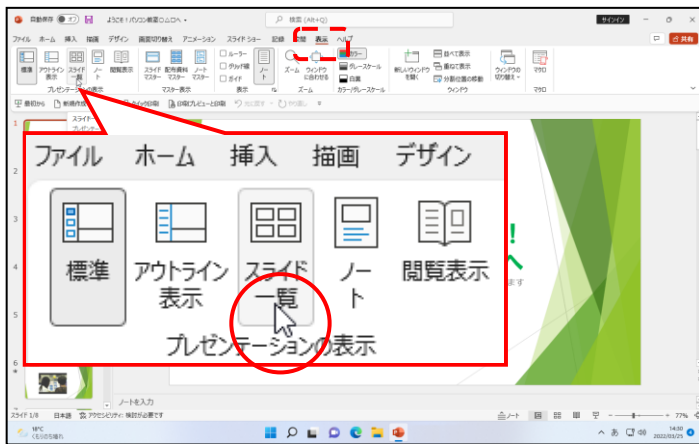
操作後




注意!


操作は次ページからです！

USB メモリーに保存している「ようこそ！パソコン教室〇△□へ」を開き、[表示] タブの [プレゼンテーションの表示] グループ内の  [スライド一覧] ボタンにポイントし、クリックします。

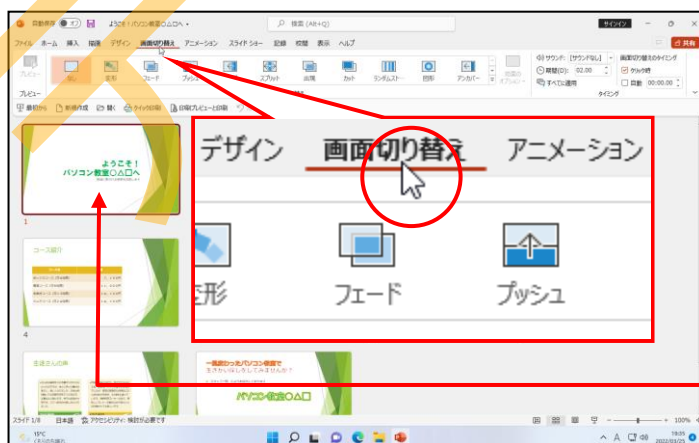


-  [スライド一覧] ボタンをクリックすると、スライドの一覧が表示されます。

余裕があれば読んでね

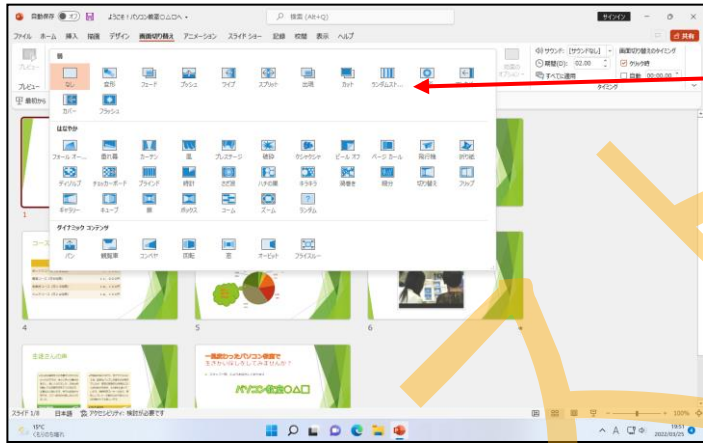
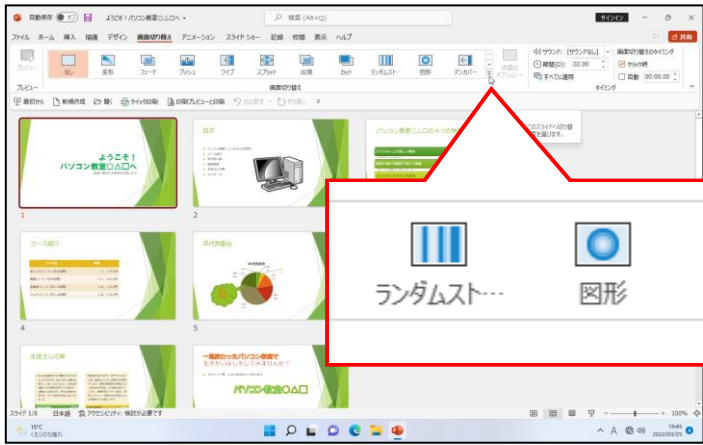
- 画面右下の  [スライド一覧] ボタンをクリックしても同じ操作になります。

1枚目のスライドが選択されていることを確認し、[画面切り替え] タブにポイントし、クリックします。



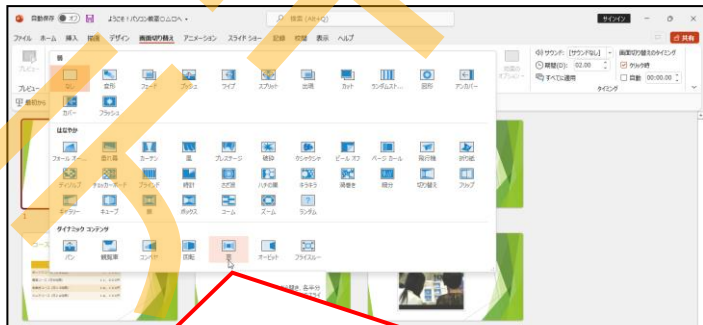
- 選択されたスライドは、周りに茶色の枠が表示されています。

[画面切り替え] グループ内の [その他] ボタンにポイントし、クリックします。

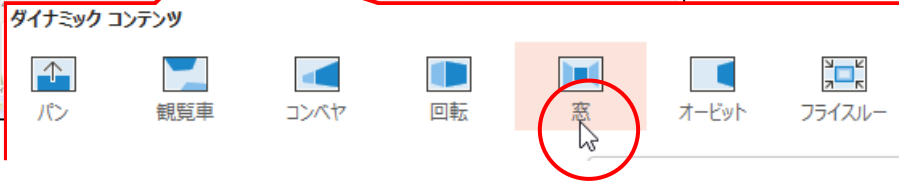


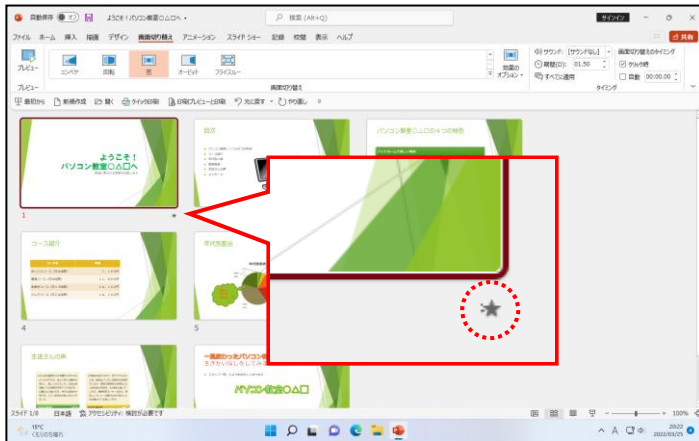
● [その他] ボタンをクリックすると、左のように画面切り替えの一覧が表示されます。

「ダイナミックコンテンツ」にある「窓」にポイントし、クリックします。



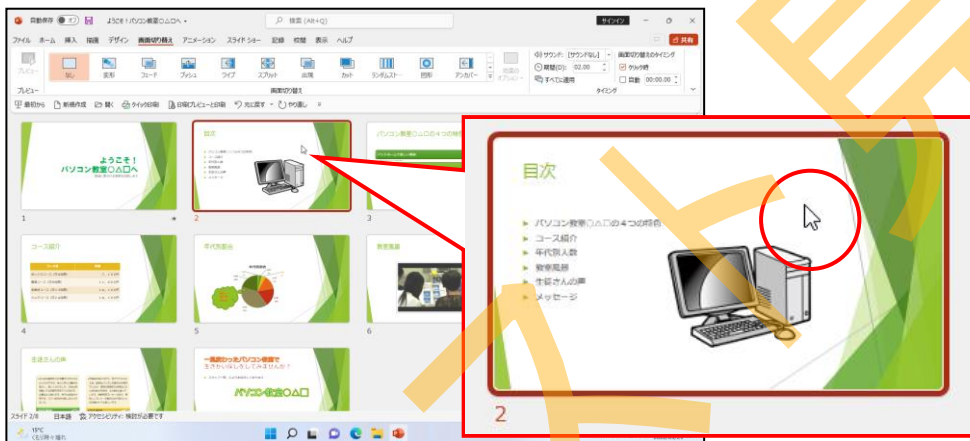
● 「窓」は中央から開き、窓のように表示される画面の切り替えの効果です。



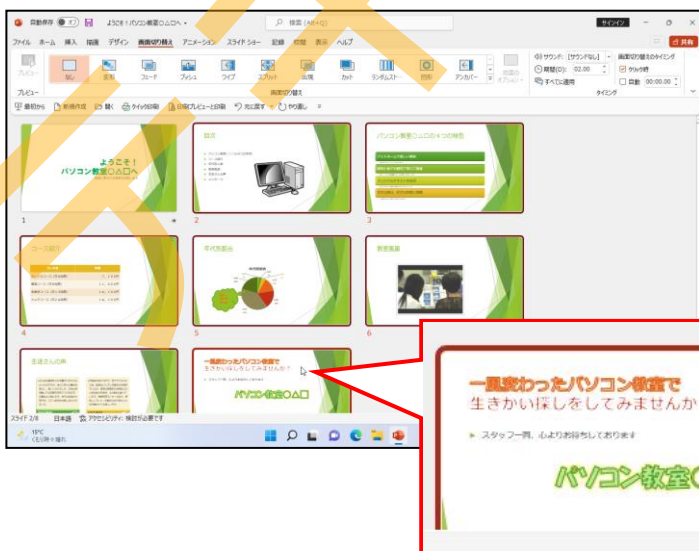


- 「窓」をクリックすると、スライド 1 に効果が設定され、画面に動きが つきます。
- 効果を付けたスライドの下に ☆ の マークが表示されます。また、☆ を クリックすると、効果が確認できます。

2 枚目のスライドにポイントし、クリックします。

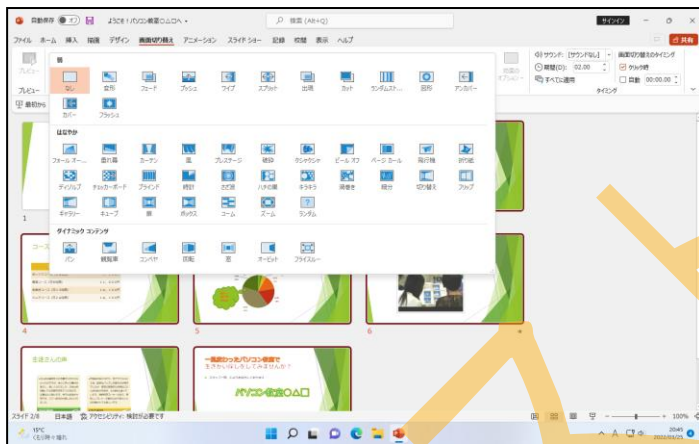
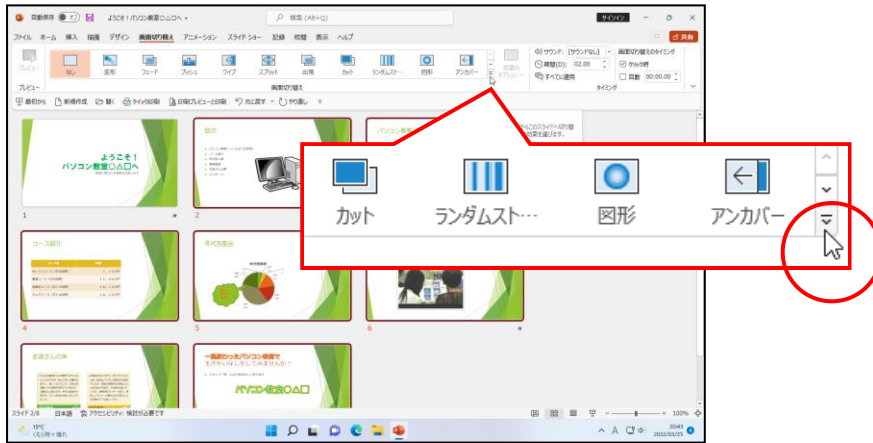


[Shift] キーを押した状態で、8 枚目のスライドにポイントし、クリックします。

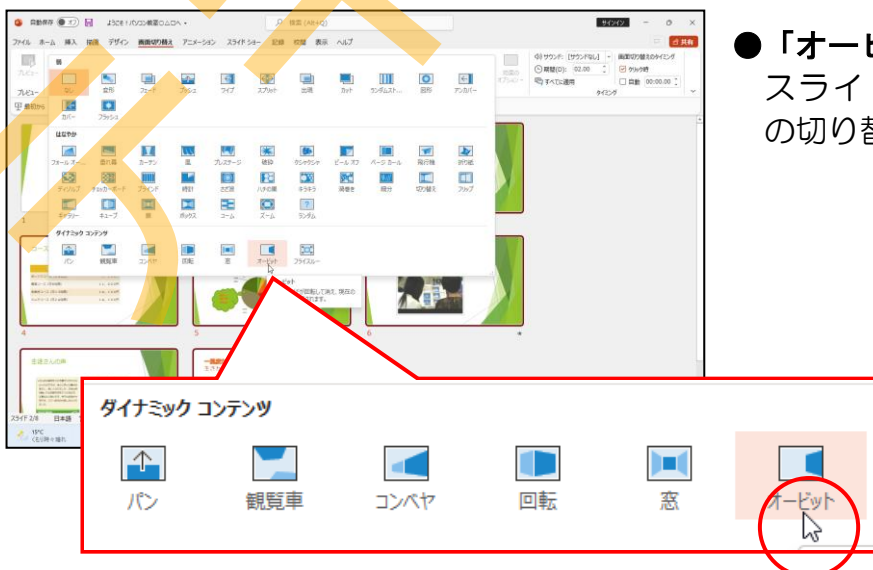


- 選択されたスライドは、周りに茶色 の枠が表示されています。
- [Shift] キーを押しながらクリッ クすることにより、連続して並んだ スライドを一度に選択することが できます。

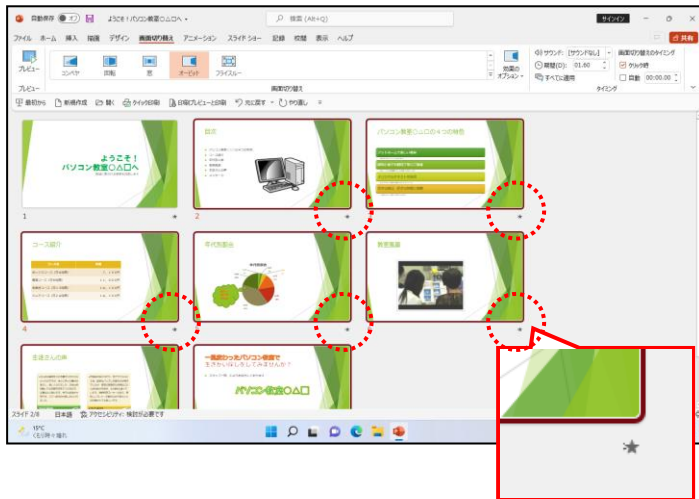
[画面切り替え] グループ内の [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



「ダイナミックコンテンツ」の中にある「オービット」にポイントし、クリックします。



- 「オービット」は、一旦遠ざかってスライドしながら表示される画面の切り替え効果です。



- 「オービット」をクリックすると、スライド2～8に効果が設定され、画面に動きがつきます。
- 効果を付けたスライドの下に ★ のマークが表示されます。また、★ をクリックすると、効果が確認できます。

画面を「スライド一覧」から「標準」に切り替え、スライド5に切り替えてから上書き保存をおこなってください。

- 「標準」に切り替える方法を忘れた方は、P58 下段を参照してください。



(2) アニメーションの設定

スライド内にある文字、図形、画像（イラスト）などのオブジェクトにアニメーション効果を設定し、それらに動きを与え、プレゼンテーションにインパクトを与えることができます。アニメーション効果は、速度も設定することができ、設定後の順序の入れ替えなどもできます。

アニメーション効果を設定するには、[アニメーション] タブを使います。

■ [アニメーション] タブ



① アニメーション効果とは

アニメーションの効果は、大きく分けて4種類あります。

- **【開始】効果**
オブジェクトが表示されときの効果。
- **【強調】効果**
オブジェクトの表示中に動きを付けて目立たせる効果。
- **【終了】効果**
オブジェクトがスライド上から消えるときの効果。
- **【アニメーションの軌跡】効果**
オブジェクトの動く道筋を指定する効果。

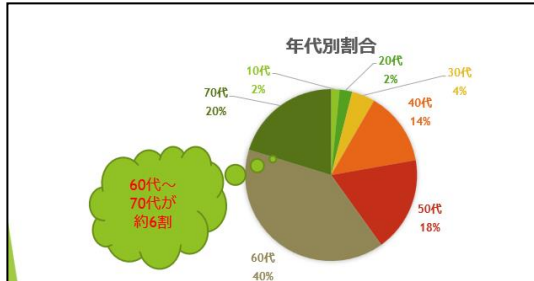
4種類の中に、それぞれの効果の種類がたくさんあります。

② アニメーション効果の設定

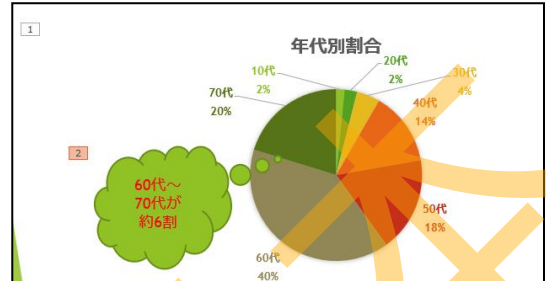
グラフに対して、[開始効果]の「グローとターン」というアニメーション効果を設定してみましょう。

◆アニメーション効果の設定方法をマスターしましょう。

操作前



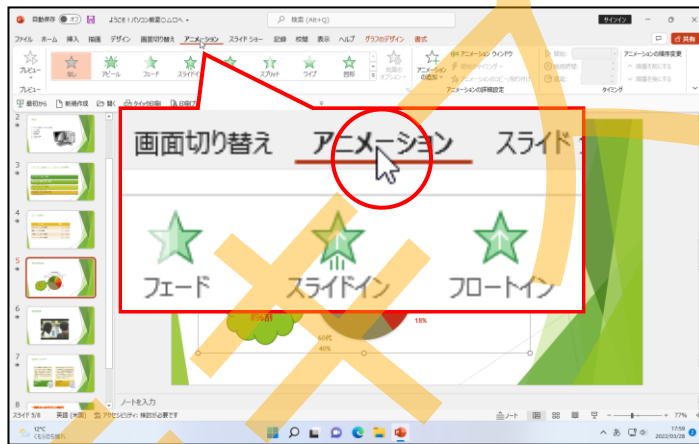
操作後



操作は下からです！

● [開始効果] の設定

スライド5のグラフエリアを選択し、[アニメーション] タブにポイントし、クリックします。

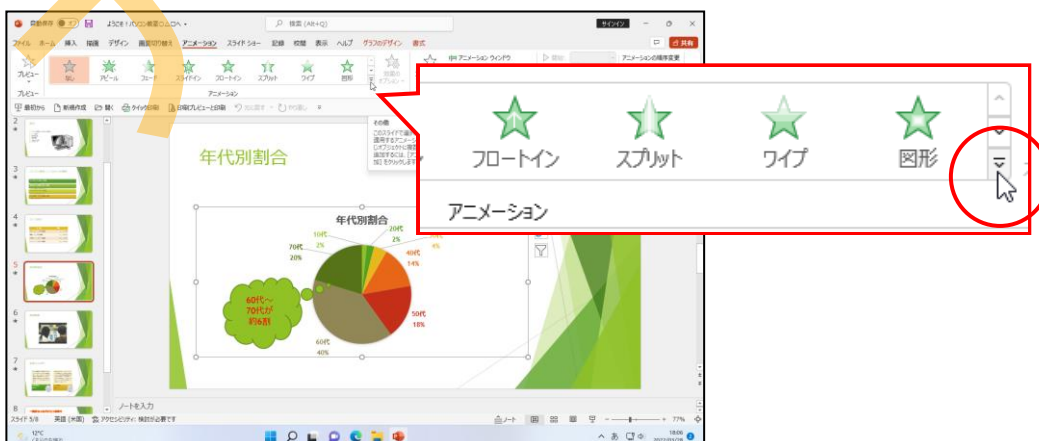


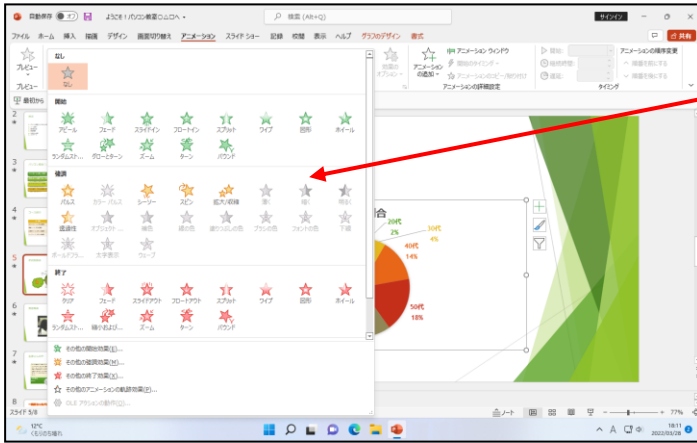
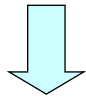
● [開始効果] とは、図形などのオブジェクトなどが、スライド上に表示される効果です。

余裕があれば読んでね

● プレゼンテーションをする際に、[開始効果] を利用する方法として、隠しておいた結論を提示する時に役立ちます。

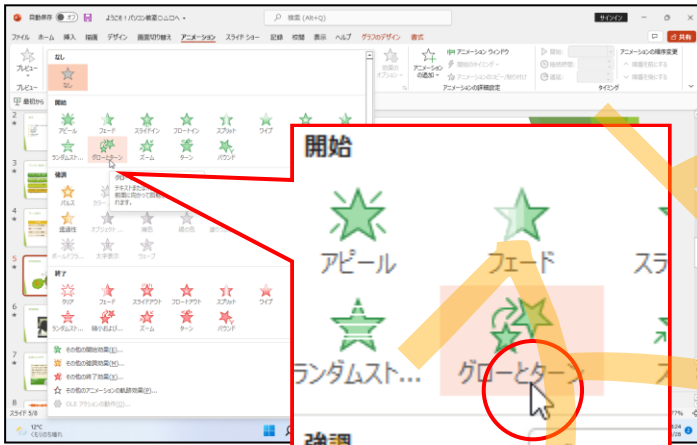
[アニメーション] グループにある [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



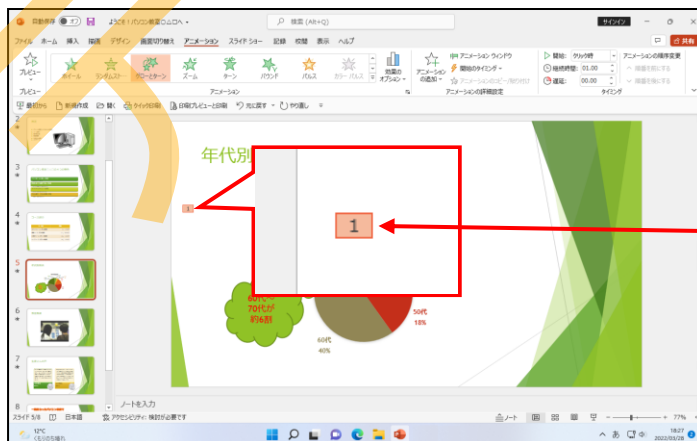


- [その他] ボタンをクリックすると、左のようにアニメーションの一覧が表示されます。

表示された一覧から、「開始」の中にある「グルーとターン」にポイントし、クリックします。



- 「グルーとターン」は、大きくなりながら回転する動きです。

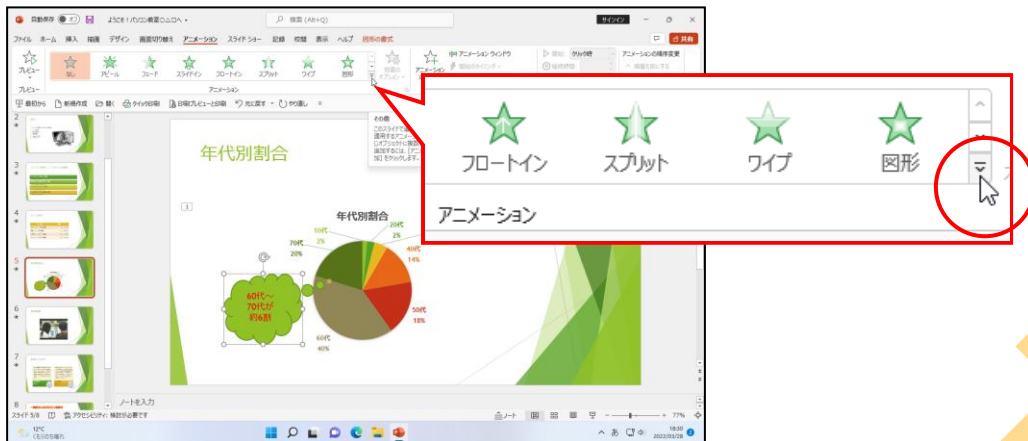


- 「グルーとターン」をクリックすると、グラフに効果が設定され、画面が動きます。
- 効果が設定されると、グラフ左側に、1 が表示されます。

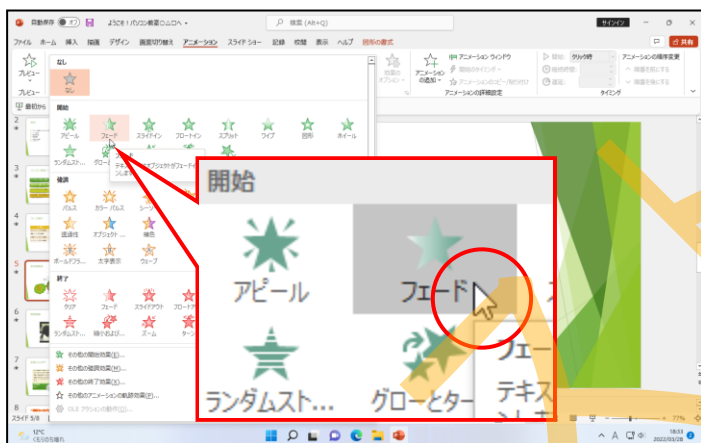
アニメーションの効果のオプション

P204

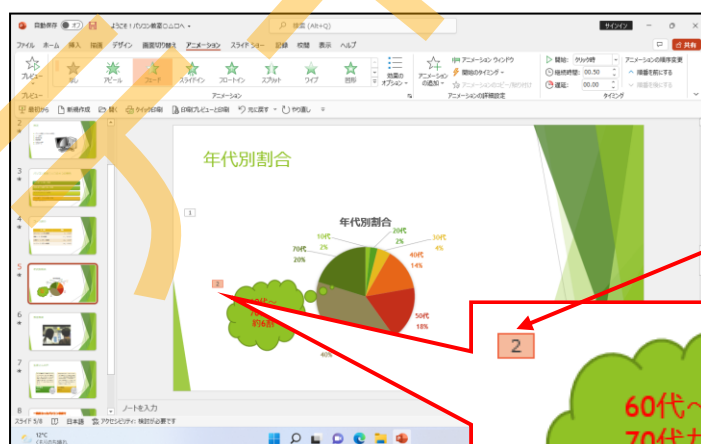
吹き出しを選択し、[アニメーション] グループにある [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



表示された一覧から、「開始」の中にある「フェード」にポイントし、クリックします。



●「フェード」は次第にはっきり現れてくる効果です。



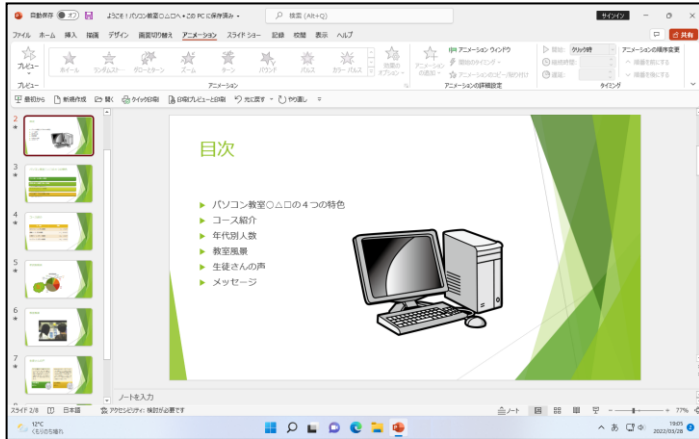
●「フェード」をクリックすると、吹き出しに効果が設定され、画面が動きます。

●効果が設定されると、吹き出しの左上に、**2** が表示されます。

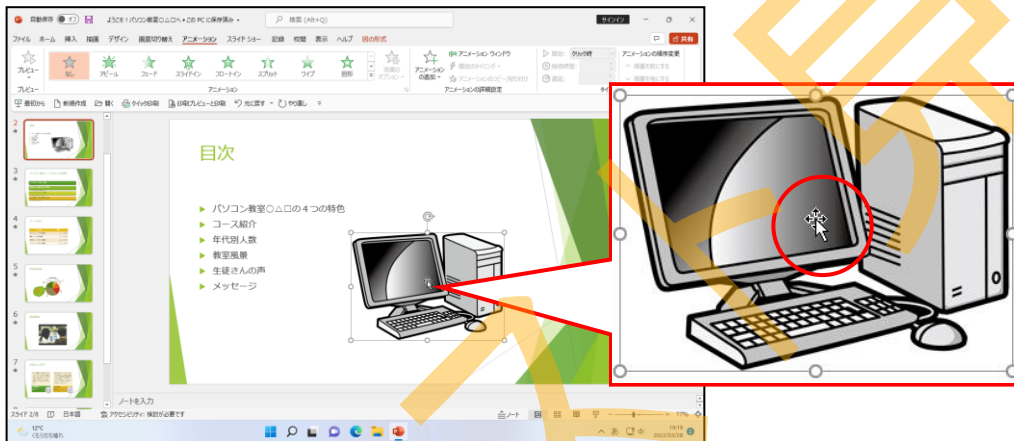


● [終了効果] の設定

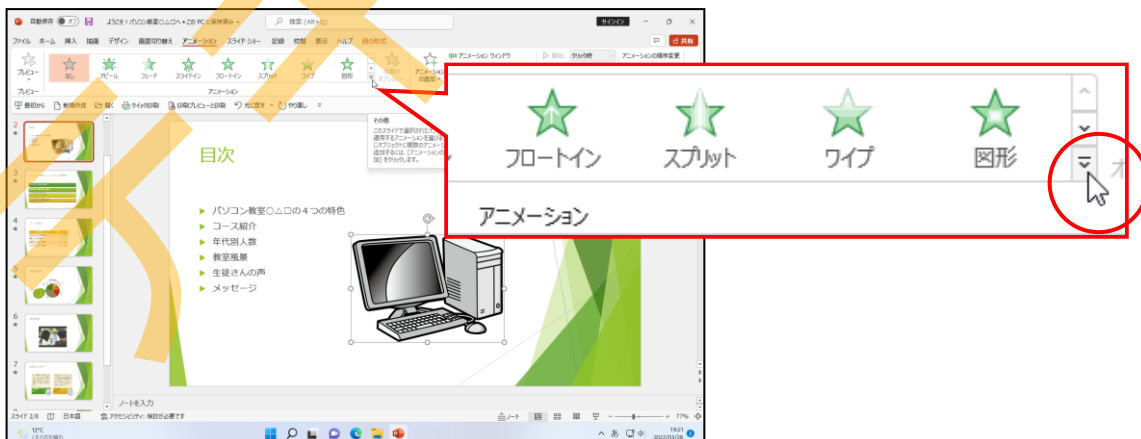
スライド2を表示します。



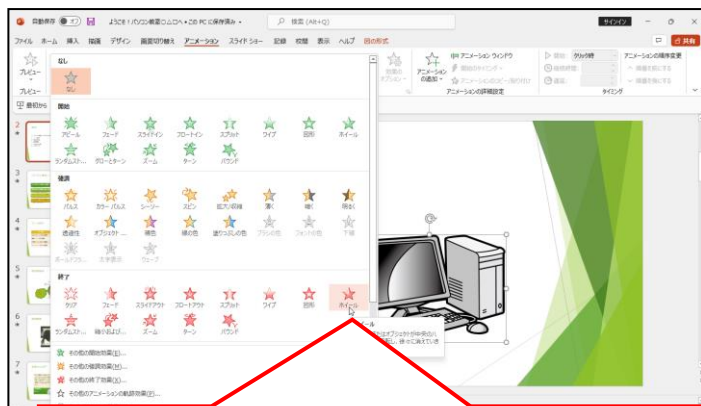
画像（イラスト）にポイントし、クリックします。



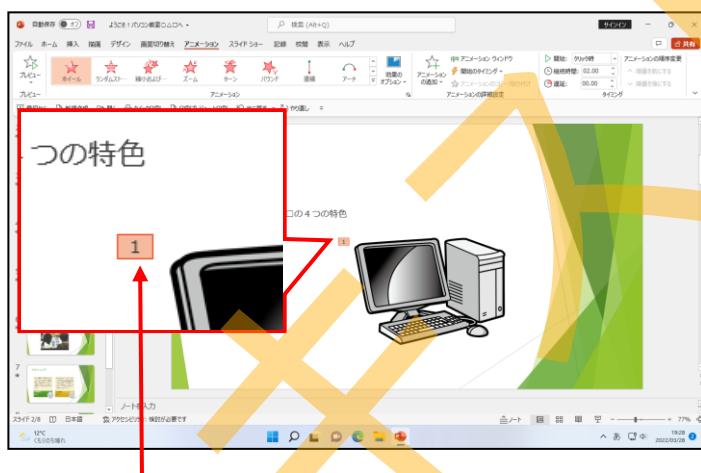
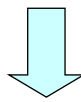
[アニメーション] グループにある [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



表示された一覧から、「終了」の中にある「ホイール」にポイントし、クリックします。



●「ホイール」は、車輪の軸のように回転する動きです。



●「ホイール」をクリックすると、図形に効果が設定され、画面が動きます。

●効果が設定されると、図形左側に、**1** が表示されます。

アニメーションに関する補足説明 P205

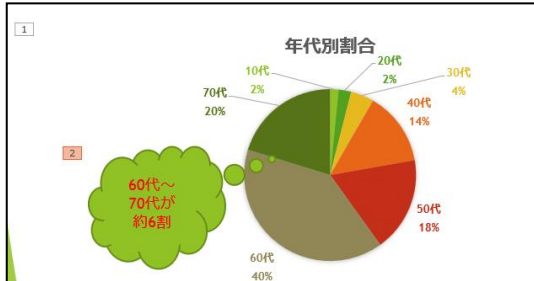
次の操作のために、再度スライド5を表示しておきましょう。

③ アニメーションの追加

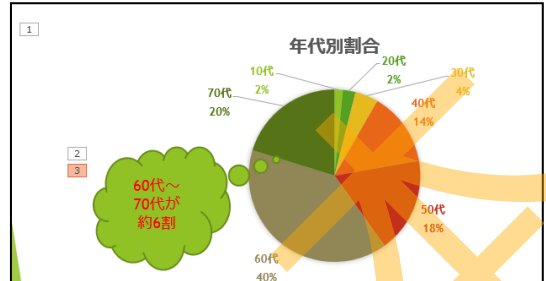
②で吹き出しに開始効果のフェードを設定しましたが、続けて、吹き出しを強調させるためにアニメーションを追加して、「カラーパルス」という強調効果を設定します。

◆アニメーションを追加する方法をマスターしましょう。

操作前

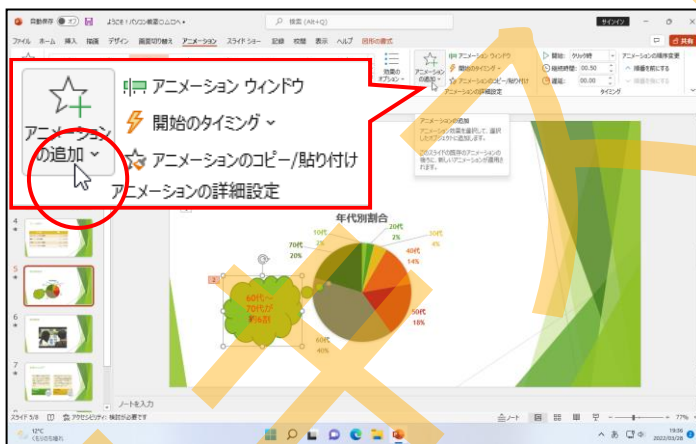


操作後



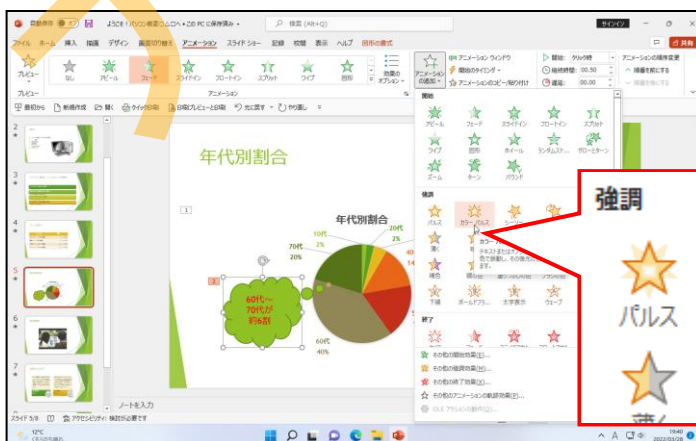
● [強調効果] の設定

吹き出しを選択し、[アニメーションの詳細設定]グループにある☆[アニメーションの追加]ボタンにポイントし、クリックします。

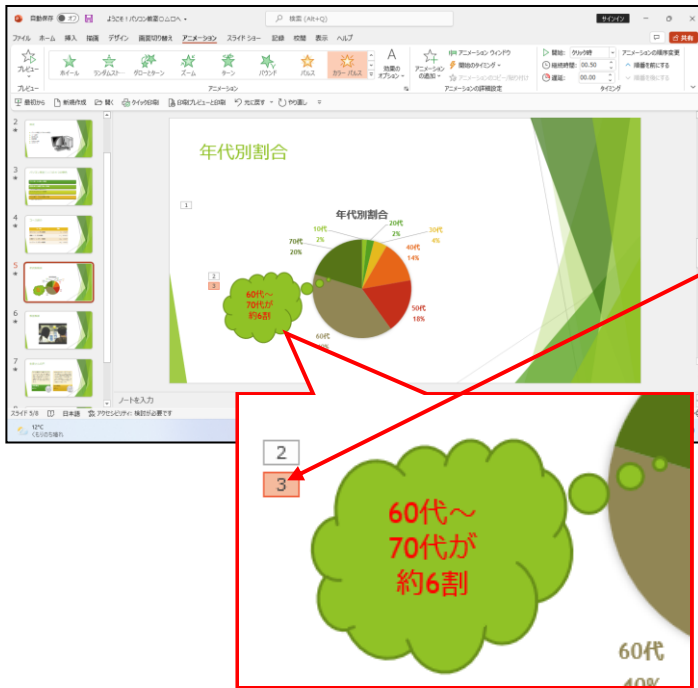
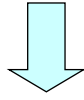


● [強調効果]とは、図形などのオブジェクトの表示中に動きを付けて強調することにより、目立たせる効果です。

下に表示された一覧から、「強調」の中にある「カラーパルス」にポイントし、クリックします。



● 「カラーパルス」は、脈拍を打つような動きと共に色も変化する効果です。



●「カラーパルス」をクリックすると、吹き出しに効果が設定され、画面が動きます。

●効果が設定されると、吹き出しの左側に、**3**が表示されます。

アニメーションの軌跡に関する補足説明 P205

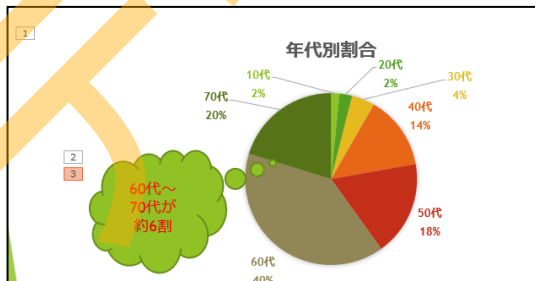
④ アニメーション効果の速度の設定

アニメーションの速度には、「20秒（非常に遅い）」、「5秒（さらに遅く）」、「3秒（遅く）」、「2秒（普通）」、「1秒（速く）」、「0.5秒（さらに速く）」があり、それぞれ設定することができます。

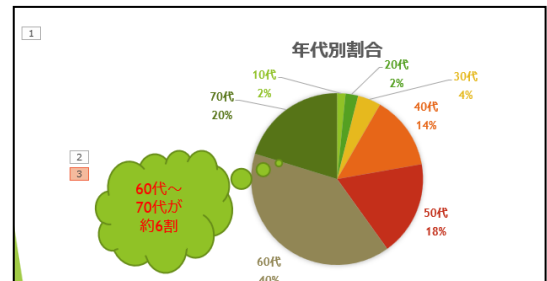
ここではグラフのアニメーション効果に対して、「2秒（普通）」を設定しましょう。

◆アニメーション効果の速度を設定する方法をマスターしましょう。

操作前




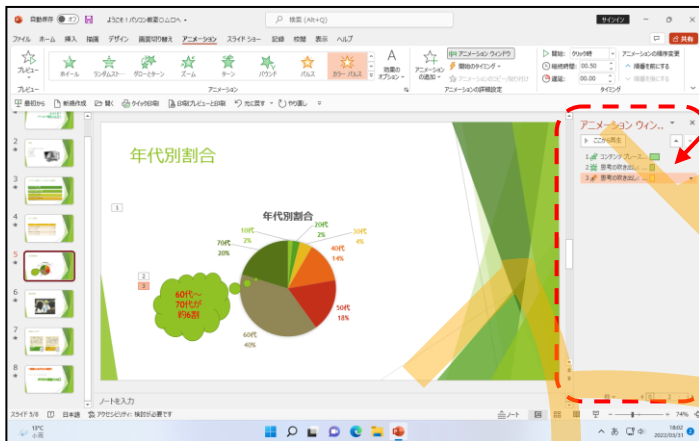
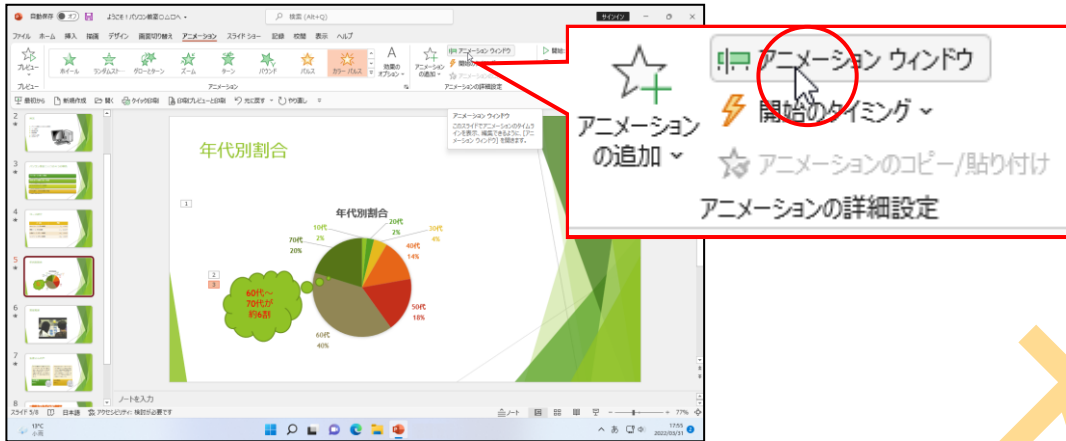
操作後




注意!

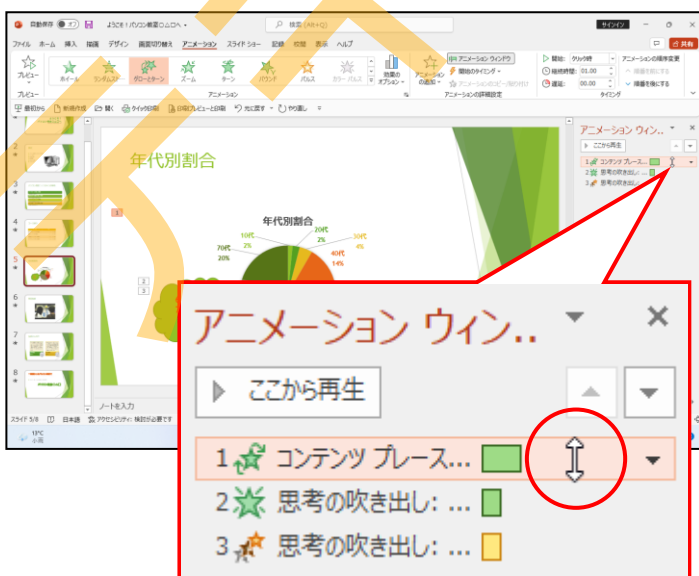
操作は次ページからです！

【アニメーションの詳細設定】グループにある  アニメーション ウィンドウ [アニメーション ウィンドウ] ボタンにポイントし、クリックします。




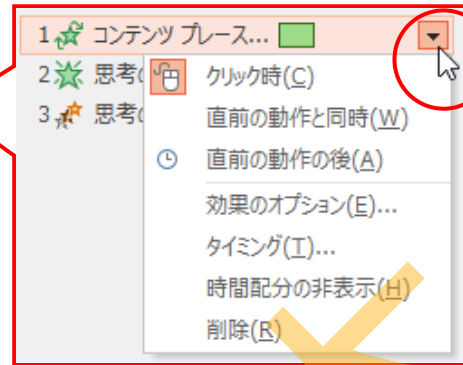
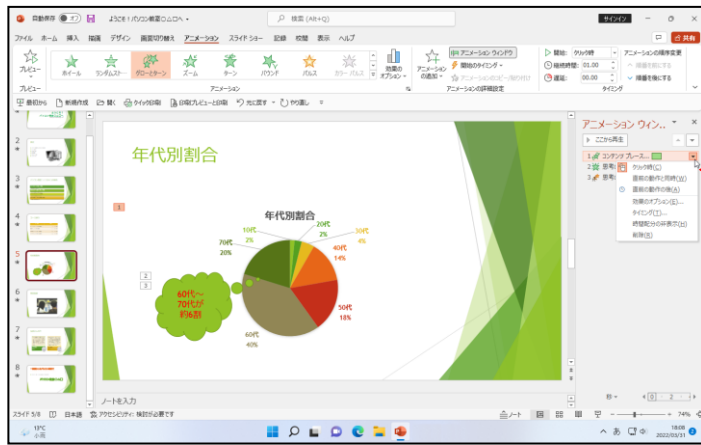
-  アニメーション ウィンドウ [アニメーション ウィンドウ] ボタンをクリックすると、右側に [アニメーション ウィンドウ] が表示されます。

「コンテンツプレース...」にポイントし、クリックします。

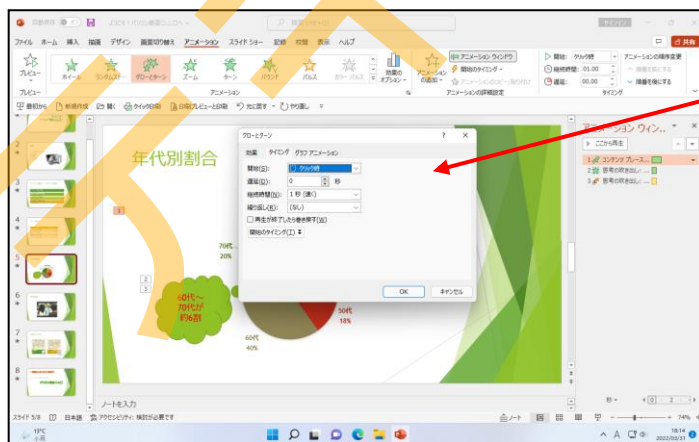
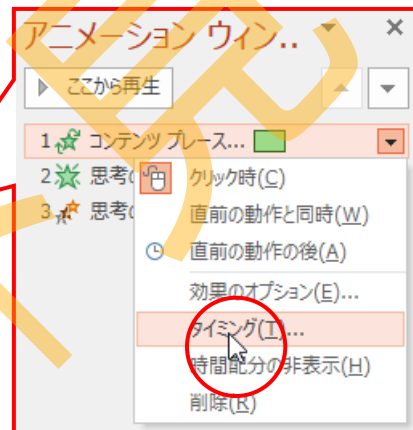
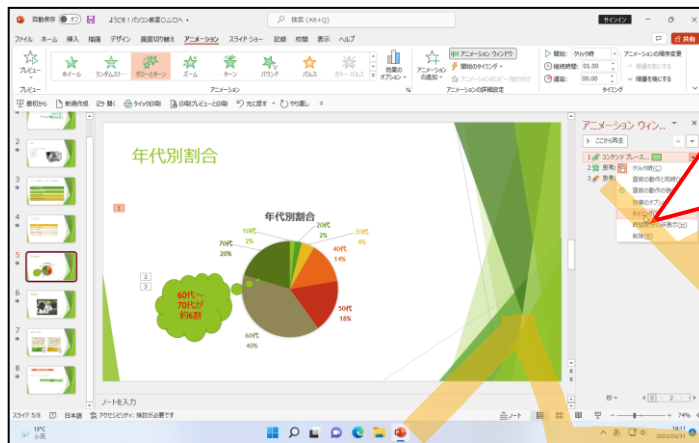


- 「コンテンツプレース...」をクリックすると、オレンジ色の四角で囲まれます。
- 「コンテンツプレース...」は、グラフのオブジェクトが挿入されたコンテンツプレースホルダーのことです。

右側に表示されている  にポイントし、クリックします。

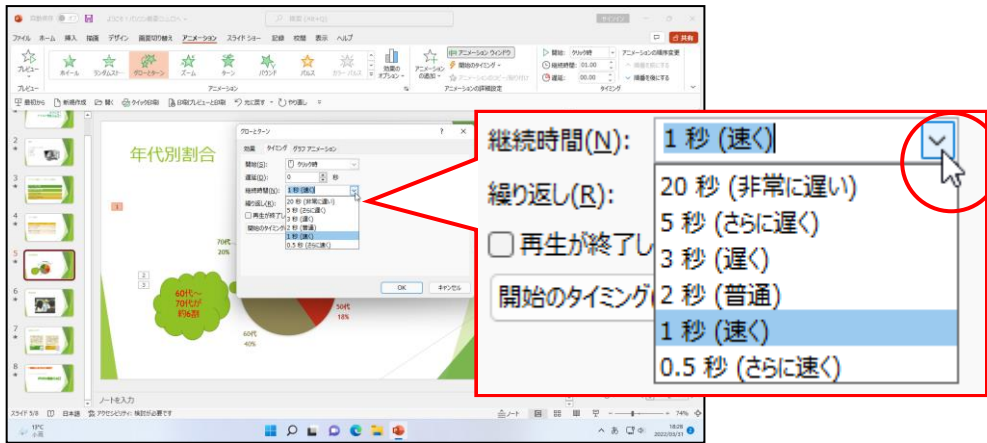


下に表示された一覧から [タイミング(T)...] にポイントし、クリックします。

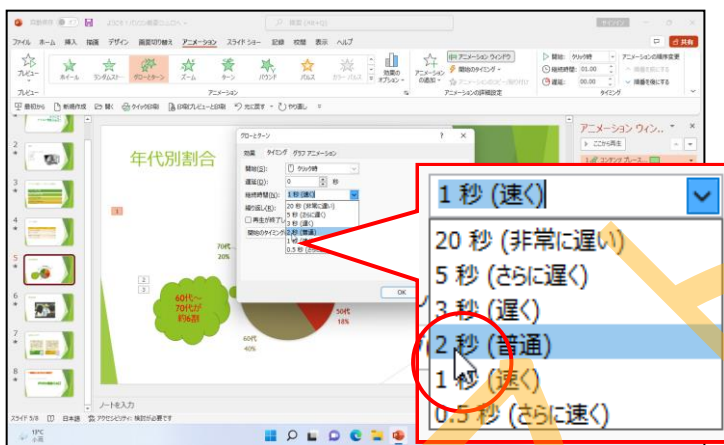


● [タイミング(T)...] をクリックすると、[グローとターン] ダイアログボックスが表示されます。

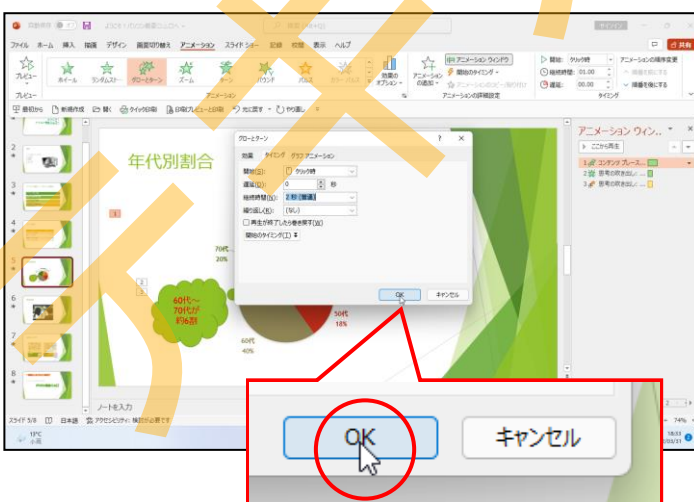
[継続時間(N):] ボックスの右側の ▾ にポイントし、クリックします。

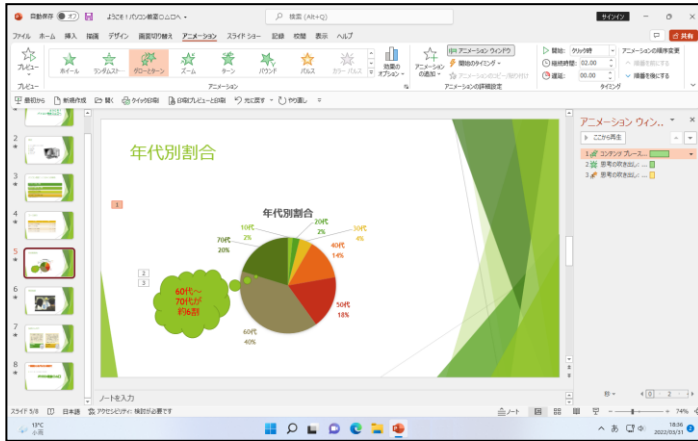
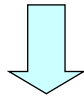


下に表示された一覧から、「2秒(普通)」にポイントし、クリックします。



[OK] ボタンにポイントし、クリックします。





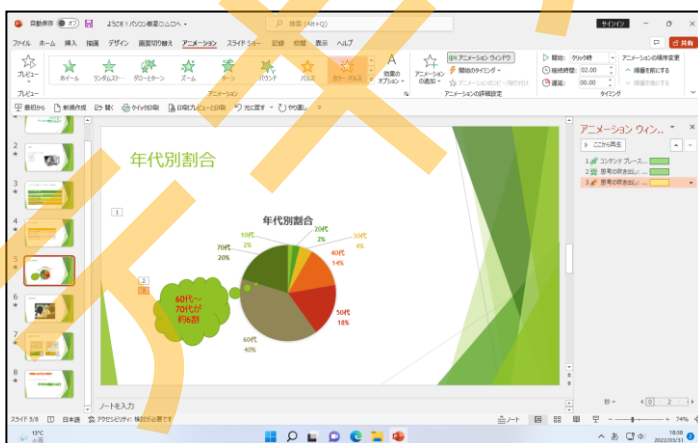
●設定された速度でアニメーションが動きます。

タイミングに関する補足説明 P205

グラフのアニメーションに関する補足説明 P206

◎ 復習として、以下の設定をしましょう。

雲形吹き出しの2つのアニメーションに対して、「2秒（普通）」の設定にしましょう。



次の操作のためにスライド3を表示し、アニメーションウィンドウを閉じておきましょう。

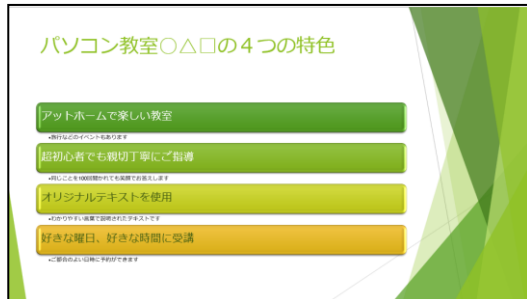
⑤ アニメーション効果のオプション（方向）の設定

アニメーションの効果は、動く方向などを設定することができます。

ここでは、スライド3のSmartArt^{スマートアート}ひとつひとつを個別に動かし、その後スライド8にワイプのアニメーションを左方向から動くように設定していきます。

◆アニメーション効果の方向を設定する方法をマスターしましょう。

操作前



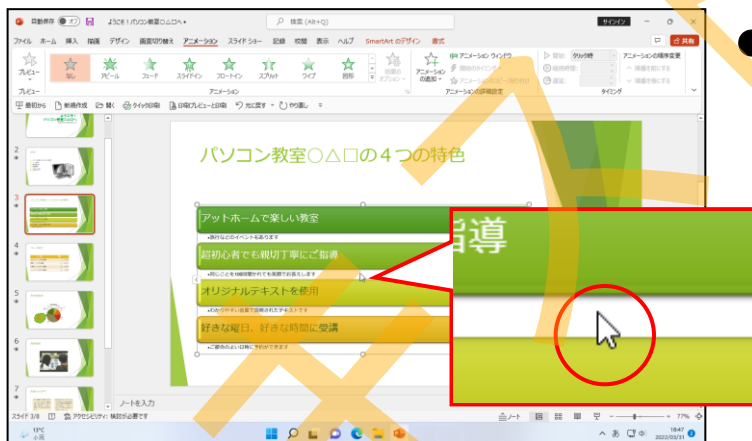
操作後



注意!

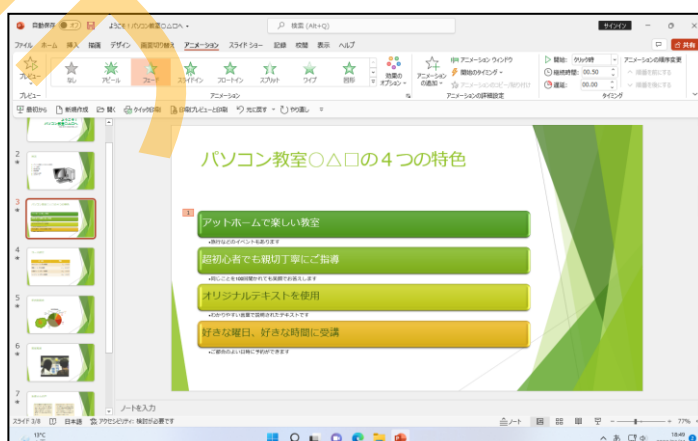
操作は下からです！

スマートアート
SmartArtにポイントし、クリックします。



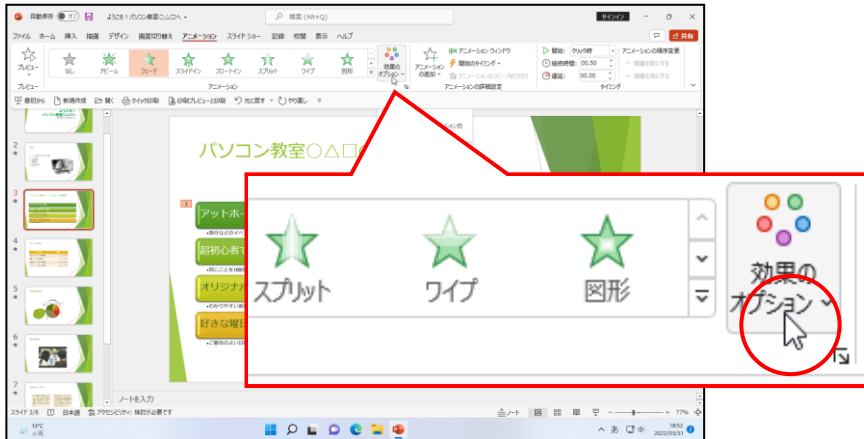
●スマートアート
SmartArtを選択すると、周りにグレーの枠が表示されます。

「開始効果」の中の「フェード」の設定をします。

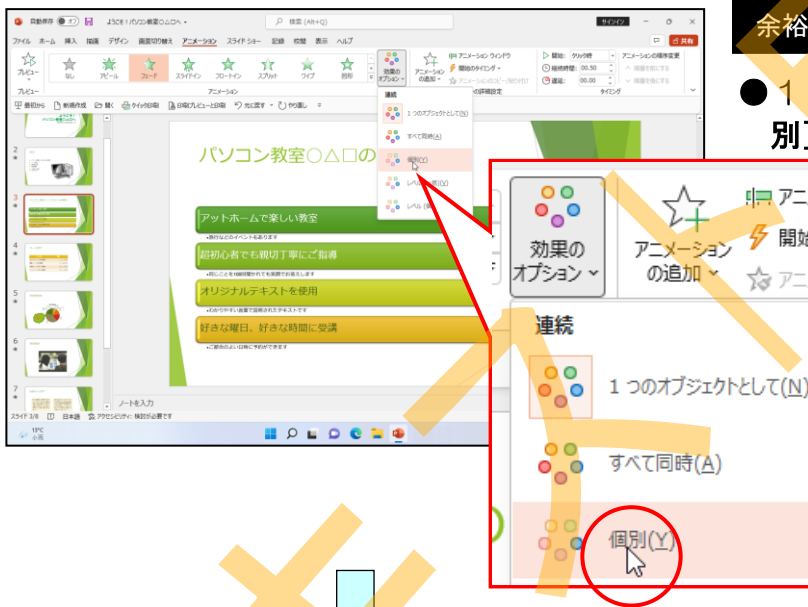


●アニメーション効果の設定を忘れた方は、P183 ② アニメーション効果の設定を参照してください。

【アニメーション】グループの中の [効果のオプション] ボタンにポイントし、クリックします。

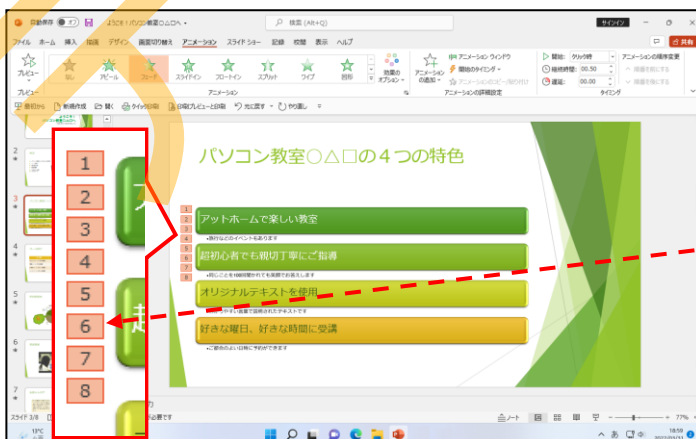


下に表示された一覧から、【個別 (Y)】にポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

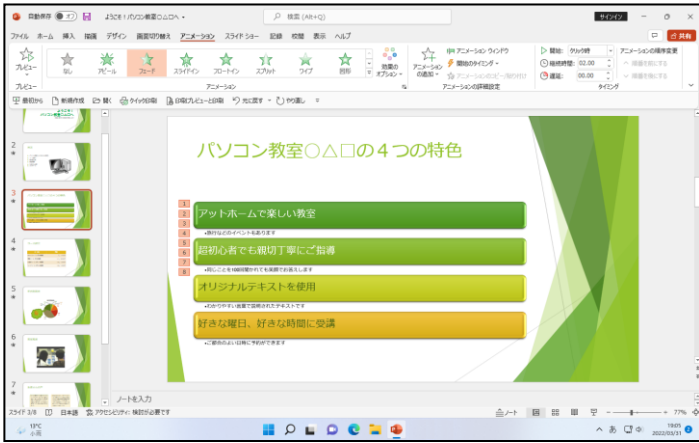
- 1 つずつ順番に動かす場合は【個別】を選択します。



- 【個別 (Y)】をクリックすると、個々にアニメーションが設定されて動きます。

- 効果が設定されると、スマートアート SmartArt の左側に、1 ~ 8 が表示されます。

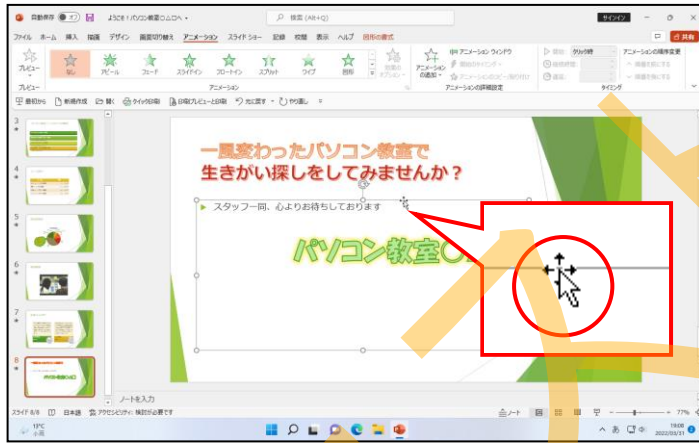
「2秒（普通）」の速度に設定し、アニメーションウィンドウを閉じておきましょう。



- アニメーションの速度の設定を忘れた方は、P189 ④ アニメーション効果の速度の設定を参照してください。

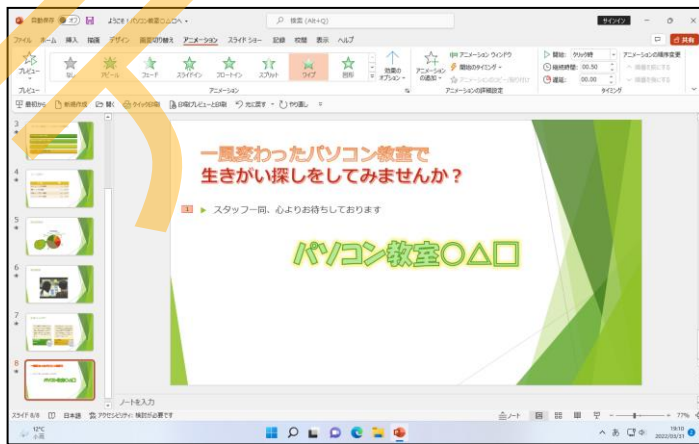
◎ スライド8を表示し、復習をしましょう。

コンテンツ（下）のプレースホルダーを選択します。



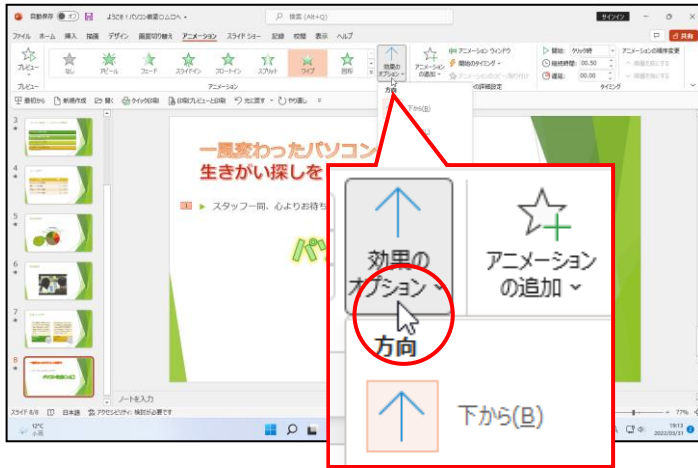
- 間違えてワードアートを選択しないように注意しましょう。

「スタッフ一同～」のテキストに、「開始効果」の中の「ワイプ」のアニメーションを設定します。

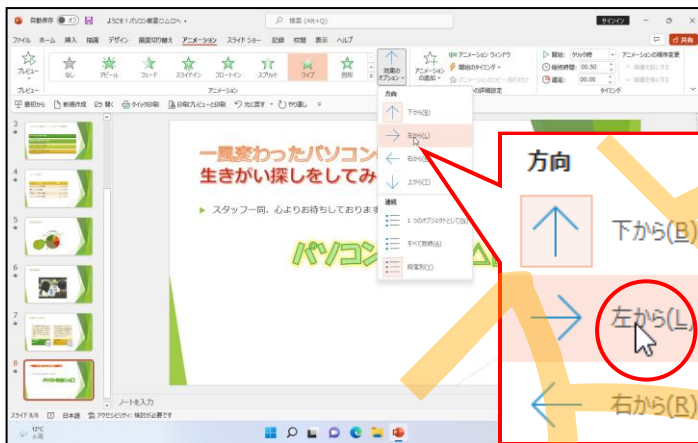


- 「ワイプ」は、車のワイパーを動かして雨をぬぐうような動きです。「Wipe: ぬぐう、ふき取る」の意味。
- アニメーション効果の設定を忘れた方は、P183 ② アニメーション効果の設定を参照してください。

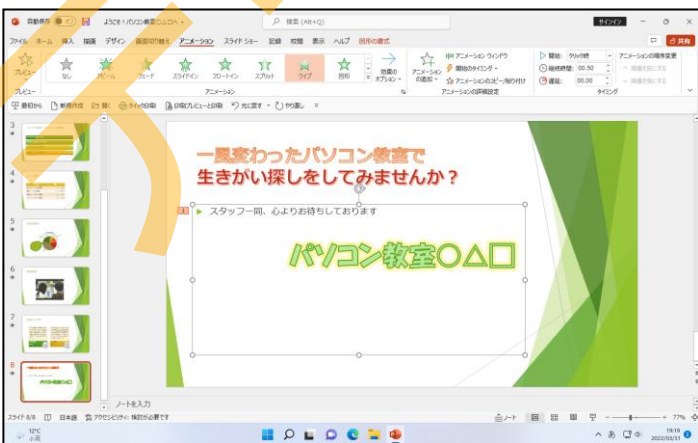
[アニメーション] グループの中の ↑ [効果のオプション] ボタンにポイントし、クリックします。



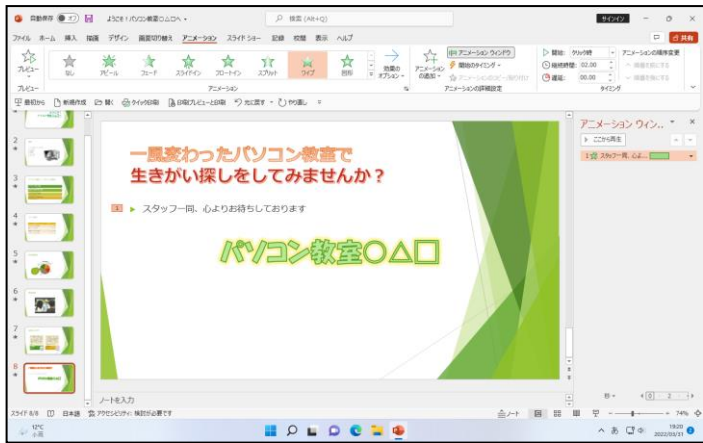
下に表示された一覧から、[左から(L)] にポイントし、クリックします。



●「ワイプ」のアニメーションが左方向から動きます。

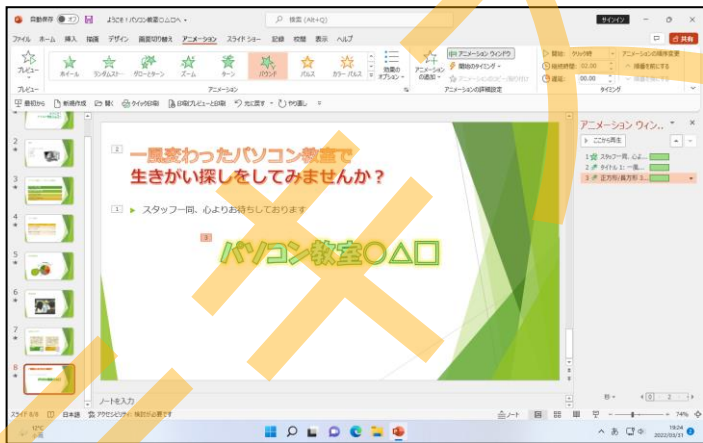


アニメーションの速さを、「2秒（普通）」に設定しておきましょう。



スライド8に次の設定をしておきましょう。

オブジェクト	アニメーション効果	速さ
ワードアート 「一風変わったパソコン教室で生きがい探しをしてみませんか？」	ズーム（開始）	2秒（普通）
ワードアート 「パソコン教室〇△□」	バウンド（開始）	2秒（普通）



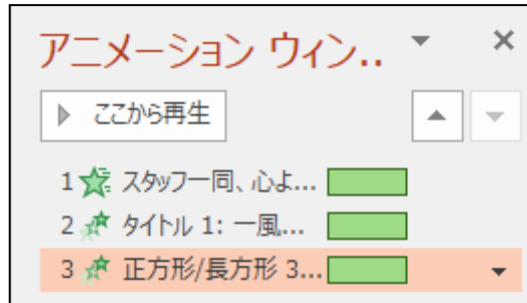
- 「ズーム」は、カメラのレンズを拡大する時のような動きです。
- 「バウンド」は、ボールが跳ねるような動きです。

⑥ アニメーション効果の順序の入れ替え

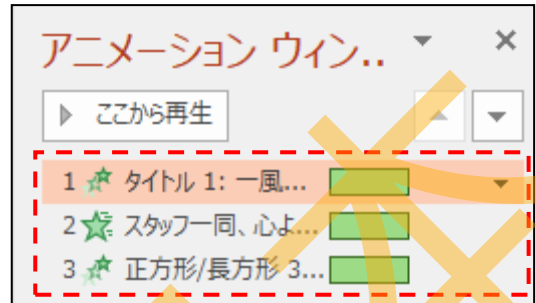
アニメーション効果は、順序を入れ替えることができます。
ここでは、スライド8の2番と1番のアニメーションを入れ替えてみましょう。

◆アニメーション効果の順序を入れ替える方法をマスターしましょう。

操作前



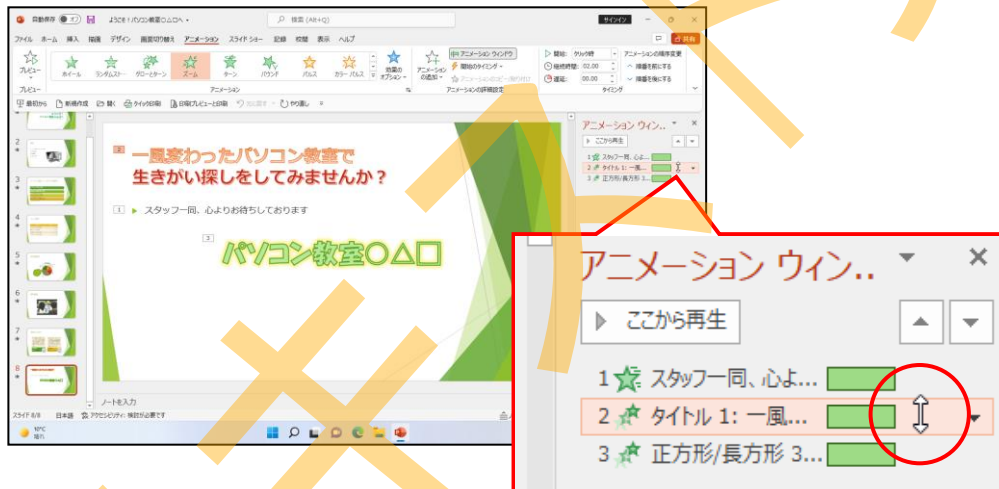
操作後



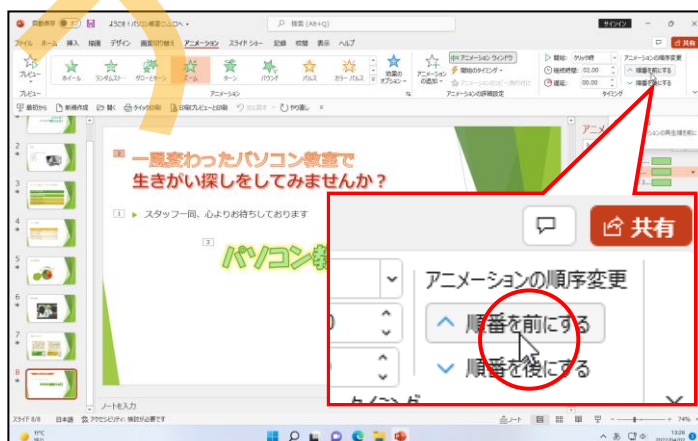
注意!

操作は下からです!

アニメーションウィンドウ内の上から2段目にポイントし、クリックします。

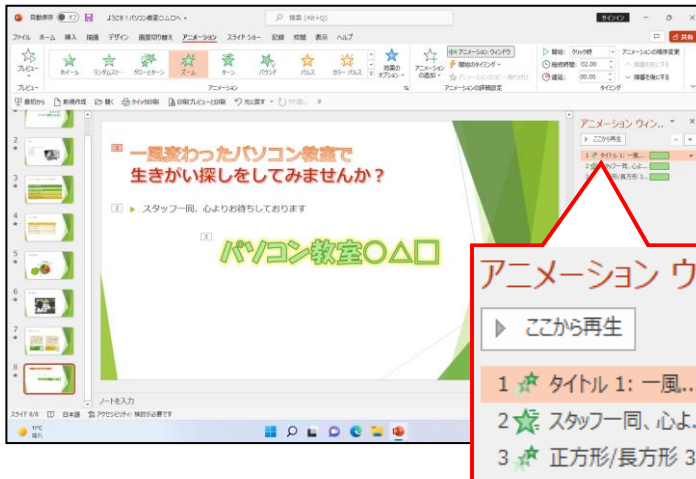


[タイミング] グループにある **↑** 順番を前にする [順番を前にする] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

●P189 ④ アニメーション効果の速度の設定の場所から出てくる [タイミング(T)] とは違いますので注意しましょう。



●アニメーション効果の順番が入れ替わりました。

⑦ アニメーションをコピーする

パワーポイントでは、アニメーション効果のコピーもでき、最初から設定する必要があります。スライド 8 のタイトルに設定したズームの効果を、スライド 4 の表にコピーしてみましょう。

◆アニメーション効果をコピーする方法をマスターしましょう。

操作前



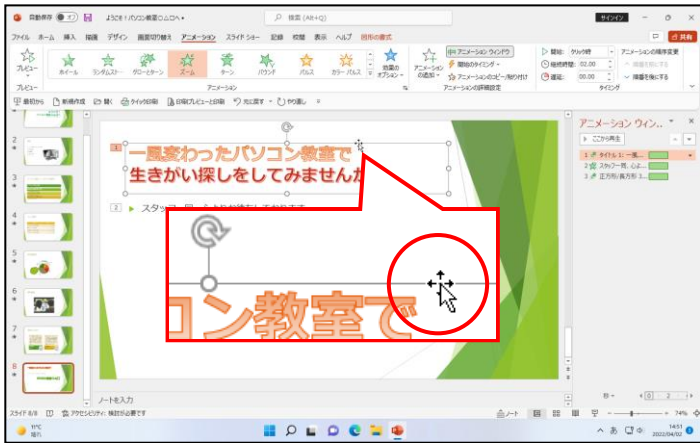
操作後



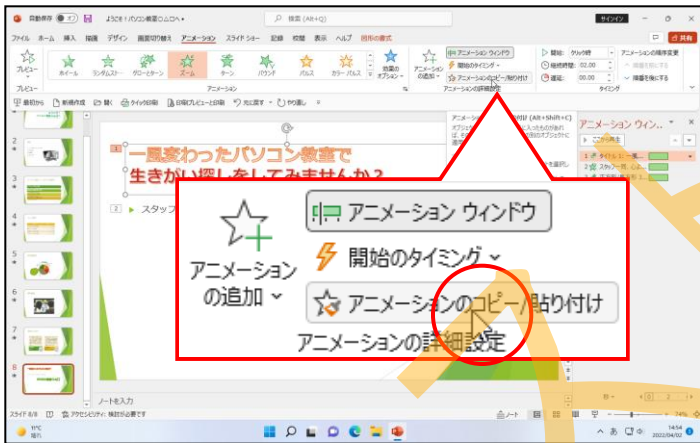
注意!

操作は次ページからです！

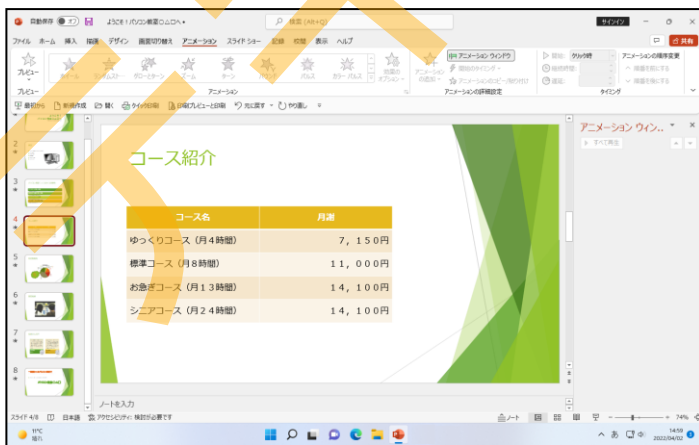
スライド8のタイトルプレースホルダーを選択します。



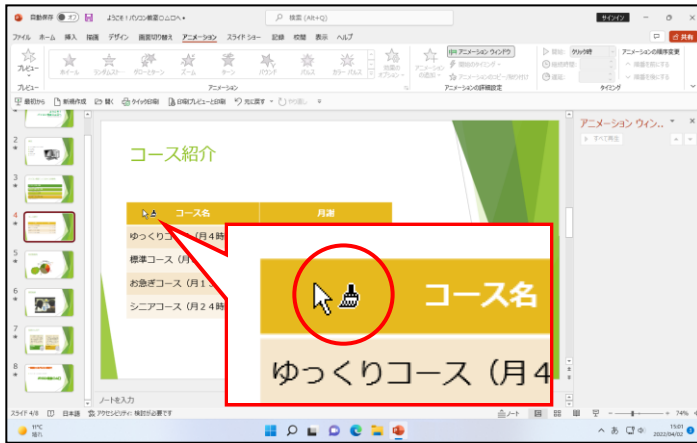
[アニメーションの詳細設定] グループ内の ☆ アニメーションのコピー/貼り付け [アニメーションのコピー/貼り付け] ボタンにポイントし、クリックします。




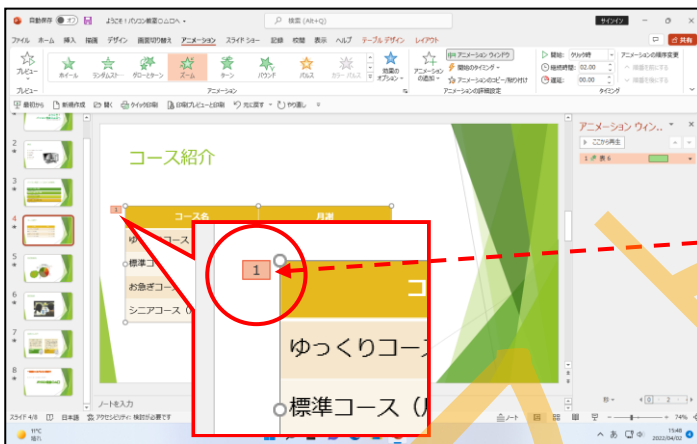
スライド4を選択します。



表の上にポイントし、クリックします。



●表の上にポイントすると、マウスインターが  の形になります。



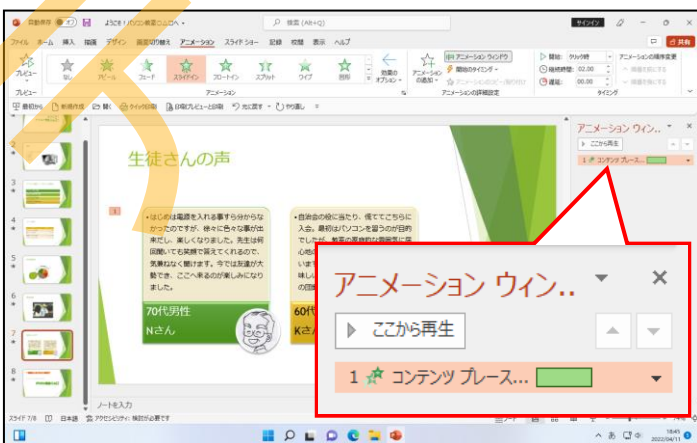
●表の上でクリックすると、スライド 8 のタイトルプレースホルダーに設定した [ズーム] のアニメーションがコピーされて動きます。

●表の横に 1 が表示されます。

◎ スライド7に切り替え、復習をしましょう。

スライド7に次の設定をしましょう。

オブジェクト	アニメーション効果	方向	速さ
スマートアート SmartArt	スライドイン(開始)	右から	2 秒 (普通)



●アニメーション効果の設定を忘れた方は、P183 ② アニメーション効果の設定を参照してください。

●アニメーション効果の方向の設定を忘れた方は、P194 ⑤ アニメーション効果のオプション (方向) の設定を参照してください。

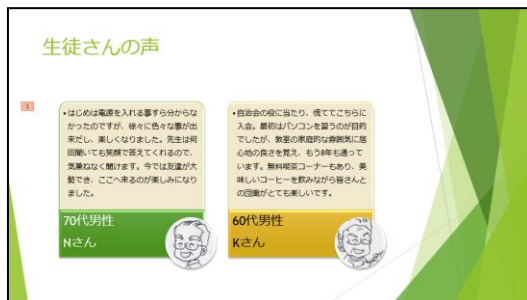
●アニメーション効果の速度の設定を忘れた方は、P189 ④ アニメーション効果の速度の設定を参照してください。

⑧ アニメーションのプレビュー

実際に設定したアニメーションの動きを確認してみましょう。

◆アニメーションのプレビュー状態を確認する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



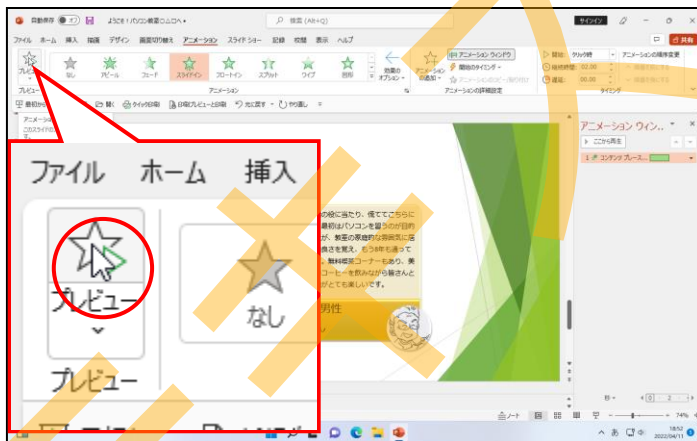
画面上では何も変わりません



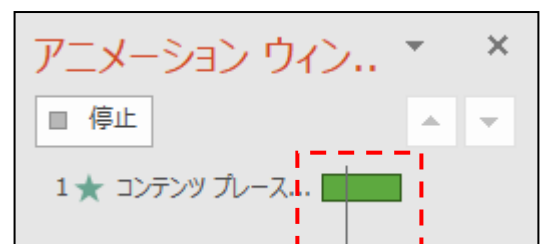
注意!

操作は下からです！

[アニメーション] タブの [プレビュー] グループにある ☆ [プレビュー] ボタンにポイントし、クリックします。



- ☆ [プレビュー] ボタンをクリックすると、設定したアニメーションが動きます。アニメーションウィンドウ内の灰色の縦ラインが左から右へ動きます。



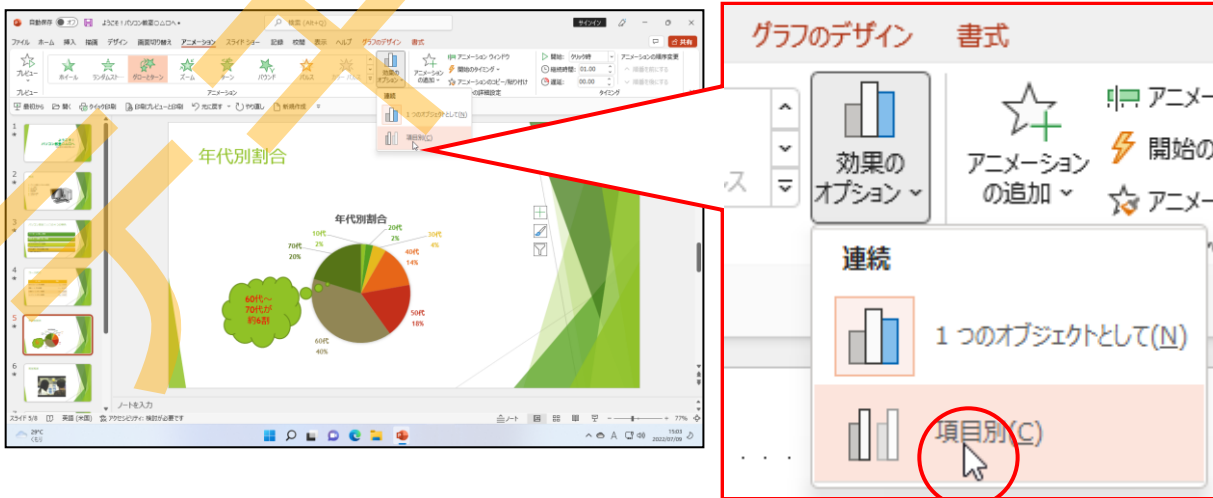


●設定したアニメーションウィンドウの動きが確認できます。

同様に、スライド8もプレビューをためてみましょう。その後スライド1に戻して、アニメーションウィンドウを閉じておきましょう。さらに上書き保存をおきましょう。

●補足説明（その7）P204～P206

●P184 アニメーションの効果のオプション



グラフを選択して【アニメーション】グループにある【効果のオプション】ボタンをクリックして表示されるメニューから【項目別(C)】をクリックすると、項目ごとにアニメーションが設定されて動きます。

●P187 アニメーションに関する補足説明

【アニメーション】タブにある【アニメーション】グループの ▾【その他】ボタンをクリックすると、下図の一覧が表示されます。それ以外のアニメーション効果は、左図の点線の部分をそれぞれクリックすると、右図のように効果の一覧が表示されます。



上図は【その他の開始効果(E)...】をクリックした図になります。

●P189 アニメーションの軌跡に関する補足説明

【アニメーション】タブにある【アニメーション】グループの ▾【その他】ボタンをクリックすると、一覧の下の方に下図のような「アニメーションの軌跡」があります。下のアニメーションを選択すると、図などのオブジェクトが、選択した状態の動きをします。



●P193 タイミングに関する補足説明

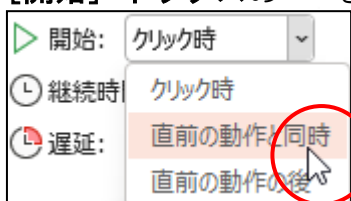
■連続した動きの設定

アニメーションが連続して表示されるように設定することもできます。

【アニメーション】タブの【タイミング】グループにある ▷開始: クリック時 ▾【開始】ボックスの ▾ をクリックし、【直前の動作の後】をクリックします。

■同時に動かす時の設定

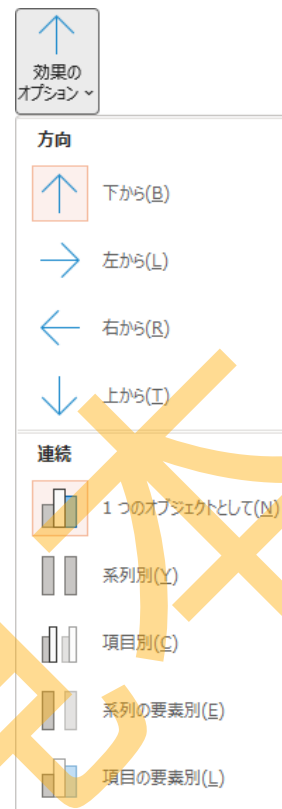
同様にして、【アニメーション】タブの【タイミング】グループにある ▷開始: クリック時 ▾【開始】ボックスの ▾ をクリックし、【直前の動作と同時】をクリックします。



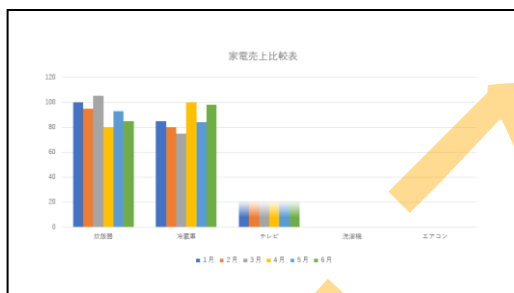
●P193 グラフのアニメーションに関する補足説明

棒グラフの棒などは、グラフのひとつひとつをアニメーションで順番に表示ができます。下図のように、売り上げの変化などを月ごとに順番に表示させて、データの推移をよりわかりやすく見せることができます。

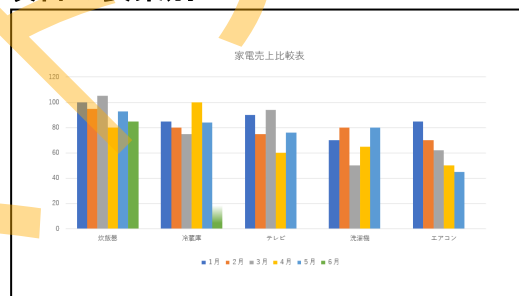
項目別に表示させたい場合は、[アニメーション] タブの [アニメーション] グループにある ↑ [効果のオプション] ボタンをクリックして表示される [項目別 (C)] をクリックします。動きは同じ項目が同時に表示され、[項目の要素別 (L)] をクリックすると、1月、2月、3月が別々に順番に表示されます。



項目別

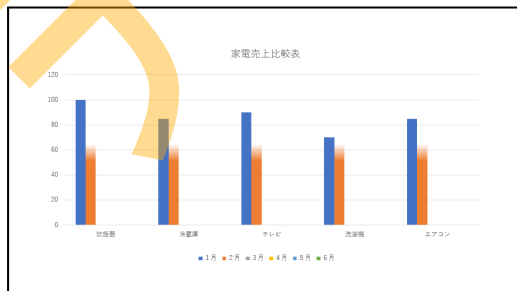


項目の要素別

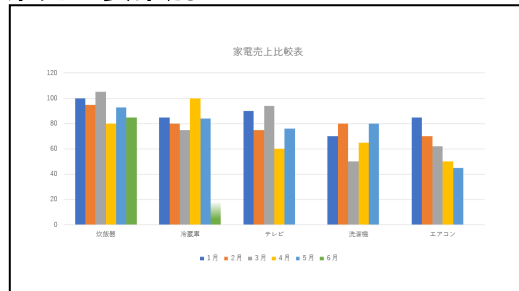


月別に表示させたい場合は、↑ [効果のオプション] ボタンをクリックして表示される [系列別 (Y)] をクリックします。動きは、同じ系列が同時に表示されます。[系列の要素別 (E)] をクリックすると、系列が別々に順番に表示されます。

系列別



系列の要素別



(3) スライドショーの実行

パワーポイント（PowerPoint）の「スライドショー機能」を利用すると、コンピューターのディスプレイや、接続されているプロジェクターを使って発表を行うことができます。スライドショーを開始すると、作成したスライドや、アニメーションがコンピューターのディスプレイ全体に1枚ずつ表示されます。

① スライドショー

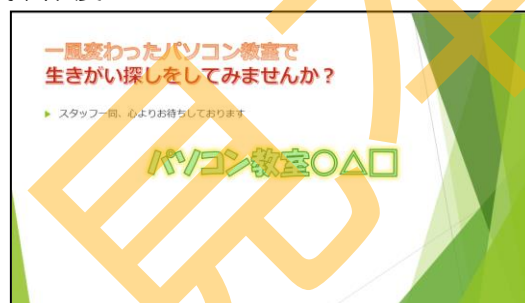
実際に設定したスライドやアニメーションの動きをスライドショーで見てください。

◆スライドショーを実行する方法をマスターしましょう。

操作前



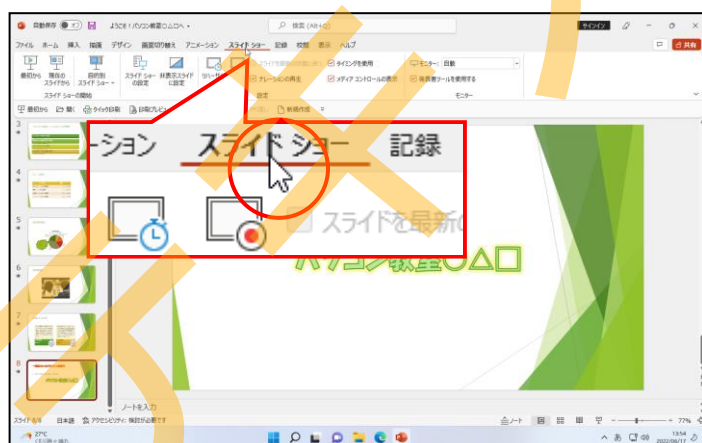
操作後



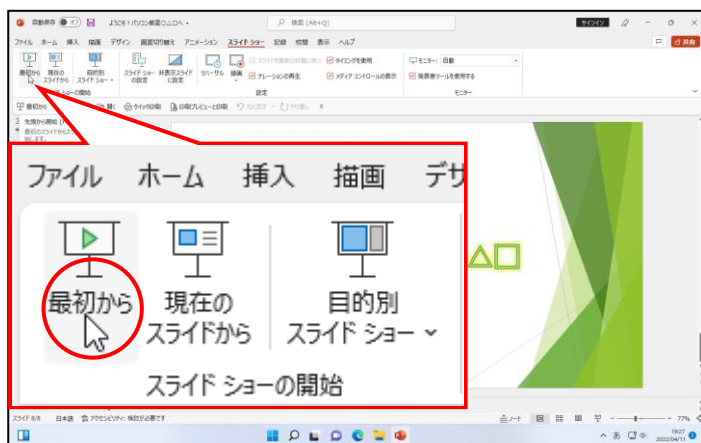
注意!

操作は下からです!

[スライドショー] タブにポイントし、クリックします。

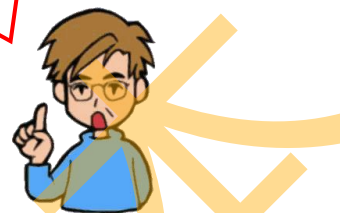


▶ **【最初から】** ボタンにポイントし、クリックします。



- リボンが表示されていない方は、**P238 リボンの表示オプションの変更**を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ



▶ **クリックしていき、スライドショーを行います。**



- ▶ **【最初から】** ボタンをクリックすると、スライド1からスライドショーが始まります。
- ▶ **【現在のスライドから】** ボタンをクリックすると、表示しているスライドからスライドショーが始まります。
- スライドショーの間はクリックする、または **[Enter]** キーを押すことで、次のスライドが表示されます。
- スライドにアニメーションなどの効果を設定している場合やビデオが挿入されている場合も、クリックする、または **[Enter]** キーを押すことで再生されます。

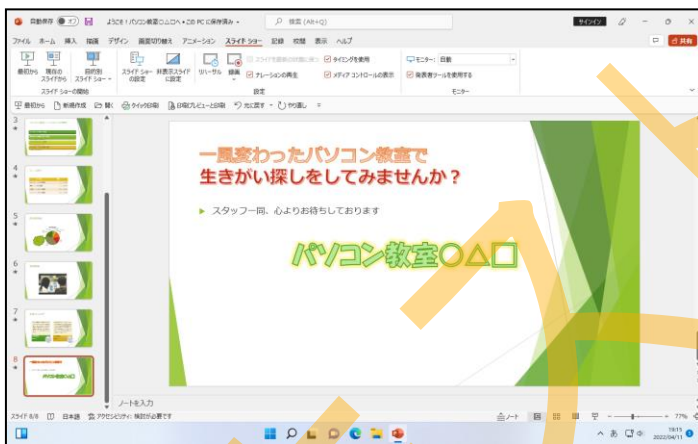
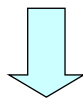
スライドショーが終了し、真っ暗な画面が出てきたら、スライド上のどこかをクリックします。



スライドショーの実行(その他の方法) P213

スライドショーの中断方法 P213

スライドショーに関する補足説明 P214



ナレーションを設定する方法 P218

目的別スライドショー P219

② リハーサル

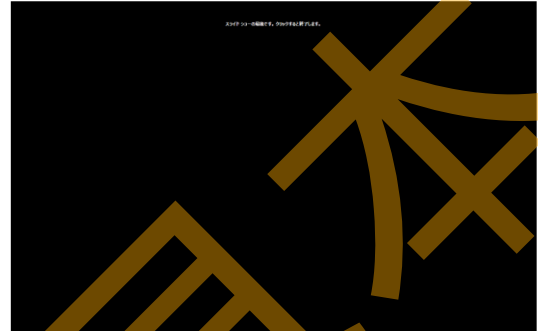
①スライドショーで行ったクリック操作以外で、自動的にスライドショーを行うことができます。リハーサル機能とは、進行のタイミングを記録できます。これからの操作を行うと、設定したタイミングで自動再生され、自動再生をしながら説明するという方法をとる場合に便利な機能です。

◆リハーサルを設定する方法をマスターしましょう。

操作前




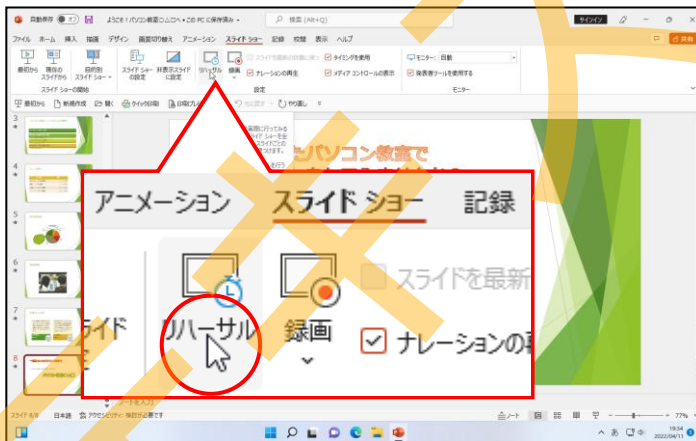
操作後



注意!

操作は下からです!

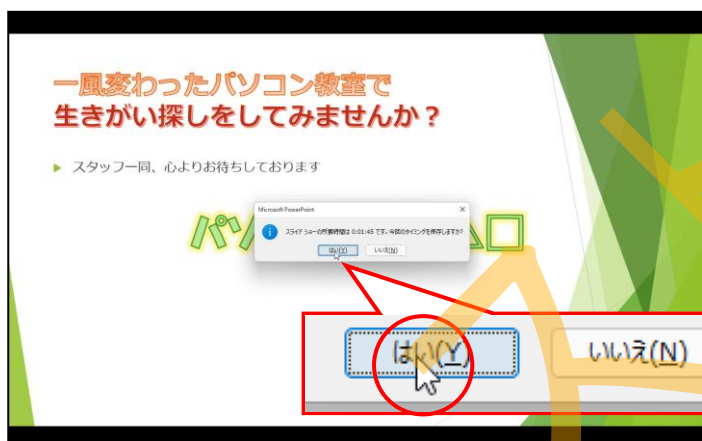
[スライドショー] タブの [設定] グループにある  [リハーサル] ボタンにポイントし、クリックします。



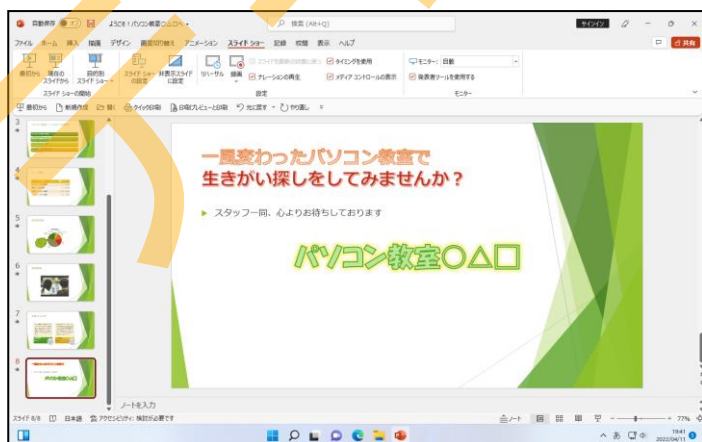


- [リハーサル] ボタンをクリックすると、左上に記録中ウィンドウが表示されます。

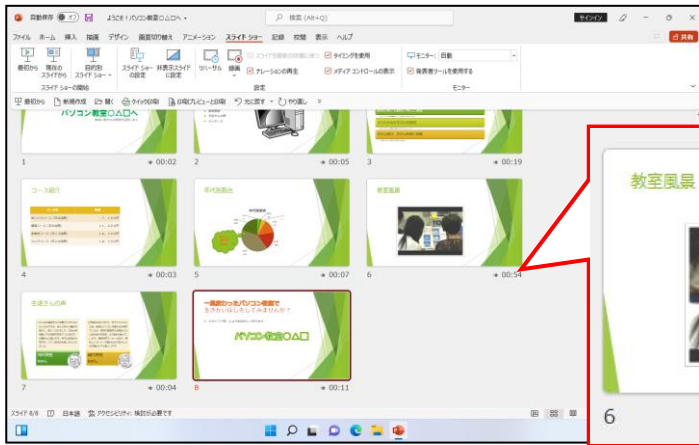
そのままクリックしてスライドショーを行い、最後まで進み、最後の画面で [はい(Y)] ボタンにポイントし、クリックします。



- スライドショーの全体の時間を記録していくためにクリックしていきます。実際にプレゼンテーションを行うことを考えて、好きなペースでクリックしていきましょう。

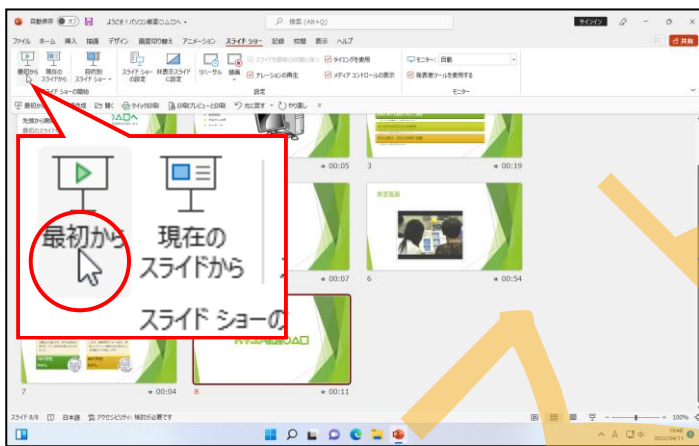


スライド一覧表示にしましょう。



●スライドの右下に、各スライドが表示される時間が表示されます。

「最初から」ボタンにポイントし、クリックします。



●「最初から」ボタンをクリックすると、リハーサルで設定したスライドショーが自動的に始まります。

最後、真っ暗な画面が出てくるのでクリックしておきましょう。



発表用ノートの作成 P220

パワーポイントの印刷 P220



プレゼンテーションをビデオに変換 P221

画面を標準画面に戻し、上書き保存をしておきましょう。

●補足説明（その8）P213～P221

●P209 スライドショーの実行（その他の方法）

■スライドショーの実行方法

- ① PowerPoint からスライドショーを実行する
実行したいプレゼンテーションを開き画面右下にある  [スライドショー] ボタンをクリックすると、スライドショーが実行されます。
- ② 常にスライドショーとして開くようにプレゼンテーションファイルを保存し、ダブルクリックすると、常に自動的にスライドショーを実行します。
スライドショーとしてプレゼンテーションを保存するには、[ファイル] タブー [名前を付けて保存] をポイントし、[ファイルの種類(T):] の  をクリックし、表示される一覧から [PowerPoint スライドショー] をクリックします。

●P209 スライドショーの中断方法

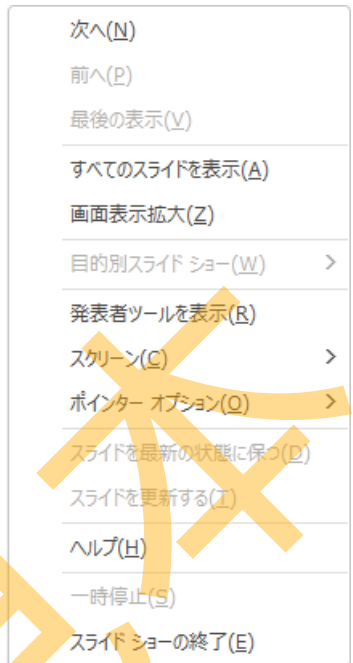
■スライドショーを中断するには

スライドショーを中断するには、[Esc] キーを押します。または、右クリックして [スライドショーの終了(E)] をクリックします。

■スライドショーの実行のさまざまな操作

スライドショーの実行中に、マウスの右ボタンをクリックすると、ショートカットメニューが表示され次の操作ができます。

- **次へ(N)**
次のスライドにジャンプします。
- **前へ(P)**
前のスライドにジャンプします。
- **最後の表示(V)**
最後に表示したスライドにジャンプします。
- **すべてのスライドを表示(A)**
すべてのスライドを表示します。
- **目的別スライド ショー(W)**
目的別スライドショー (P217 で詳しく説明) を設定している場合に、それぞれ設定している場所にジャンプします。
- **スクリーン(C)**
[スクリーンを黒くする(B)] をクリックすると、スライドショー実行時にスクリーンが黒くなり、[スクリーンを白くする(W)] をクリックするとスクリーンが白くなります。
- **ポインターオプション(O)**
※次ページ参照
- **一時停止(S)**
スライドショーを一時停止できます。
- **スライドショーの終了(E)**
スライドショーが終了になります。



➤ 次ページに続く


■インク注釈

スライドショーの実行中に、インクを使用してスライドに注釈を書き込んだりして説明をしやすいことができます。スライド実行中に右クリックして、表示されるショートカットメニューから、**[ポインターオプション(O)]**にポイントして表示される一覧から設定します。



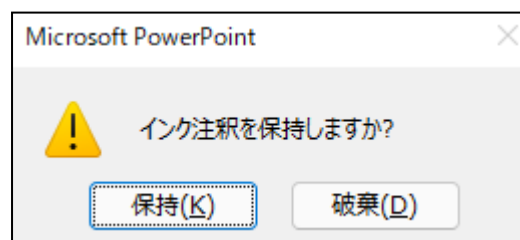
- レーザーポインター(L) 赤色のレーザーポインターが表示されます。
- ペン(P) ボールペンの細さの線で注釈が記入できます。
- 蛍光ペン(H) 蛍光ペンで注釈が記入できます。
- インクの色(C) インクの色が選択できます。
- 消しゴム(R) 注釈を消すことができます。
- スライド上のインクをすべて消去(E) 書き込んだ注釈をすべて消すことができます。
- 矢印のオプション(O) マウスポインターの表示方法を「自動(U)」、「表示(V)」、「常に表示しない(H)」の中から選択できます。

※スライドショーを実行する前にインクの色を指定することができます。

[スライドショー] タブをクリックし、[設定] グループ内の [スライドショーの設定] ボタンをクリックし、表示される [スライドショーの設定] ダイアログボックスの「オプション」の [ペンの色(E):] の  をクリックし、一覧から選択します。

スライドショーを終了するときに、書き込んだ内容を保持するかどうかをたずねてきます。

- 保持(K) 書き込んだ内容を保持してスライドショーを終了します。
- 破棄(D) 書き込んだ内容を破棄してスライドショーを終了します。















➡ 次ページに続く

■動作設定ボタン

[挿入] タブの [図] グループにある  [図形] ボタンをクリックします。表示される一覧の一番下にあるのが [動作設定ボタン] です。

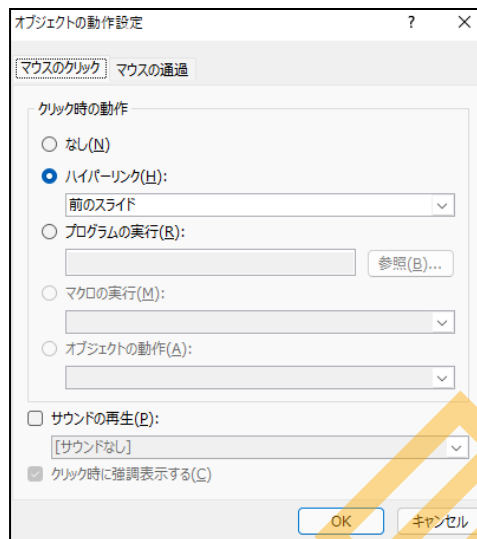


- | | |
|--|------------------------|
|  動作設定ボタン：戻る／前へ | ひとつ前のスライドに移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：進む／次へ | ひとつ後のスライドへ移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：最初 | 最初のスライドへ移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：最後 | 最後のスライドへ移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：ホーム | 最初のスライドへ移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：情報 | ホームページなどに移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：戻る | 前のスライドに移動することができます。 |
|  動作設定ボタン：ビデオ | ビデオのファイルを指定できます。 |
|  動作設定ボタン：ドキュメント | 他のファイルなどを指定できます。 |
|  動作設定ボタン：サウンド | サウンドのファイルを指定できます。 |
|  動作設定ボタン：ヘルプ | ヘルプを指定できます。 |
|  動作設定ボタン：ユーザー設定 | ユーザー設定を指定できます。 |

■ [オブジェクトの動作設定] ダイアログボックス

左ページのボタンを選択し、ドラッグ操作で図形を描き、マウスから指を放した直後に下記の [オブジェクトの動作設定] ダイアログボックスが表示されます。

[オブジェクトの動作設定] ダイアログボックス内の説明をします。



[マウスのクリック] タブ 動作設定ボタンをクリックした時の設定をする場所です。

[マウスの通過] タブ 動作設定ボタンをマウスが通過した時の設定をする場所です。

● クリック時の動作

[ハイパーリンク (H) :] ボックス 動作の移動先を選択して指定できます。プレゼンテーション内の他のスライドや、他のプレゼンテーション、他のファイル、URLなどを指定できます。

[プログラムの実行 (R) :] ボックス ワードやエクセルなどのほかのアプリを実行します。

[マクロの実行 (M) :] ボックス マクロを実行します。


[オブジェクトの動作 (A) :] ボックス オブジェクトを編集したり、作成したり、オブジェクトを作成したアプリケーションを開いたりします。

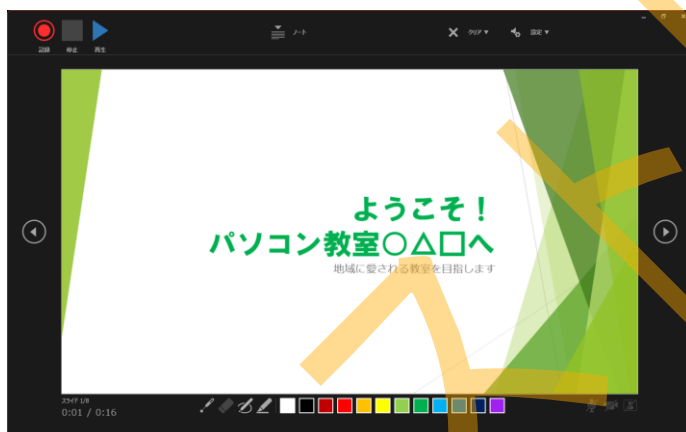
[サウンドの再生 (P) :] ボックス サウンドを再生します。







●P209 ナレーションを設定する方法

■ナレーション

ナレーションは、プレゼンテーションに出席できなかった人に配布する場合や、スライドショーを自動実行する場合に使用する機能です。マイクと Web カメラがあれば Power Point プレゼンテーションを記録し、ナレーション、タイミング、インクジェスチャを取り込むことができます。この機能を利用するためには、以下の方法で設定します。

- ① **【スライドショー】タブ**をクリックし、**【設定】グループ**内にある  **【録画】ボタン**の▼をクリックします。
- ② スライドの最初から録音したい場合は**【先頭から(B)...】**を、それ以外は**【現在のスライドから(R)...】**を選択します。**【クリア(C)】**はナレーションまたはタイミングを削除します。以前にナレーションを記録していない場合**【クリア(C)】**は灰色表示されます。
- ③ スライドショーが**【記録中】**ウィンドウで表示されます。左上に**【記録】**、**【停止】**、**【再生】**ボタンが表示され、記録ボタンをクリックすると3秒のカウントダウンの後、記録が開始されます。ナレーションを再度記録する場合、以前に記録されたナレーションは削除されます。



-  **記録ボタン** 記録を開始します。
-  **停止ボタン** 記録を停止します。記録中にのみ使用できます。
-  **一時停止ボタン** 記録を一時停止します。記録中にのみ使用できます。
-  **再生ボタン** プレビューを開始します。
-  **前のスライドに戻るボタン** 前のスライドへ移動することができます。
-  **次のスライドを表示ボタン** 次のスライドへ移動することができます。

プレゼンテーション全体を実行するときに、ウィンドウの右下隅にあるボタンで、マイク、カメラ、カメラプレビューのオン/オフを切り替えて、オーディオまたはビデオナレーションを録音することができます。




ペン、蛍光ペン、消しゴムの操作も記録されます。



●P209 目的別スライドショー

ここでは、目的別スライドショーの設定方法を説明します。

- ① [スライドショー] タブをクリックして、[スライドショーの開始] グループ内の、 [目的別スライドショー] ボタンをクリックし、下に表示される [目的別スライドショー(W)...] をクリックします。
- ② [目的別スライドショー] ダイアログボックスが表示されるので、[新規作成(N)...] ボタンをクリックします。
- ③ [目的別スライドショーの定義] ダイアログボックスが表示されるので、[スライドショーの名前(N):] ボックスに、任意の名前を入力します。(ここでは「ショータイム」と名前を付けています。)
- ④ [プレゼンテーション中のスライド(P):] 内にあるスライドを選択し、中央にある [追加(A)] ボタンをクリックし、[目的別スライドショーのスライド(L):] に移動していきます。
- ⑤ [OK] ボタンをクリックし、再度 [目的別スライドショー] ダイアログボックスが表示されます。

[閉じる(C)] ボタン …… 画面が閉じられます。


[開始(S)] ボタン …… 先ほど選んだスライドでスライドショーが始まります。

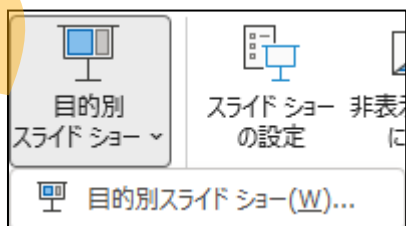
[編集(E)...] ボタン …… 再度 [目的別スライドショーの設定] ダイアログボックスが表示され、編集ができます。

[削除(R)] ボタン …… 作成した目的別スライドショーが削除されます。


[コピー(Y)] ボタン …… 作成した目的別スライドショーがコピーされます。

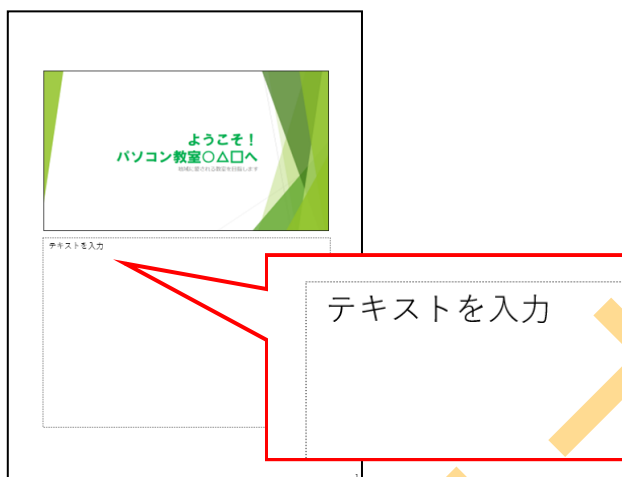


- ⑥ [閉じる(C)] ボタンをクリック後、 [目的別スライドショー] ボタンをクリックすると、作成した目的別スライドショーの名前が下図のように表示され、クリックするとスライドショーが始まります。新しく名前を付けたスライドショーを編集したい場合は、新しく名前を付けた方ではなく、[目的別スライドショー(W)...] をクリックします。



●P212 発表用ノートの作成

[表示] タブの [プレゼンテーションの表示] グループにある  [ノート] ボタンをクリックします。「テキストを入力」のところでクリックして文字を入力します。



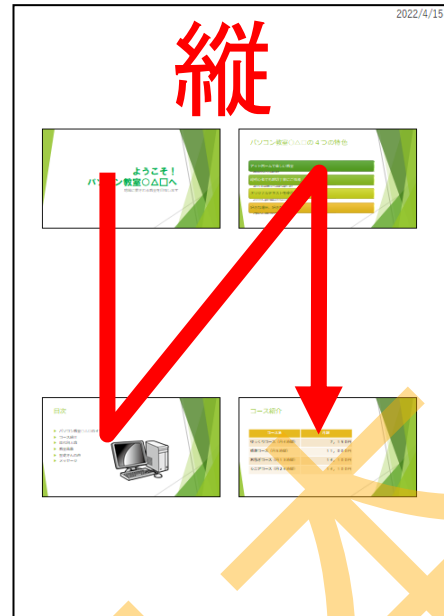
●P212 パワーポイントの印刷

[ファイル] タブの [印刷] をクリック。「設定」の上から2段目の [フルページサイズのスライド] をクリックすると、右下図のような印刷レイアウトの一覧が表示されます。

- ① **フルページサイズのスライド**
スライドを1枚の用紙に印刷します。
- ② **ノート**
ノートとスライドを1枚の用紙に印刷します。
- ③ **アウトライン**
アウトラインのみを印刷します。
- ④ **1スライド**
スライド1枚のみを印刷します。
- ⑤ **2スライド**
スライド2枚のみを印刷します。
- ⑥ **3スライド**
スライド3枚のみが印刷され、横にメモ書きができるような様式になっています。
- ⑦ **4スライド (横)**
横方向の順番でスライドが4枚のみ印刷されます。
- ⑧ **6スライド (横)**
横方向の順番でスライドが6枚のみ印刷されます。
- ⑨ **9スライド (横)**
横方向の順番でスライドが9枚のみ印刷されます。
- ⑩ **4スライド (縦)**
縦方向の順番でスライドが4枚のみ印刷されます。
- ⑪ **6スライド (縦)**
縦方向の順番でスライドが6枚のみ印刷されます。
- ⑫ **9スライド (縦)**
縦方向の順番でスライドが9枚のみ印刷されます。



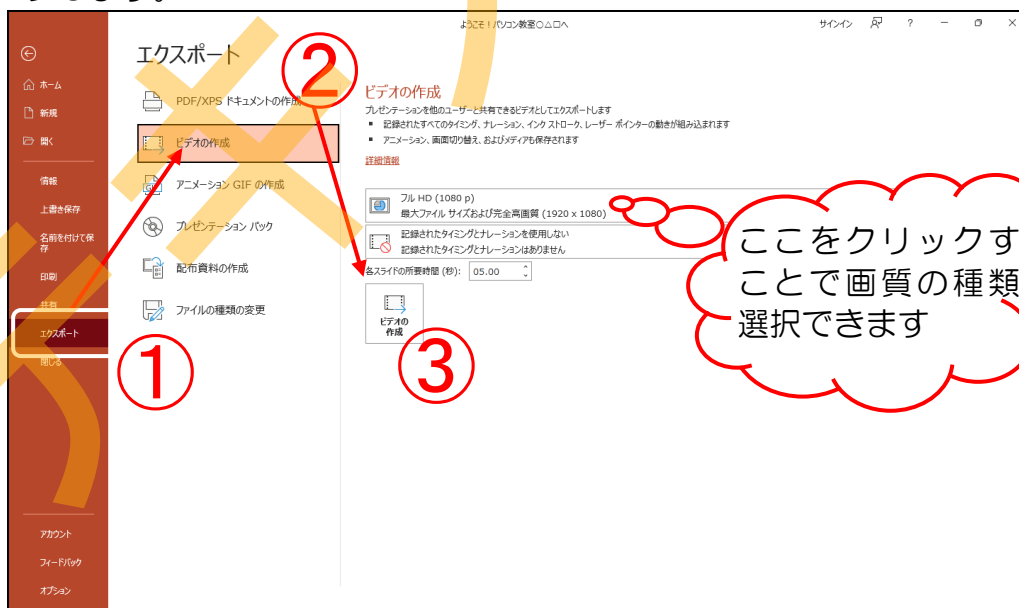
➤ 次ページに続く



●P212 プレゼンテーションをビデオに変換

パワーポイントでは、プレゼンテーションを Windows Media ビデオファイルとして保存できます。

- ① **【ファイル】** タブをクリックし、下に表示されるメニューから **【エクスポート】** をクリックします。
- ② 右側に表示される **【ビデオの作成】** をクリックし、さらに右側に表示される **【ビデオの作成】** ボタンをクリック。
- ③ **【名前を付けて保存】** ダイアログボックスが表示されるので、**【ファイル名(N):】** ボックスに名前を入力し、**【ファイルの種類(T):】** が「**MPEG-4 ビデオ**」、または「**Windows Media ビデオ**」になっていることを確認し、**【保存(S)】** ボタンをクリックします。



☆☆ここまでくれば、練習問題3で理解度を試して下さい。☆☆

◆ショートカットキーについての説明

ここでは、テキストの本編とは違ったやり方の操作方法を説明します。主にショートカットキーの説明になります。ショートカットキーとは、画面上のメニューからマウスで選択して実行する命令などを、キーボードを使ってパソコンの操作を簡単に行うための機能です。


テキスト内の操作	ショートカットキーほか
[ファイル] タブをクリックしてメニューを開く	● [Alt] キー + [F] キー
プレゼンテーションウィンドウを閉じる	● [Ctrl] キー + [W] キー
新規プレゼンテーションウィンドウを開く	● [Ctrl] キー + [N] キー ● [ファイル] タブをクリックし、表示されたメニューから [新規] をクリック、表示された画面の「新しいプレゼンテーション」をクリック
[名前を付けて保存] ダイアログボックスを開く	● [F12] キー
上書き保存をする	● [Ctrl] キー + [S] キー ● [ファイル] タブをクリックし、メニューから [上書き保存] をクリック
印刷画面を開く	● [Ctrl] キー + [P] キー

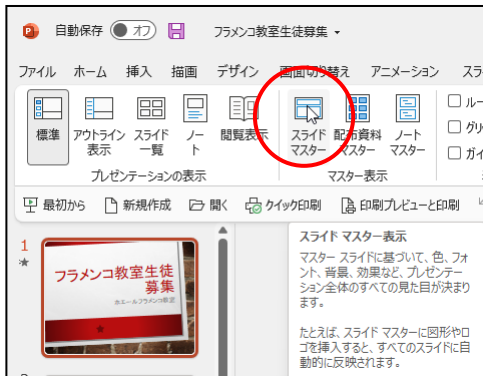
テキスト内の操作	ショートカットキーほか
文字の大きさを変更する	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [Shift] キー + [P] キー (ダイアログボックスからの変更) ● [Ctrl] キー + [Shift] キー + [>] キー または、 [Ctrl] キー + [Shift] キー + [<] キー ● [Ctrl] キー + 「[」 キー または [Ctrl] キー + 「]」 キー
文字の書体を変更する	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [Shift] キー + [F] キー (ダイアログボックスからの変更)
文字を太字にする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [B] キー
文字を斜体にする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [I] キー
文字に下線を引く	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [U] キー
段落を両端揃えにする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [J] キー
段落を左揃えにする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [L] キー
段落を中央揃えにする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [E] キー
段落を右揃えにする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [R] キー
文字を切り取る	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [X] キー ● 文字を選択中に右クリック、メニューから [切り取り (T)] をクリック
切り取った (コピーした) 文字を貼り付ける	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [V] キー ● 貼り付けたい場所にカーソルを移動し、右クリック、表示された一覧から [貼り付けのオプション:] のボタンのいずれかをクリック
文字をコピーする	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [C] キー ● 文字を選択中に右クリック、メニューから [コピー (C)] をクリック
操作を元に戻す	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [Z] キー
元に戻した操作をやり直す	<ul style="list-style-type: none"> ● [Ctrl] キー + [Y] キー
インデントを増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● [Shift] キー + [Alt] キー + [→] キー
インデントを減らす	<ul style="list-style-type: none"> ● [Shift] キー + [Alt] キー + [←] キー

◆スライドマスター

すべてのスライドの、タイトルの部分のフォントの色を変更したいといった場合に、スライド1枚1枚を変更するのはとても手間がかかります。スライドマスターという機能を利用すると、一度に変更ができるので、プレゼンテーションに統一感ができ、美しい仕上がりになります。

ここでは、スライドマスターを利用して、タイトルのスライド以外の、タイトルプレースホルダーのフォントを「HGPゴシックE」に、フォントサイズを「40pt」に設定しましょう。

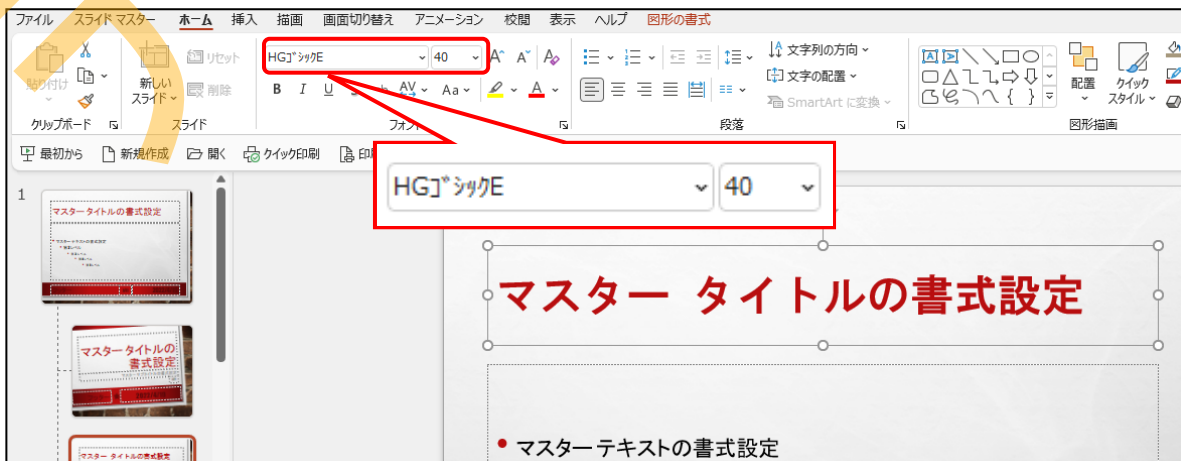
パワーポイントを起動し、ドキュメント内にあるプレゼンテーション「フラメンコ教室生徒募集」を開き、[表示] タブの [マスター表示] グループにある  [スライドマスター] ボタンをクリックします。



画面左側の上から3段目の [タイトルとコンテンツレイアウト] をクリックし、タイトルプレースホルダーを選択します。



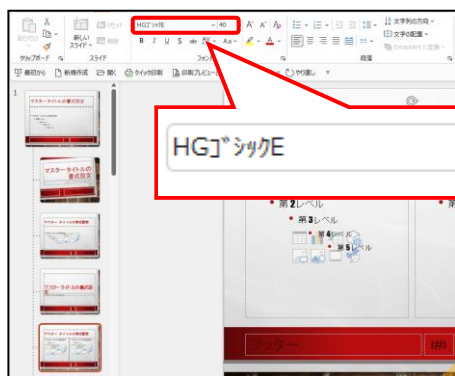
[ホーム] タブをクリックし、フォントを「HGPゴシックE」に、フォントサイズを「40pt」に設定しましょう。



再度、[スライドマスター] タブに戻り、上から5段目の [2つのコンテンツレイアウト] をクリックし、タイトルプレースホルダーを選択します。



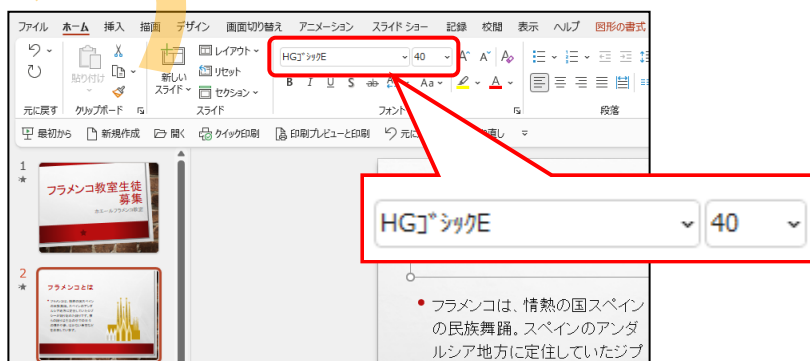
同様に、[ホーム] タブをクリックし、フォントを「HGPゴシックE」に、フォントサイズを「40pt」に設定しましょう。



[スライドマスター] タブの [閉じる] グループにある [マスター表示を閉じる] ボタンをクリックします。




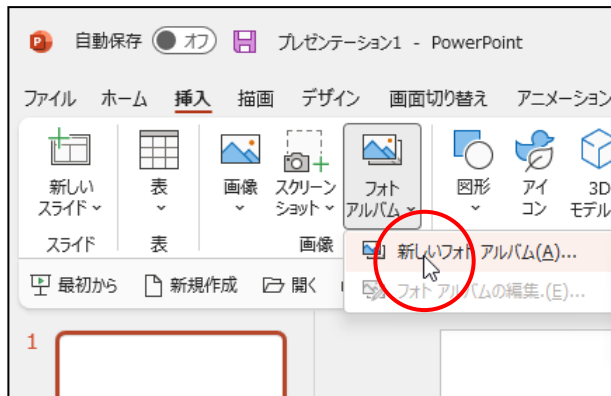
タイトルスライド以外の、スライドのタイトルプレースホルダーのフォントとフォントサイズが変更されているか確認しましょう。



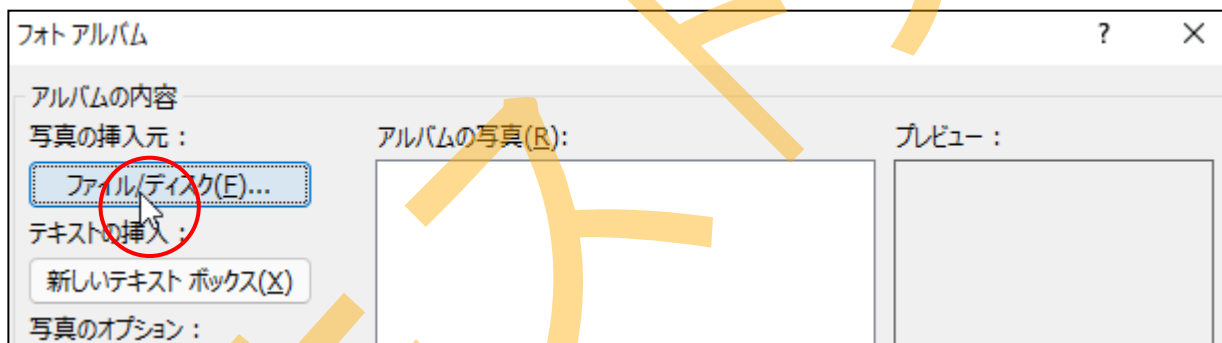
◆フォトアルバムの作成

パワーポイントでは、アルバムを作成することができます。「ピクチャ」の中にあるアルバムの素材を利用して、アルバムを作成します。

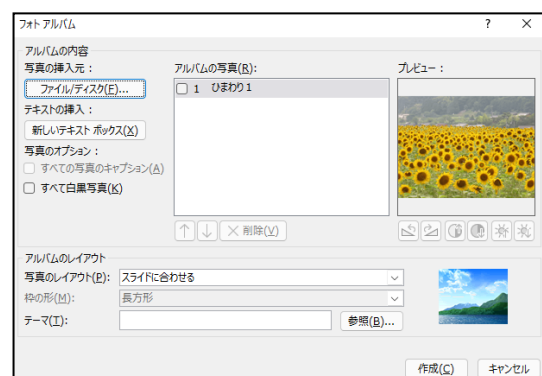
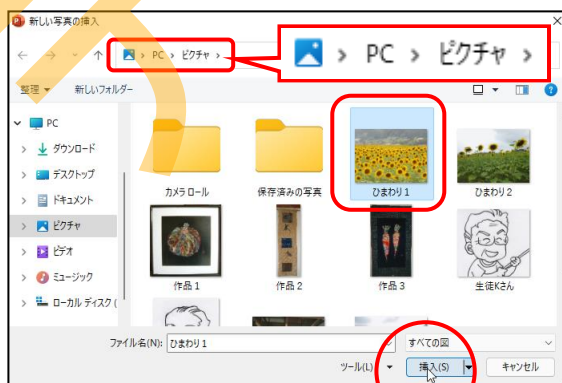
[挿入] タブをクリックして、[画像] グループ内の、 [フォトアルバム] ボタンの下の▼をクリックし、下に表示されるメニューより [新しいフォト アルバム(A)...] をクリックします。



[フォト アルバム] ダイアログボックスが表示されるので、[写真の挿入元:] の [ファイル/ディスク(F)...] ボタンをクリックします。



[新しい写真の挿入] ダイアログボックスが表示され、ファイルの場所が [> PC > ピクチャ] になっていることを確認し、「ひまわり1」をクリックし、[挿入(S)] ボタンをクリックします。

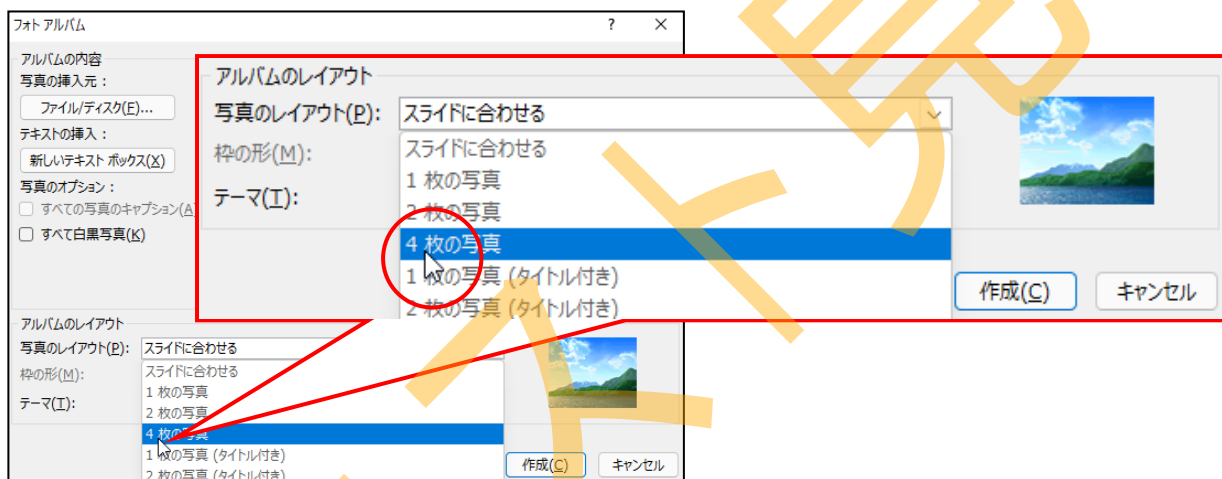


➤ 次ページに続く

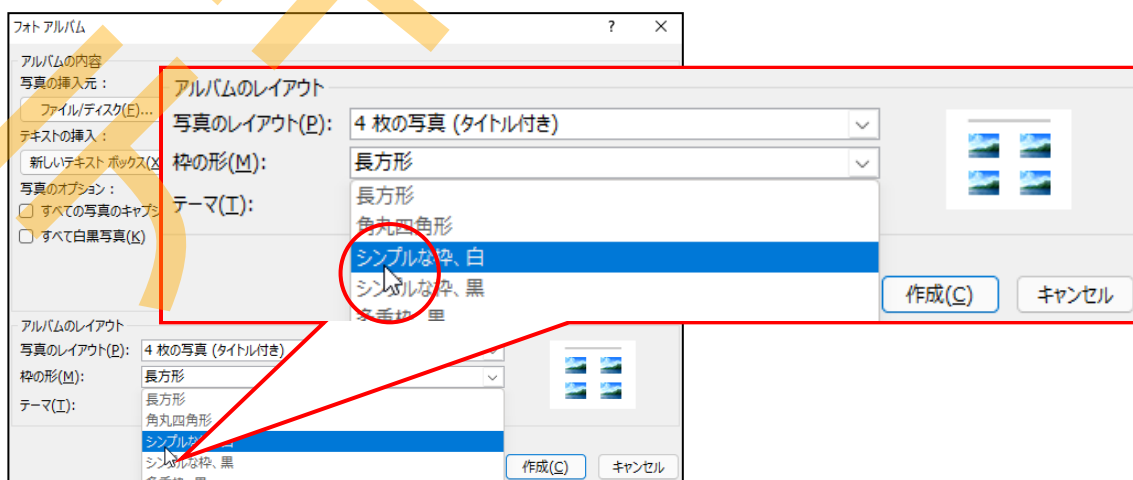
同様に、「ひまわり 2」、「平福 1」、「平福 2」の写真を挿入しましょう。



[フォト アルバム] ダイアログボックス内の、[写真のレイアウト(P):] の をクリックし、表示された一覧から「4枚の写真」を選択します。

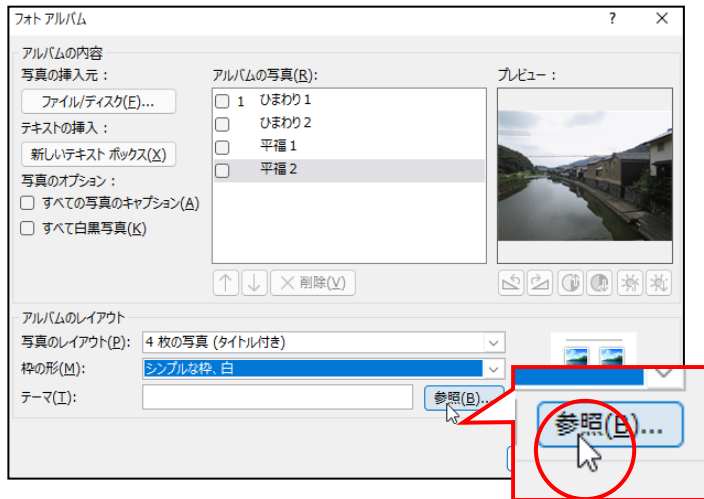


[フォト アルバム] ダイアログボックス内の、[枠の形(M):] の をクリックして表示される一覧から「シンプルな枠、白」を選択します。

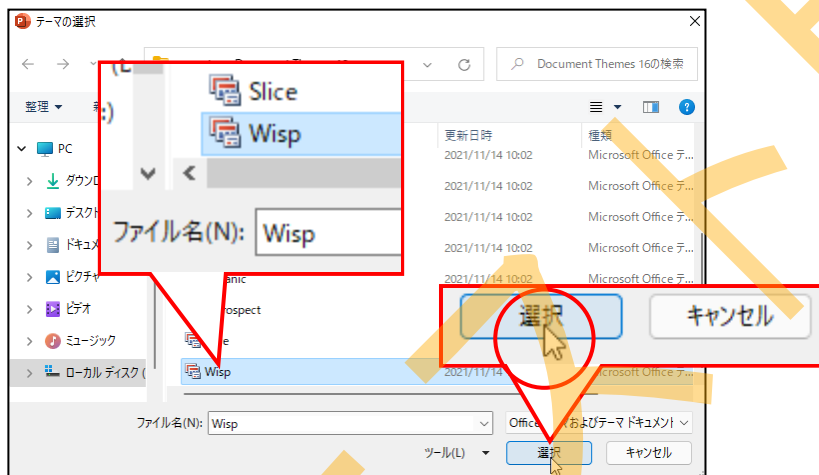


➡ 次ページに続く

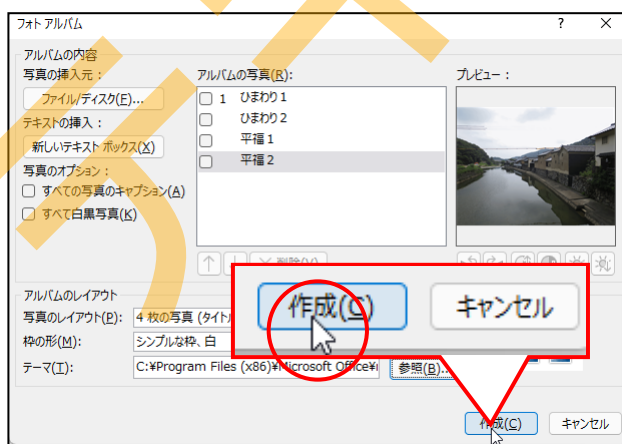
【フォト アルバム】 ダイアログボックス内の、【テーマ(T):】 の【参照(B)...】 ボタンをクリックします。




表示された【テーマの選択】ダイアログボックスの、「Wisp」をクリックし、【選択】 ボタンをクリックします。



最後に【作成(C)】 ボタンをクリックします。



作成したアルバムを編集したい場合は、【挿入】 タブの  【フォト アルバム】 ボタンの下の▼をクリックし、下に表示されるメニューより【フォト アルバムの編集(E)...】 をクリックして編集します。

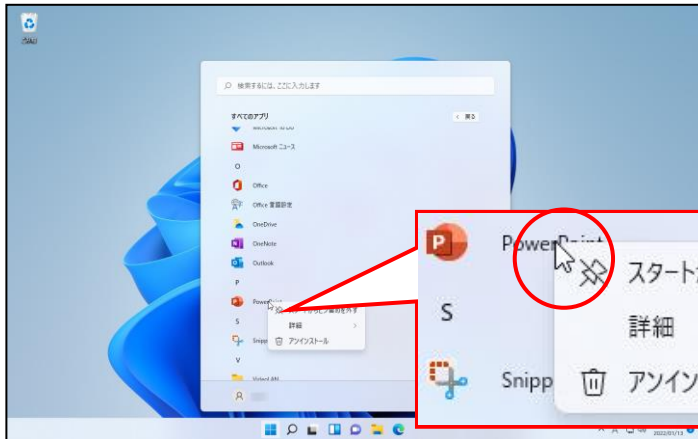
◆ピン留め機能

■ピン留めとは

Word のアイコンを、デスクトップ画面下部のタスクバーに登録することができます。この機能を使用すると、デスクトップ画面から Word を起動することができます。

※市販されているパソコンには、すでにピン留めされているものも多くあります。

スタートメニューの「Word」を右クリックします。

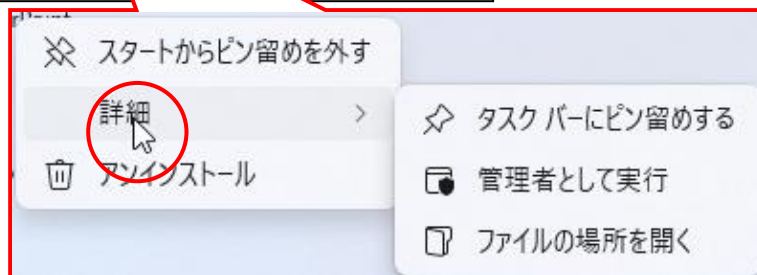
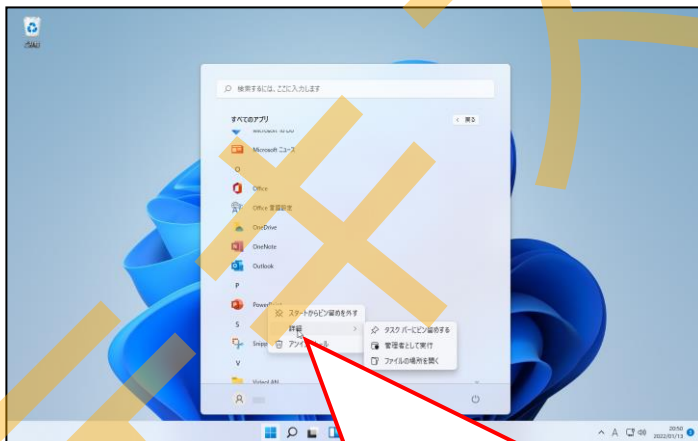


●「PowerPoint」を右クリックすると、左のようにショートカットメニューが表示されます。

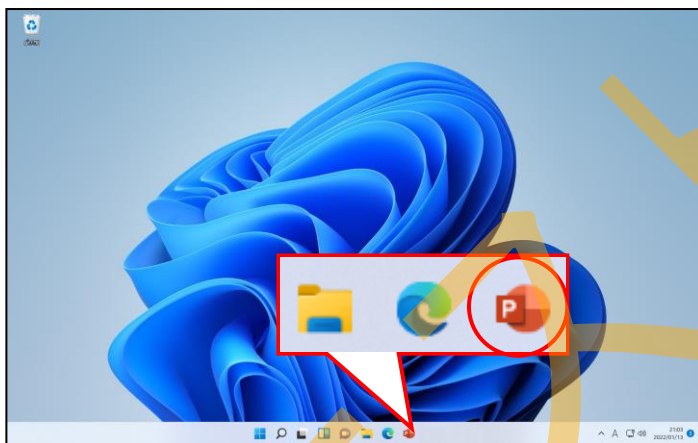
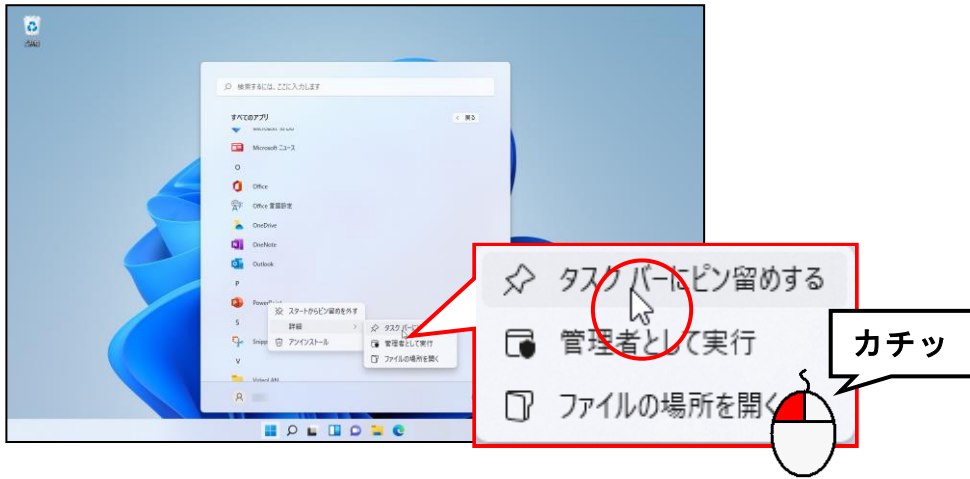
カチッ

右

表示されたショートカットメニューから「詳細」にポイントします。



「その他」の右側に表示されたメニューから [タスクバーにピン留めする] をクリックします。




- [デスクトップ] をクリックすると、タスクバーに「PowerPoint」のアイコンが表示されたことが確認できます。
このアイコンをクリックすると、PowerPoint2021 が起動します。

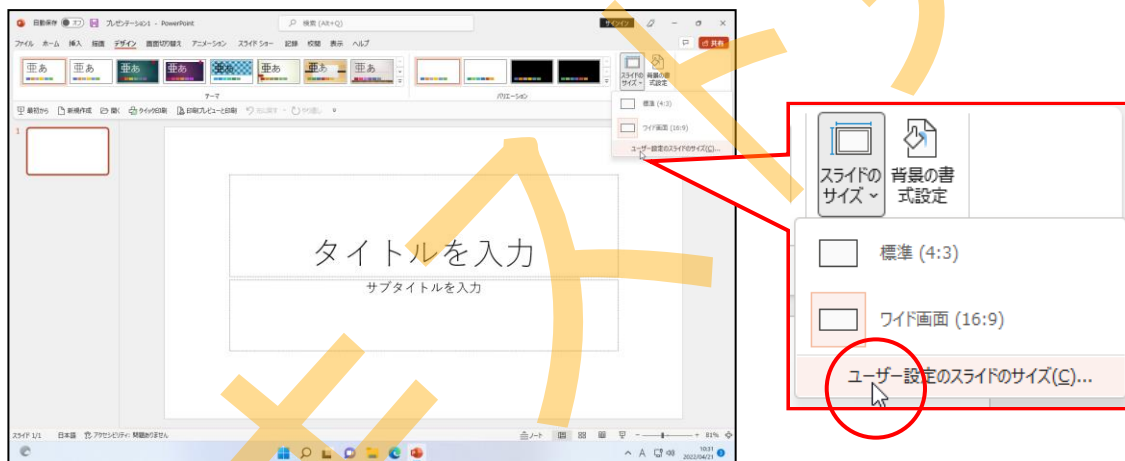
■このアイコンを削除する時は、タスクバー内の「PowerPoint」のアイコンを右クリックして [タスクバーからピン留めを外す] をクリックします。

◆パワーポイントでポスターを作成

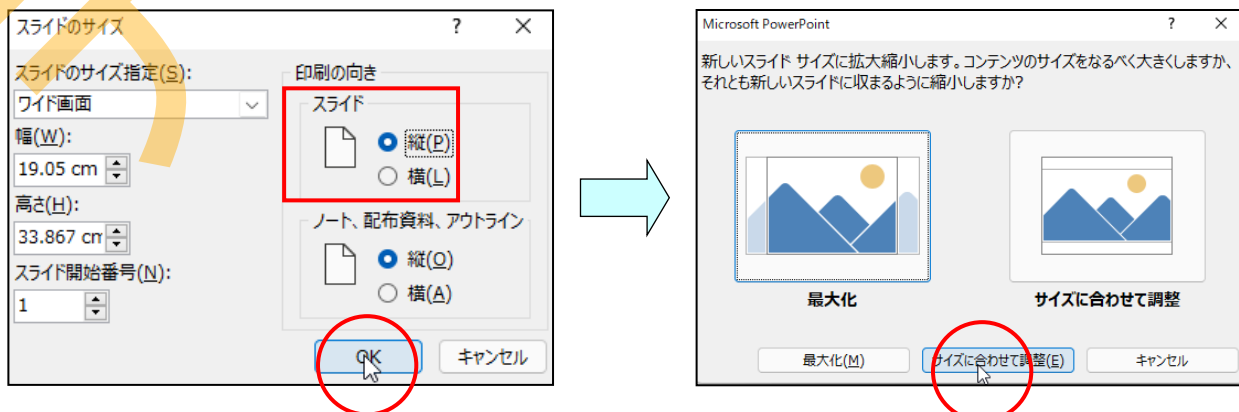
パワーポイントには、さまざまなデザインがあらかじめ用意されており、それを利用してポスターなどを作成することができます。ここでは右図のポスターを作成します。パワーポイントを起動して、以下の操作をしましょう。



[デザイン] タブー [ユーザー設定] グループー  [スライドのサイズ] ボタンー [ユーザー設定のスライドのサイズ(C)...] をクリックします。

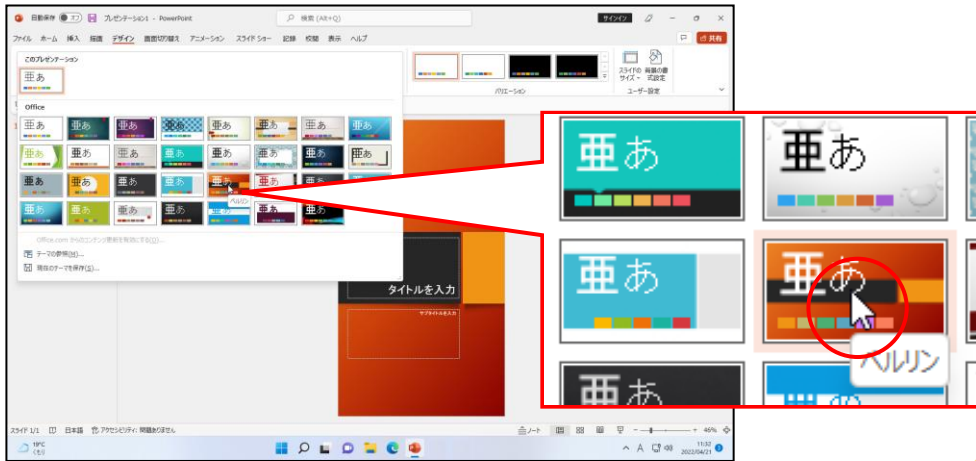


「印刷の向き」ー「スライド」ー「縦」のチェックボックスをオンに、[OK] ボタンをクリックし、表示されたダイアログボックスの [サイズに合わせて調整(E)] ボタンをクリックします。

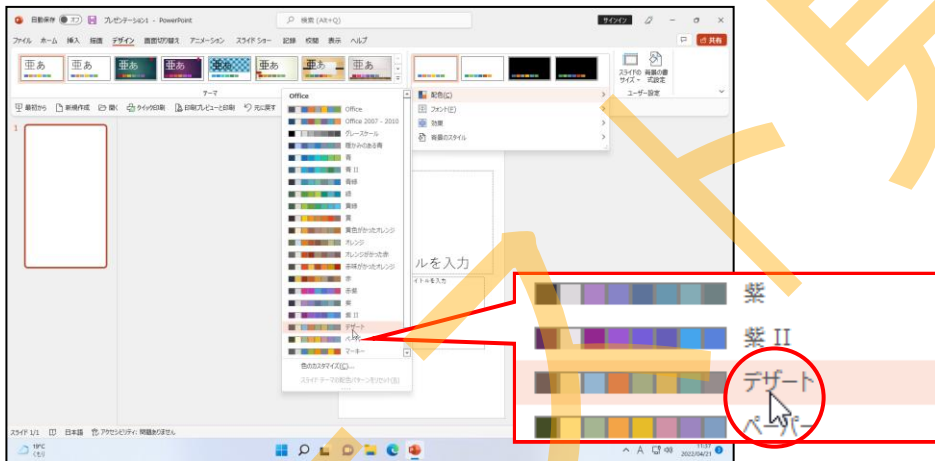


➡ 次ページに続く

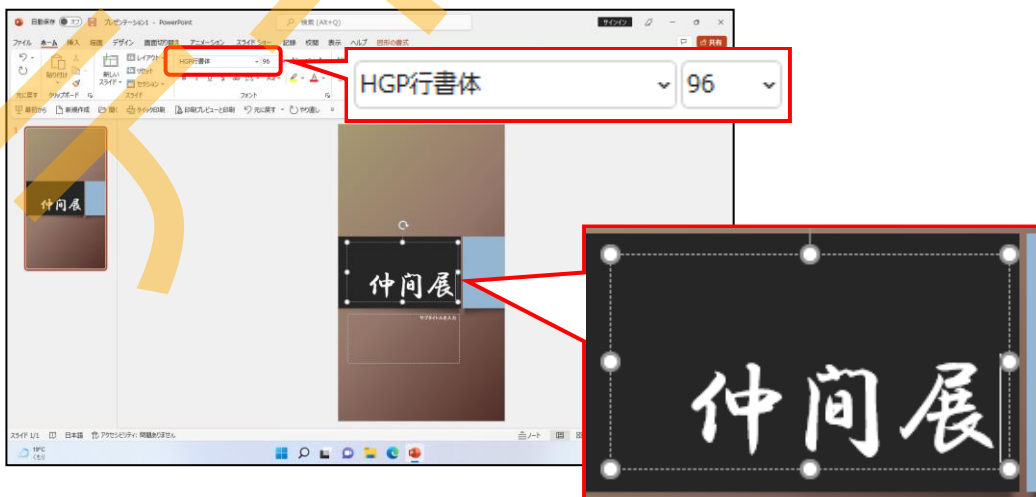
[テーマ] グループの ▾ [その他] ボタンをクリックして表示された一覧から「Office」
- 「ベルリン」をクリックします。



[バリエーション] グループの ▾ [その他] ボタンをクリックして表示された一覧から
■ [配色] ボタンにポイントし、表示される一覧の「デザート」をクリックします。

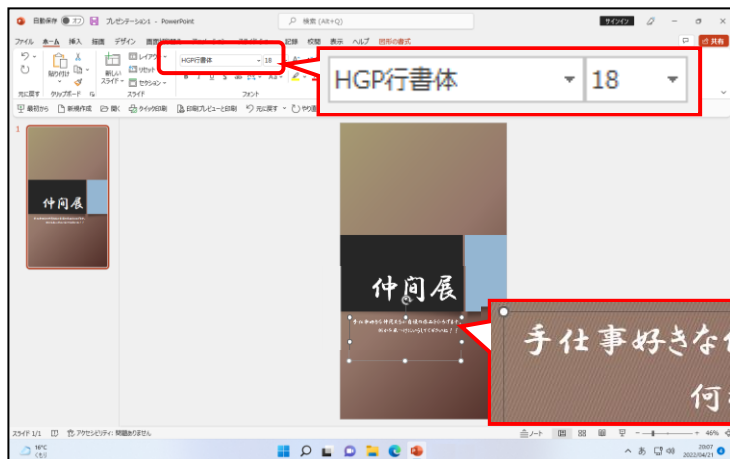


タイトルプレースホルダーに「仲間展」と入力し、フォントを「HGP 行書体」に、フォント
サイズを「96pt」にしましょう。



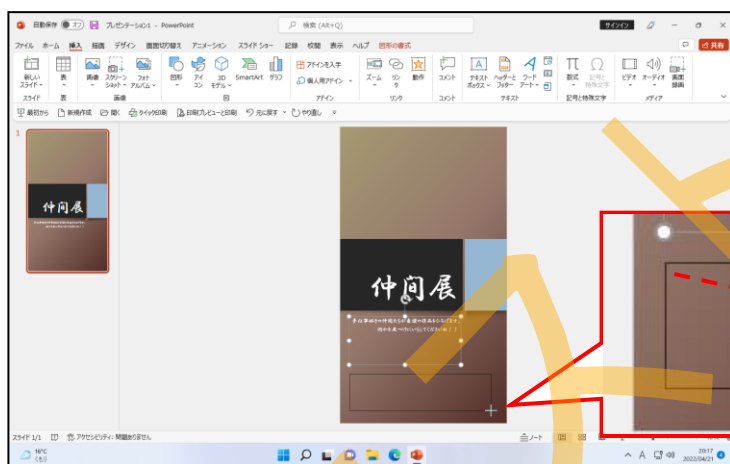
➡ 次ページに続く

サブタイトルプレースホルダーに「手仕事好きな仲間たちが自慢の作品をひろげます。何かを見つけにいらしてくださいね！！」と入力し、フォントを「HGP 行書体」に、フォントサイズを「18pt」にしましょう。

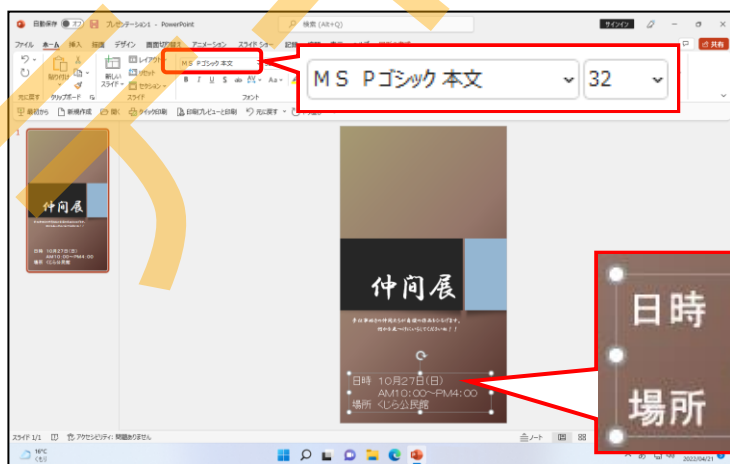


文字が収まりきらない場合は、テキストボックスをドラッグして少し大きくしましょう。


[挿入] タブ [図] グループ [図形] ボタンをクリックし、表示された一覧から「基本図形」 - [テキストボックス] をクリックし、長方形を描きます。

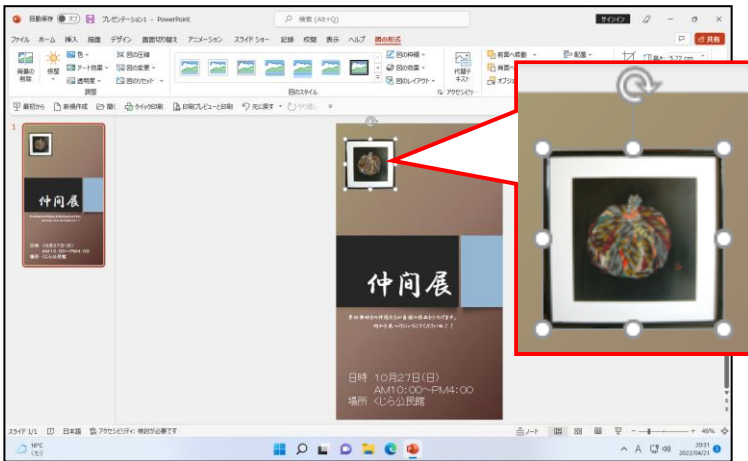



作成したテキストボックスの中に、下図のように文字を入力しましょう。フォントは「MSP ゴシック」で、フォントサイズは「32pt」にします。

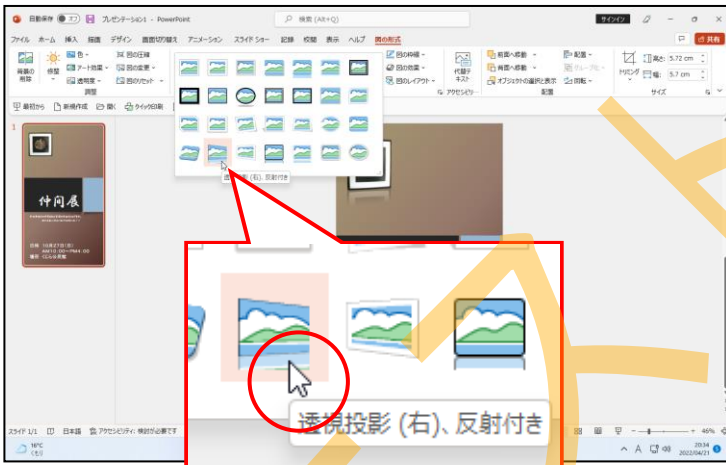


➡ 次ページに続く

[挿入] タブー [画像] グループー  [画像] ボタンをクリックし、[このデバイス... (D)] をクリックし表示される [図の挿入] ダイアログボックスより、[ピクチャ] 内の、「作品 1」を選択し、[挿入(S)] ボタンをクリックします。(下図を参考に、サイズと位置を調整しましょう。)



図を選択した状態で、[図の形式] タブー [図のスタイル] グループー  [その他] ボタンをクリックし、「透視投影 (右)、反射付き」をクリックします。

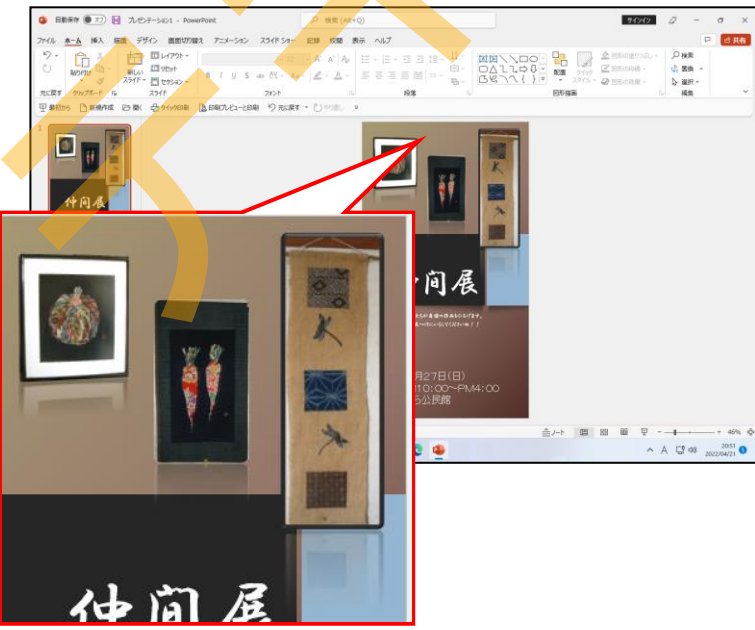


注意!

●お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。



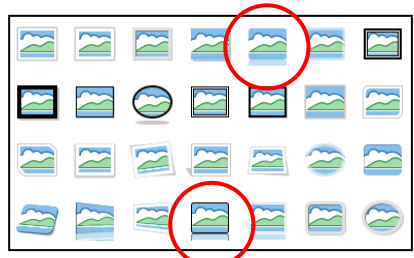
同様に「作品 2」、「作品 3」も挿入し、下図を参考にサイズを調整し、任意の位置へ移動しましょう。図のスタイルは右下に従いましょう。












「作品 2」
「角丸四角形、反射付き」
「作品 3」
「面取り、反射付き、黒」

注意!

●お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違う場合があります。下の図を参考に選びましょう。




◆クイックアクセスツールバーのカスタマイズ

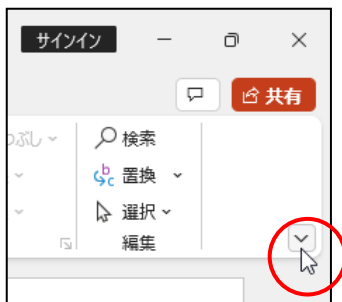
本テキストでは、前提条件として [クイックアクセス] ツールバーに  新規作成 [新規作成]、 開く [開く]、 クイック印刷 [クイック印刷]、 印刷プレビューと印刷 [印刷プレビューと印刷]、 元に戻す(U) [元に戻す]、 繰り返す(R) [繰り返す] ( やり直し(R) [やり直し]) になることもあります) という非常によく使う6つのボタンが表示された状態でした。(パソコンの操作状況によって、[元に戻す] ボタンが  元に戻せません と表示されたり、[繰り返す] ボタンが  繰り返せません と表示される場合があります。)

ここでは、[クイックアクセス] ツールバーの表示方法と、ボタンの追加方法と削除方法について説明します。

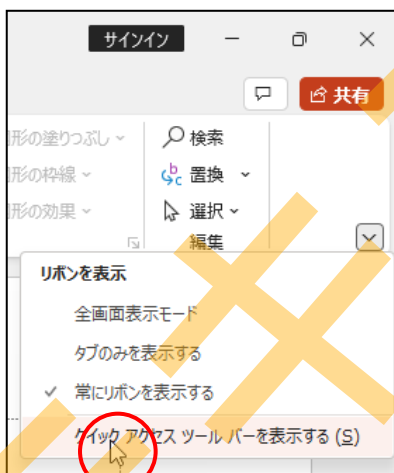
■ [クイックアクセス] ツールバーの表示方法

[クイックアクセス] ツールバーが表示されていない場合、次のように操作します。

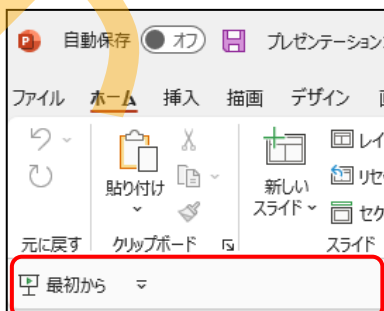
リボンの右下隅にある  [リボンの表示オプション] にポイントし、クリックします。




[クイックアクセスツールバーを表示する(S)] にポイントし、クリックします。




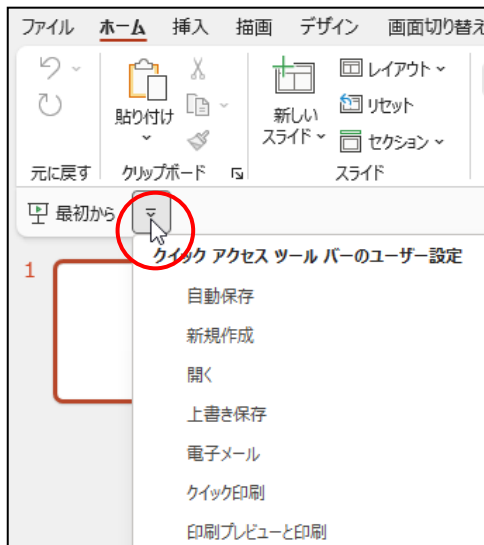
リボンの下に [クイックアクセス] ツールバーが表示されました。




■ [クイックアクセス] ツールバーにボタンを追加する

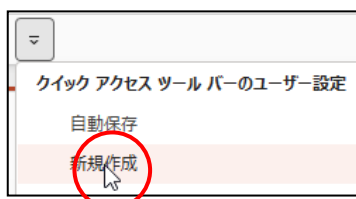
ここでは、[クイックアクセス] ツールバーに  新規作成 [新規作成] ボタンを追加してみましょう。


[クイックアクセス] ツールバーの右側にある  [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、クリックします。

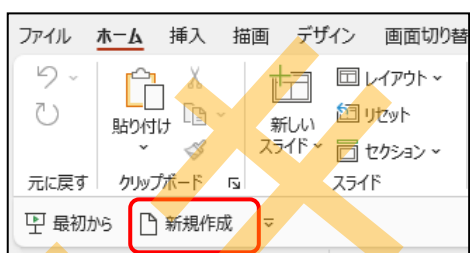



 をクリックすると、[クイックアクセス] ツールバーに追加できるボタンの一覧が表示されます。






「新規作成」にポイントし、クリックします。

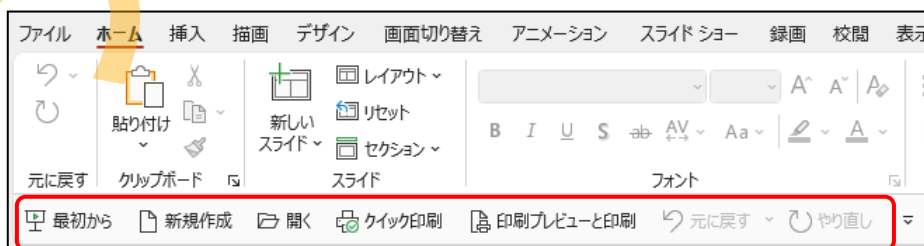





[クイックアクセス] ツールバーに  新規作成 [新規作成] ボタンが追加されました。



「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内に  新規作成 [新規作成] ボタンが追加されます。

同様にして、 開く [開く] ボタン、 クイック印刷 [クイック印刷] ボタン、 印刷プレビューと印刷 [印刷プレビューと印刷] ボタン、 元に戻せません [元に戻す] ボタン、 繰り返してきません [繰り返し] ボタン（[やり直し] ボタン）を表示します。

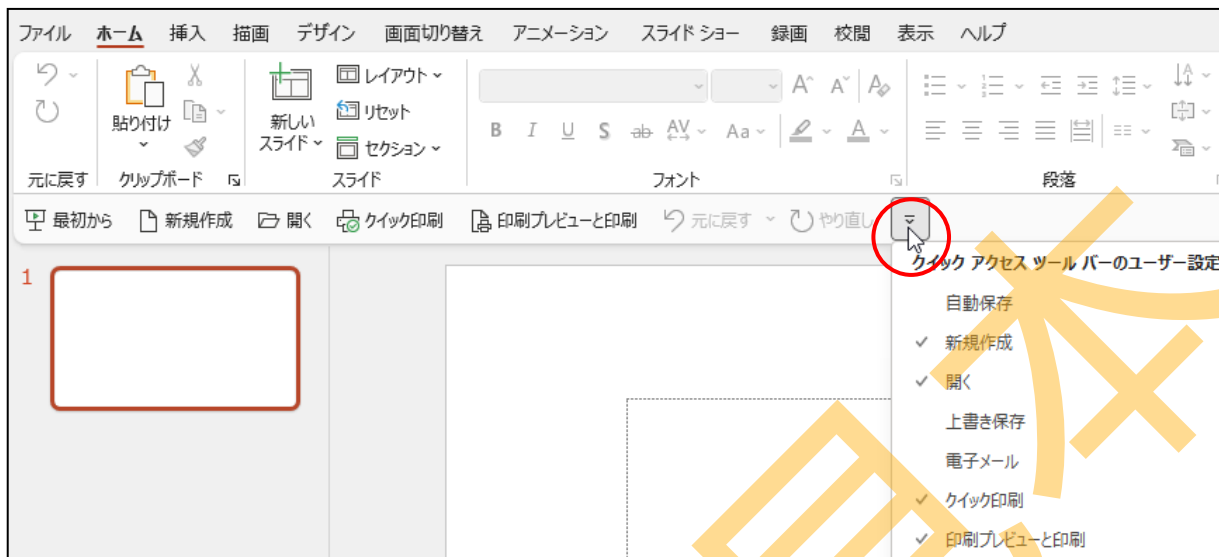


パソコンの操作状況によって、[元に戻す] ボタンが  元に戻す(U) と表示されたり、[繰り返し] ボタンが  繰り返す(R) や  やり直し(R) と表示される場合があります。

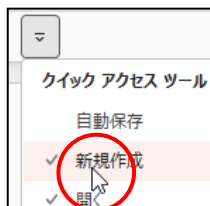
■ [クイックアクセス] ツールバーのボタンを削除する

📄 新規作成 [新規作成] ボタンを削除してみましょう。

[クイックアクセス] ツールバーの右側にある ▾ [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、クリックします。

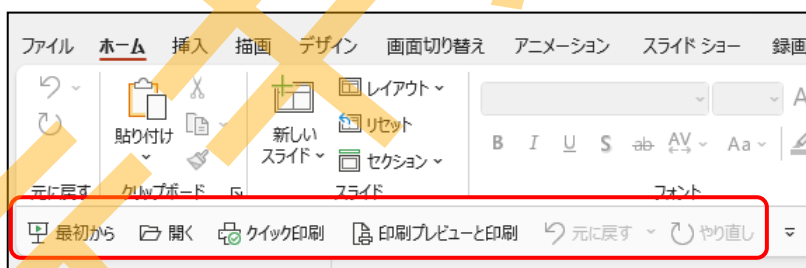


「新規作成」にポイントし、クリックします。



📄 新規作成 [新規作成] ボタンが [クイックアクセス] ツールバーに表示されているため「新規作成」の左側には ✓ が表示されています。

[クイックアクセス] ツールバーから 📄 新規作成 [新規作成] ボタンが削除されました。



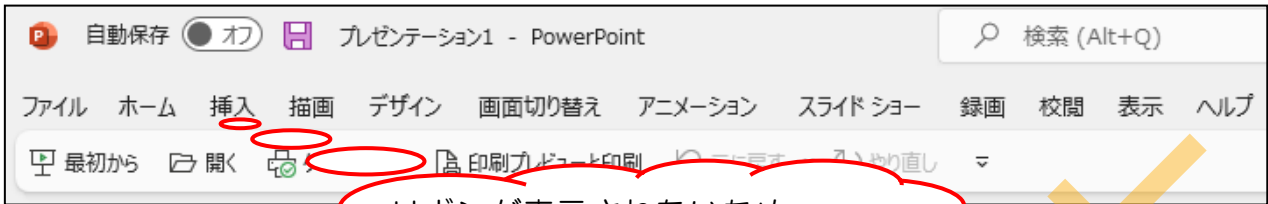
「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内の 📄 新規作成 [新規作成] ボタンが削除されます。

他の [クイックアクセス] ツールバーのボタンも同様の操作で追加と削除することができます。

◆リボンの表示オプションの変更

パワーポイントでいろいろと操作をしているうちに、下のようにリボンが非表示になる場合があります。リボンが非表示になると、ボタンも押せなくなってしまうため、文字の書式設定やページ設定など様々な設定を行うときに大変不便です。

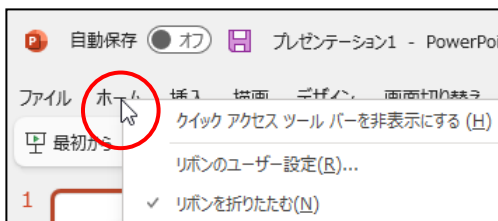
■非表示になったリボン



リボンが表示されないため、
ボタンも表示されません

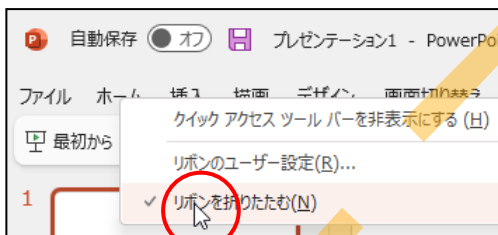
非表示になったリボンを元に戻すには、次のように操作します。

タブにポイントし、右クリックします。

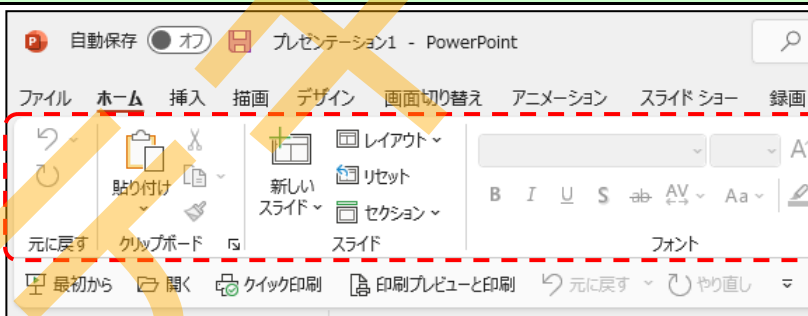


右クリックするタブは、どのタブ
でも構いません。

表示された一覧から「リボンを折りたたむ(N)」をクリックします。



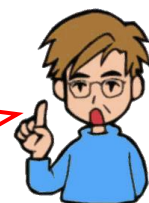
リボンが表示されました。



リボンが復元
され、ボタンが
表示されます

余裕があれば読んでね

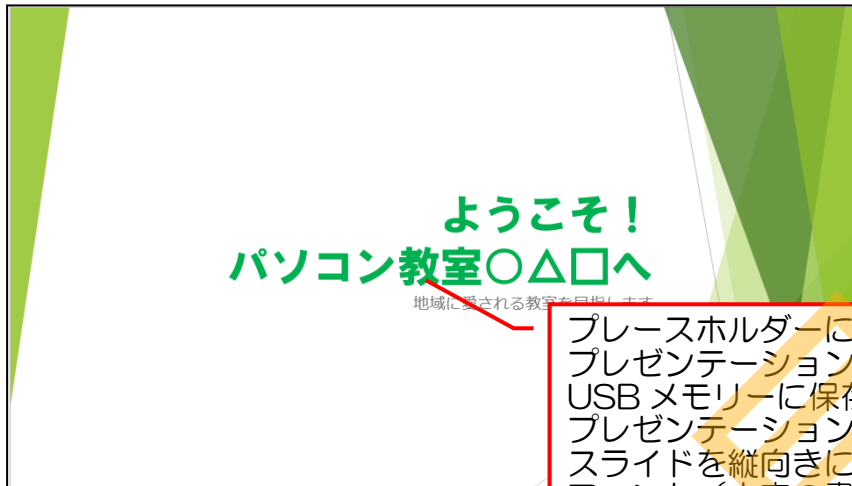
下記のようにタブにポイントし、ダブルクリックする方法
でも、リボンは表示されます。
(ダブルクリックするタブは、どのタブでも構いません。)



◆テキストの手引き

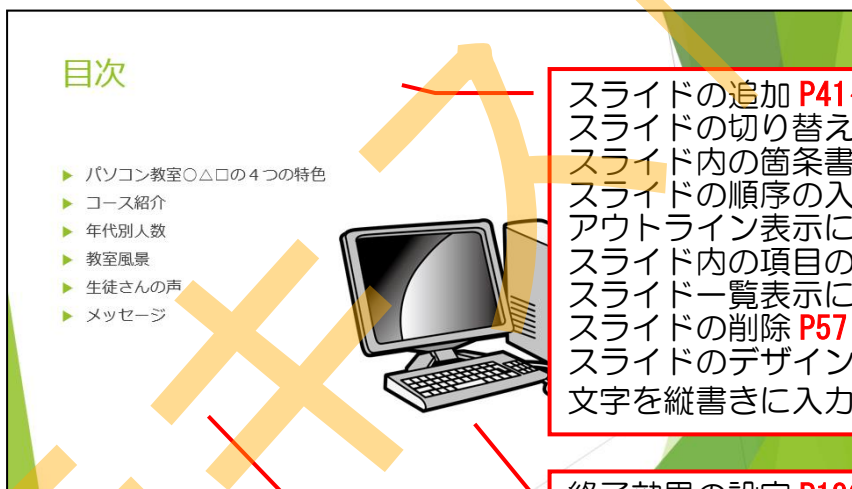
練習問題や実際にパワーポイントを使っていて、テキストで覚えたあの機能は何ページに書いてあったっけ？ と迷われた時のためにテキスト内の成果物と機能についての該当ページを記載しています。

スライド1



プレースホルダーに文字を入力 **P27~**
プレゼンテーションの保存 **P30**
USB メモリーに保存 **P31~**
プレゼンテーションの上書き保存 **P36**
スライドを縦向きにする方法 **P64**
フォント（文字の書体）の変更 **P66~**
フォントサイズ（文字の大きさ）の変更 **P69~**
フォントの色（文字の色）の変更 **P71~**
文字を1行に収める方法 **P72**

スライド2



スライドの追加 **P41~**
スライドの切り替え **P45**
スライド内の箇条書きの編集 **P48~**
スライドの順序の入れ替え **P50~**
アウトライン表示に切り替える **P51~**
スライド内の項目の入れ替え **P53~**
スライド一覧表示に切り替える **P55~**
スライドの削除 **P57**
スライドのデザイン変更 **P59~**
文字を縦書きに入力する方法 **P62**

終了効果の設定 **P186~**
アニメーション効果の設定（ホイール） **P187**

オンライン画像の挿入 **P145~**
オンライン画像のサイズ変更 **P149~**
オンライン画像の移動 **P151~**
スマートガイドについて **P163**
グリッド線の表示方法 **P164**

赤ページは本編のページを示しています。

青ページは補足説明のページを示しています。

スライド3

パソコン教室○△□の4つの特色

- アットホームで楽しい教室
 - ・旅行などのイベントもあります
- 超初心者でも親切丁寧に指導
 - ・同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします
- オリジナルテキストを使用
 - ・わかりやすい言葉で説明されたテキストです
- 好きな曜日、好きな時間に受講
 - ・ご都合のよい日時に予約ができます

箇条書き設定を SmartArt に変換 P98~
行間を変更する方法 P62

アニメーション効果の方向 P194~

スライド4

コース紹介

コース名	月謝
ゆっくりコース（月4時間）	7,150円
標準コース（月8時間）	11,000円
お急ぎコース（月13時間）	14,100円
シニアコース（月24時間）	14,100円

表の挿入 P129~
表の列幅変更 P134~
表の行の高さの変更 P136~
表のセルの文字列の配置 P137~
表（上下中央揃え） P138
表（左右中央揃え） P139
表（右揃え） P140~
表のスタイルの変更 P141~
セルを結合する方法 P143

アニメーションのコピー P200~

スライド5

年代別割合

年代	割合
10代	2%
20代	2%
30代	4%
40代	14%
50代	18%
60代	40%
70代	20%

60代~70代が約6割

グラフの作成 P104~
グラフのデータラベルの設定 P109~
グラフのデータラベルの移動 P111~
グラフのデータの編集 P114~
グラフのスタイルの変更 P117~
グラフに図形を追加 P120~
エクセルのグラフをスライドに挿入 P127

アニメーション効果の設定（グローとター） P183~
アニメーションの追加 P188~
強調効果の設定（カラーパルス） P188~
アニメーション効果の速度 P189~
アニメーションの効果のオプション P204
グラフのアニメーションに関する
補足説明 P206

グラフに図形を追加 P120~
図形内の文字の色を変更 P124~

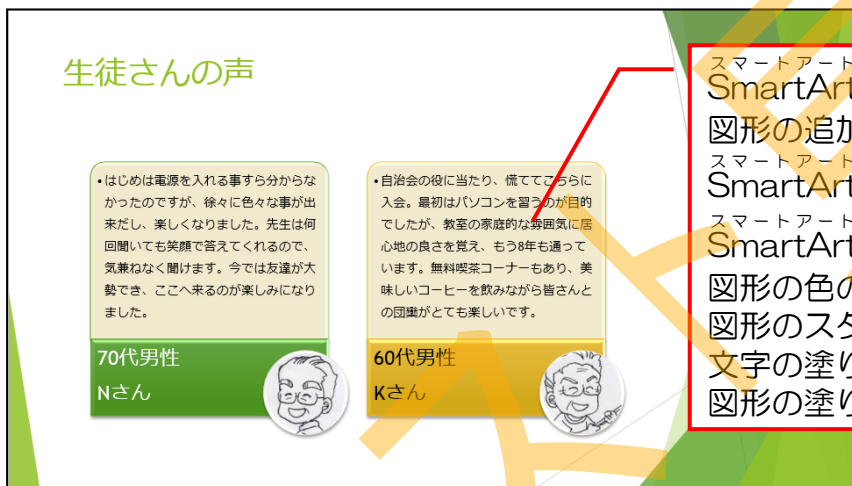
赤ページは本編のページを示しています。
青ページは補足説明のページを示しています。

スライド6



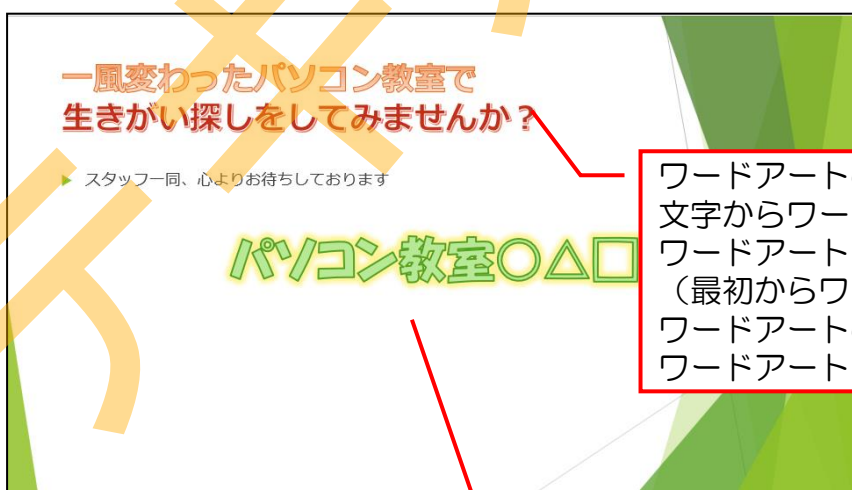
ビデオファイルの挿入 P165~
ビデオファイルの修整 P168~
ビデオファイルのスタイルの変更 P169~
ビデオファイルのトリミング P171~
ビデオファイルの再生 P174~

スライド7



スマートアート
SmartArtの挿入 P75~
図形の追加と削除 P78~
スマートアート
SmartArtの図形に文字を入力 P81~
スマートアート
SmartArt内にイラストを挿入 P85~
図形の色の変更 P89~
図形のスタイルの変更 P91~
文字の塗りつぶしの色の変更 P93~
図形の塗りつぶしの色の変更 P95~

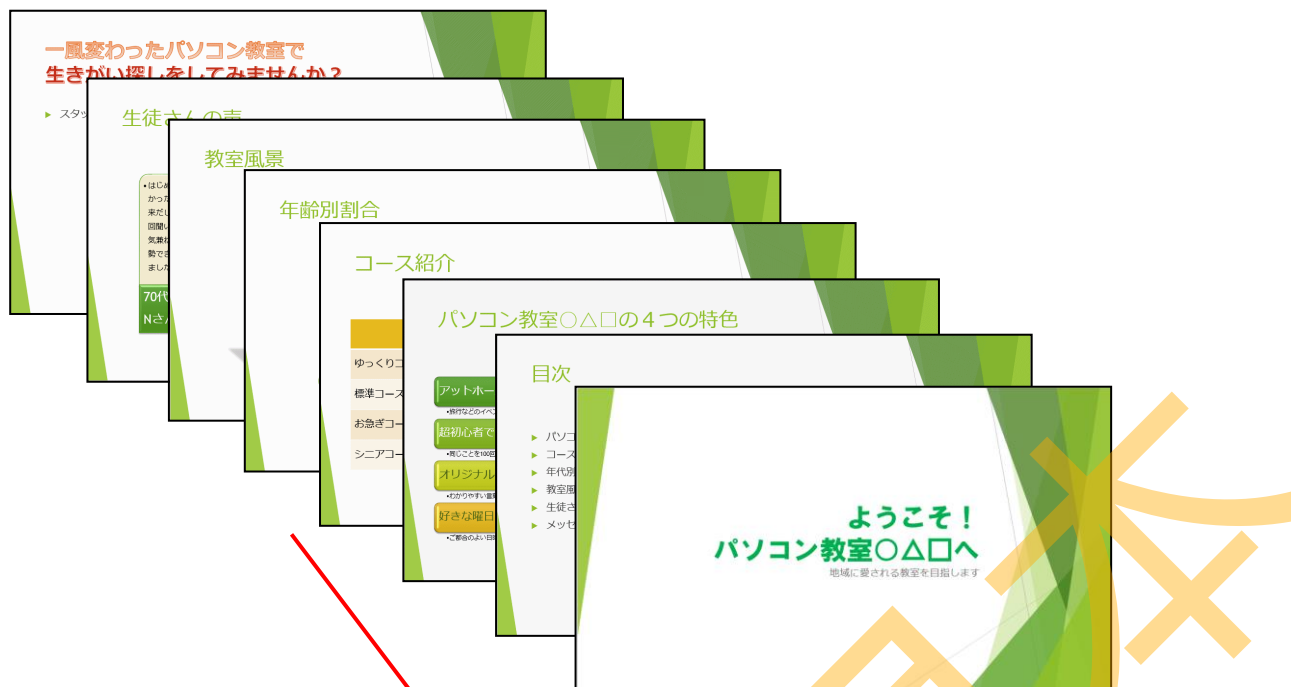
スライド8



ワードアートの挿入 P152~
文字からワードアートの挿入 P153~
ワードアート
(最初からワードアートに) P157~
ワードアートのフォントの変更 P159~
ワードアート (文字の効果設定) P161~

アニメーション効果の順序の入れ替え P199~
アニメーションのコピー P200~

赤ページは本編のページを示しています。
青ページは補足説明のページを示しています。



画面切り替え効果	P176～
アニメーションのプレビュー	P203～
スライドショーの実行	P207～
リハーサル	P210～
スライドの折りたたみと展開	P63
配色を変更する方法	P65
図の圧縮	P163
アニメーションに関する補足説明	P205
アニメーションの軌跡に関する補足説明	P205
タイミングに関する補足説明	P205
スライドショーの実行（その他の方法）	P213
スライドショーの中断方法	P213
スライドショーに関する補足説明	P214～
ナレーション	P218
目的別スライドショー	P219
発表用ノートの作成	P220
パワーポイントの印刷	P220～
プレゼンテーションをビデオに変換	P221
スライドマスター	P224～

赤ページは本編のページを示しています。
青ページは補足説明のページを示しています。

◆索引

あ行

アウトライン表示に切り替える	51
アニメーション効果とは	182
アニメーション効果の設定	183
アニメーション (開始効果の設定)	183
アニメーション (強調効果の設定)	188
アニメーション (効果のオプション)	204
アニメーション (効果の速度設定)	189
アニメーション (コピー)	200
アニメーション (終了効果の設定)	186
アニメーション (順序入れ替え)	199
アニメーション (追加)	188
アニメーション (プレビュー)	203
アニメーション (方向設定)	194
アニメーションの軌跡 (補足)	205
インク注釈	215
印刷	220
インデントを増やす	48
エクセルのグラフをスライドに挿入	127
オービット	180
オブジェクト	14
オンライン画像 (イラスト) の移動	151
オンライン画像 (イラスト) のサイズ変更	149
オンライン画像 (イラスト) の挿入	145

か行

筒条書き設定をSmartArtに変換	98
画面切り替え効果の設定	176
カラーパルス	188
行間の変更	62
グラフ (アニメーション)	206

グラフ (データの編集)	114
グラフ (データラベル)	109
グラフに図形を追加	120
グラフの作成	104
グラフのスタイルの変更	117
グラフのデータラベルの移動	111
グリッド線の表示方法	164
グローとターン	184

さ行

新規プレゼンテーションウィンドウを開く	26
図形内の文字の色を変更	124
ズーム	198
図の圧縮の操作方法	163
SmartArt (図形の色の変更)	89
SmartArt (図形のスタイルの変更)	91

SmartArt (図形の追加と削除)	78
SmartArt (図形の塗りつぶしの色の変更)	95
SmartArt (文字の塗りつぶしの色の変更)	93
SmartArt内にイラストを挿入	85
SmartArtの挿入	75
SmartArtの図形に文字を入力	81
スマートガイド	163
スライド	14
スライド (一覧表示)	55
スライド (折りたたみと展開)	63
スライド (筒条書きの編集)	48
スライド (切り替え)	45
スライド (項目の入れ替え)	53
スライド (削除)	57
スライド (順序の入れ替え)	50
スライド (縦向き)	64
スライド (追加)	41
スライド (デザイン変更)	59
スライドショーの実行	207
スライドショー (中断)	213
スライドマスター	224
セルの結合	143

た行

タイミング	205
動作設定ボタン	216

な行

ナレーション	218
--------	-----

は行

配色の変更	65
バウンド	198
発表用ノートの作成	220
パワーポイントでポスターを作成	231
パワーポイントの印刷	220
パワーポイントの起動	6
パワーポイントの終了	10
ビデオファイル (再生)	174
ビデオファイル (修整)	168
ビデオファイル (スタイルの変更)	169
ビデオファイル (挿入)	165
ビデオファイル (トリミング)	171
ビデオ変換	221
表 (行の高さの変更)	136

表（左右中央揃え）	139
表（上下中央揃え）	138
表（スタイルの変更）	141
表（セルの文字列の配置）	137
表（挿入）	129
表（列幅変更）	134
フェード	185
フォトアルバムの作成方法	226
フォント（文字の書体）の変更	66
フォントサイズ （文字の大きさ）の変更	69
フォントの色（文字の色）の変更	71
プレースホルダー（文字入力）	27
プレゼンテーション	14
プレゼンテーションを閉じる	24
プレゼンテーションを開く	19
ホイール	187
ポスター	231
保存について	30
保存（上書き保存）	36
保存（ドキュメントに保存）	40
保存（フォルダーに保存）	38
保存（USB メモリーに保存）	31

ま行

目的別スライドショー	219
文字の塗りつぶしの色の変更	93
文字を 1 行に収める方法	72
文字を縦書きに入力	62

ら行

リハーサル	210
-------	-----

わ行

ワイプ	196
ワードアート（最初から）	157
ワードアート（フォントの変更）	159
ワードアート （文字からワードアートの挿入）	153
ワードアート（文字効果）	161
ワードアートの挿入	152

Power Point 2021

2022年 8月20日 初版 第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

連絡先

- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。
- 本文中での挿絵は、フリーイラスト素材集「いらすとや」または「Pixabay」の、パブリックドメインのライセンスのものを利用しています。